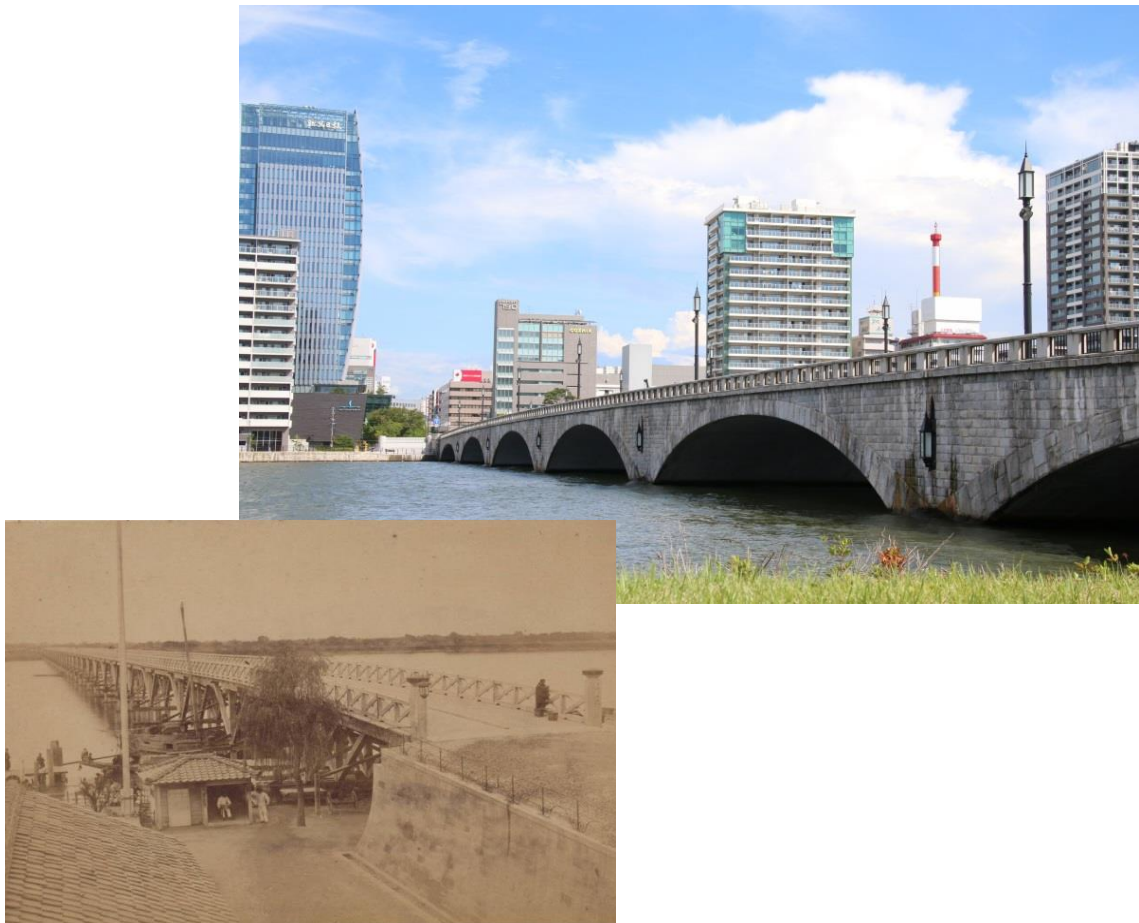


第43回 市政世論調査

(平成28年度)



架橋から130周年を迎える「萬代橋」初代と現在の様子

新 潟 市

< 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	4
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	8
II 調査結果	11
1. 市政情報の入手方法について	13
（1） 市政情報の取得満足度	13
（2） 市政情報の入手先	15
（3） 市に関するどんな情報が知りたいか	36
（4） 「市報にいがた」の入手方法	42
（5） 「市報にいがた」の発行頻度の希望	45
（6） 市政情報以外の必要な情報の入手先	47
2. 新潟市に対する誇りや愛着について	55
（1） 誇りや愛着の関心度	55
（2） 特に誇りや愛着を感じているもの	81
3. 新潟市のコミュニティについて	87
（1） 地域コミュニティ協議会の認知度	87
（2） 地域コミュニティ協議会についての情報の入手先	89
（3） 区自治協議会の認知度	93
（4） 区自治協議会についての情報の入手先	95
4. 政令市移行後10年のまちづくりについて	99
（1） 政令市移行による効果をいかしたまちづくりの進捗度	99
（2） 政令市移行による効果をいかした取組みの進捗度	105
5. 市政全般と区政について	121
（1） 新潟市として良くなっているもの	121

(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	125
(3) 区として良くなっているもの	129
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの	134
6. 市の取組みについて	139
(1) 取組みへの感想	139
(2) 取組みへの満足度	161
Ⅲ 調査票様式	183

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施する。

2. 調査の項目

- | | | |
|---------------------------|---------|----------|
| (1) 対象者属性 | 本質問 7 問 | |
| (2) 市政情報の入手方法について | 本質問 6 問 | |
| (3) 新潟市に対する誇りや愛着について | 本質問 1 問 | 補助質問 1 問 |
| (4) 新潟市のコミュニティについて | 本質問 4 問 | |
| (5) 政令市移行後 10 年のまちづくりについて | 本質問 2 問 | |
| (6) 市政全般と区政について | 本質問 1 問 | |
| (6) 市の取り組みについて | 本質問 1 問 | |

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：平成 28 年 6 月末現在の住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000 人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：平成 28 年 7 月 15 日～8 月 1 日

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5. 回収結果

(1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

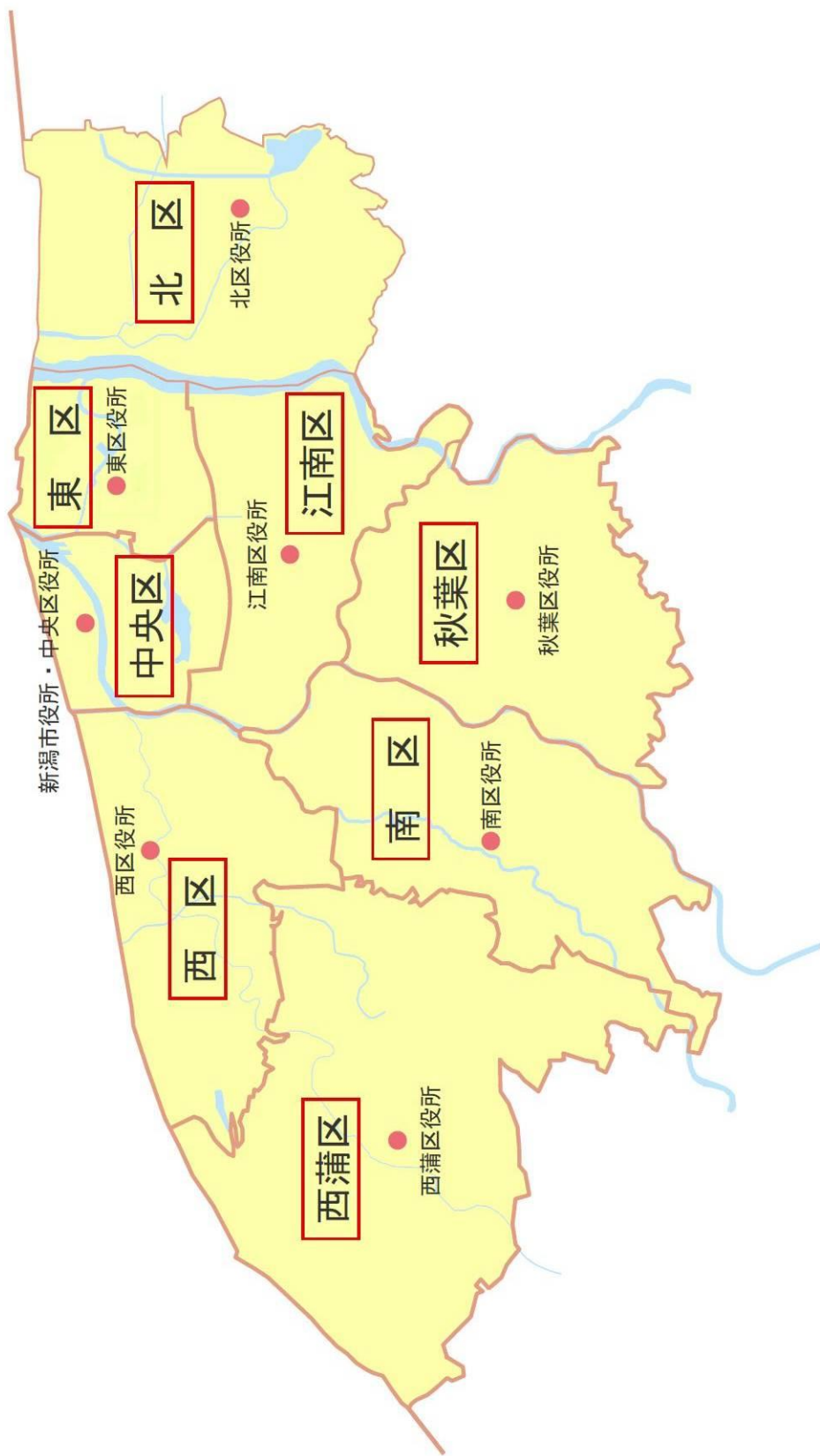
(2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	675,099	100.0%	4,000	2,059	51.5%
北区	63,726	9.4%	377	204	54.1%
東区	116,412	17.2%	690	361	52.3%
中央区	149,697	22.2%	887	443	49.9%
江南区	57,846	8.6%	343	172	50.1%
秋葉区	65,468	9.7%	387	199	51.4%
南区	39,018	5.8%	232	106	45.7%
西区	132,318	19.6%	784	416	53.1%
西蒲区	50,614	7.5%	300	147	49.0%
区名無回答				11	

6. 区（行政区）の範囲

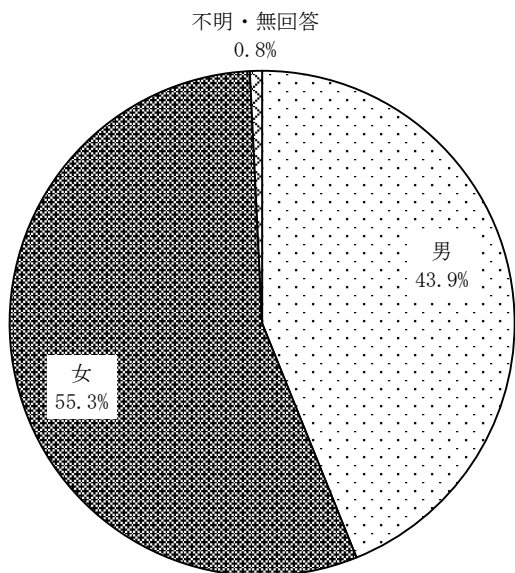
次頁区分図参照。

<区分图>

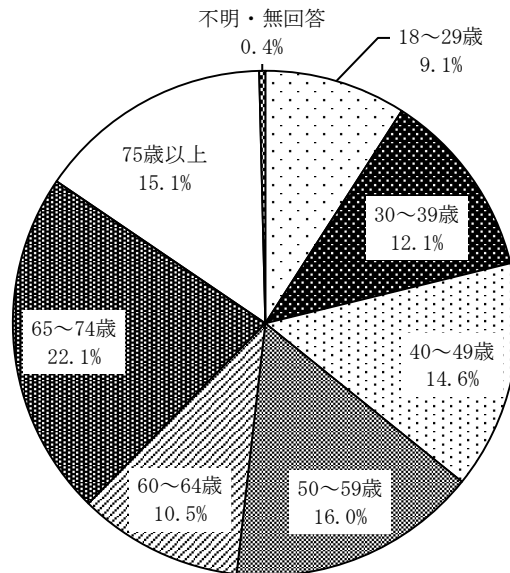


7. 回答者の特性

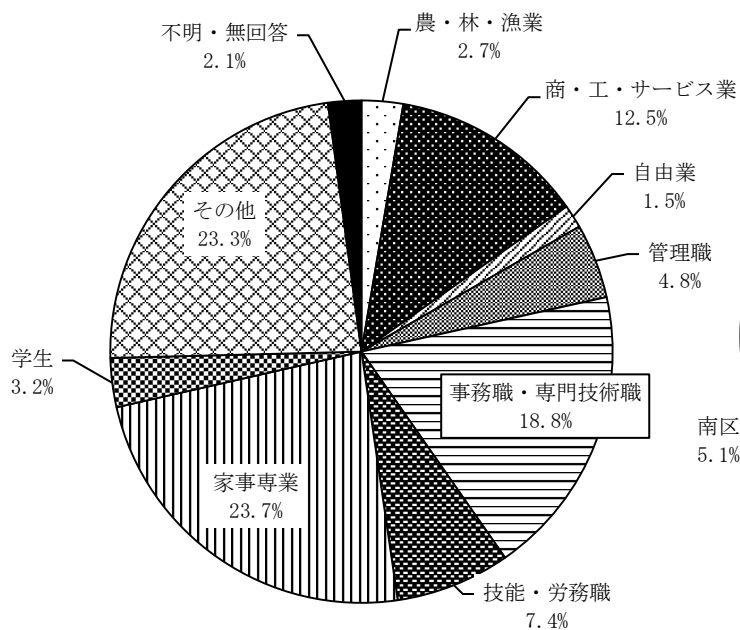
◆性別



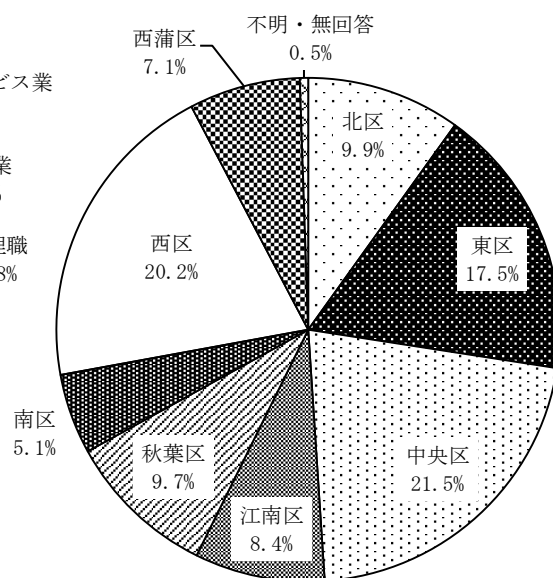
◆年齢別



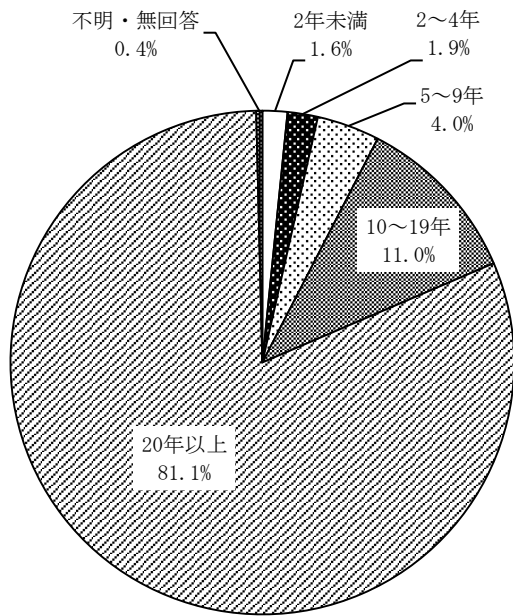
◆職業別



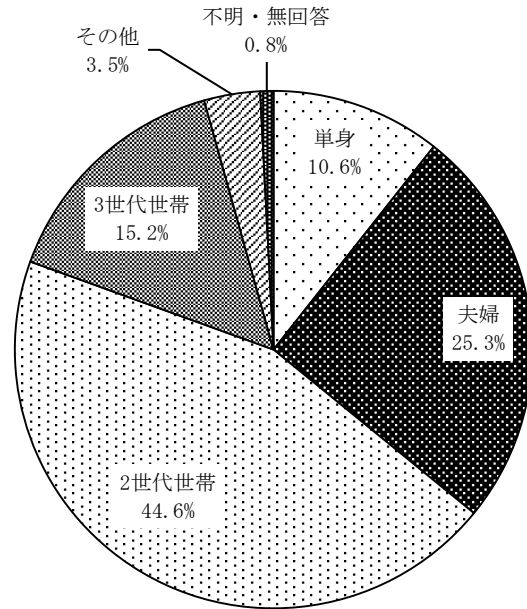
◆地区別



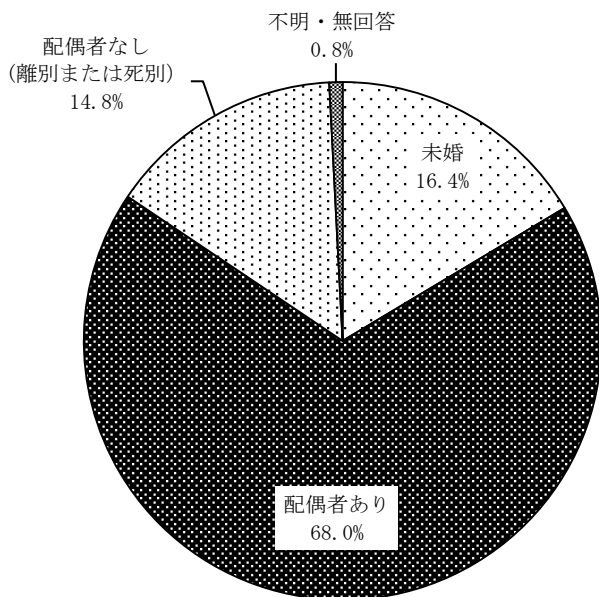
◆居住年数別



◆世帯構成別

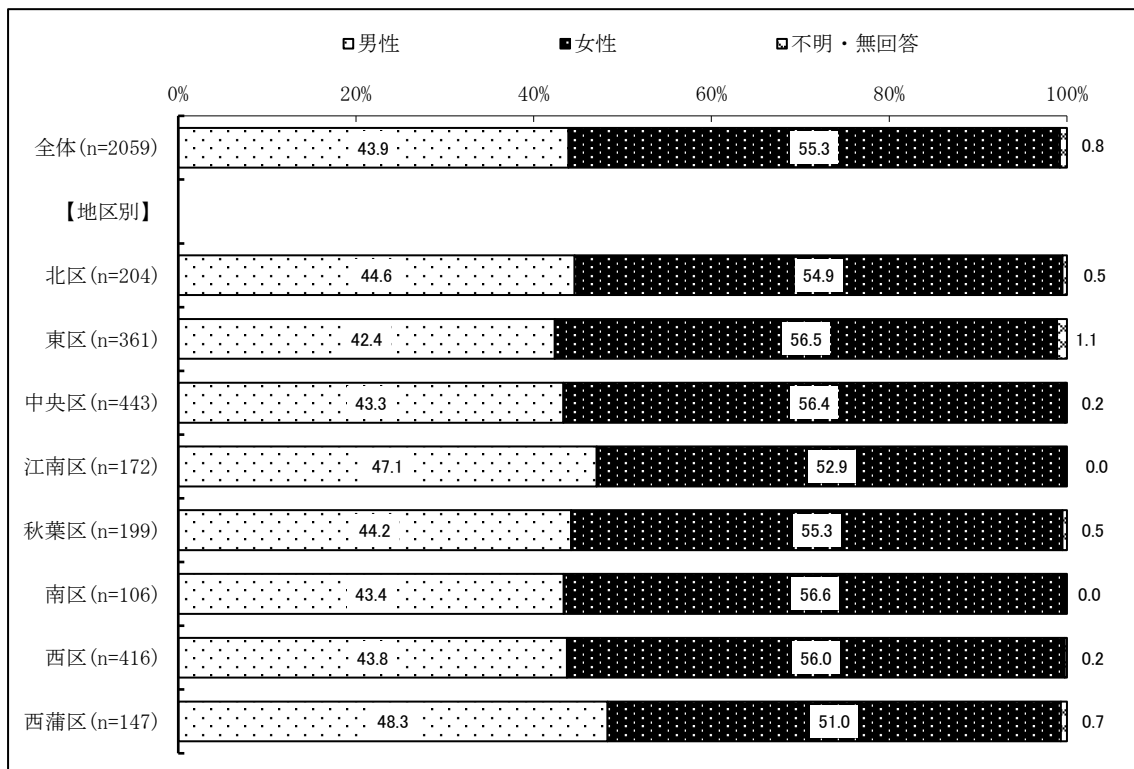


◆婚姻状況別

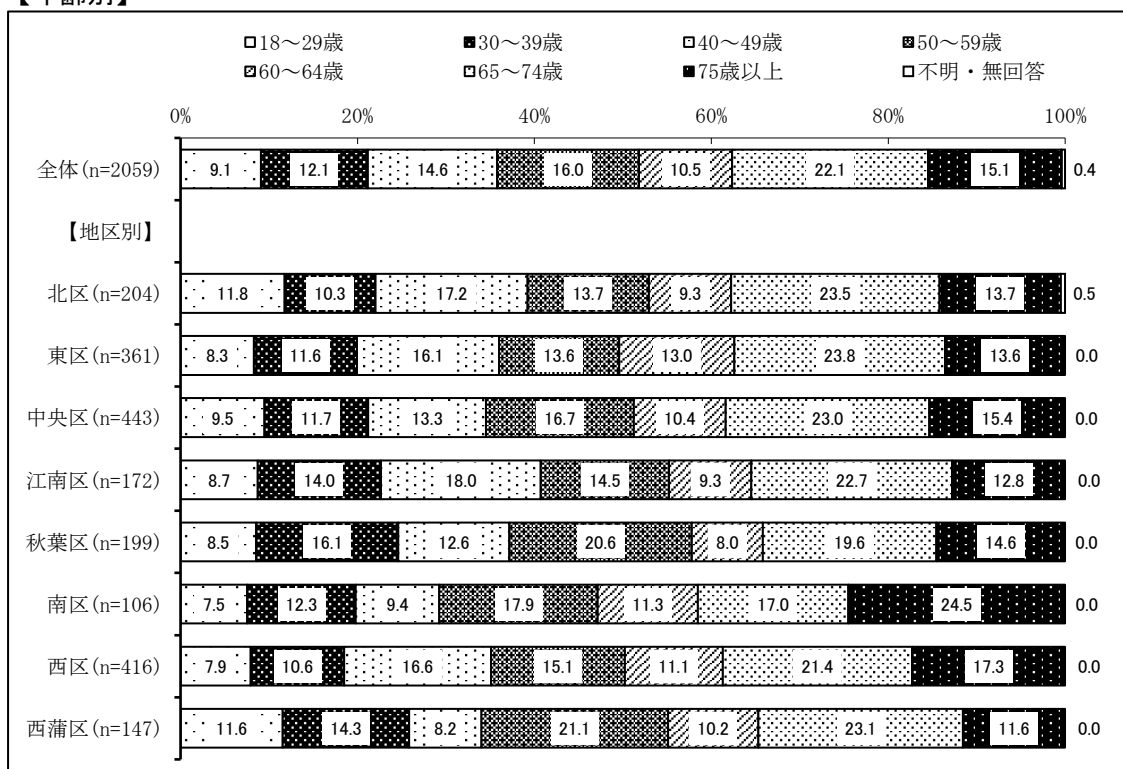


8. 回答者の特性（地区別集計）

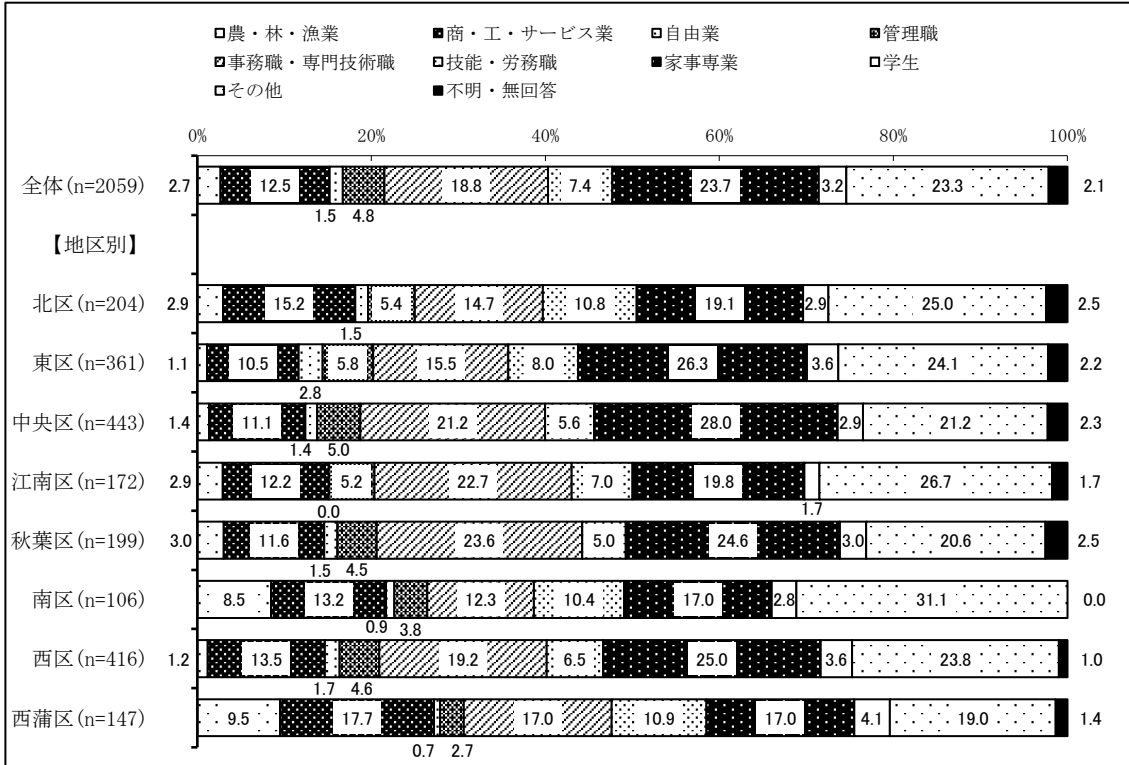
【性別】



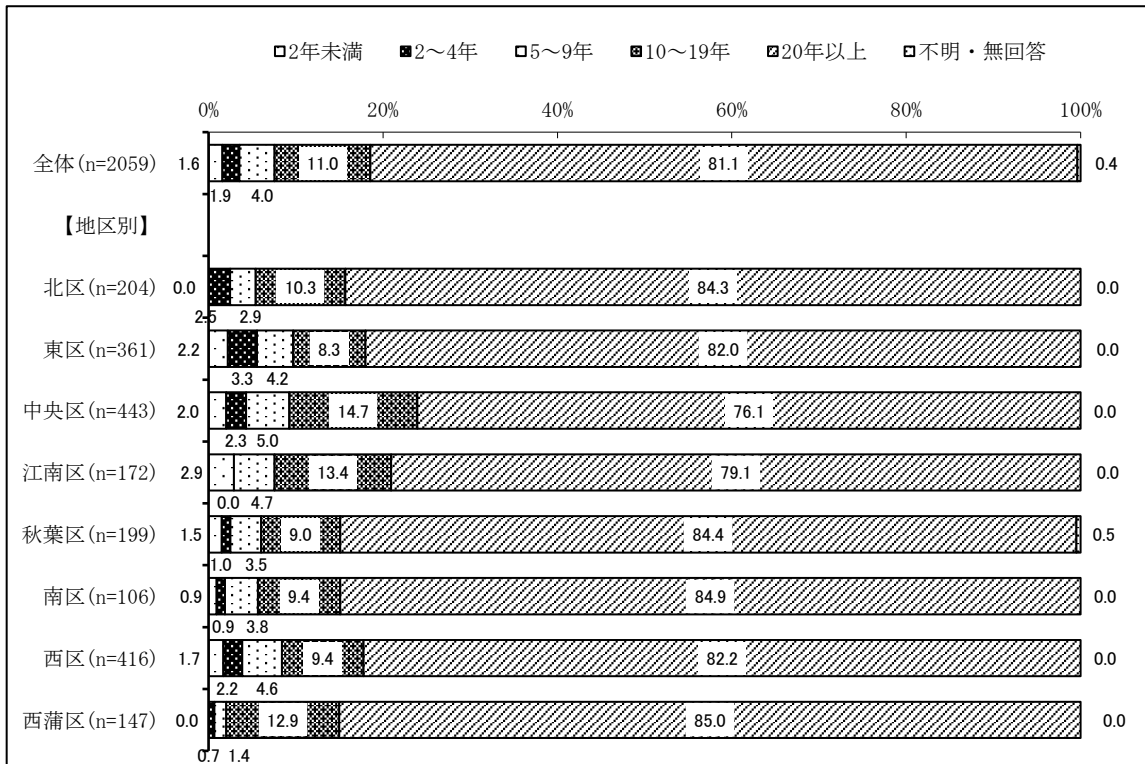
【年齢別】



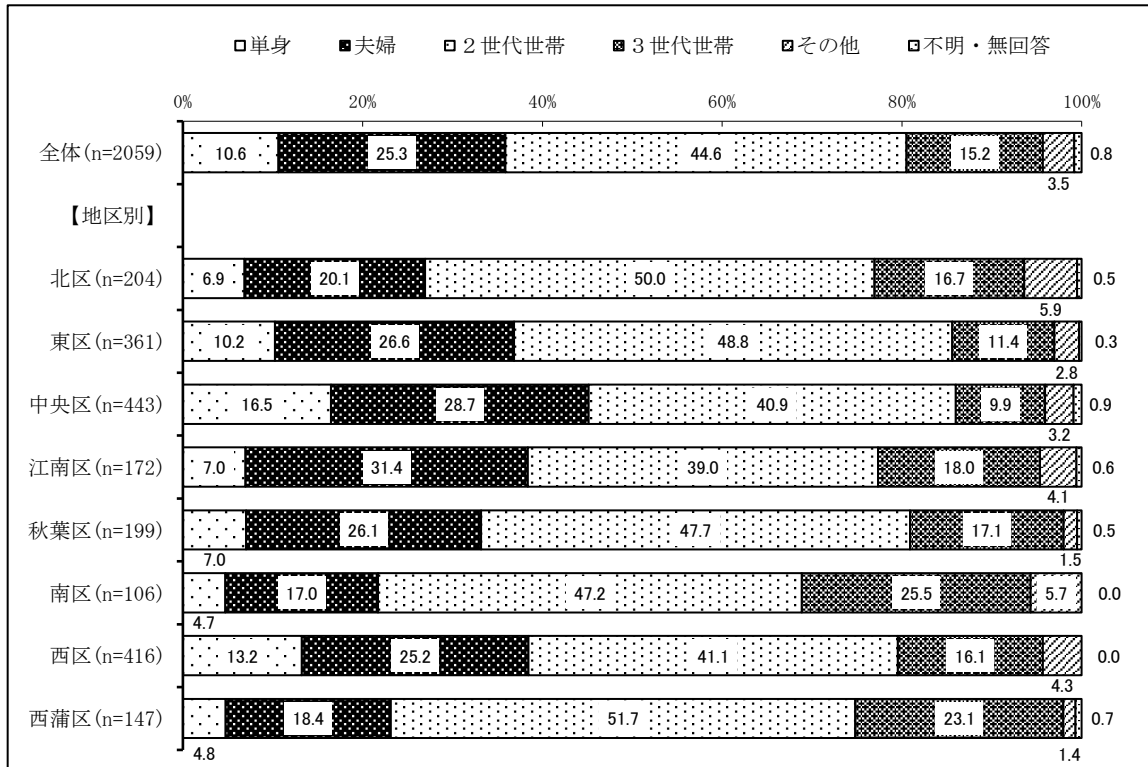
【職業別】



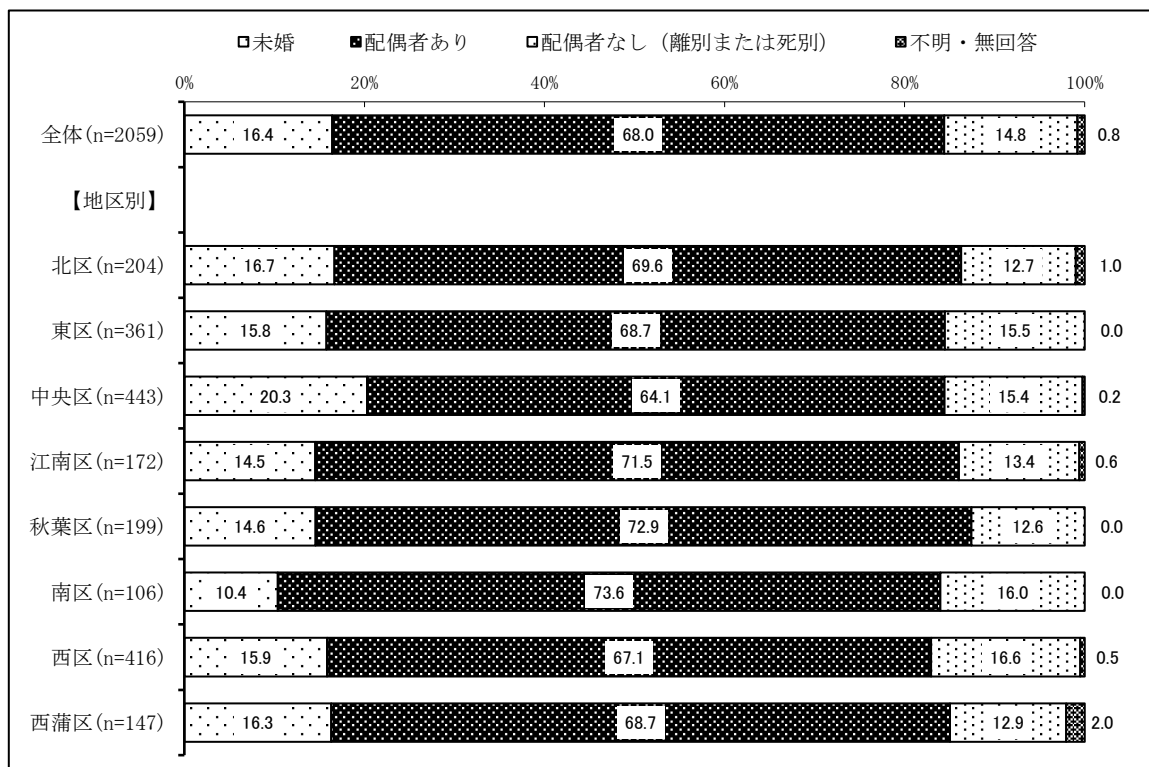
【居住年数別】



【世帯構成別】



【婚姻状況別】

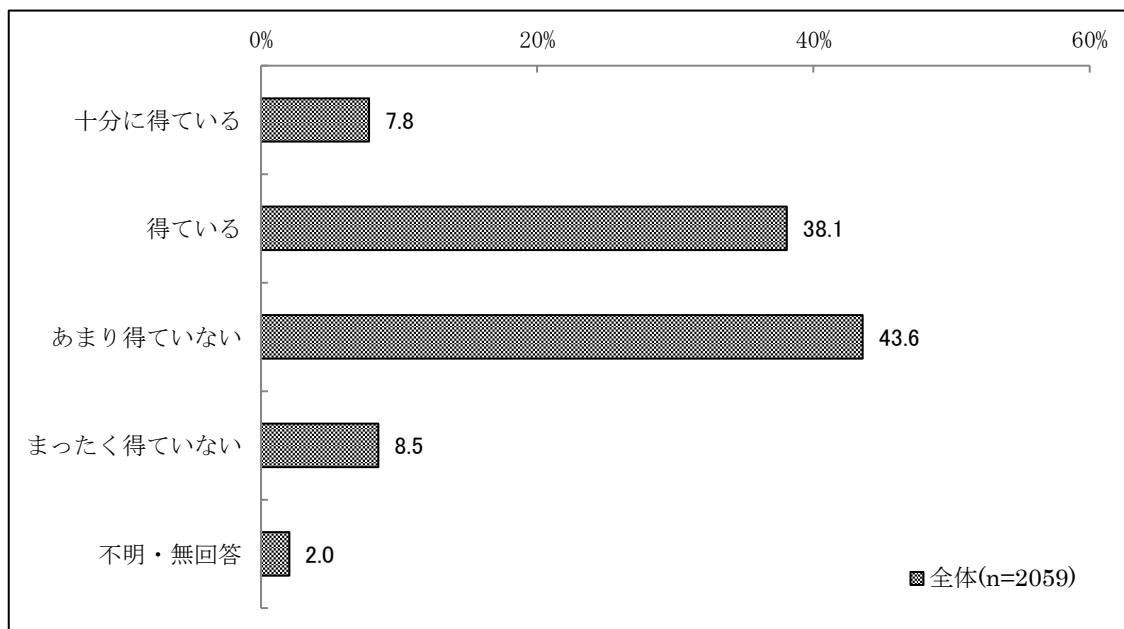


II 調查結果

1. 市政情報の入手方法について

(1) 市政情報の取得満足度

問8 あなたは、新潟市の市政や暮らし、イベントなどに関する市政情報を十分に得ていますか。
(○は1つだけ)



— 市政情報を「十分に得ている」、「得ている」で4割以上 —

【全体結果】

「十分に得ている」(7.8%)、「得ている」(38.1%)を合わせた割合は、4割を超えた。一方、「あまり得ていない」(43.6%)、「まったく得ていない」(8.5%)を合わせた割合は5割を超えた。

【属性別結果】(図1-1参照)

①地区別

北区・中央区では、「十分に得ている」と「得ている」を合わせた割合が約5割で、他の地区と比べて割合が高い。南区では3割強にとどまり、他の地区と比べて割合が低い。

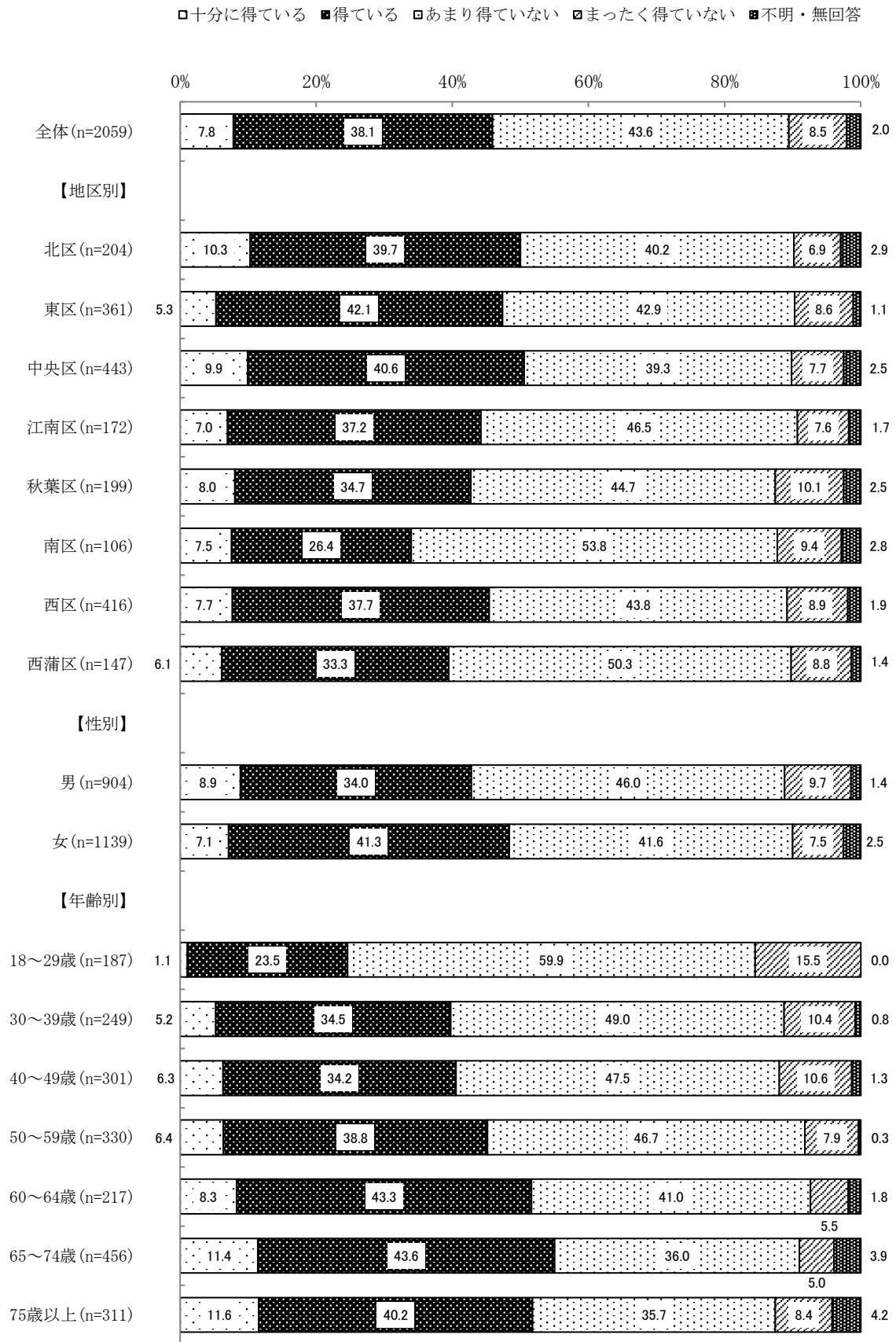
②性別

「得ている」と回答した割合が、男性(34.0%)と比べて女性(41.3%)で高い。

③年齢別

「十分に得ている」と「得ている」を合わせた割合は、65～74歳(55.0%)で割合が最も高く、18～29歳(24.6%)で最も低い。年齢が上がるほど割合が高い傾向がみられる。

図 1-1 市政情報の取得満足度（地区別/性別/年齢別）

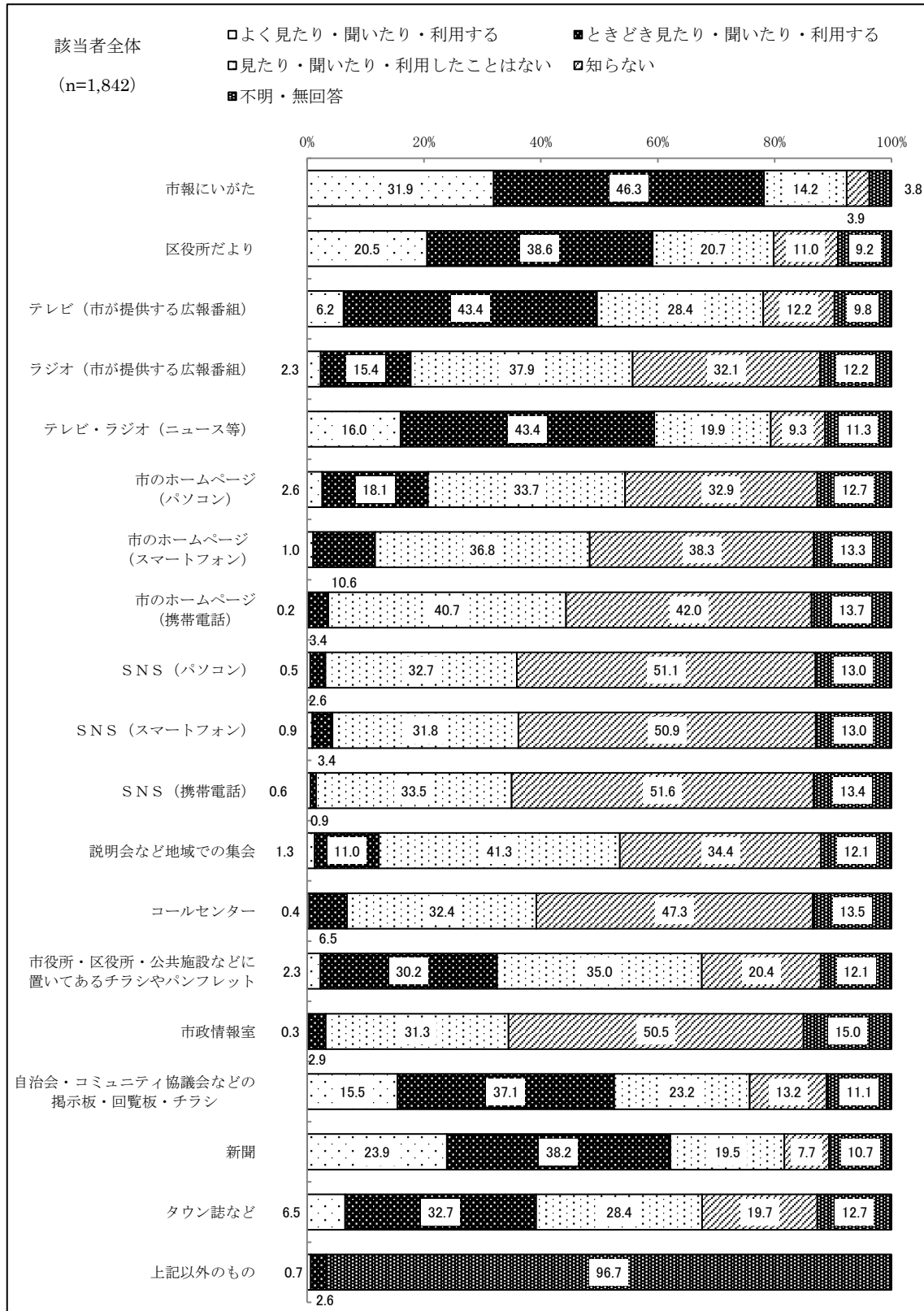


(2) 市政情報の入手先

(問8で「1」「2」「3」(十分に得ている、得ている、あまり得ていない)と回答した方への該当質問)

問9 あなたは、新潟市が発信する市政情報を何から入手していますか。

それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。



— 市政情報の入手先は、「市報にいがた」がトップ —

【全体結果】

市政情報の入手先で『よく見たり・聞いたり・利用する』ものとして、「市報にいがた」(31.9%)で割合が最も高い。次いで「新聞」(23.9%)、「区役所だより」(20.5%)、「テレビ・ラジオ(ニュース等)」(16.0%)の順に続く。

『ときどき見たり・聞いたり・利用する』ものでは、「市報にいがた」(46.3%)、「テレビ(市が提供する広報番組)」、「テレビ・ラジオ(ニュース等)」(共に43.4%)、「区役所だより」(38.6%)の順に割合が高い。

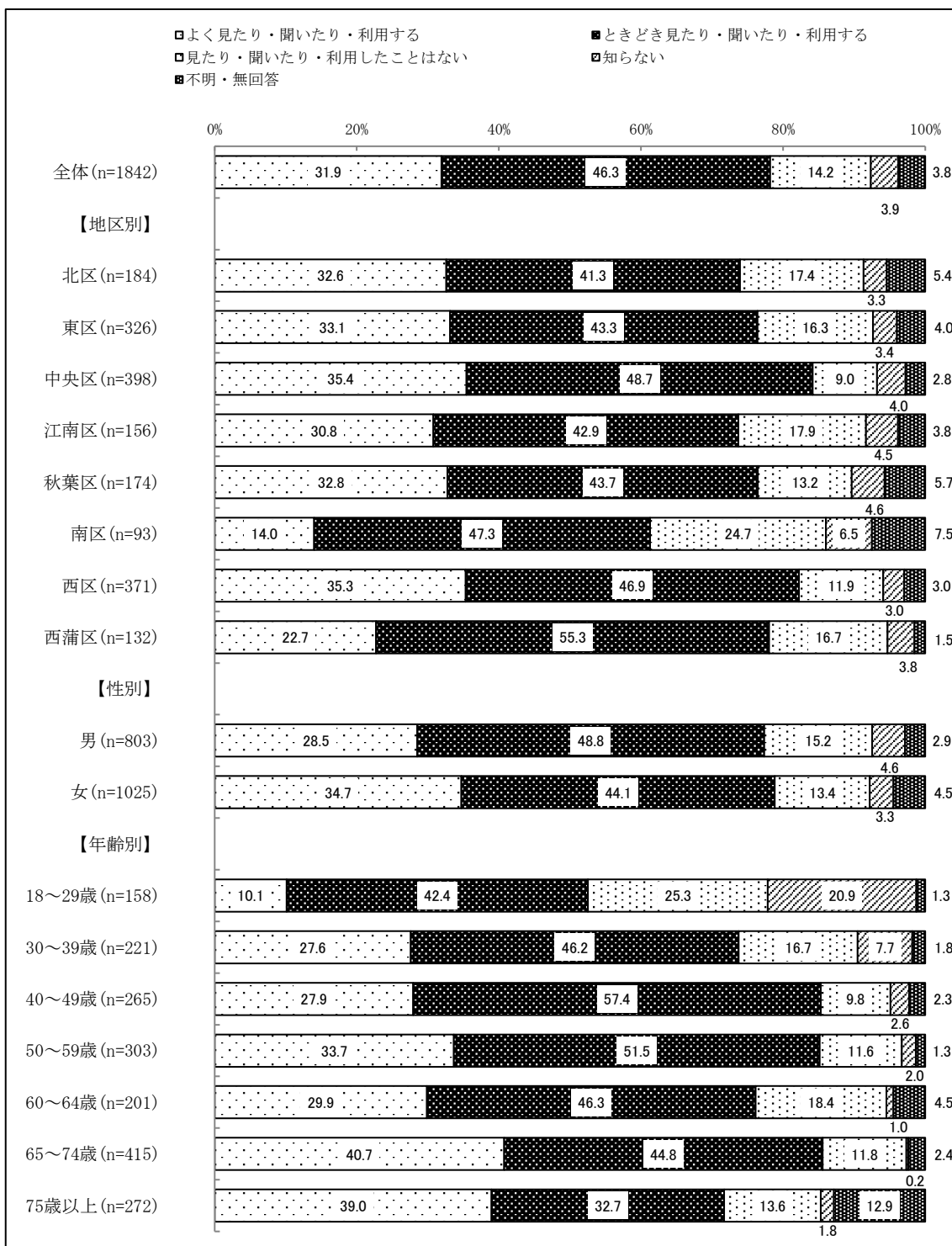
『見たり・聞いたり・利用したことはない』では、「説明会など地域での集会」(41.3%)で割合が最も高い。以下、「市のホームページ(携帯電話)」(40.7%)、「ラジオ(市が提供する広報番組)」(37.9%)、「市のホームページ(スマートフォン)」(36.8%)の順に続く。

『知らない』では、「SNS(携帯電話)」(51.6%)、「SNS(パソコン)」(51.1%)、「SNS(スマートフォン)」(50.9%)、「市政情報室」(50.5%)で約半数が回答している。

【属性別結果】

次ページ以降に市政情報の入手先ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

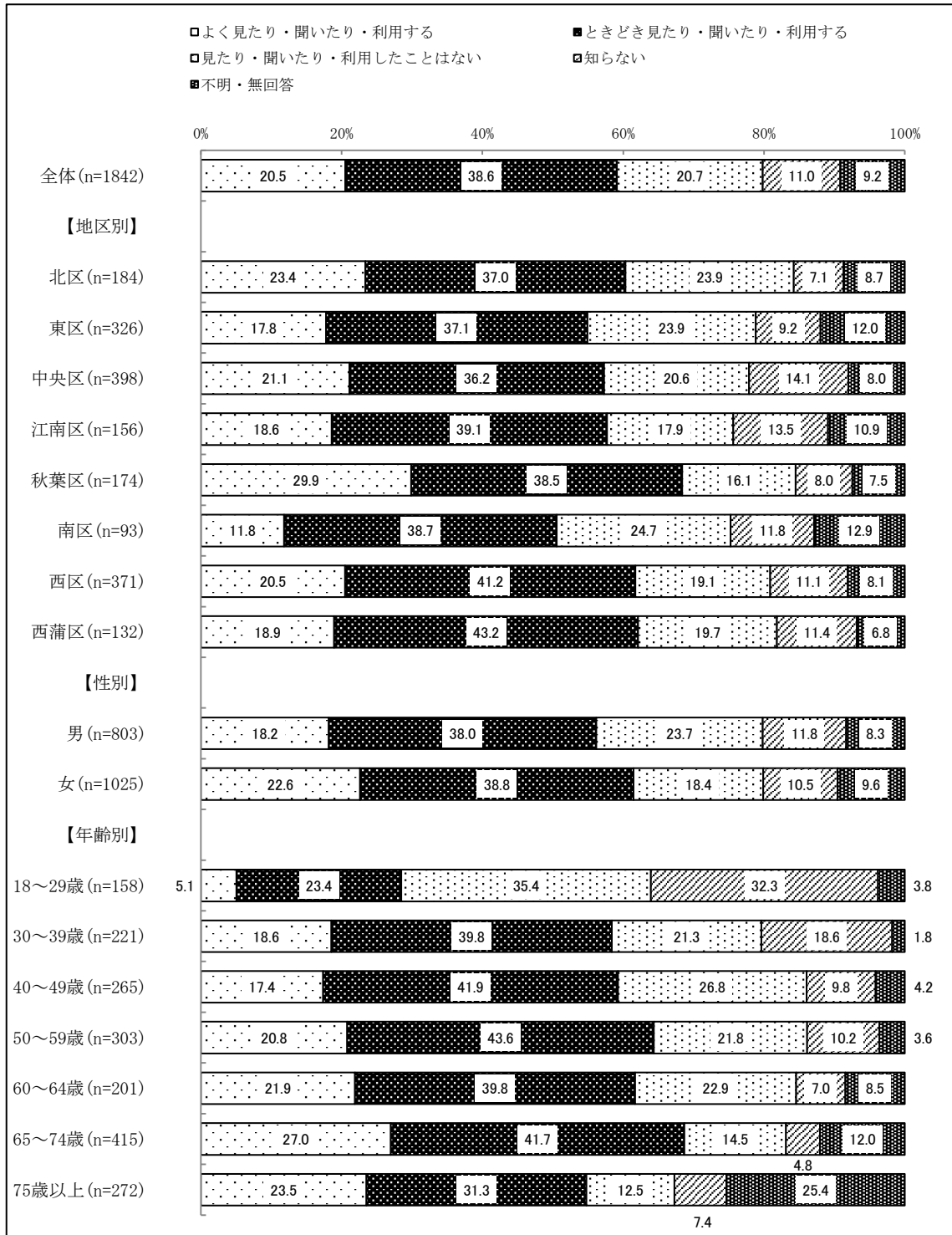
①市報にいがた



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区 (84.2%) で最も高い。年齢別では、40代 (85.3%)・50代 (85.1%)・65～74歳 (85.5%) で8割を超えた。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では南区 (31.2%)、年齢別では18～29歳 (46.2%) で最も高い。

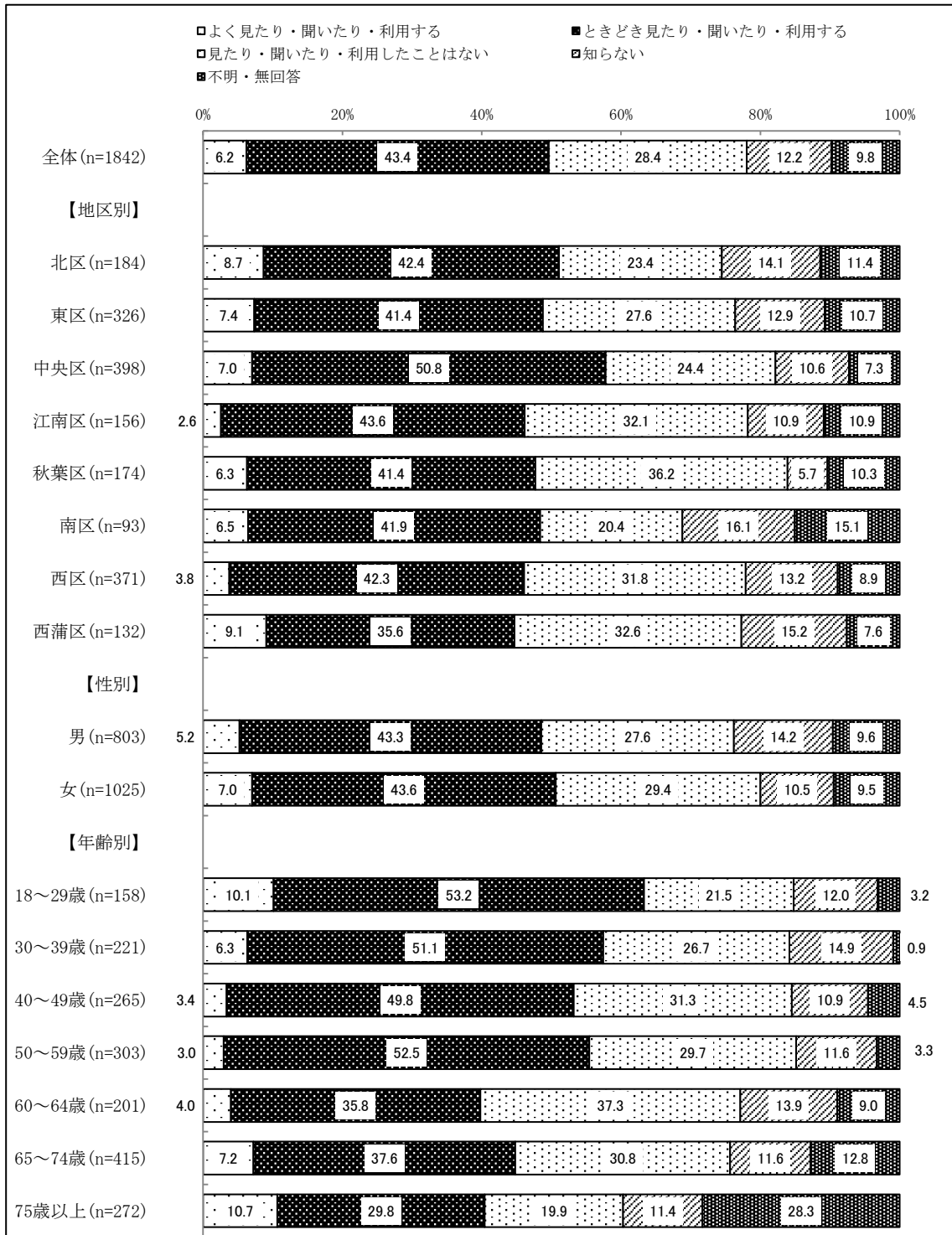
②区役所だより



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（68.4%）で最も高い。性別では女性でやや高く、年齢別では、65～74歳（68.7%）が最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では南区（36.6%）、年齢別では18～29歳（67.7%）で最も高い。

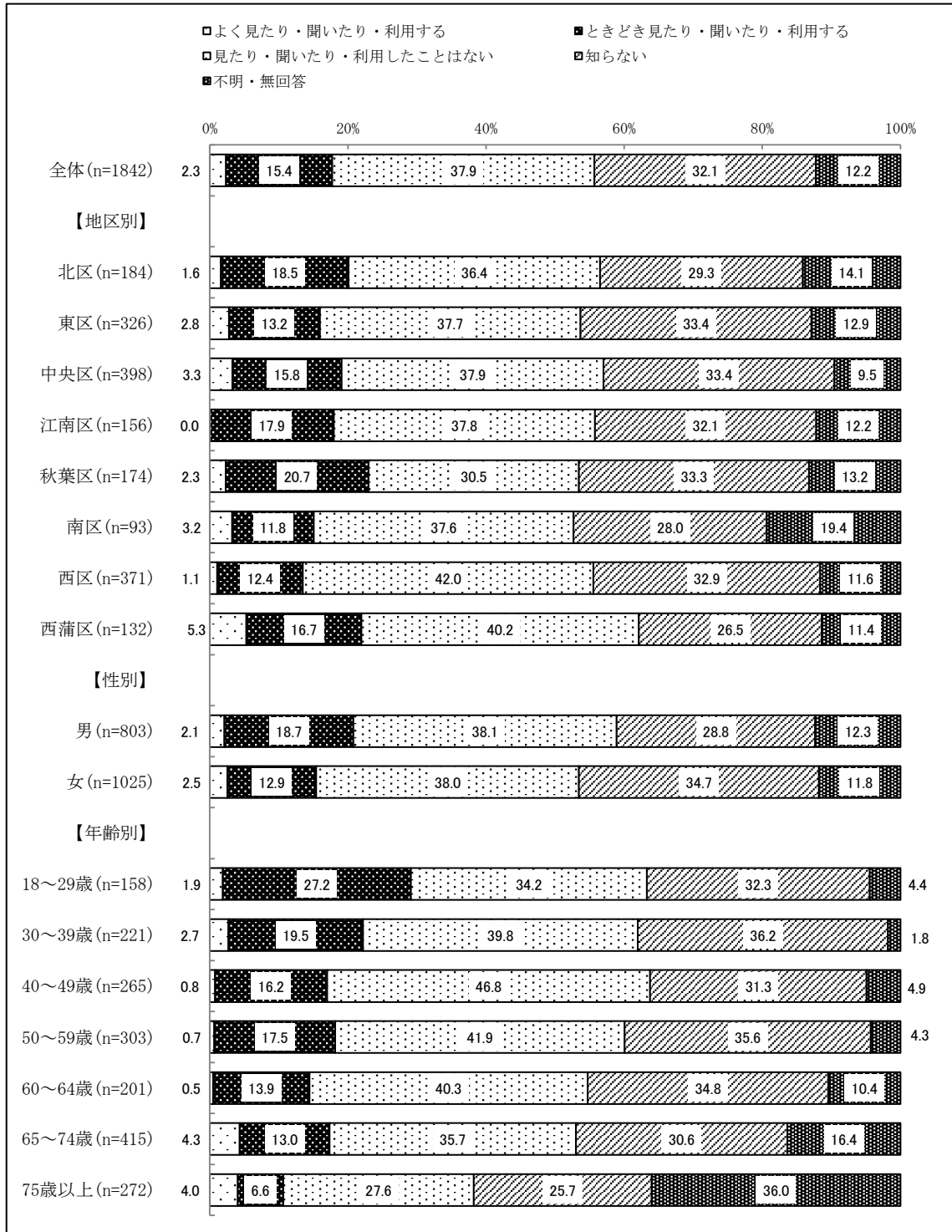
③テレビ（市が提供する広報番組）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区（57.8%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（63.3%）で最も高く、60代以上では半数を下回る。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（47.7%）、年齢別では60～64歳（51.2%）で最も高い。

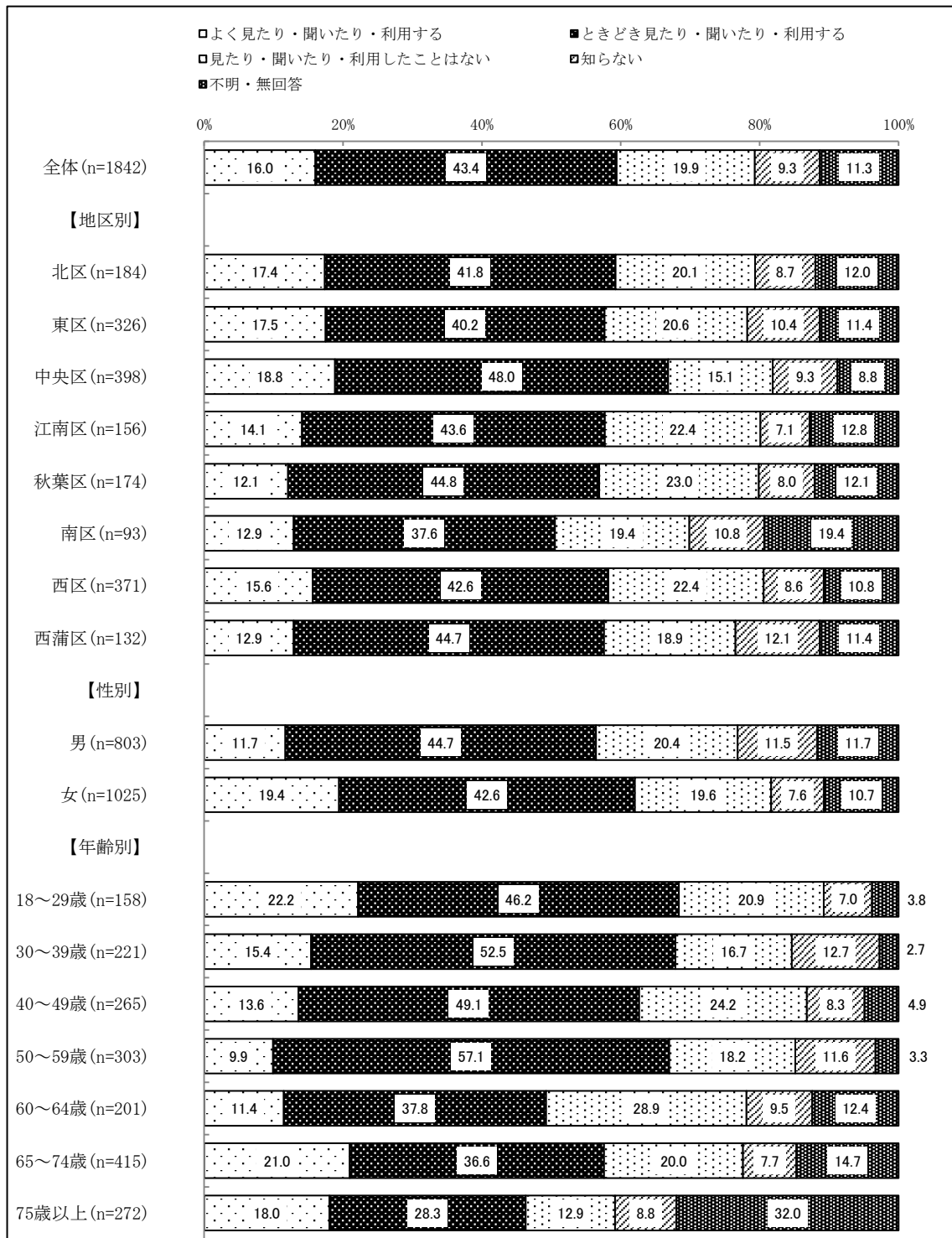
④ラジオ（市が提供する広報番組）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（23.0%）・西蒲区（22.0%）で高い。性別では男性でやや高く、年齢別では、18～29歳（29.1%）で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、75歳以上（53.3%）を除き、6割を超えた。地区別では西区（74.9%）、年齢別では40代（78.1%）で最も高い。

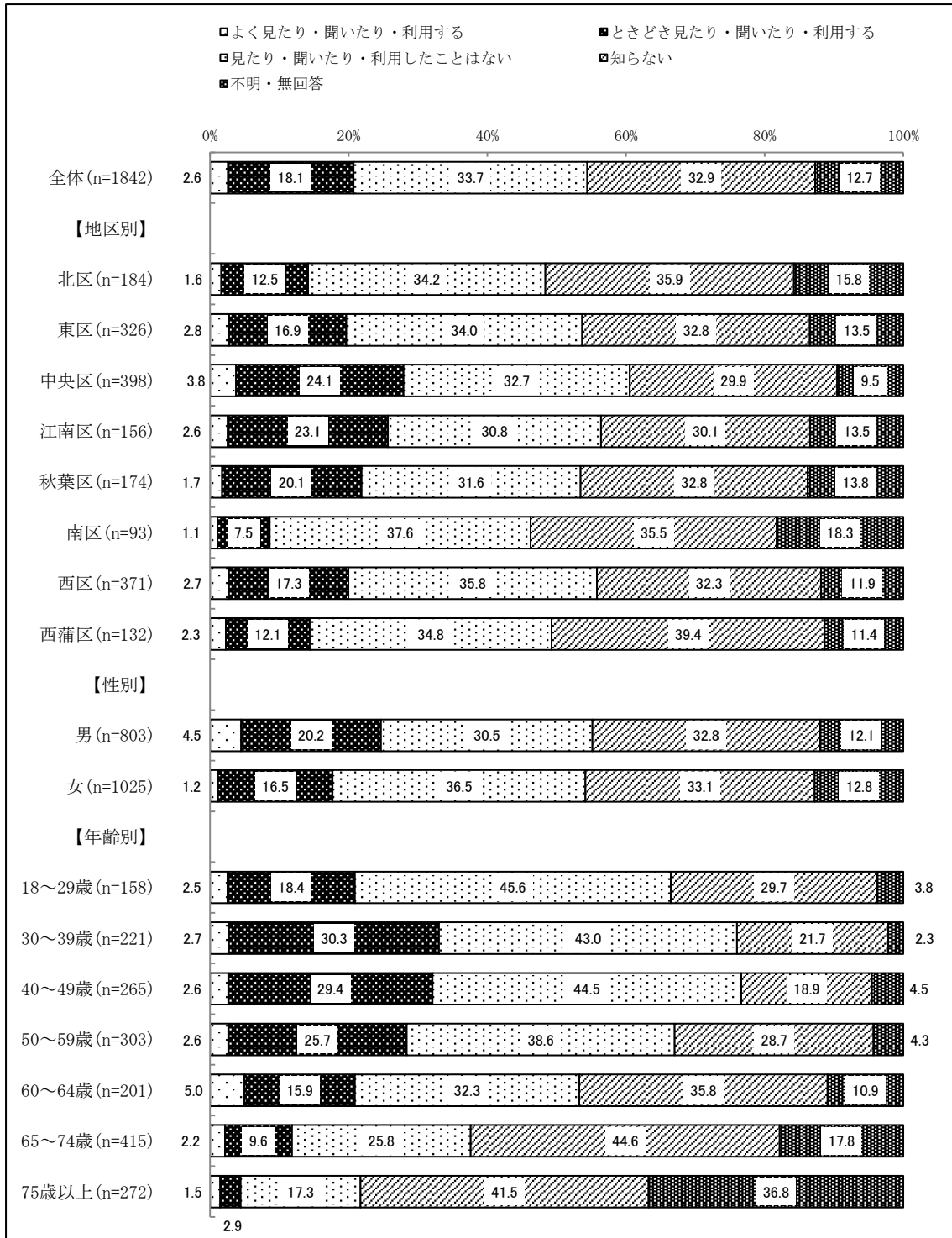
⑤テレビ・ラジオ（ニュース等）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区（66.8%）で最も高い。性別では女性でやや高く、年齢別では、18～29歳・30代・40代・50代で6割を超えた。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、どの地区も約3割程度。年齢別では60～64歳（38.3%）で最も高い。

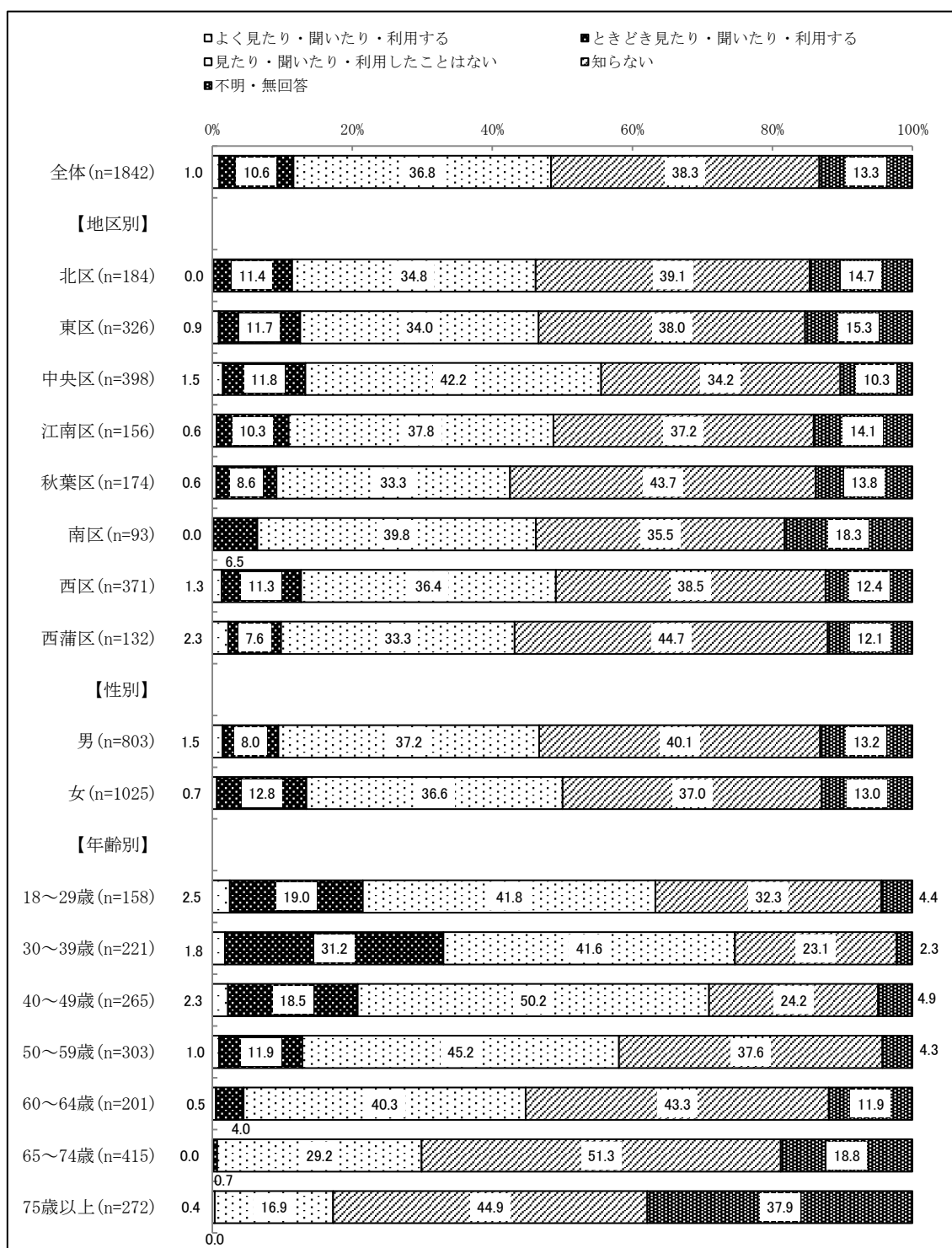
⑥市のホームページ（パソコン）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区（27.9%）で最も割合が高い。性別では、男性でやや高い。年齢別では30代をピークに、年齢が上がるほど、割合が低い傾向がみられる。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では北区・南区・西蒲区で7割を超えた。年齢別では18～29歳、65～74歳で7割を超え、65歳以上で「知らない」が4割を超えた。

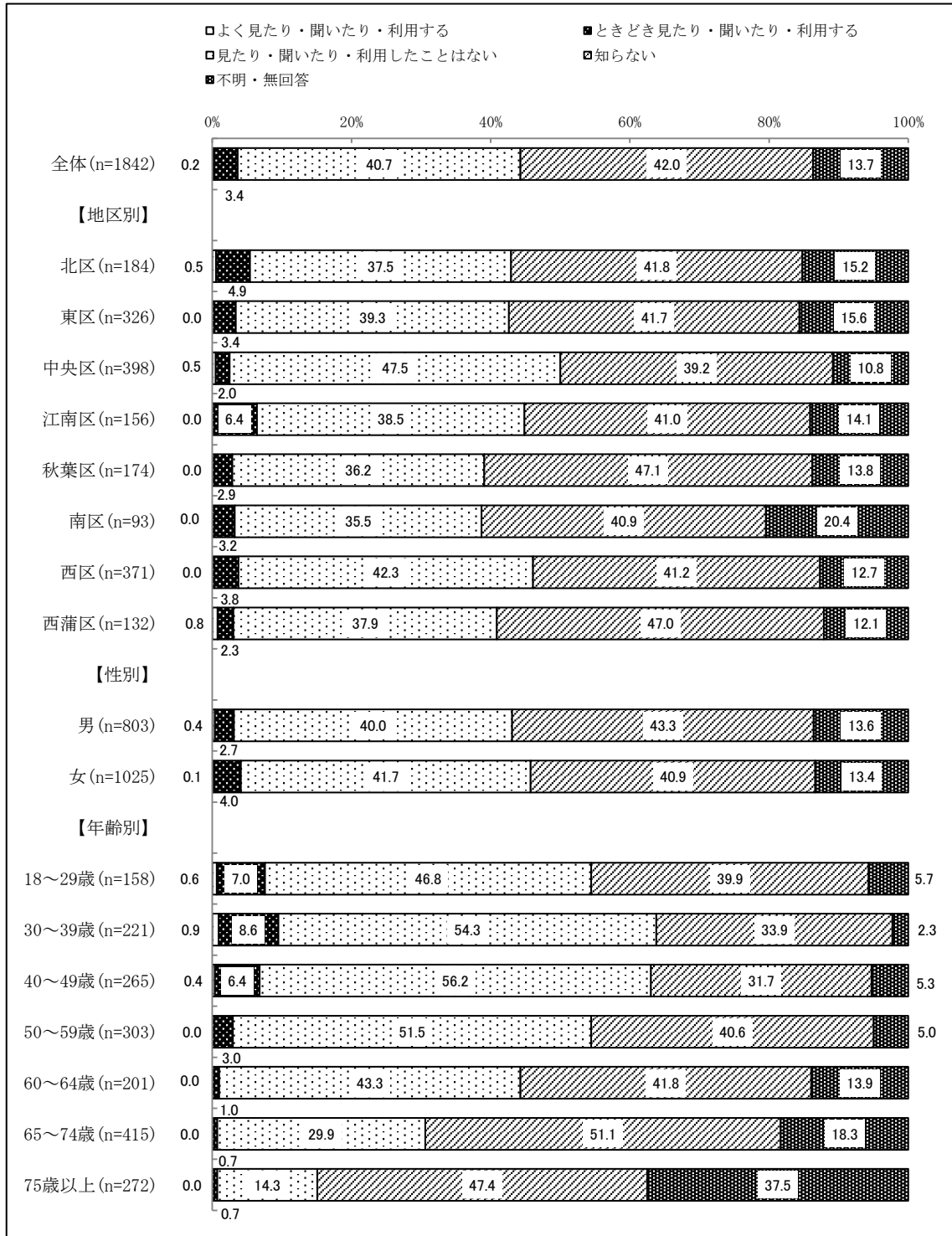
⑦市のホームページ（スマートフォン）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、どの地区も1割程度にとどまっている。年齢別では30代（33.0%）で割合が最も高く、3割を超えた。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（78.0%）で最も高い。年齢別では50代・60～64歳・65～74歳で8割を超えた。

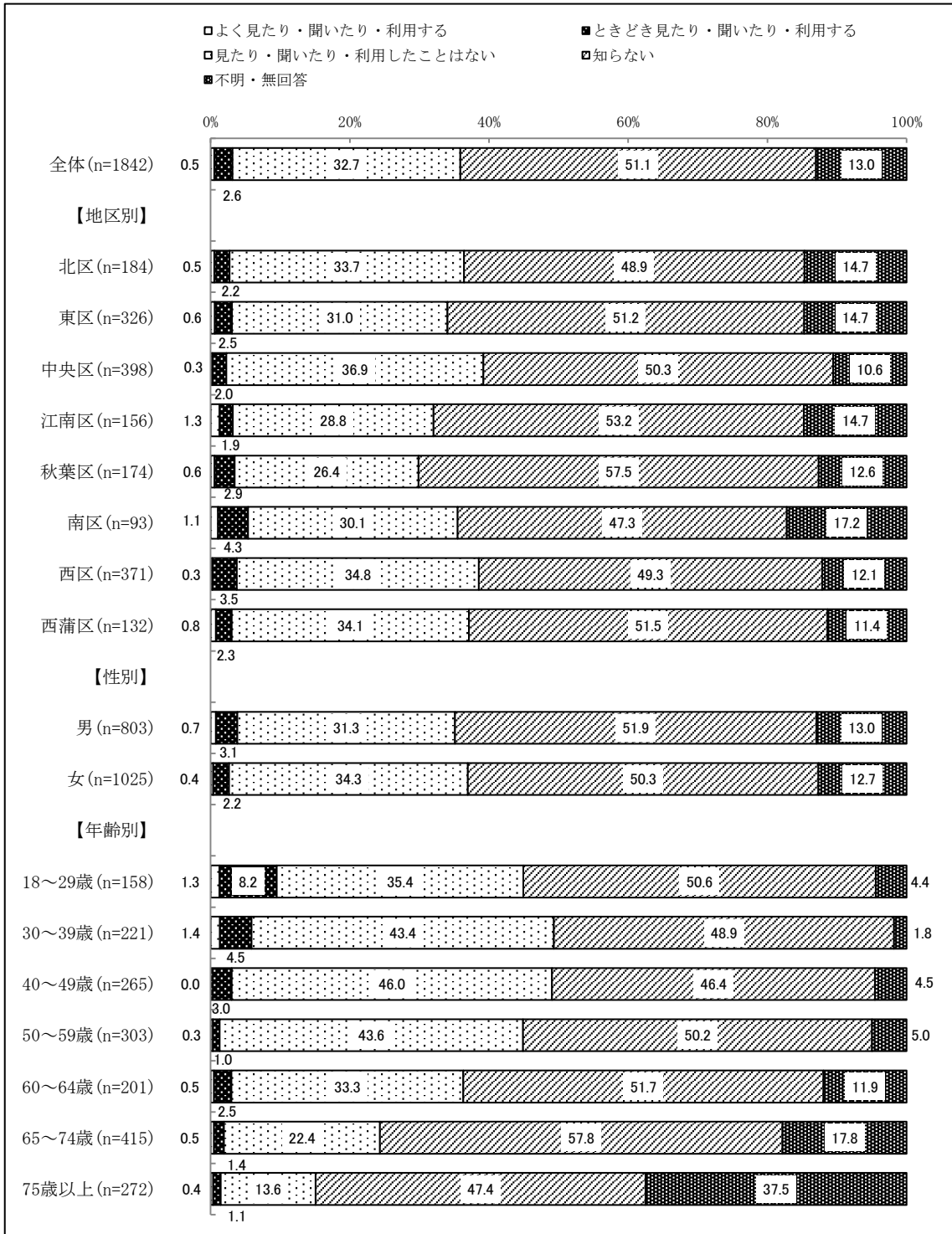
⑧市のホームページ（携帯電話）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、どの地区も1割に満たない。年齢別では30代（9.5%）でやや高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では中央区（86.7%）、年齢別では50代（92.1%）で最も高い。

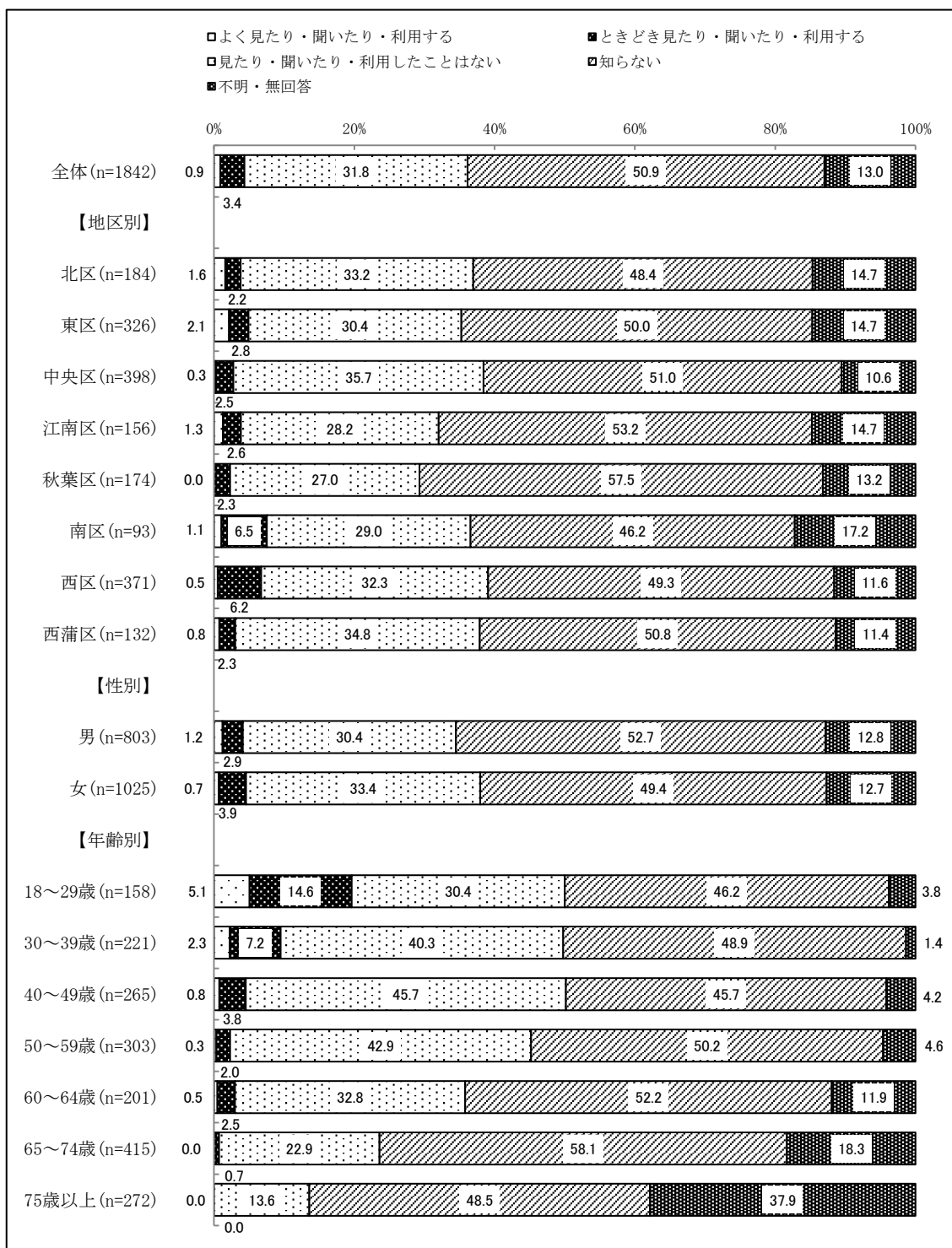
⑨ SNS (パソコン)



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、どの地区も1割に満たない。年齢別では18～29歳(9.5%)でやや高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では南区(77.4%)を除き8割を超えた。年齢別では30～50代で9割を超えた。すべての項目で「知らない」と答えた割合が最も高い。

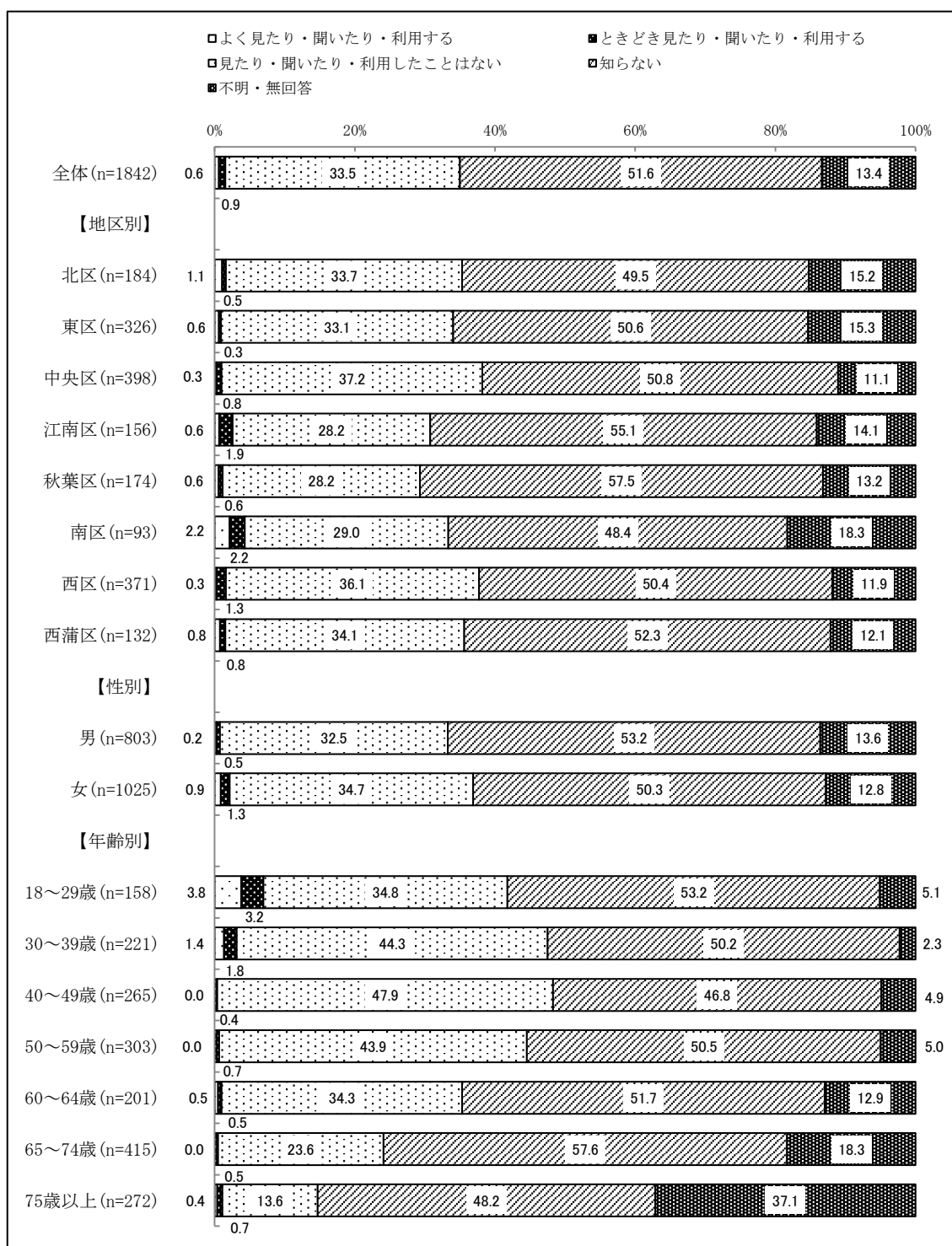
⑩ SNS（スマートフォン）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では南区(7.5%)・西区(6.7%)で高い。年齢別では18～29歳(19.6%)で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では南区(75.3%)を除き8割を超えた。年齢別では40代(91.3%)・50代(93.1%)で9割を超えた。すべての項目で「知らない」と答えた割合が最も高い。

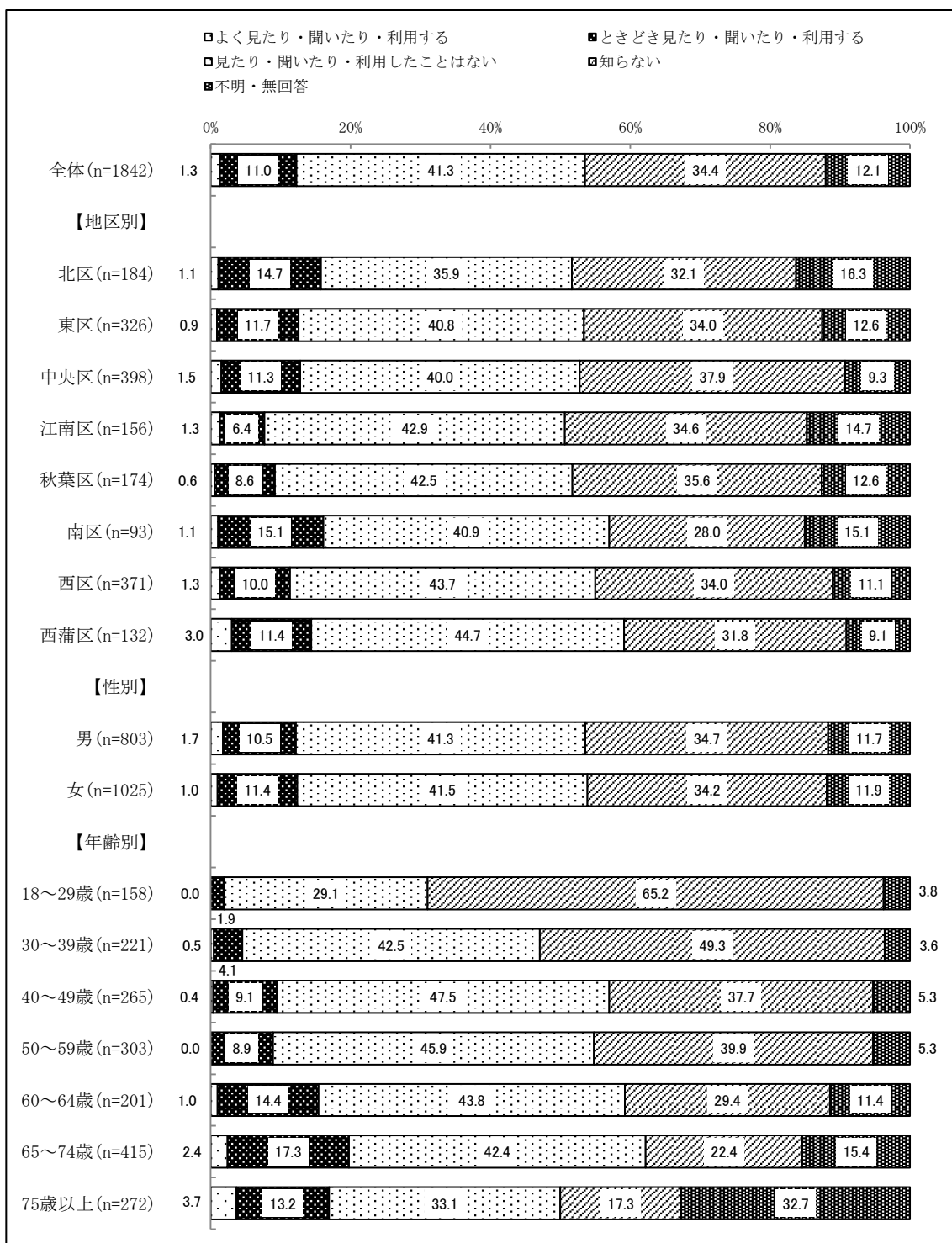
⑪ SNS（携帯電話）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、どの地区も5%に満たない。年齢別では18～29歳（7.0%）で最も高いものの、1割に満たない。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では南区（77.4%）を除き8割を超えた。年齢別では30～50代で9割を超えた。すべての項目で「知らない」と答えた割合が最も高い。

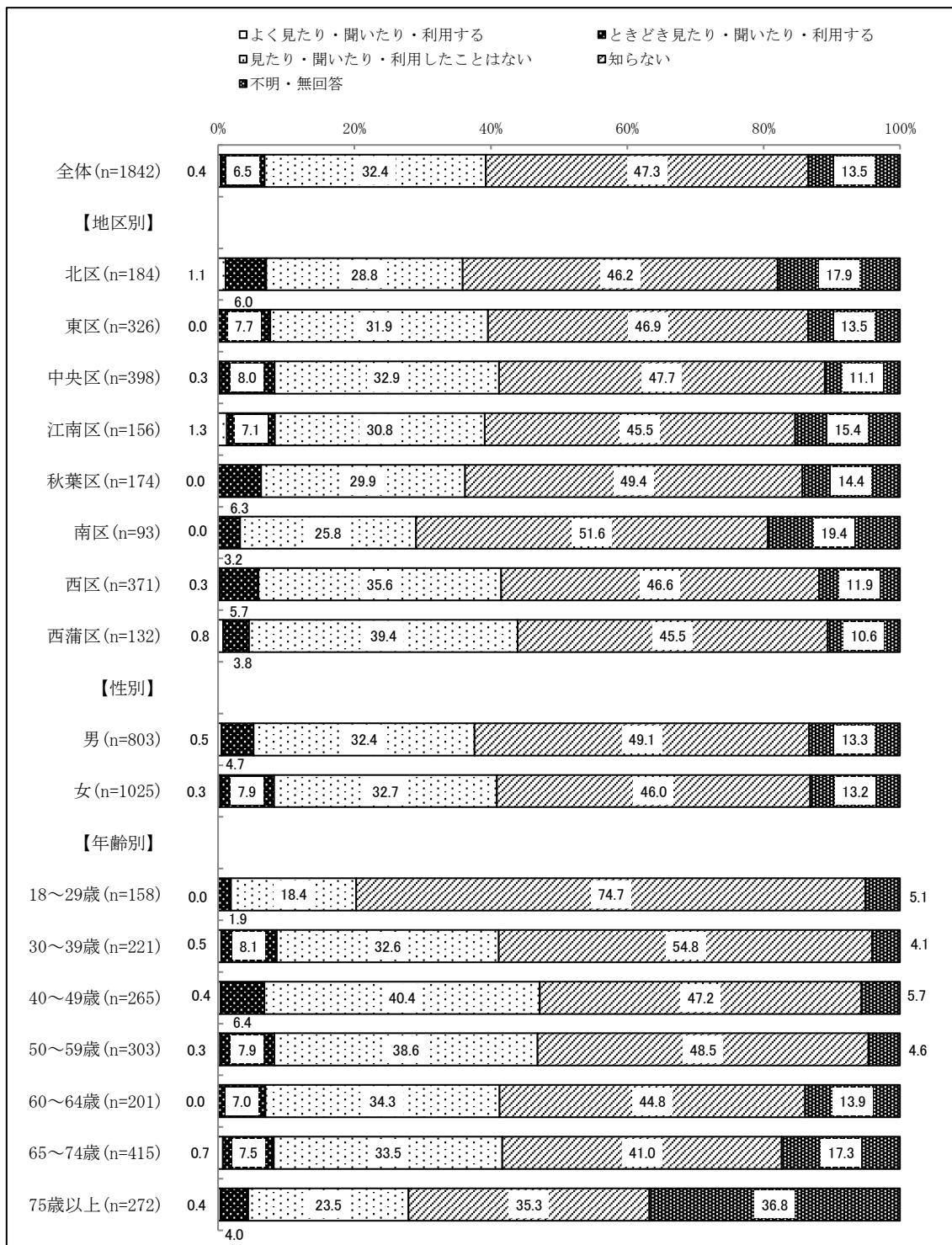
⑫説明会など地域での集会



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では北区（15.8%）・南区（16.1%）でやや高い。年齢別では65～74歳（19.8%）最も高い。年齢が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、北区・南区を除き7割を超えた。年齢別では20代（94.3%）で最も高い。20代は「知らない」（65.2%）と答えた割合が他の年代と比べて高く、突出している。

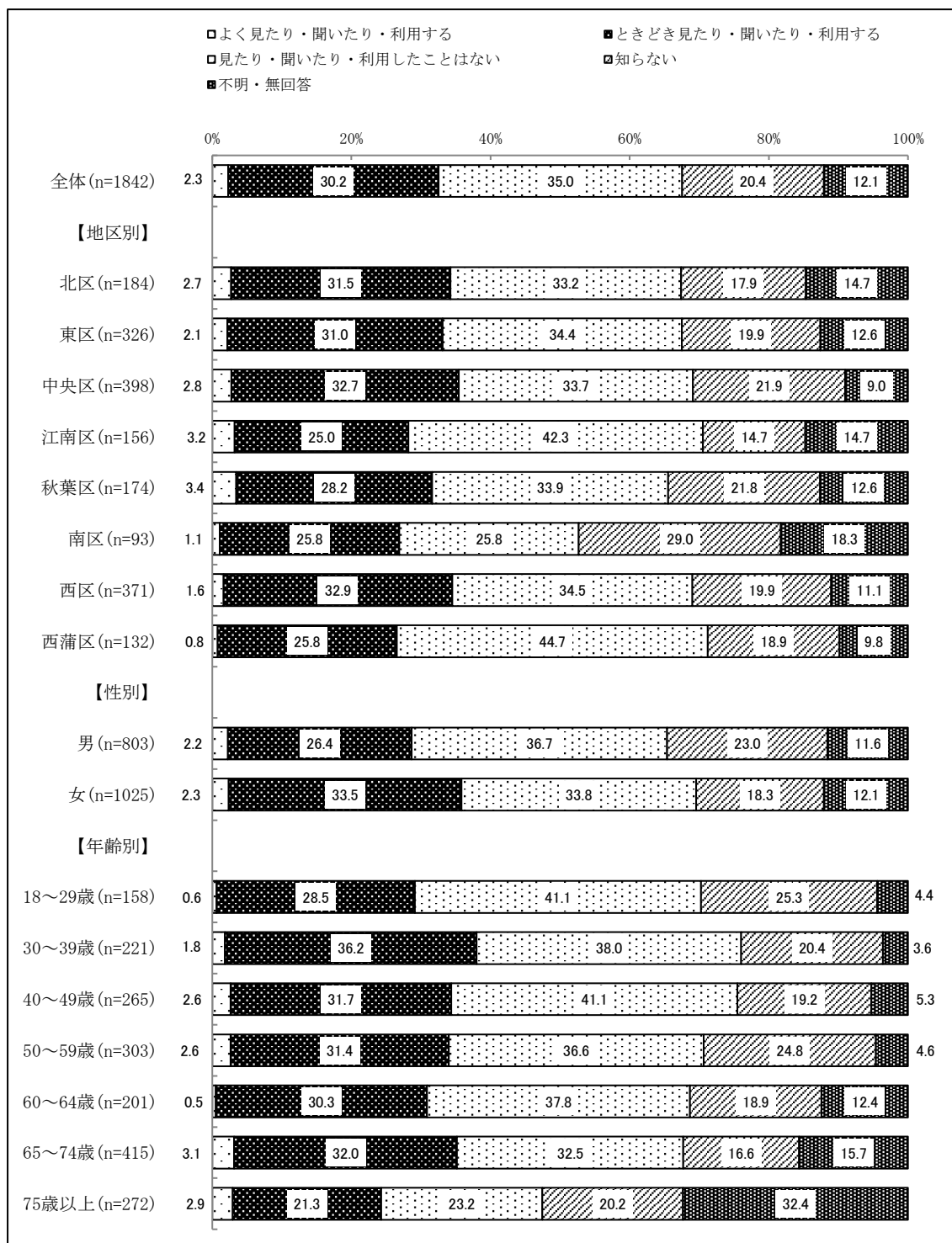
⑬コールセンター



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、すべての項目で1割に満たない。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、年齢別では20代(93.0%)で、最も高い。すべての項目で「知らない」と回答した割合が最も高い。

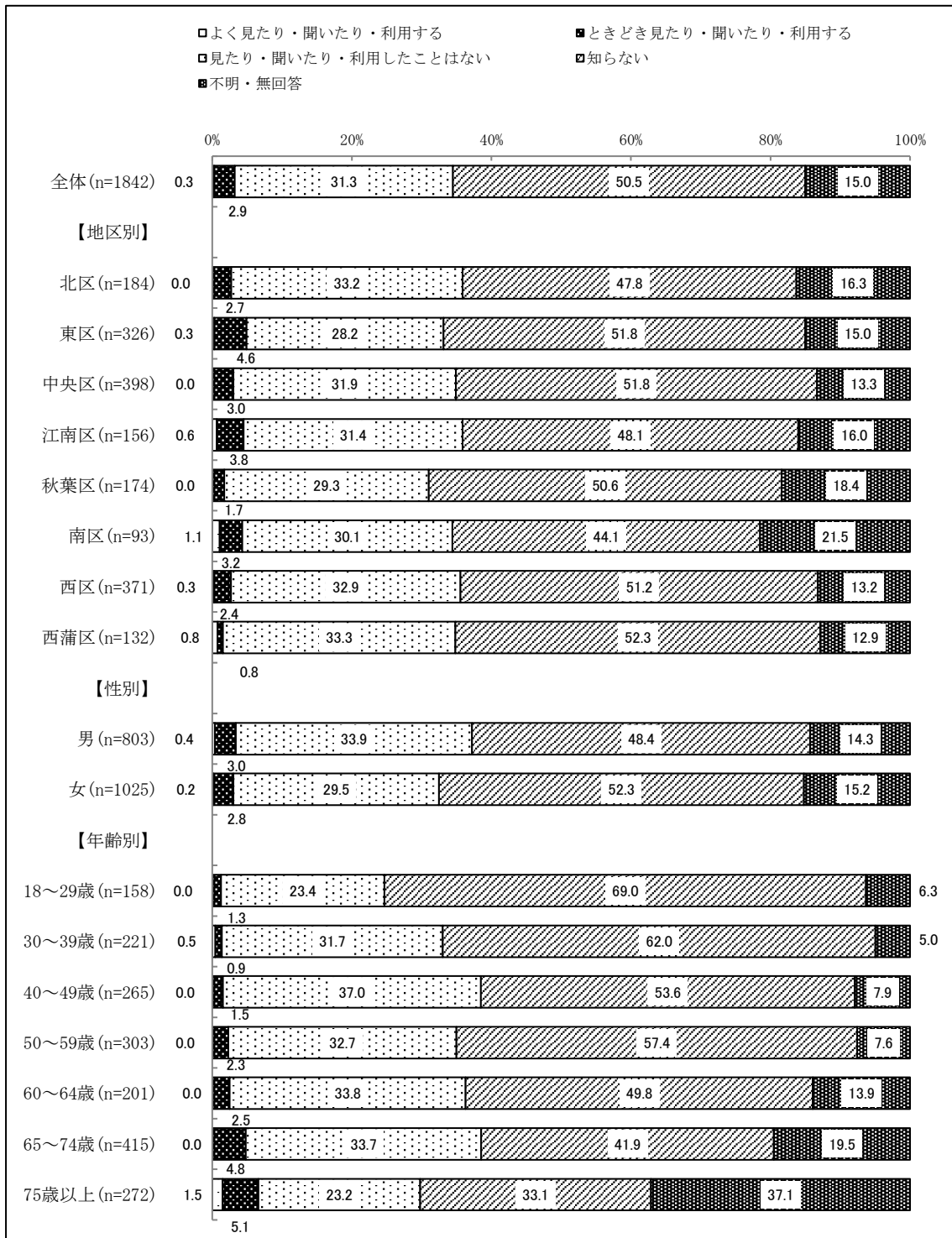
⑭市役所・区役所・公共施設などに置いてあるチラシやパンフレット



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では江南区・南区・西蒲区を除き3割を超えた。性別では、男性(28.6%)より女性(35.8%)で割合が高く、年齢別では30代(38.0%)で最も高い。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区(63.6%)、年齢別では20代(66.5%)で最も高い。

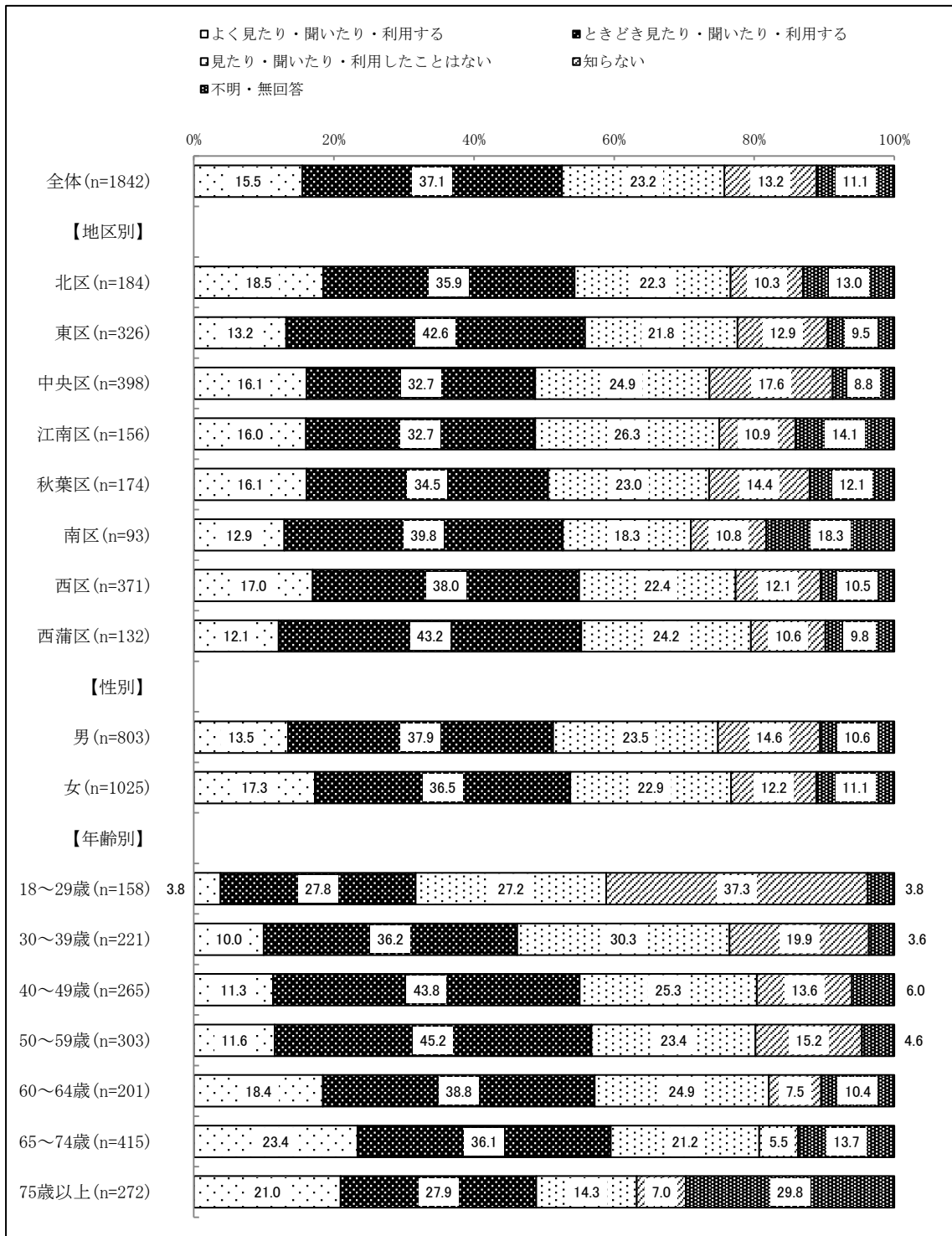
⑮ 市政情報室



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、年齢別の75歳以上（6.6%）を除き、5%に満たない。

すべての項目で「知らない」と答えた割合が最も高い。年齢別では、18～29歳（69.0%）・30代（62.0%）で6割を超えた。

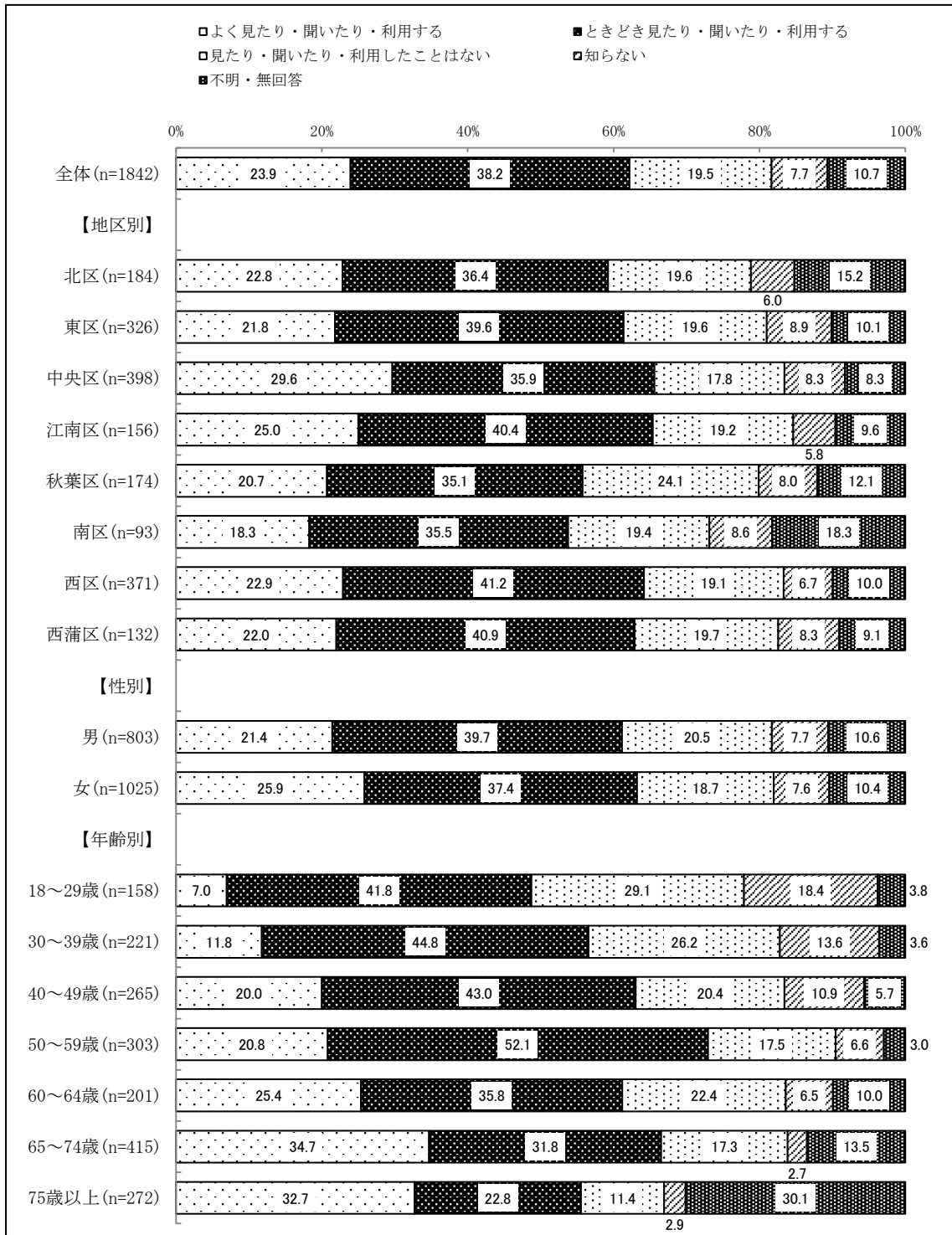
⑩自治会・コミュニティ協議会などの掲示板・回覧板・チラシ



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区・江南区を除き5割を超えた。年齢別では65~74歳(59.5%)で最も高く、65~74歳をピークに、年齢が上がるほど割合が高い傾向がみられる。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では中央区(42.5%)、年齢別では18~29歳(64.6%)で最も高い。18~29歳では「知らない」と回答した割合が最も高い。

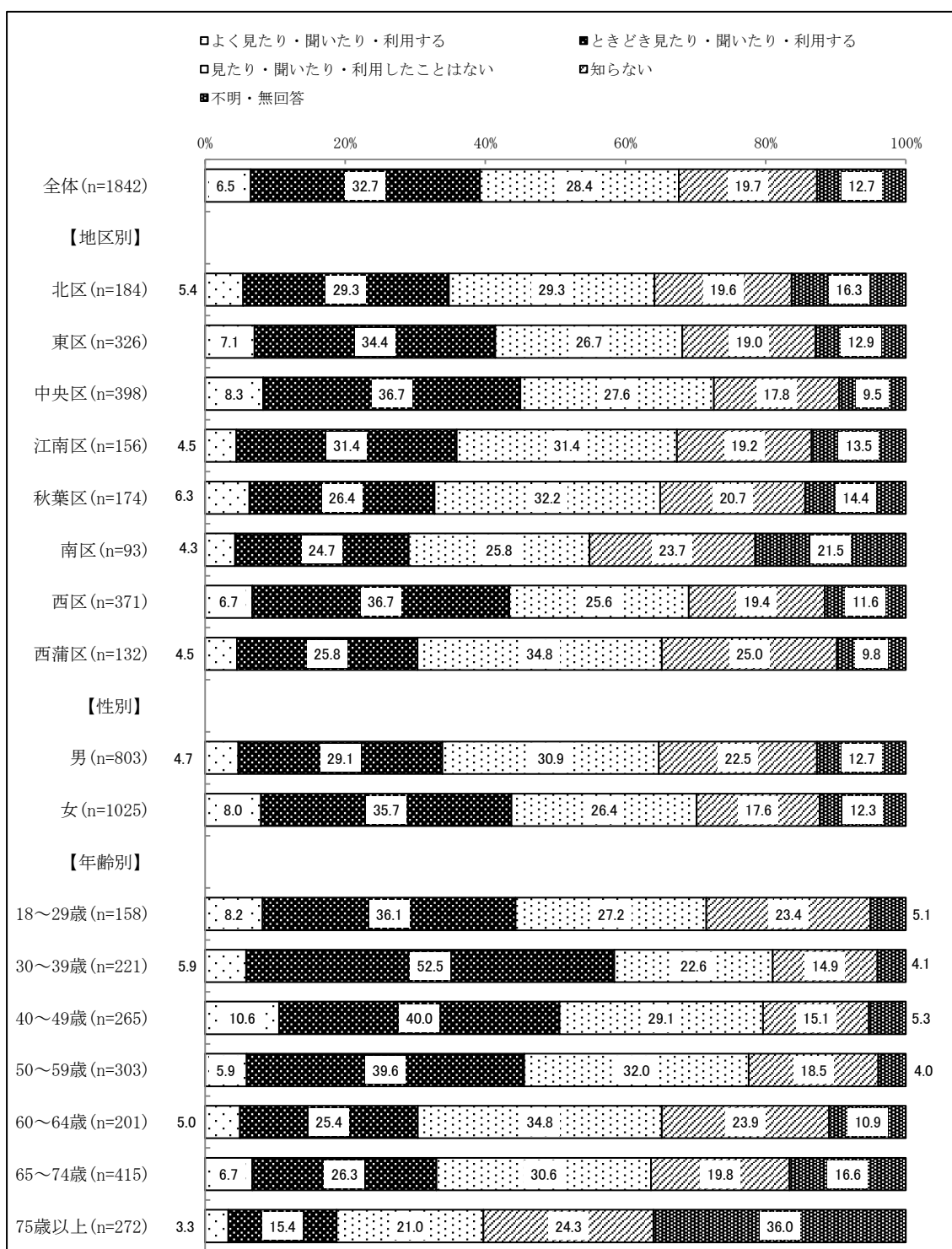
⑰新聞



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区（65.6%）・江南区（65.4%）・西区（64.2%）でやや高い。年齢別では50代（72.9%）で最も高く、7割を超えた。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（32.2%）で最も高く、3割を超えた。年齢別では18～29歳（47.5%）で最も高い。

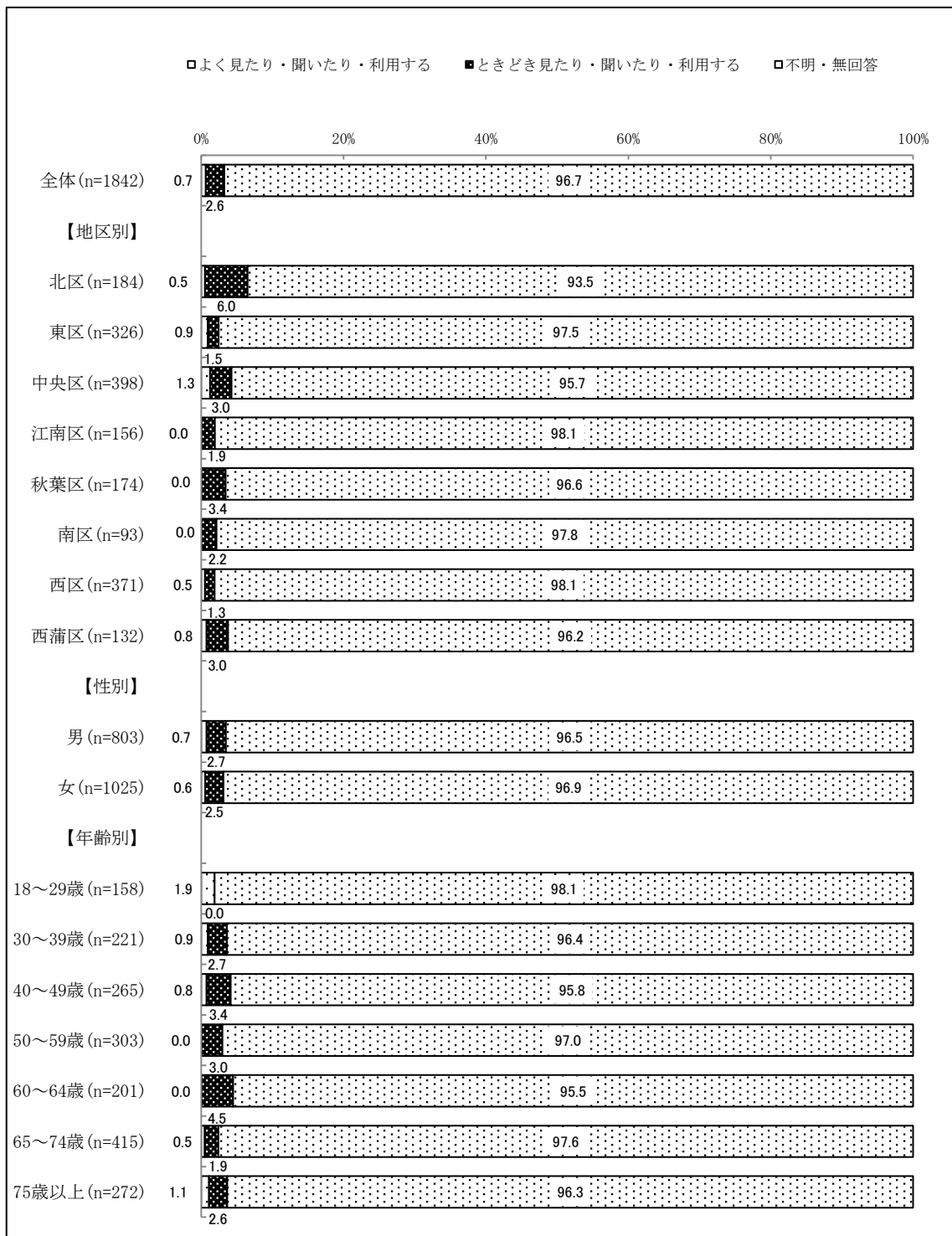
⑱タウン誌など



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「ときどき見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では中央区（45.0%）で最も高い。性別では男性（33.9%）と比べて女性（43.7%）で高い。年齢別では30代（58.4%）で最も高く、30代をピークに、年齢が上がるほど割合が低い傾向がみられる。

「見たり・聞いたり・利用したことはない」と「知らない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（59.8%）、年齢別では60～64歳（58.7%）で最も高い。

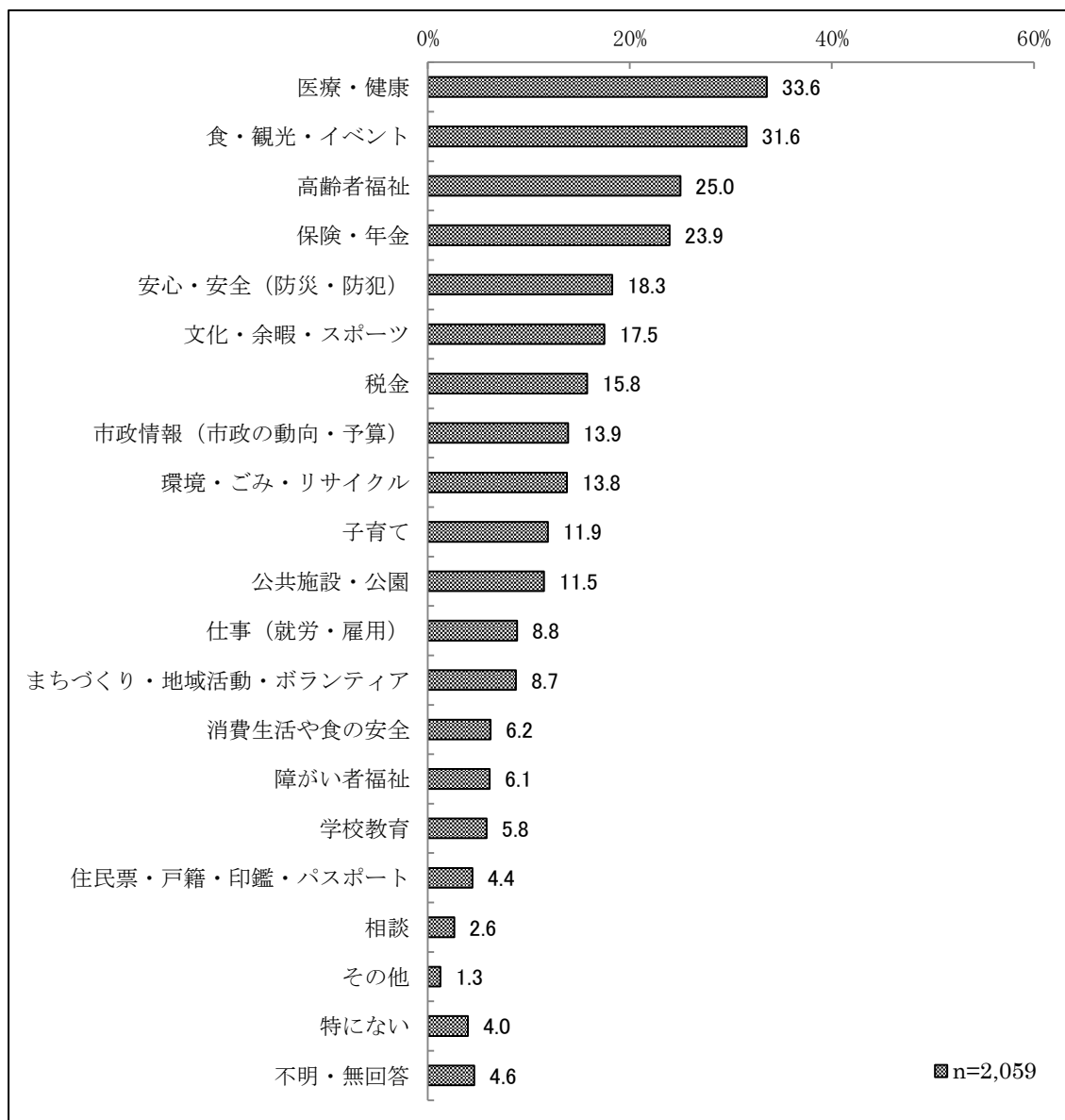
⑱上記以外のもの



図のみの掲載とする。

(3) 市に関するどんな情報が知りたいか

問10 あなたは、市に関するどの分野の情報をより知りたいですか。
(〇は3つまで)



— 市に関して知りたい情報は「医療・健康」が最多 —

【全体結果】

市に関して知りたい情報としては、「医療・健康」(33.6%)と答えた割合が最も高い。次いで、「食・観光・イベント」(31.6%)、「高齢者福祉」(25.0%)、「保険・年金」(23.9%)の順に続く。

【属性別結果】（図 1-3 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「医療・健康」については、どの地区も概ね 3 割を超えた。「食・観光・イベント」では、他の地区と比べて南区（20.8%）で割合がやや低く、「高齢者福祉」、「保険・年金」では、南区（各 29.2%、32.1%）で割合がやや高い。

②性別

「医療・健康」、「食・観光・イベント」、「高齢者福祉」は、男性より女性で割合が高い。「税金」、「市政情報（市政の動向・予算）」では、女性より男性で割合が高い。

③年齢別

「医療・健康」、「高齢者福祉」、「保険・年金」では、年齢が高いほど、割合が高い傾向がみられる。反対に「食・観光・イベント」では、年齢が高いほど、割合が低い傾向がみられる。30代は、「子育て」（46.6%）と答えた割合が最も高い。

図 1-3 市に関するどんな情報が知りたいか（地区別/性別/年齢別） 1/4

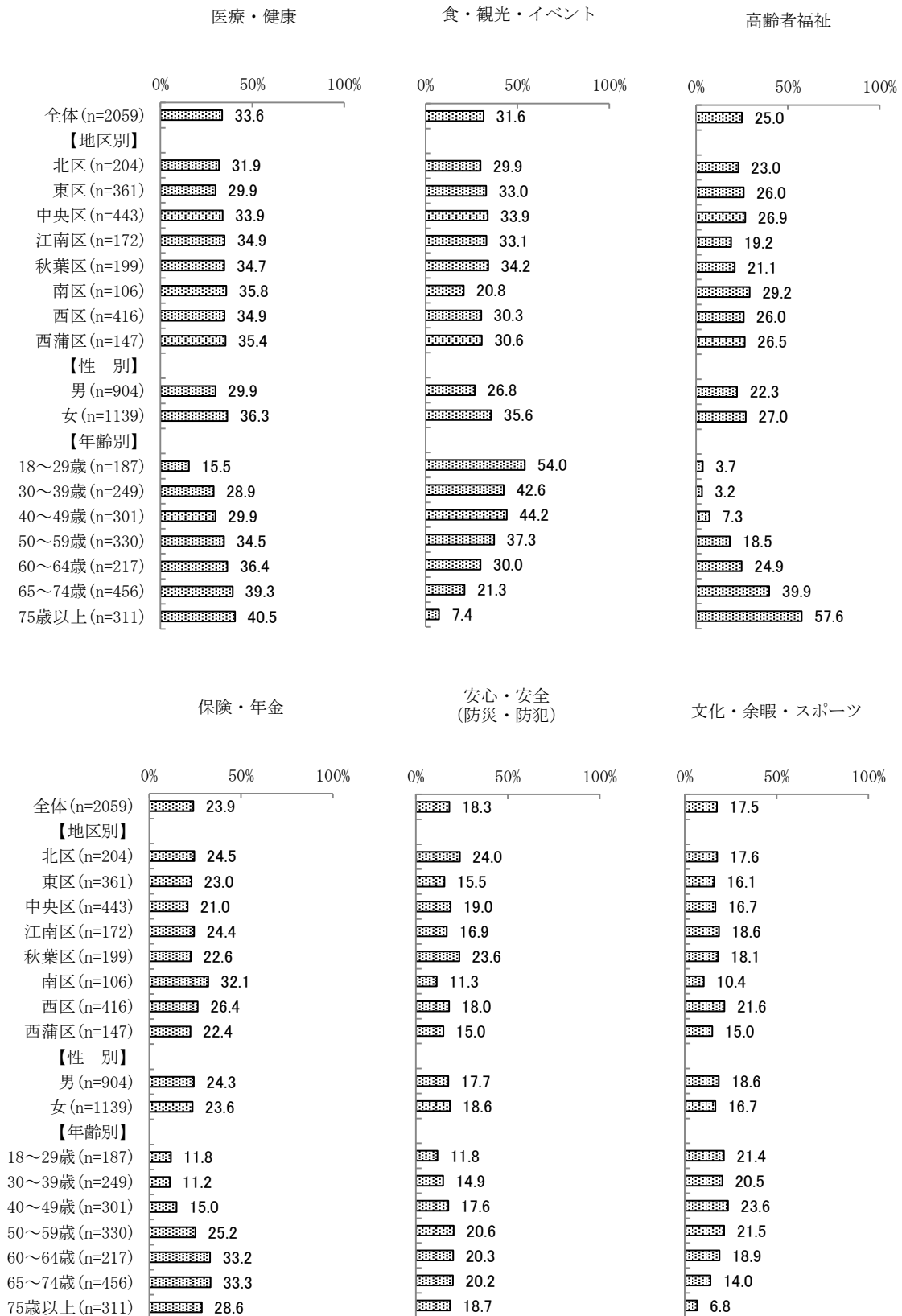


図 1-3 市に関するどんな情報が知りたいか（地区別/性別/年齢別） 2/4

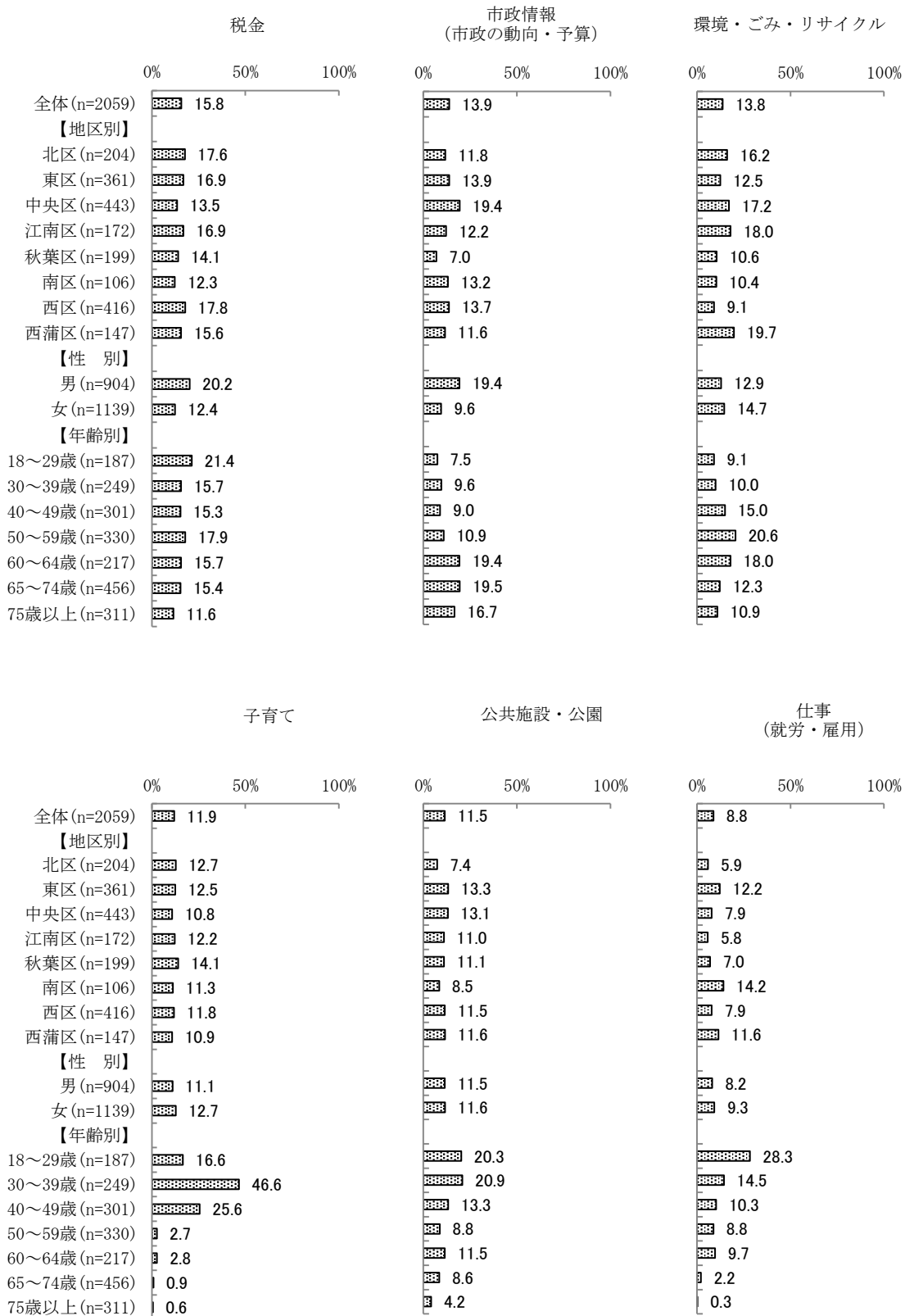


図 1-3 市に関するどんな情報が知りたいか（地区別/性別/年齢別） 3/4

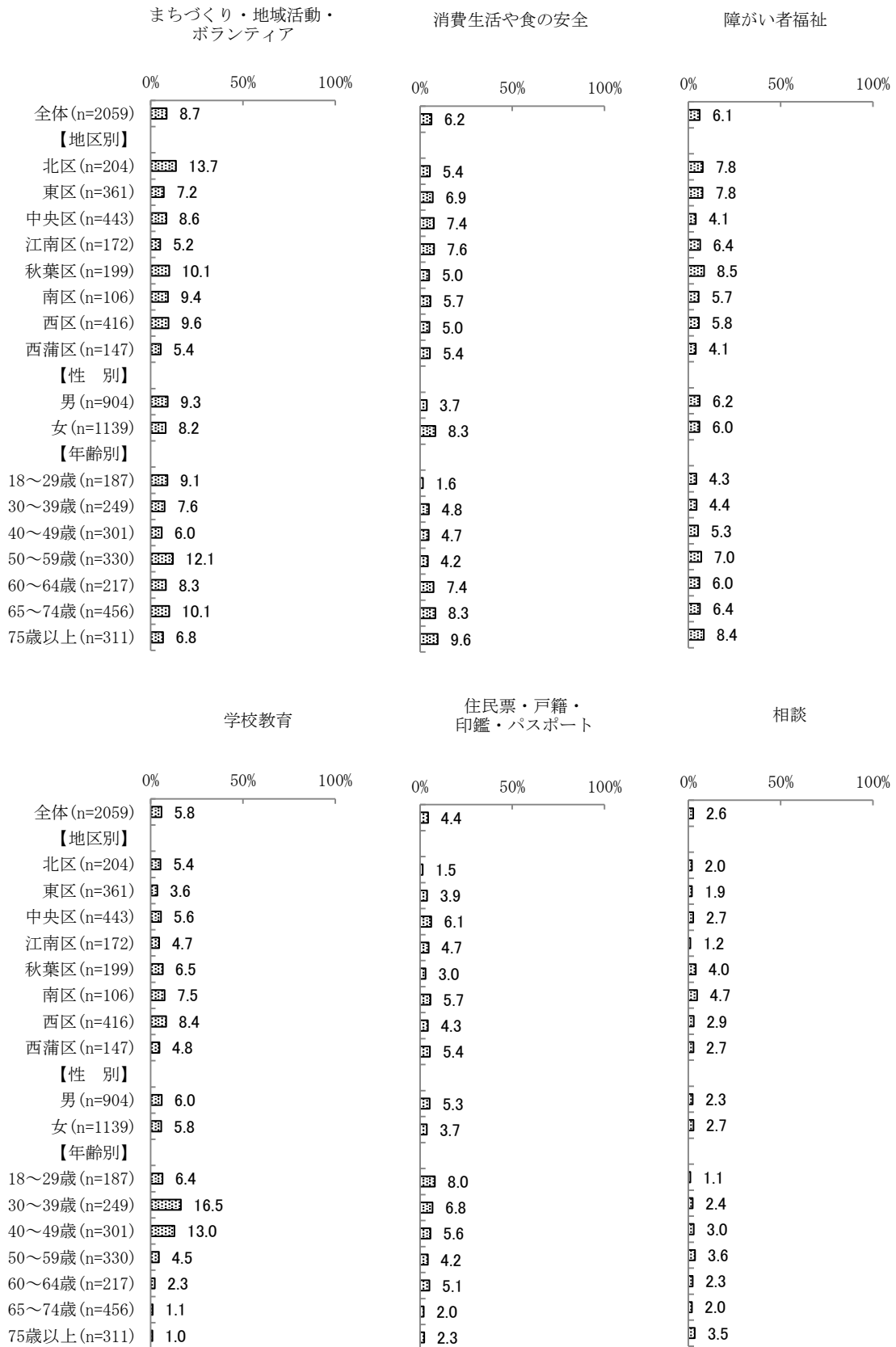
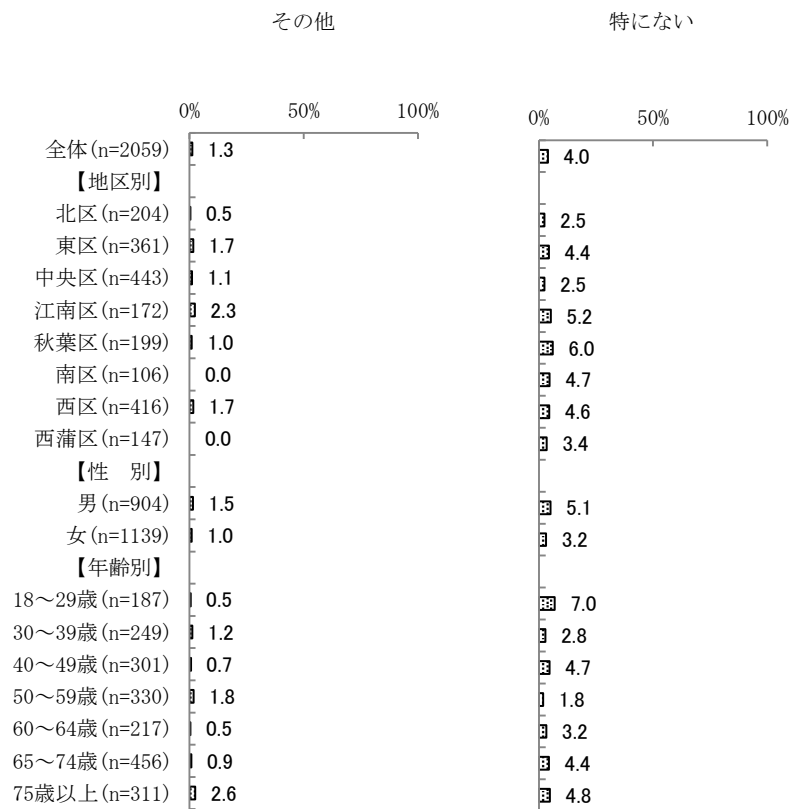
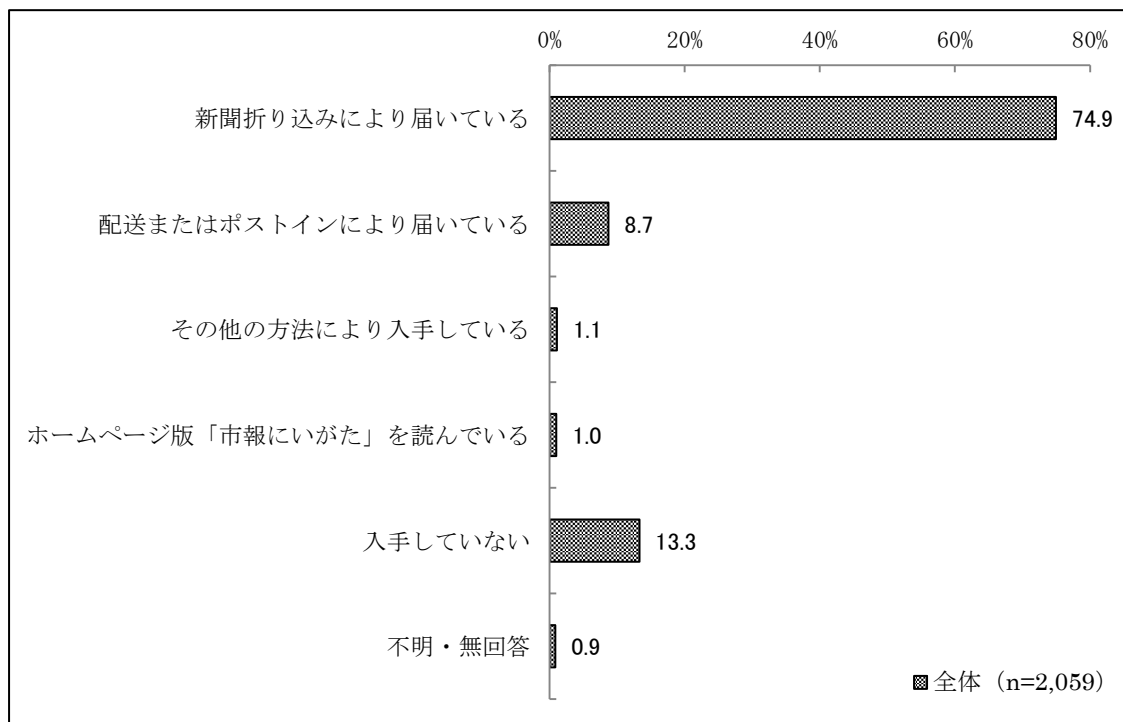


図 1-3 市に関するどんな情報が知りたいか（地区別/性別/年齢別） 4/4



(4) 「市報にいがた」の入手方法

問 1 1 新潟市では、市の広報紙「市報にいがた」を新聞折り込みにより市内の各世帯に配布するとともに、新聞未購読世帯には、お申込みにより個別に配送またはポストインによりお届けしています。
あなたはどの方法で「市報にいがた」を入手していますか。
(○は1つだけ)



— 「市報にいがた」の入手方法は「新聞折り込み」が最も多い —

【全体結果】

「市報にいがた」の入手方法は、「新聞折り込みにより届いている」(74.9%)と答えた割合が最も高く、他の項目と比べて突出している。「入手していない」(13.3%)は1割強となっている。

【属性別結果】(図 1-4 参照)

①地区別

「新聞折り込みにより届いている」と答えた割合は、秋葉区(78.4%)で最も高く、中央区(70.0%)で最も低い。「入手していない」と答えた割合は、秋葉区を除き1割を超える。

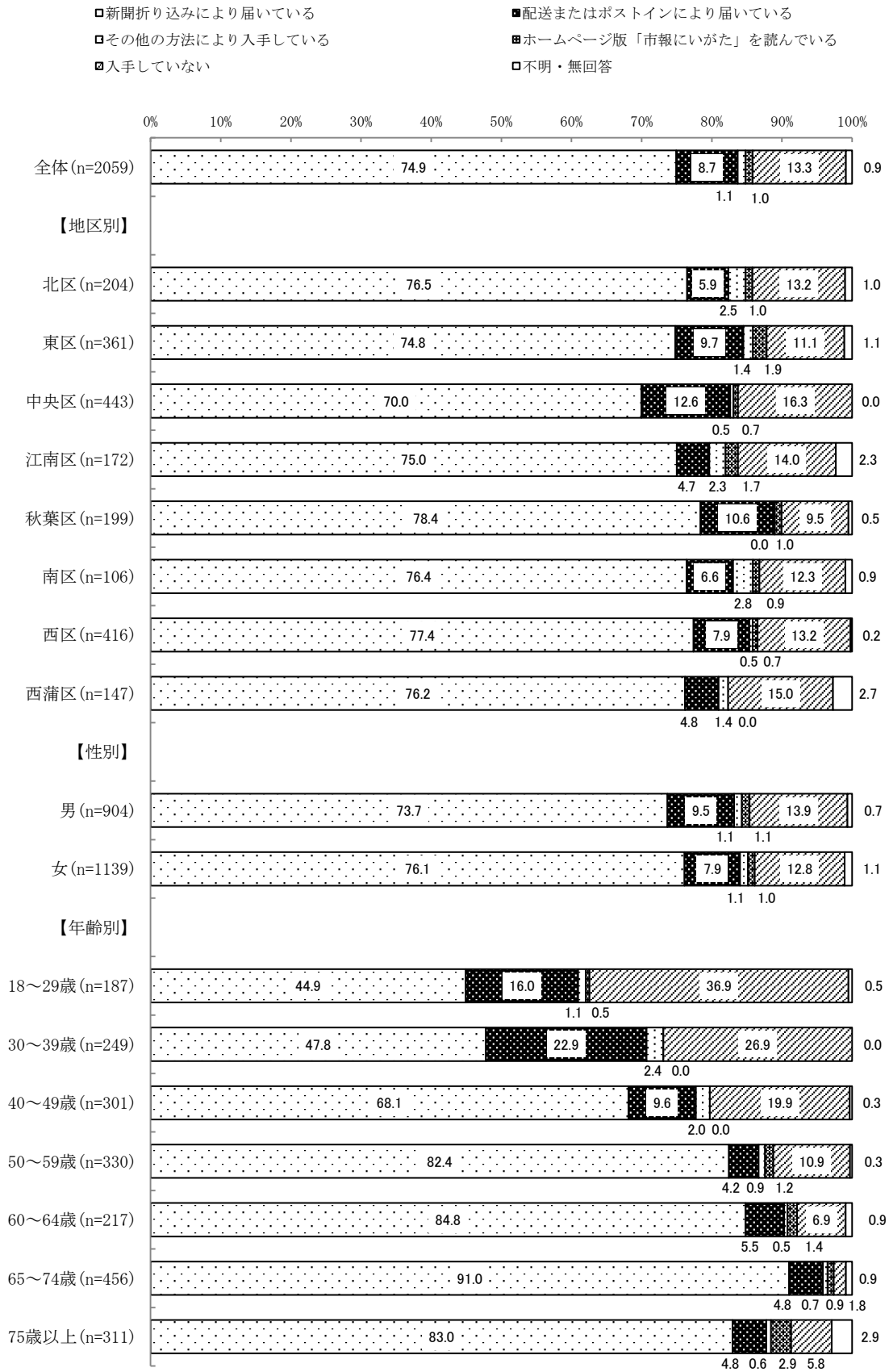
②性別

性別による差はほとんどない。

③年齢別

「新聞折り込みにより届いている」と答えた割合は、65～74 歳（91.0%）で最も高く、18～29 歳（44.9%）で最も低い。年齢が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。「入手していない」と答えた割合は、18～29 歳（36.9%）で最も高く、年齢が上がるほど、割合が低い傾向がみられる。

図 1-4 「市報にいがた」の入手方法（地区別/性別/年齢別）

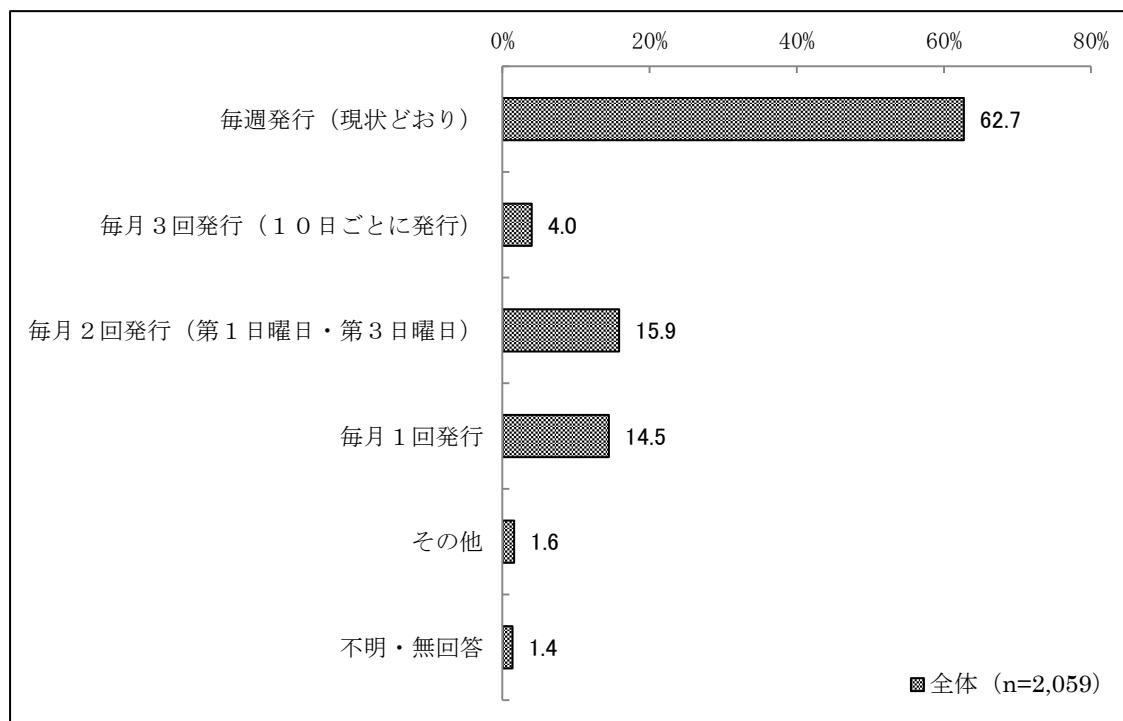


(5) 「市報にいがた」の発行頻度の希望

問12 新潟市では現在「市報にいがた」を毎週発行していますが、今後、どれくらいの頻度での発行が適当だと思いますか。

(1か月あたりのページ数・情報量は変わらないものとします。)

(○は1つだけ)



— 「市報にいがた」の発行頻度の希望は現状維持が多数 —

【全体結果】

「市報にいがた」の発行頻度の希望は、「毎週発行 (現状どおり)」と答えた割合が最も高く、6割を超えた。次いで「毎月2回発行 (第1日曜日・第3日曜日)」(15.9%)、「毎月1回発行」(14.5%)の順に続く。

【属性別結果】(図1-5参照)

①地区別

「毎週発行 (現状どおり)」と答えた割合は、西区 (67.8%) で最も高い。次いで、東区 (65.9%)、中央区 (64.8%) で6割を超える。

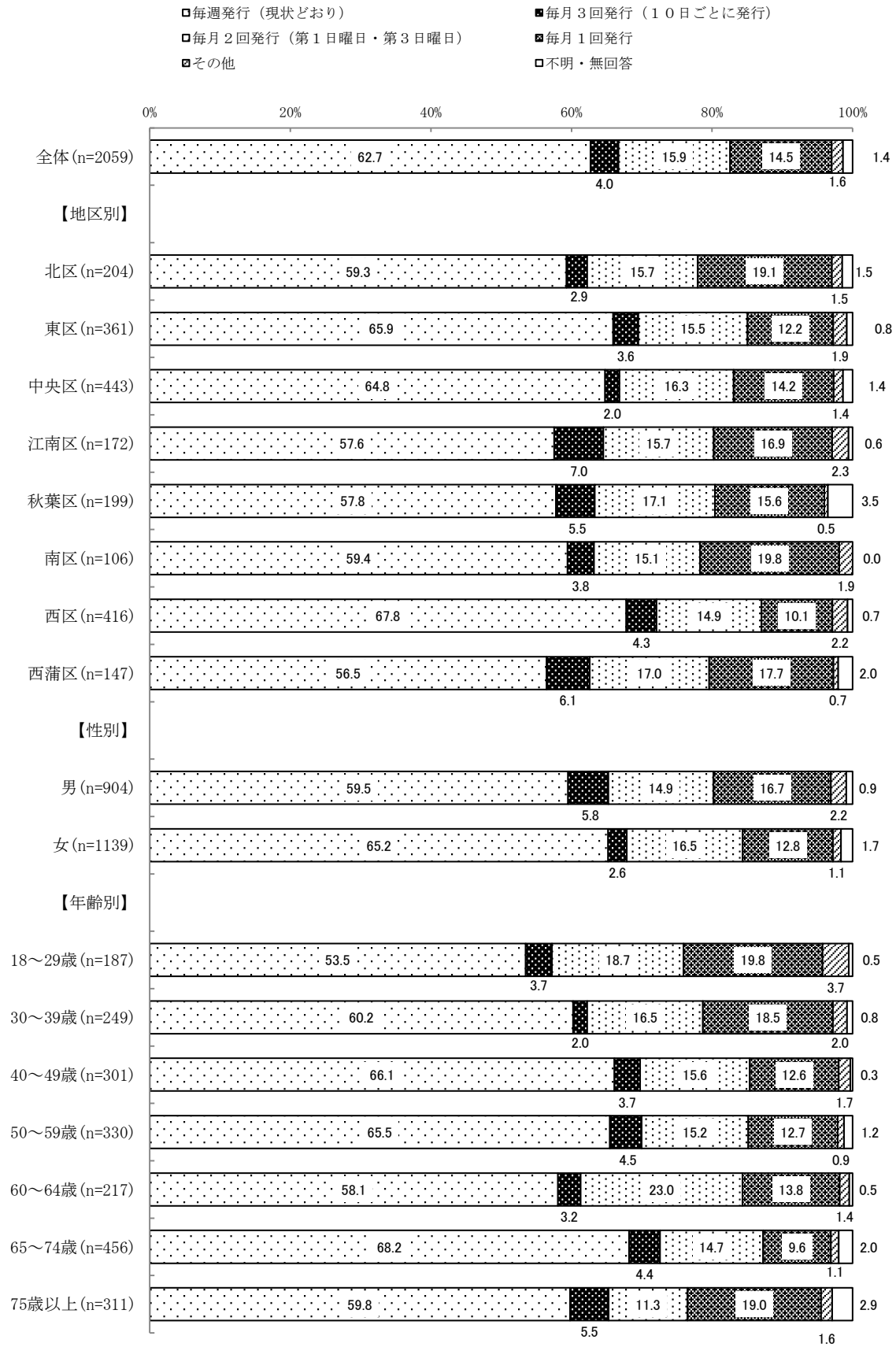
②性別

「毎週発行 (現状どおり)」は、男性 (59.5%) と比べて女性 (65.2%) で割合が高い。

③年齢別

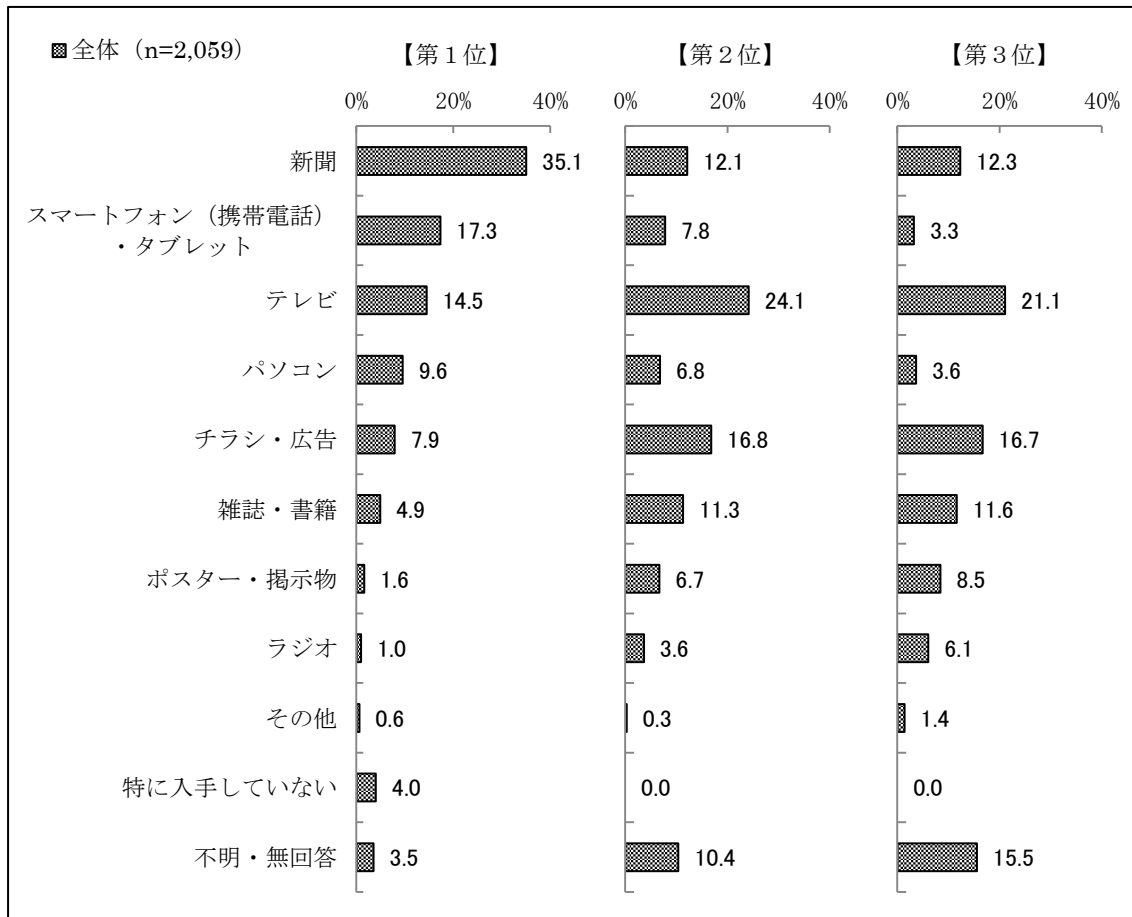
「毎週発行 (現状どおり)」は、65～74歳 (68.2%) で最も割合が高い。

図 1-5 「市報にいがた」の発行頻度の希望（地区別/性別/年齢別）



(6) 市政情報以外の必要な情報の入手先

問13 あなたは、生活や趣味・娯楽などに必要な情報（市政情報以外）を何から入手していますか。
利用の多い順に1位から3位まで番号でお答えください。



— 市政情報以外の必要な情報の入手先は「新聞」 —

【全体結果】

【第1位】の割合は、「新聞」(35.1%)で最も高い。次いで「スマートフォン（携帯電話）・タブレット」(17.3%)、「テレビ」(14.5%)の順に続く。

【第2位】の割合は、「テレビ」(24.1%)で最も高い。次いで「チラシ・広告」(16.8%)、「新聞」(12.1%)の順に続く。

【第3位】の割合は、「テレビ」(21.1%)で最も高い。次いで「チラシ・広告」(16.7%)、「新聞」(12.3%)の順に続く。

【属性別結果】（図 1-6 参照）

①地区別

第 1 位では、他の地区と比べて西蒲区で「テレビ」（21.1%）と答えた割合がやや高い。

②性別

第 1 位として、「新聞」、「パソコン」と答えた割合は、女性と比べて男性で高い。「チラシ・広告」は、男性と比べて女性で割合が高い。

③年齢別

第 1 位では、「新聞」と答えた割合は、年齢が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。「スマートフォン（携帯電話）・タブレット」と答えた割合は、年齢が低いほど、割合が高い傾向がみられる。特に、18～29 歳（63.6%）・30 代（42.6%）・40 代（26.2%）では、他の項目と比べて割合が最も高い。

図 1-6-1 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 1 位（地区別/性別/年齢別） 1/2

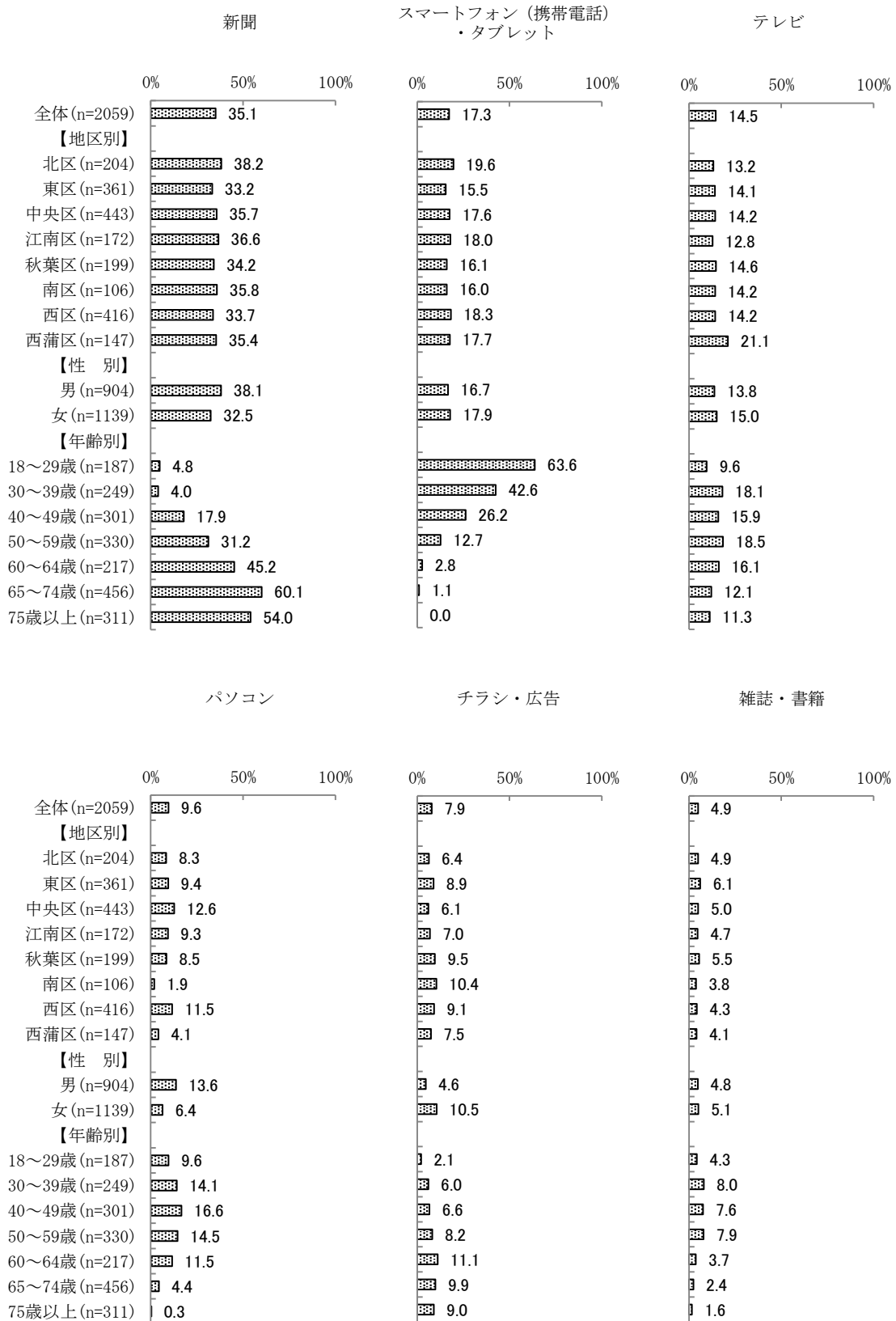
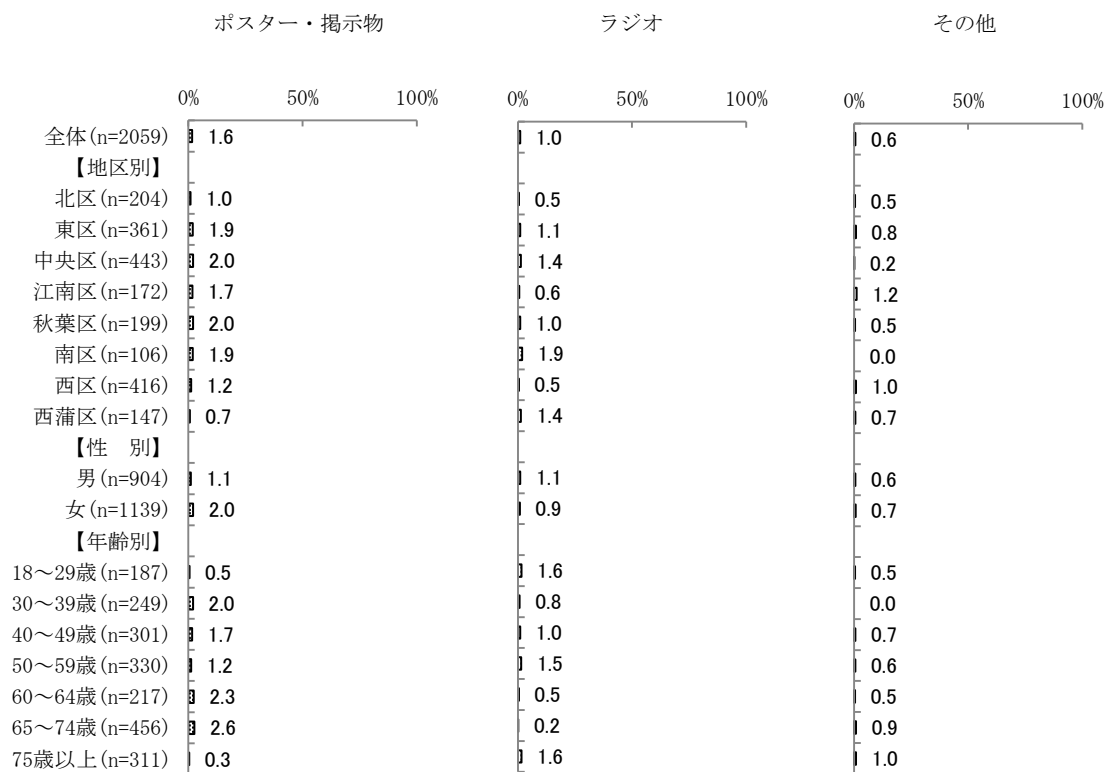


図 1-6-1 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 1 位（地区別/性別/年齢別） 2/2



特に入手していない



図 1-6-2 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 2 位（地区別/性別/年齢別） 1/2

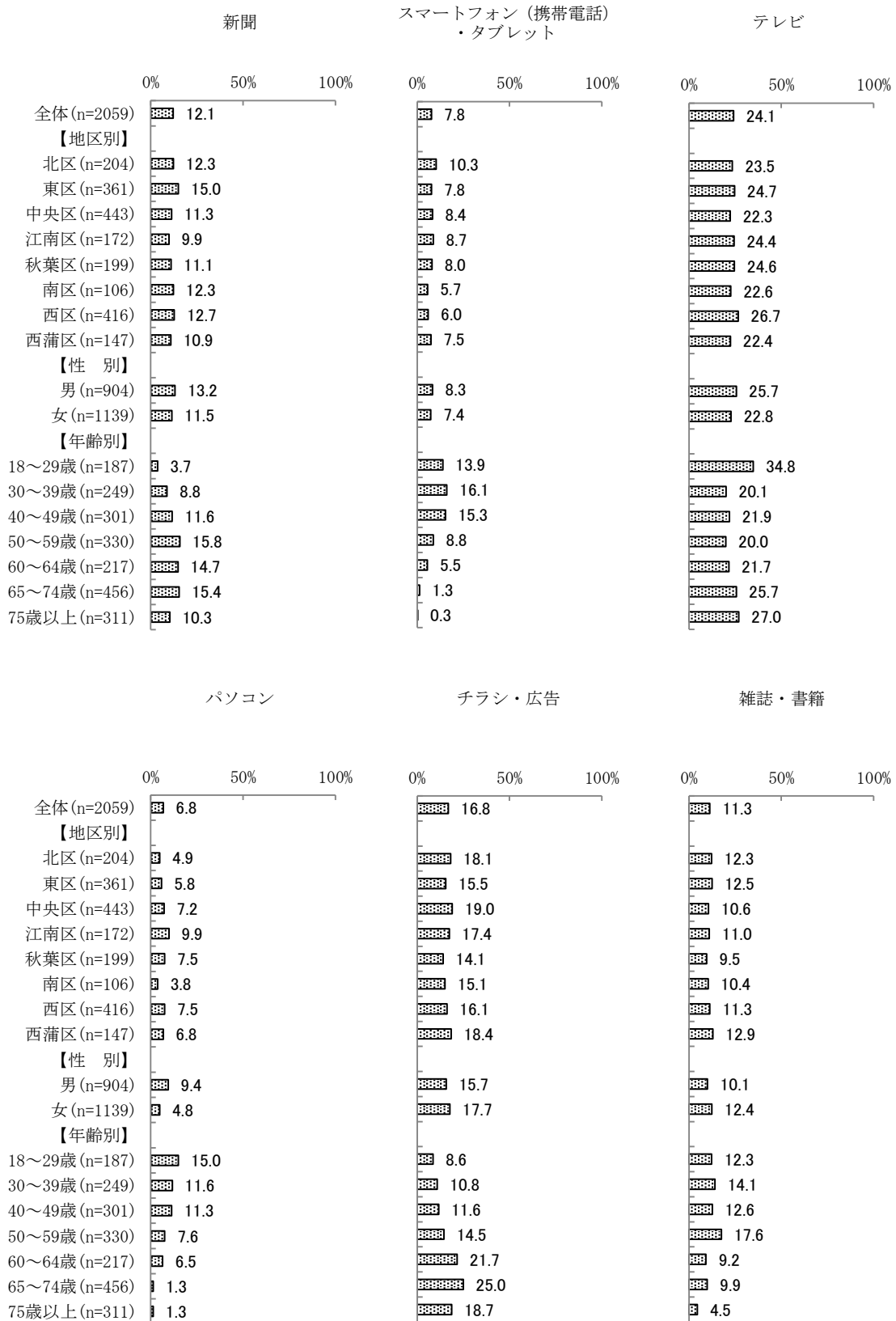


図 1-6-2 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 2 位（地区別/性別/年齢別） 2/2

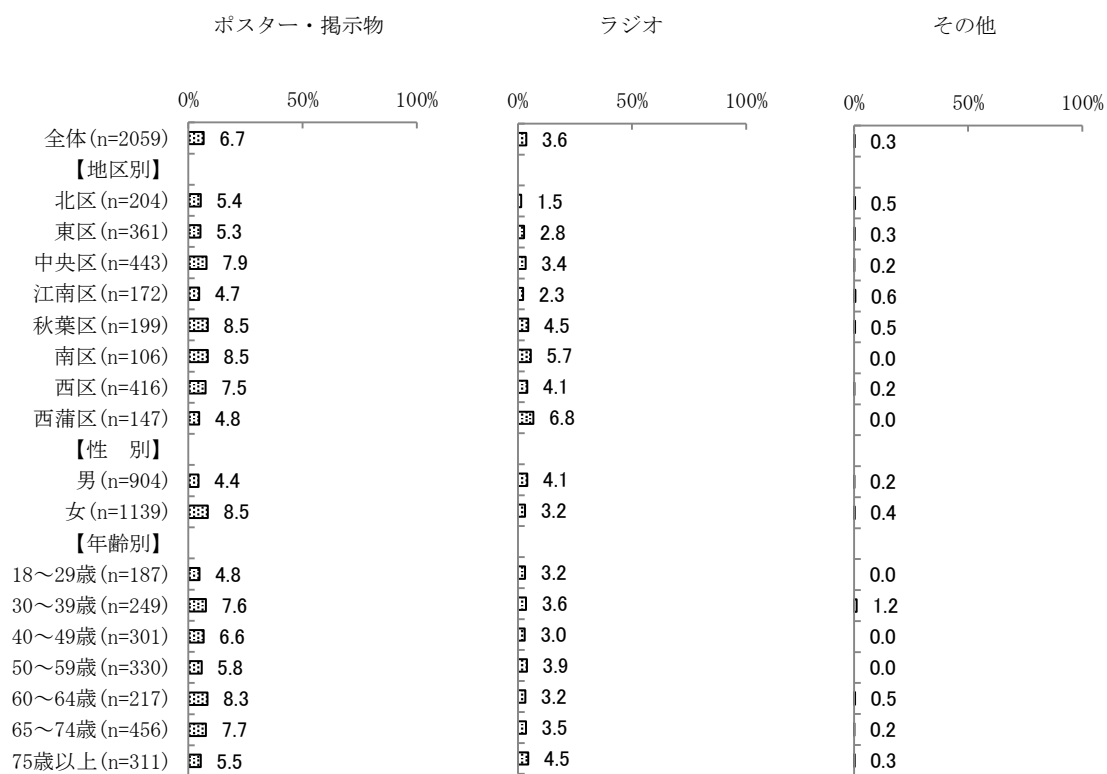


図 1-6-3 市政情報以外の必要な情報の入手先 第 3 位（地区別/性別/年齢別） 1/2

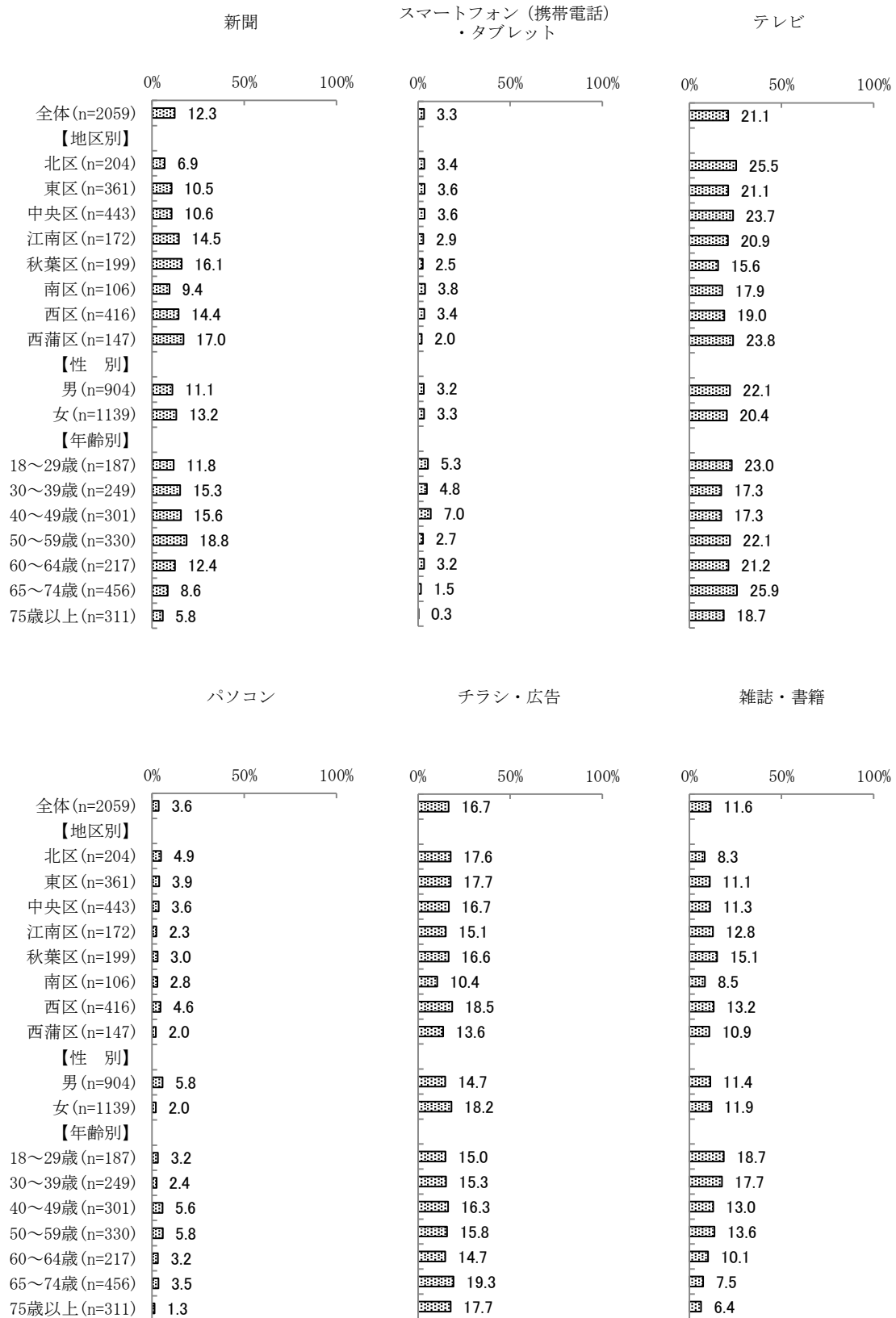
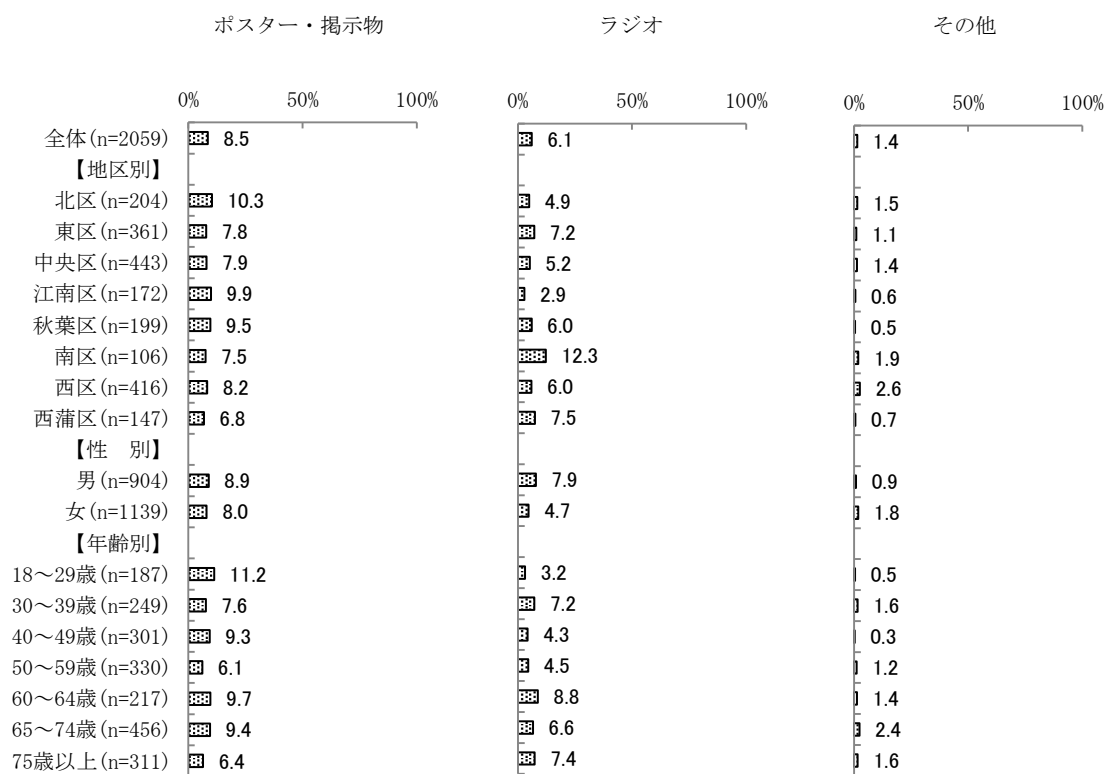


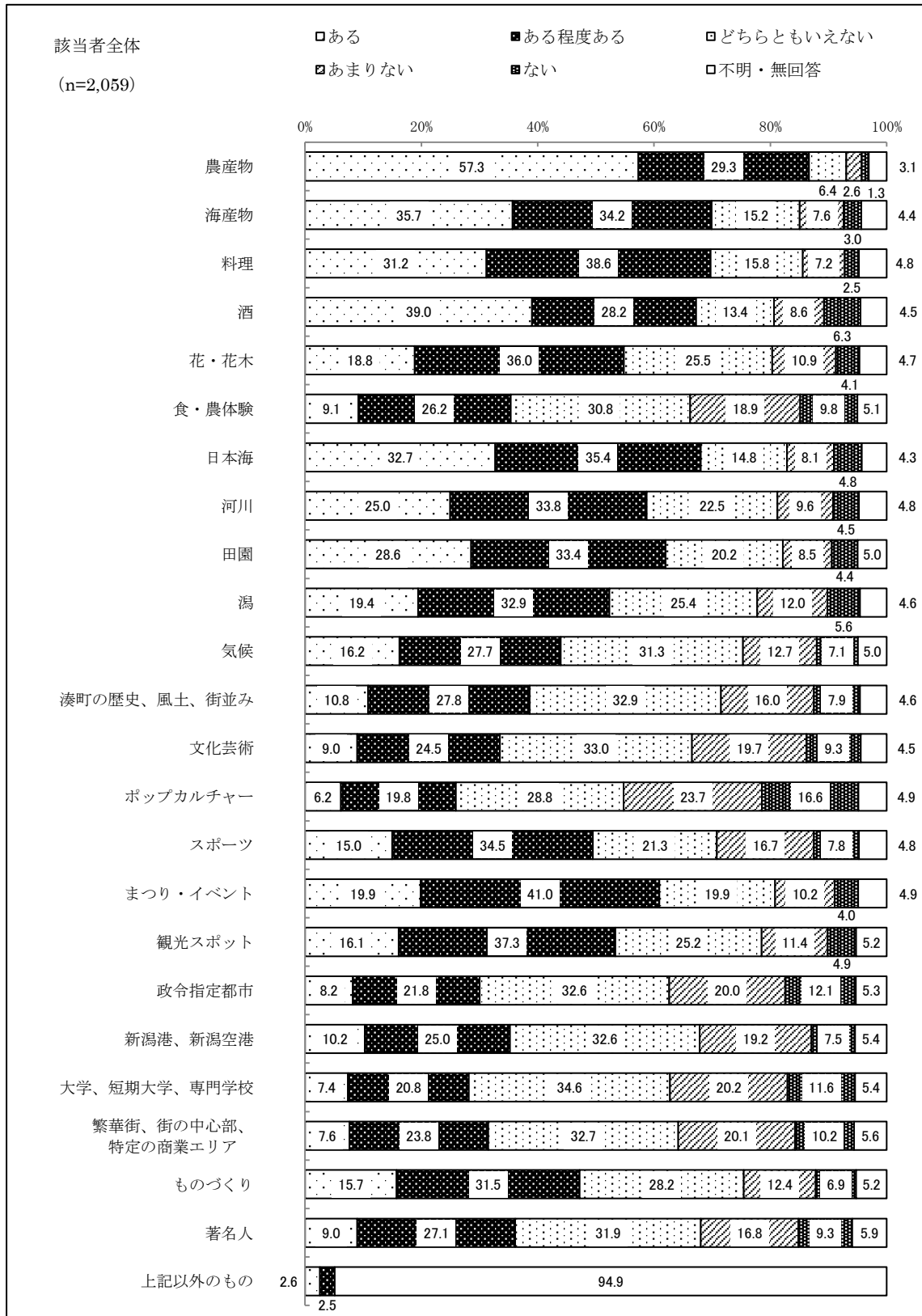
図 1-6-3 市政情報以外の必要な情報の入手先 第3位（地区別/性別/年齢別） 2/2



2. 新潟市に対する誇りや愛着について

(1) 誇りや愛着の関心度

問14 あなたは次の24の項目に対して、どの程度誇りや愛着を感じていますか。
それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。



— 8割以上が「農産物」に誇りや愛着があると感じている —

【全体結果】

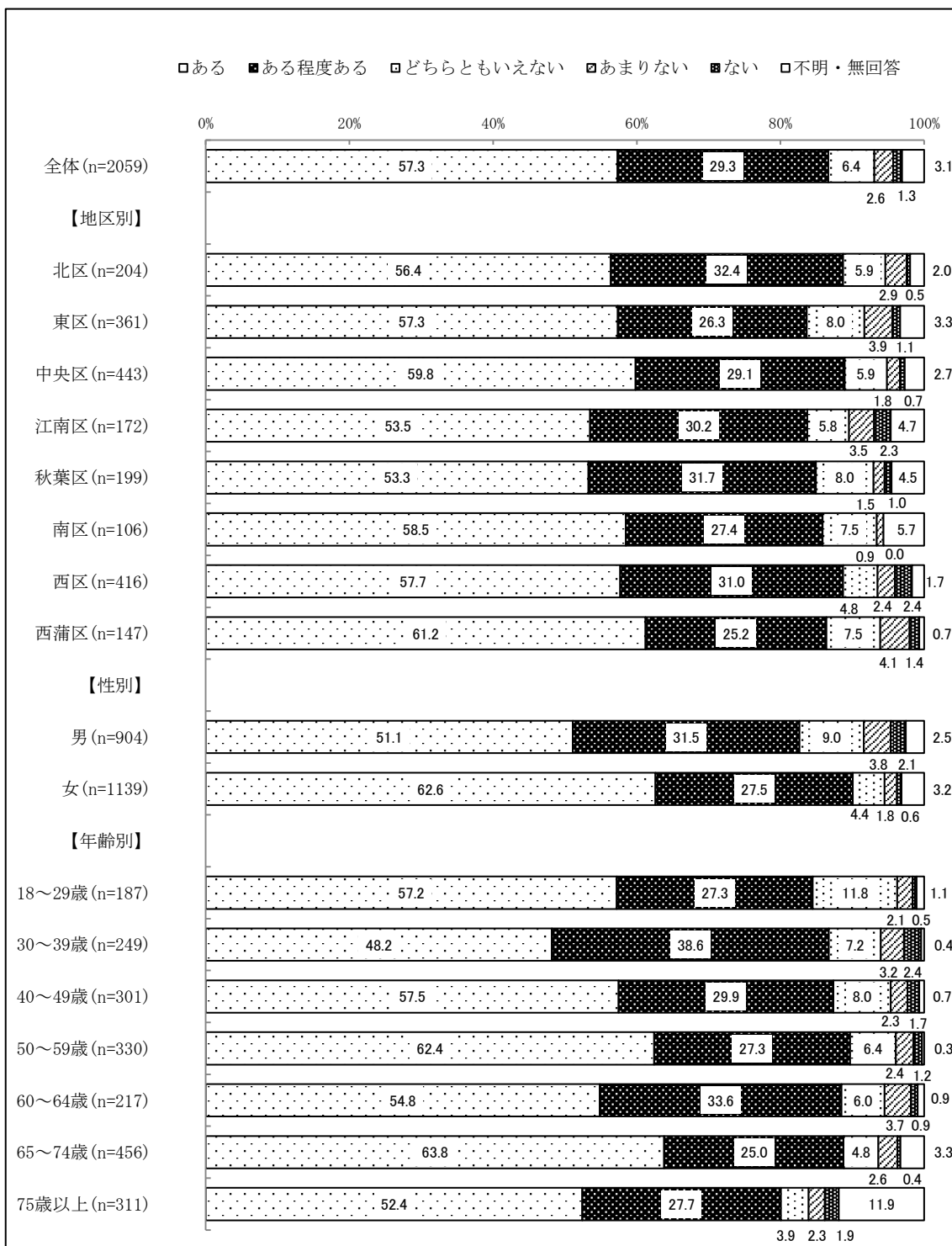
誇りや愛着について、「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、「農産物」(86.6%)で最も高く、8割を超えた。次いで「海産物」(69.9%)、「料理」(69.7%)、「日本海」(68.0%)、「酒」(67.2%)、の順に続く。「ある」と答えた割合が最も高い項目は、「農産物」(57.3%)、「海産物」(35.7%)、「酒」(39.0%)。特に「農産物」では、6割近くもの人が「ある」と回答した。

誇りや愛着が「あまりない」、「ない」を合わせた割合では、「ポップカルチャー」(40.4%)で最も高く、約4割となった。次いで「政令指定都市」(32.1%)、「大学、短期大学、専門学校」(31.8%)、「繁華街、街の中心部、特定の商業エリア」(30.2%)で約3割となった。

【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

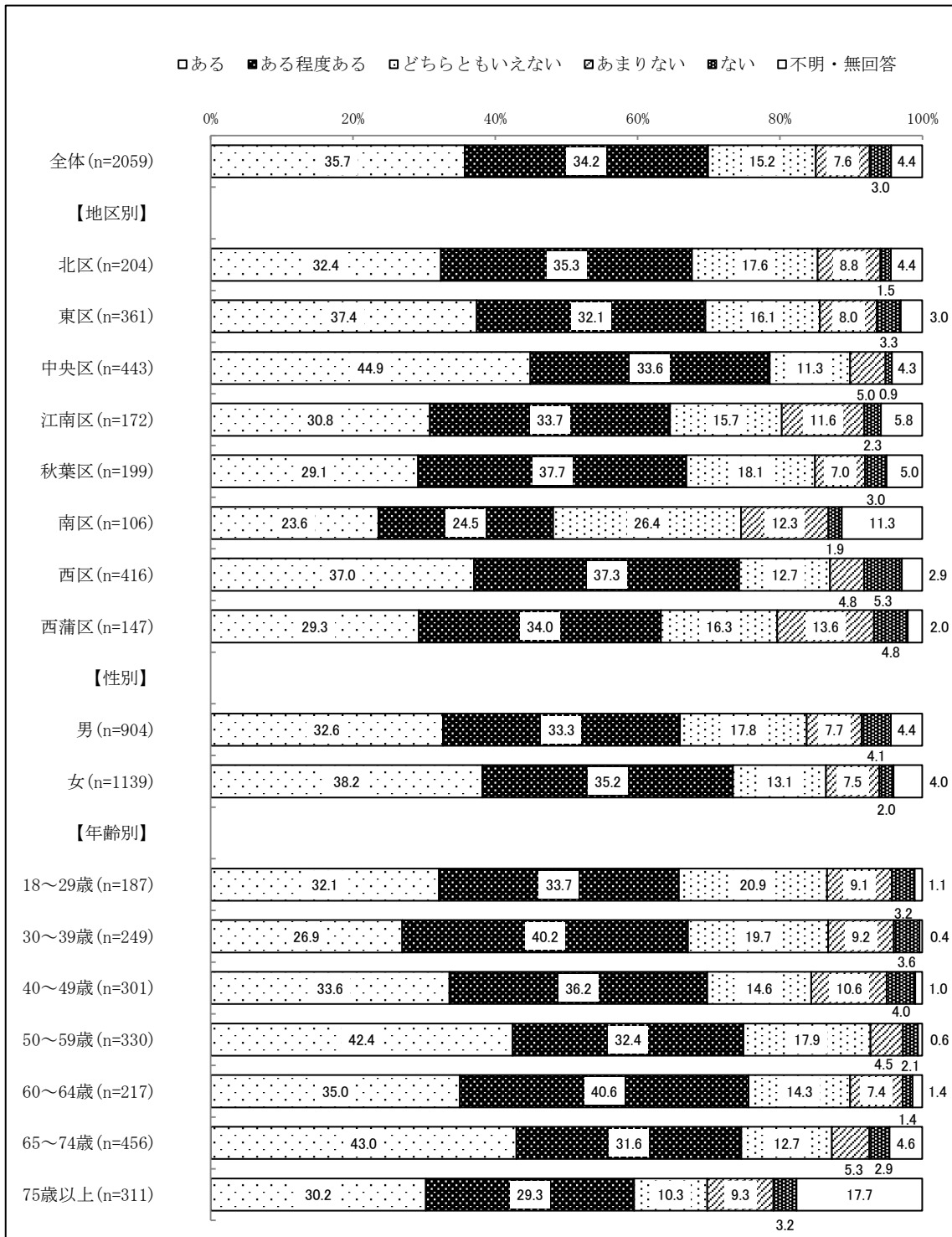
①農産物（米、野菜、果物、畜産物など）



「ある」と「ある程度」を合わせた割合は、地区別では北区（88.7%）、中央区（88.9%）、西区（88.7%）でやや高い。性別では、男性（82.6%）と比べて女性（90.1%）で割合が高い。年齢別では、50代（89.7%）で最も高い。すべての項目で8割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、すべての項目で1割未満となった。

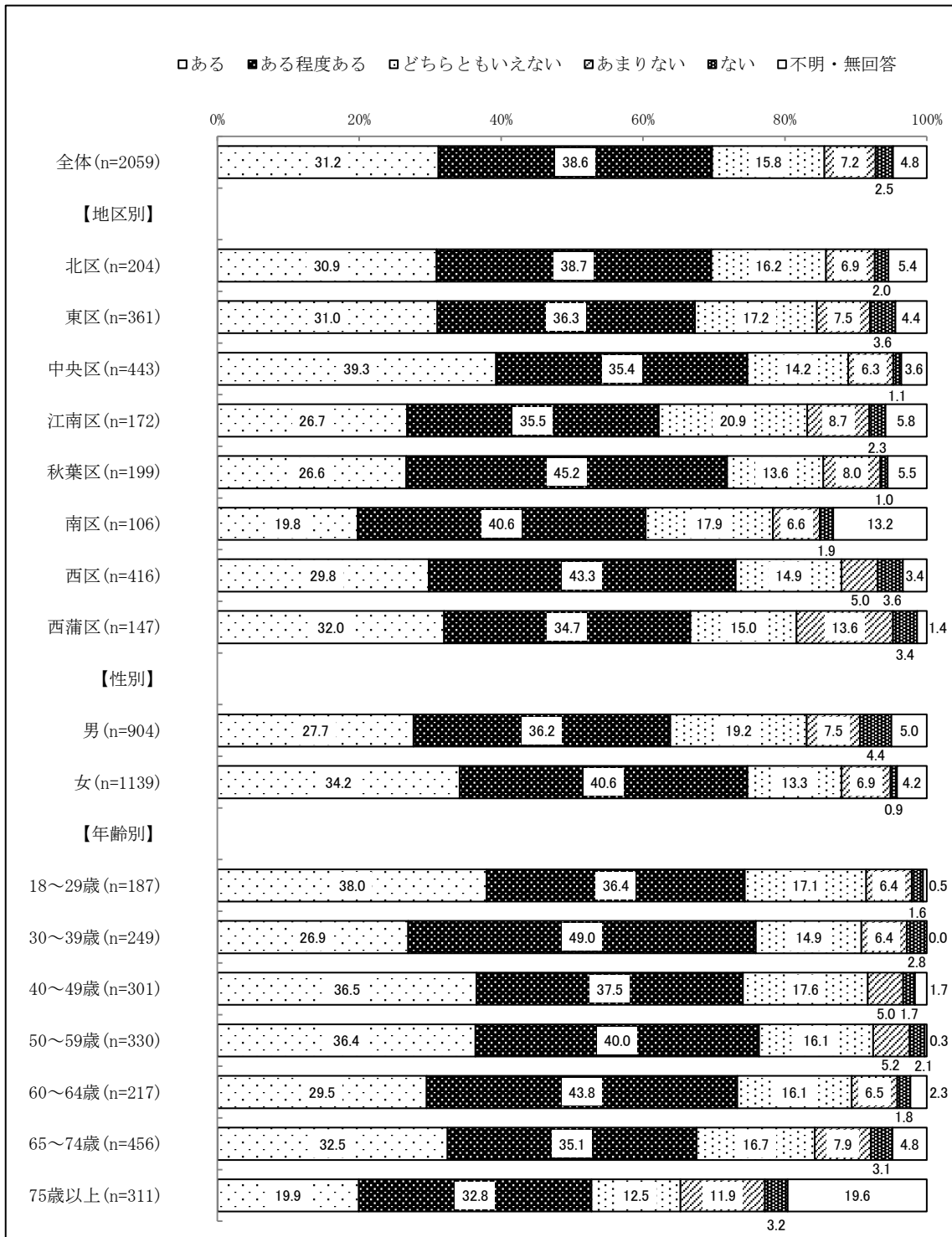
②海産物（のどぐろ、南蛮エビ、ヤナギガレイなど）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（78.6%）、西区（74.3%）で高い。性別では、男性（65.9%）より女性（73.4%）で割合が高い。年齢別では、50～74歳で7割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では江南区（14.0%）、南区（14.2%）でやや高い。年齢別では40代（14.6%）で最も高い。

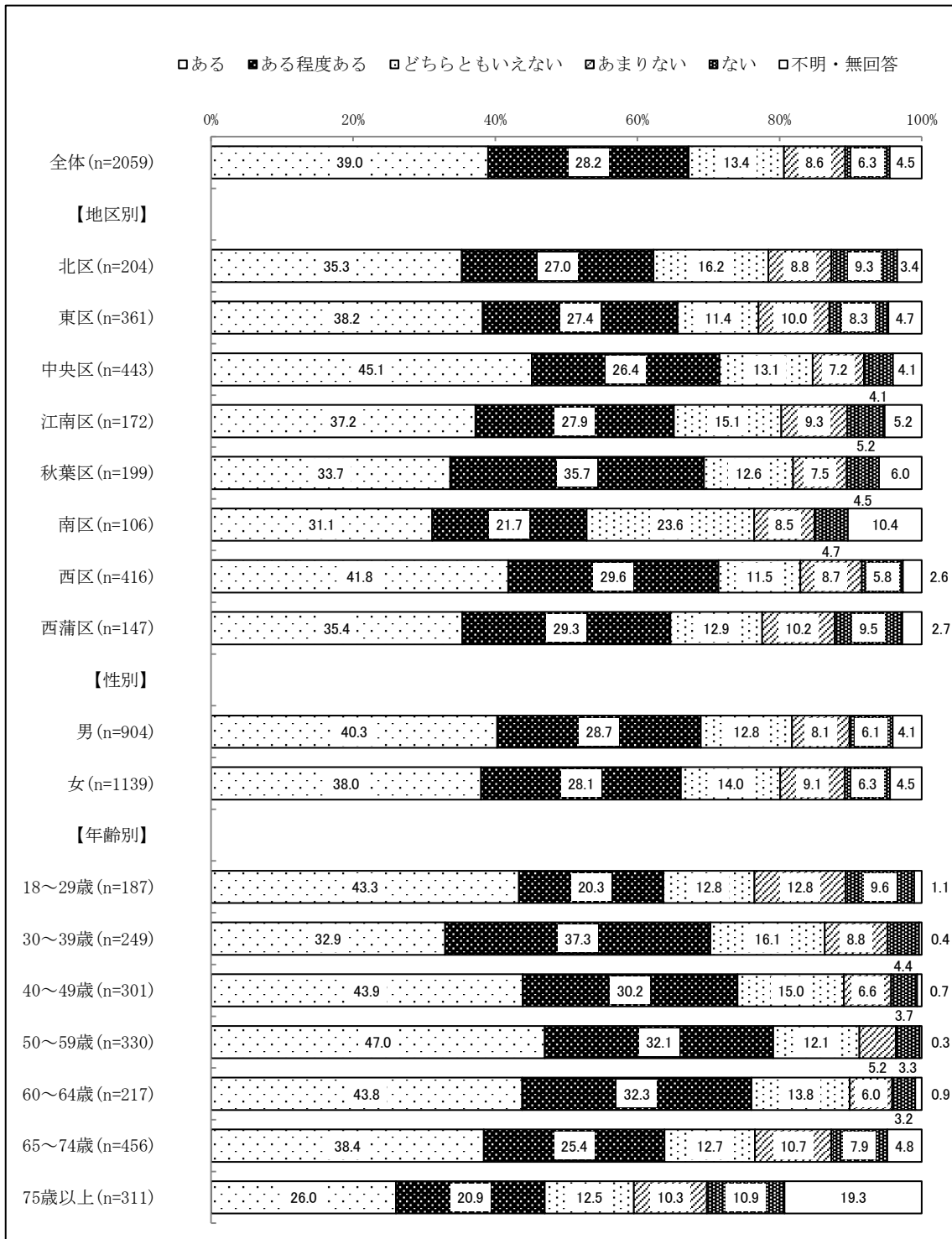
③料理（郷土料理、名物料理、B級グルメなど）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では、中央区（74.7%）、秋葉区（71.9%）、西区（73.1%）で高く、7割を超える。性別では、男性（63.8%）と比べて女性（74.7%）で割合が高い。年齢別では、18～64歳で7割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（17.0%）最も高い。年齢別では、65～74歳（11.0%）、75歳以上（15.1%）で1割を超えた。

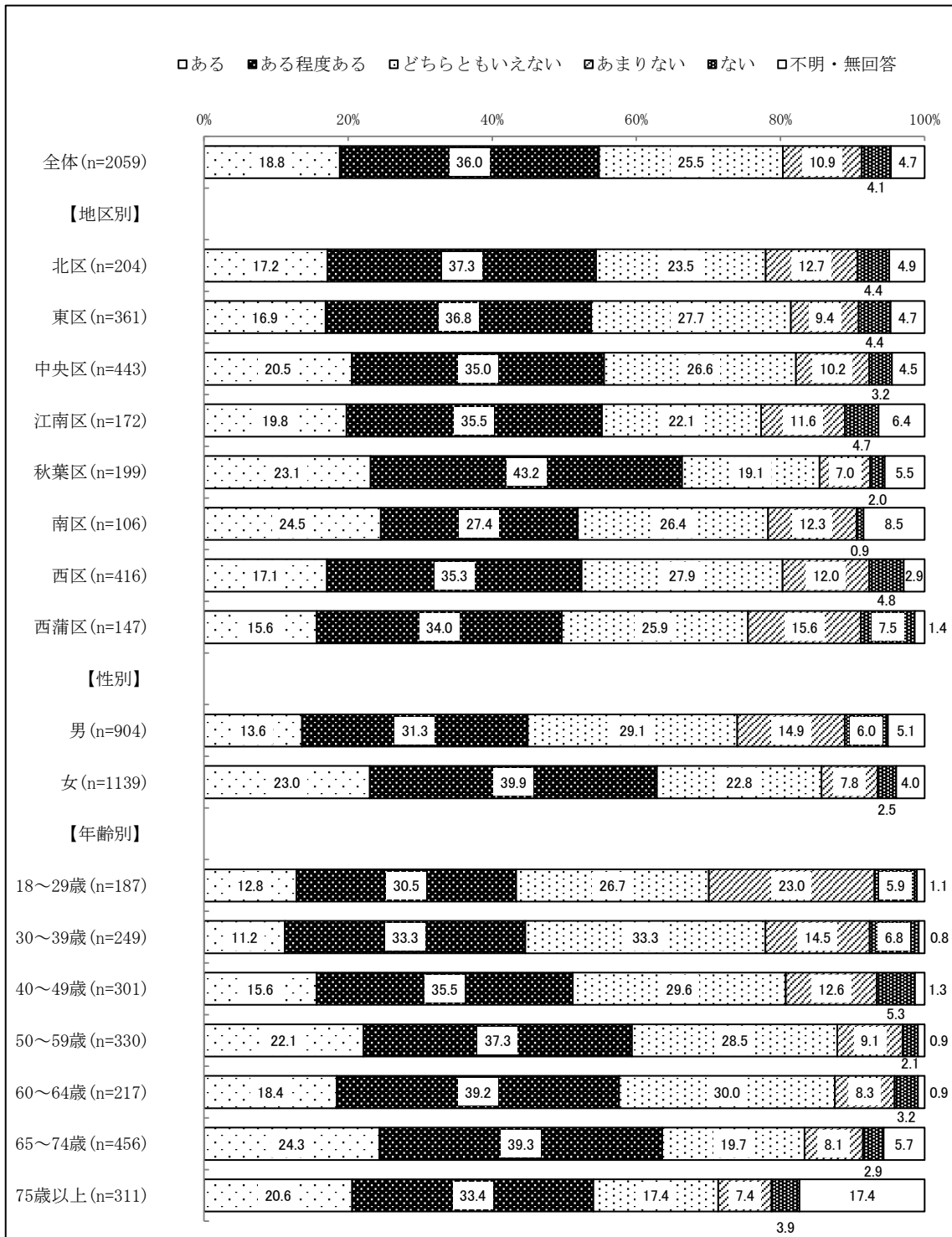
④酒（日本酒、ワインなど）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区 (71.6%)、西区 (71.4%) で高く、7割を超える。性別では、女性 (66.1%) と比べて男性 (68.9%) でやや高い。年齢別では、50代 (79.1%) で最も高い。50代までは年齢が上がる割合が高くなり、50代をピークに割合が低くなる傾向がみられる。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (19.7%)、年齢別では18～29歳 (22.5%) で最も高い。

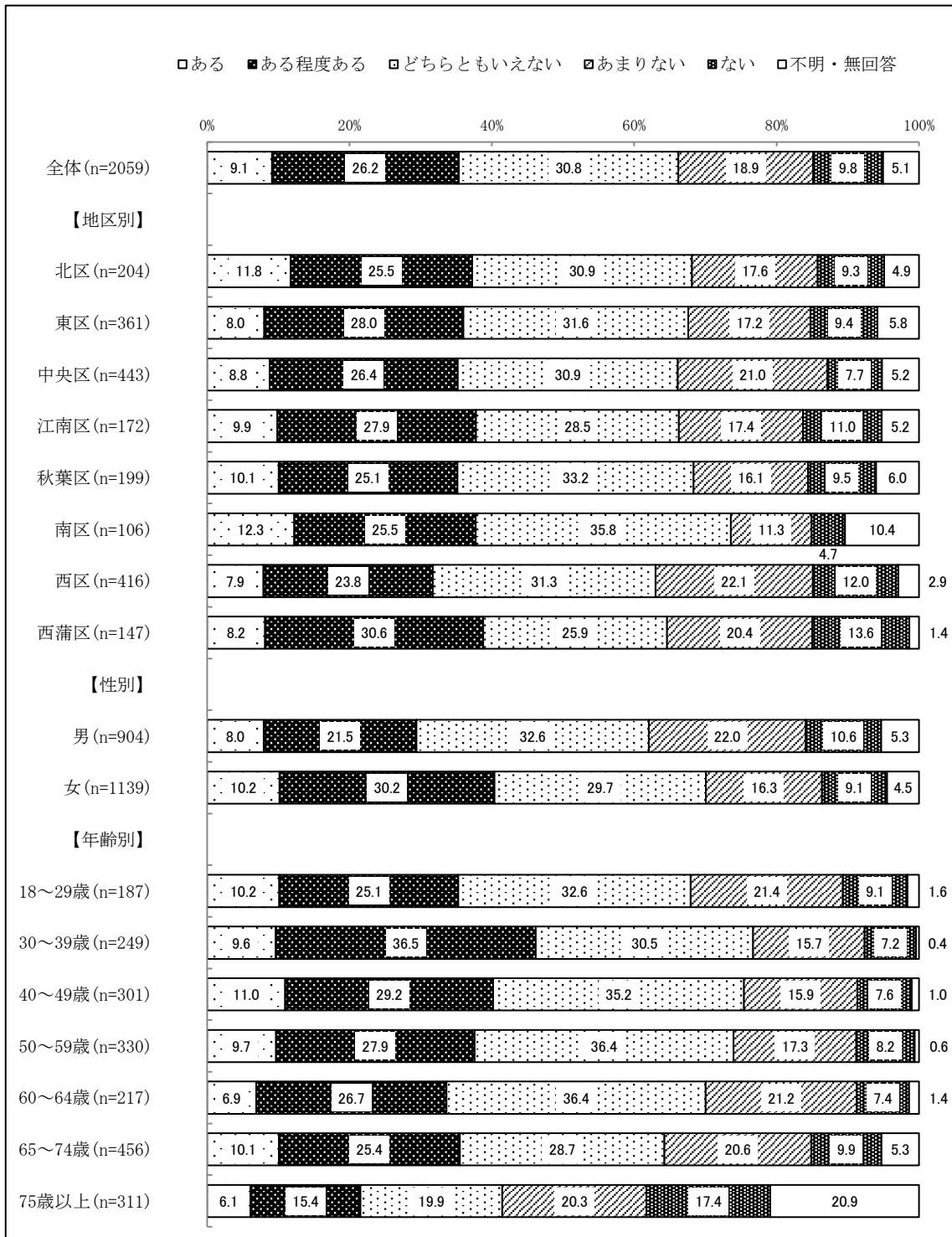
⑤花・花木（チューリップ、アザレア、ボケ、ヤナギなど）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（66.3%）で最も高い。性別では、男性（44.9%）と比べて女性（62.9%）で割合が高い。年齢別では、65～74歳（63.6%）で最も高く、概ね年齢が上がるほど割合が高い傾向がみられる。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（23.1%）、年齢別では18～29歳（28.9%）で最も高い。

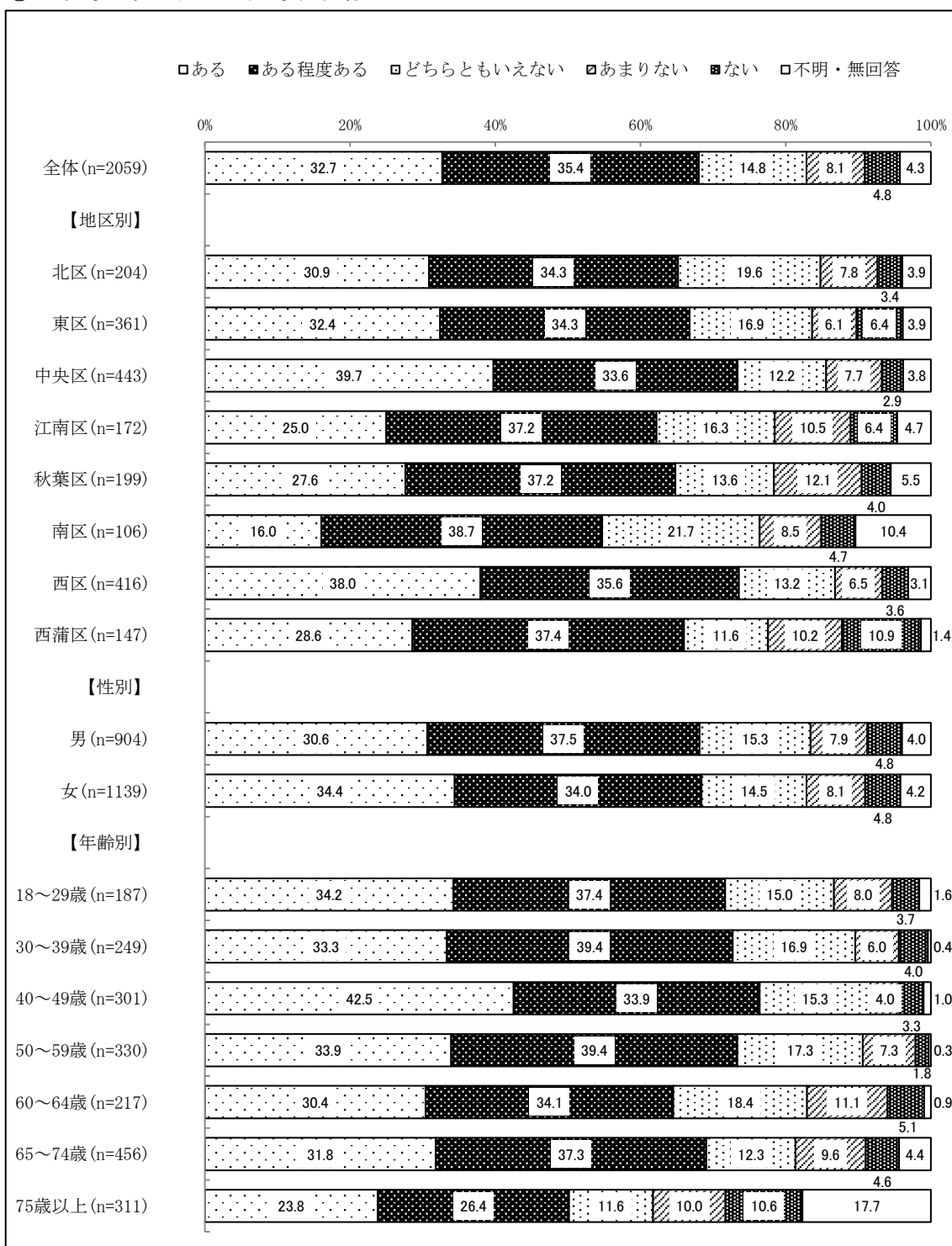
⑥食・農体験（食育・花育センター、アグリパークなどでの体験プログラム）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、どの地区も3割を超えているものの、他の地区と比べて西区(31.7%)でやや低い。性別では男性(29.4%)と比べて女性(40.4%)で割合が高い。年齢別では、30代(46.2%)で最も高く、75歳以上(21.5%)で最も低い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西区(34.1%)、年齢別では75歳以上(37.6%)で最も高い。地区別では西区、性別では男性、年齢別では75歳以上で、「あまりない」、「ない」を合わせた割合が、「ある」、「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

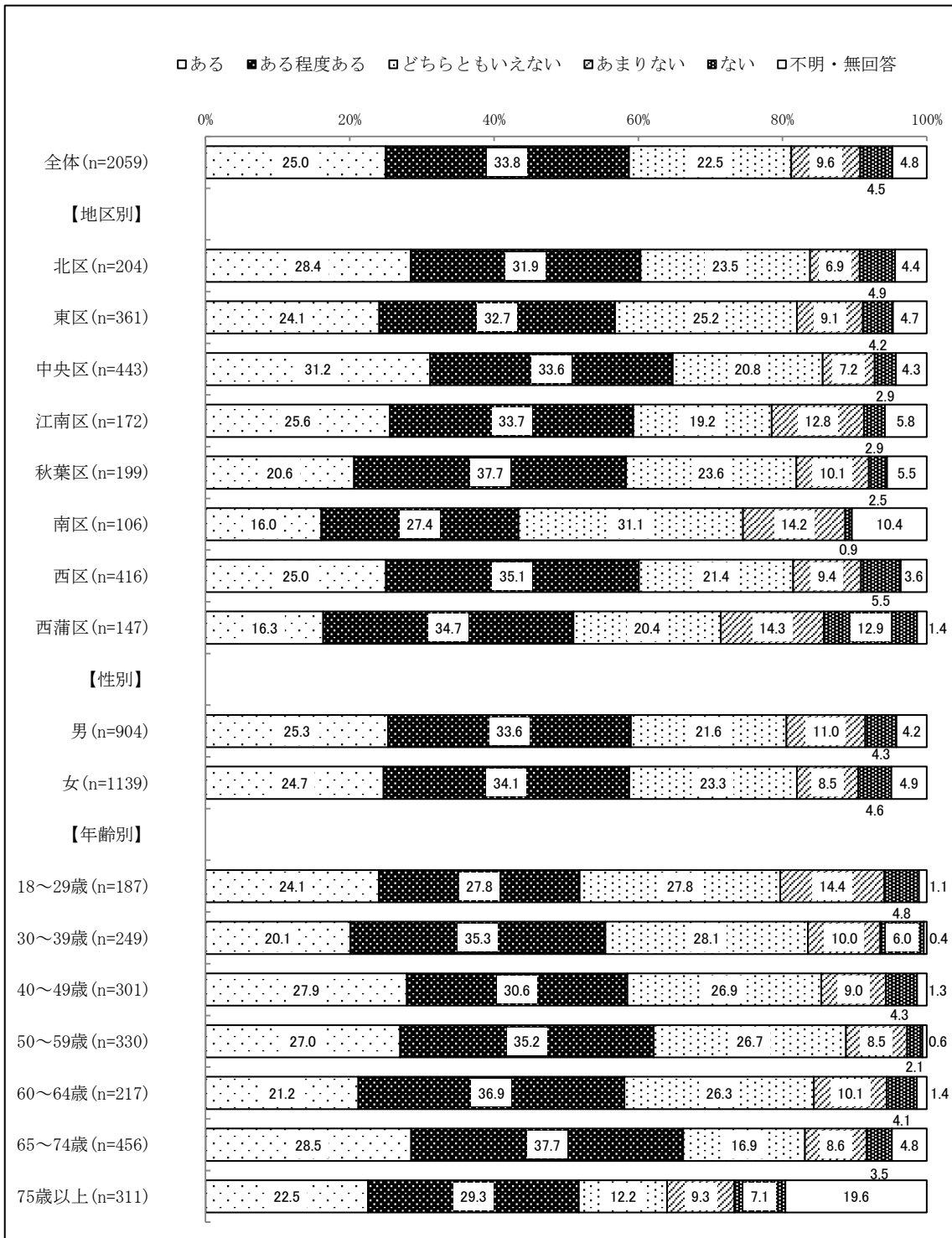
⑦日本海（砂浜、夕日、海水浴場など）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区 (73.4%)、西区 (73.6%) で高く、7割を超えた。年齢別では、40代 (76.4%) で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では江南区 (16.9%)、秋葉区 (16.1%) で高い。年齢別では75歳以上 (20.6%) で最も高く、約2割となった。

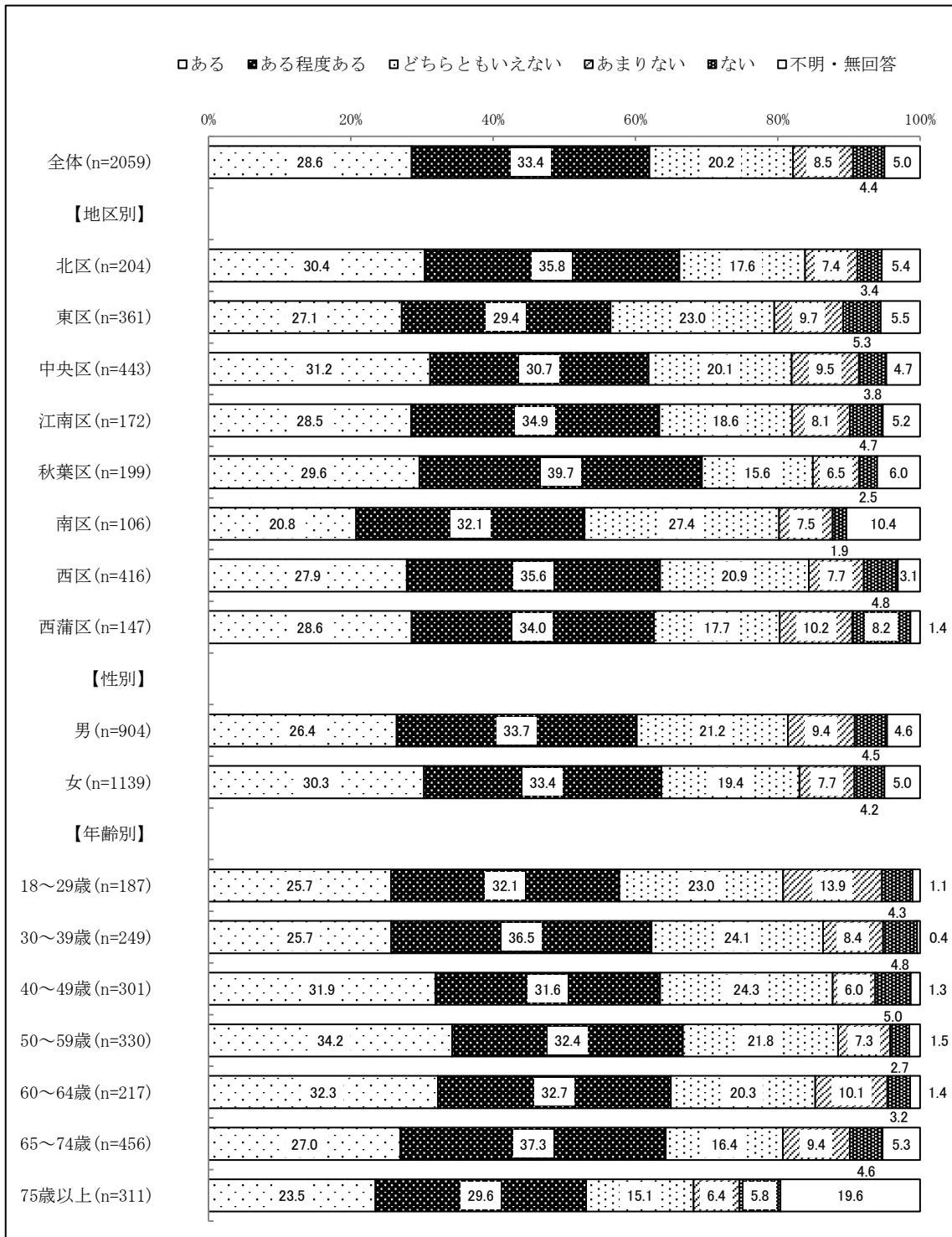
⑧河川（信濃川、阿賀野川など）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（64.8%）で最も高く、南区（43.4%）で最も低い。年齢別では、65～74歳（66.2%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（27.2%）、年齢別では18～29歳（19.3%）で最も高くなっている。

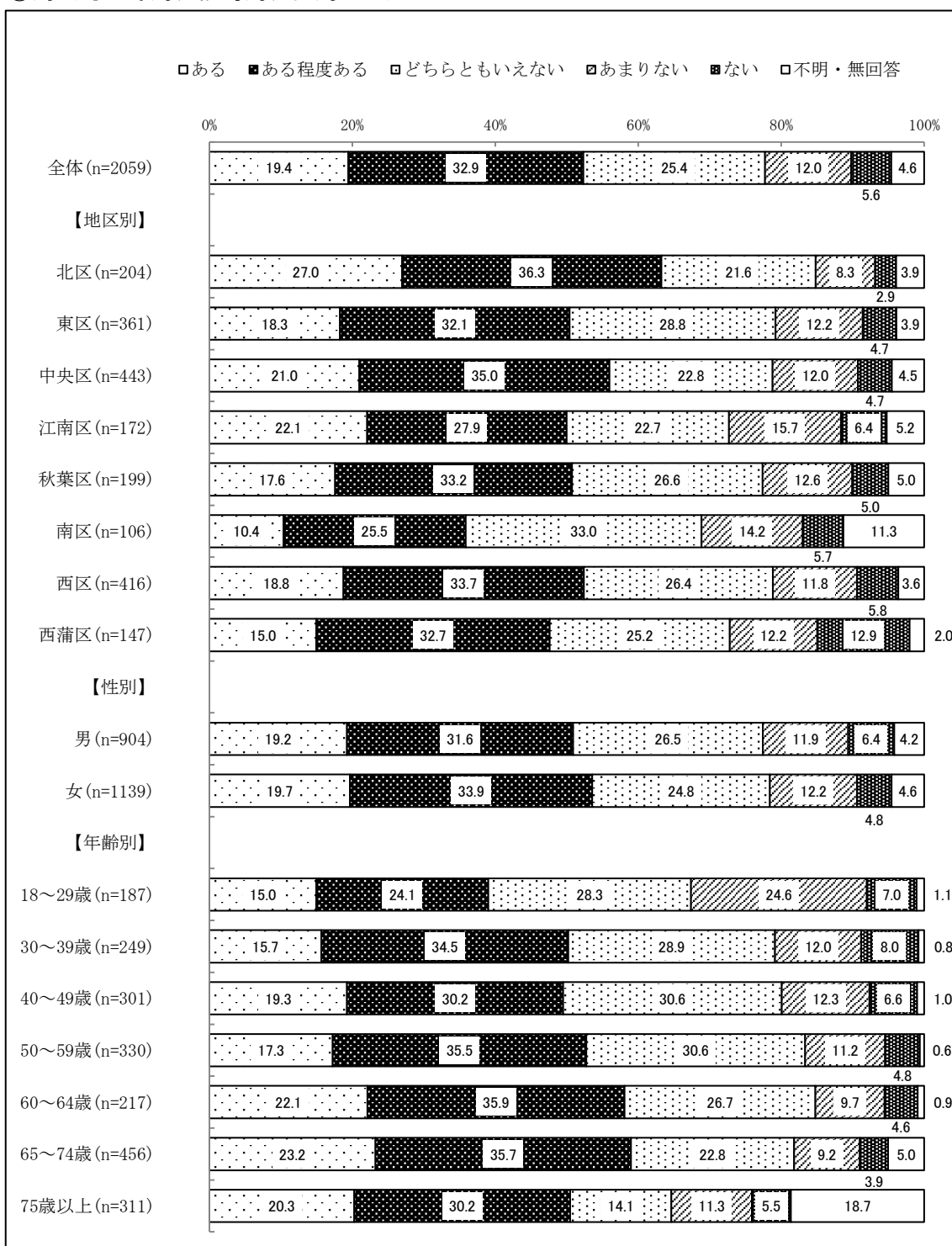
⑨田園（水と土の歴史、広大さ、風景など）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（69.3%）で最も高く、南区（52.8%）で最も低い。年齢別では、50代（66.7%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（18.4%）、年齢別では18～29歳（18.2%）で最も高い。

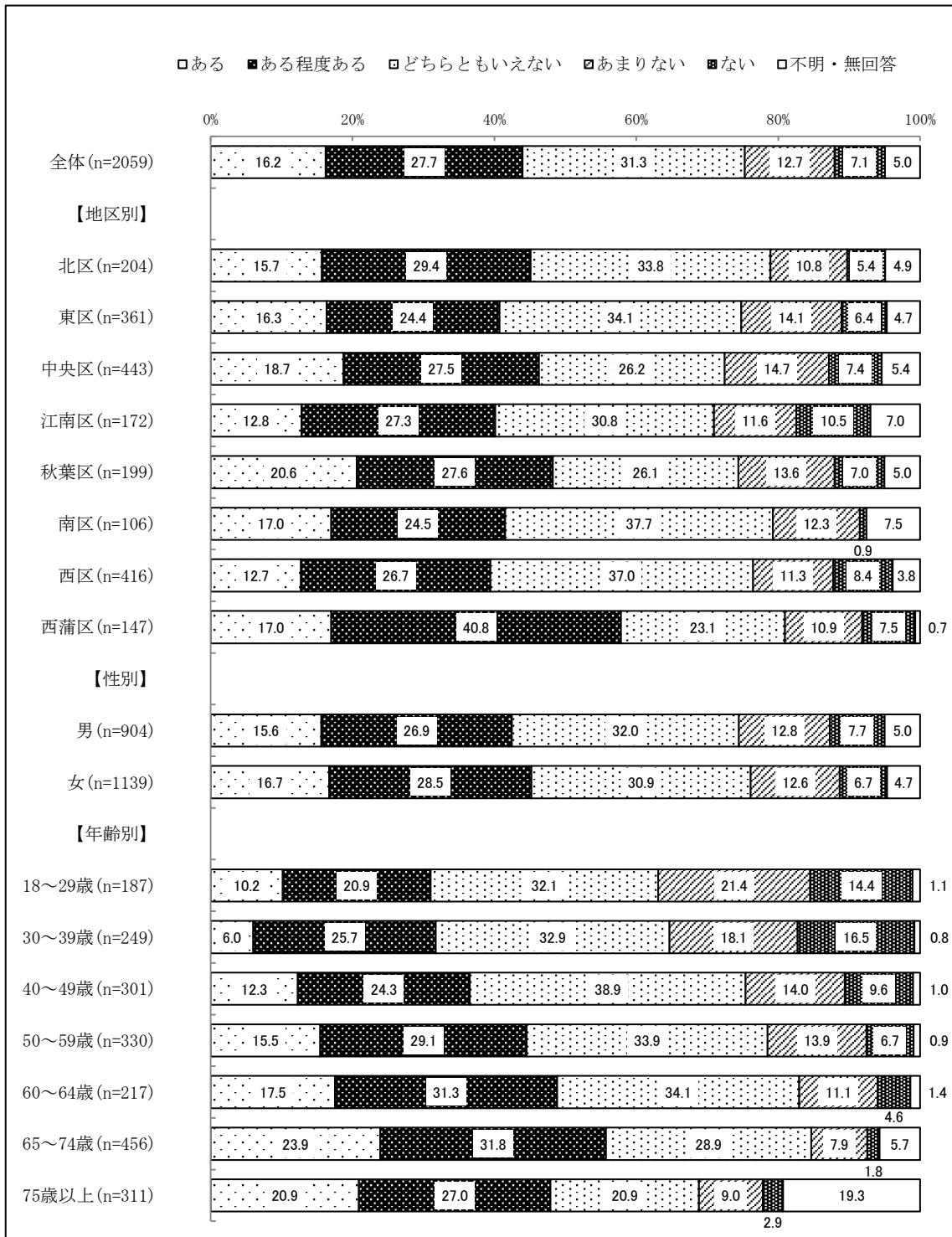
⑩ 湯（鳥屋野湯、福島湯、佐湯など）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（63.2%）で最も高く、南区（35.8%）で最も低い。年齢別では、65～74歳（59.0%）で最も高く、概ね年代が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では江南区（22.1%）、西蒲区（25.2%）で割合が高く、2割を超えた。年齢別では18～29歳（31.6%）で最も高い。

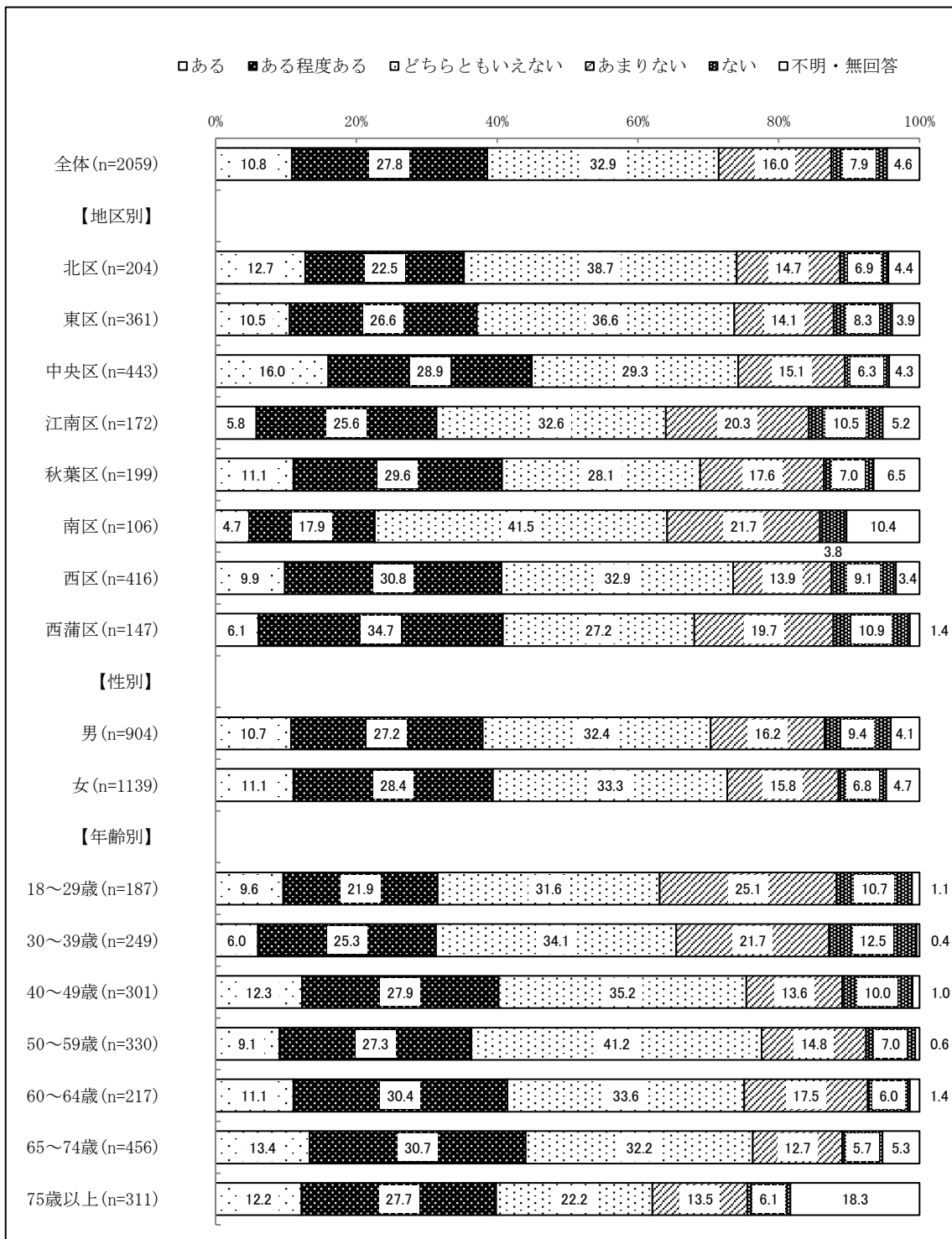
⑪気候



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（57.8%）で最も高く、半数を超えた。年齢別では、65～74歳（55.7%）で最も高く、概ね年齢があがるほど割合が高い傾向がみられる。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では中央区、江南区（共に22.1%）でやや高い。年齢別では18～29歳（35.8%）で最も高い。

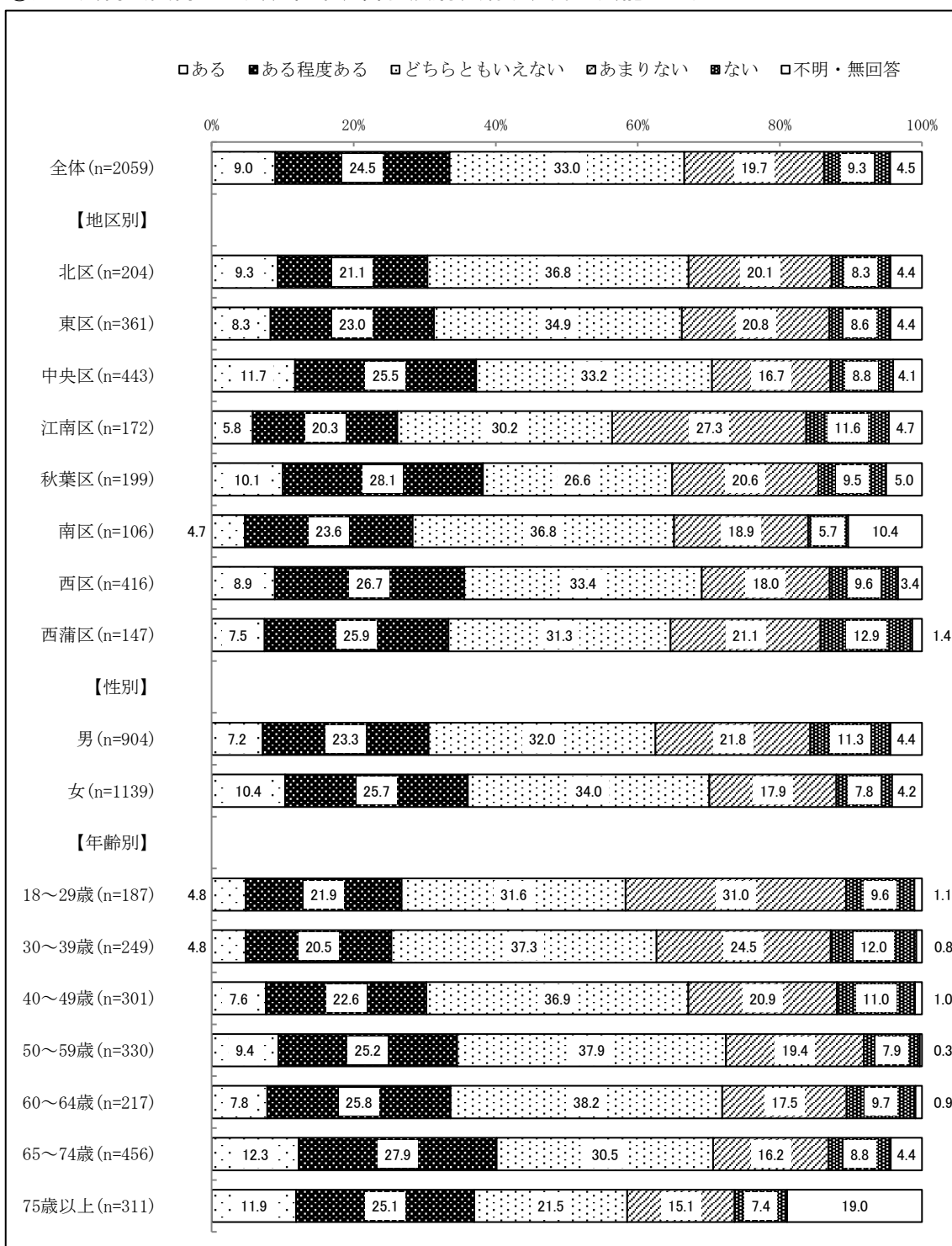
⑫湊町の歴史、風土、街並み



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（44.9%）で最も高い。南区（22.6%）を除いたすべての地区で3割を超えた。年齢別では、65～74歳（44.1%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では江南区（30.8%）と西蒲区（30.6%）、年齢別では18～29歳（35.8%）と30代（34.1%）で3割を超えた。

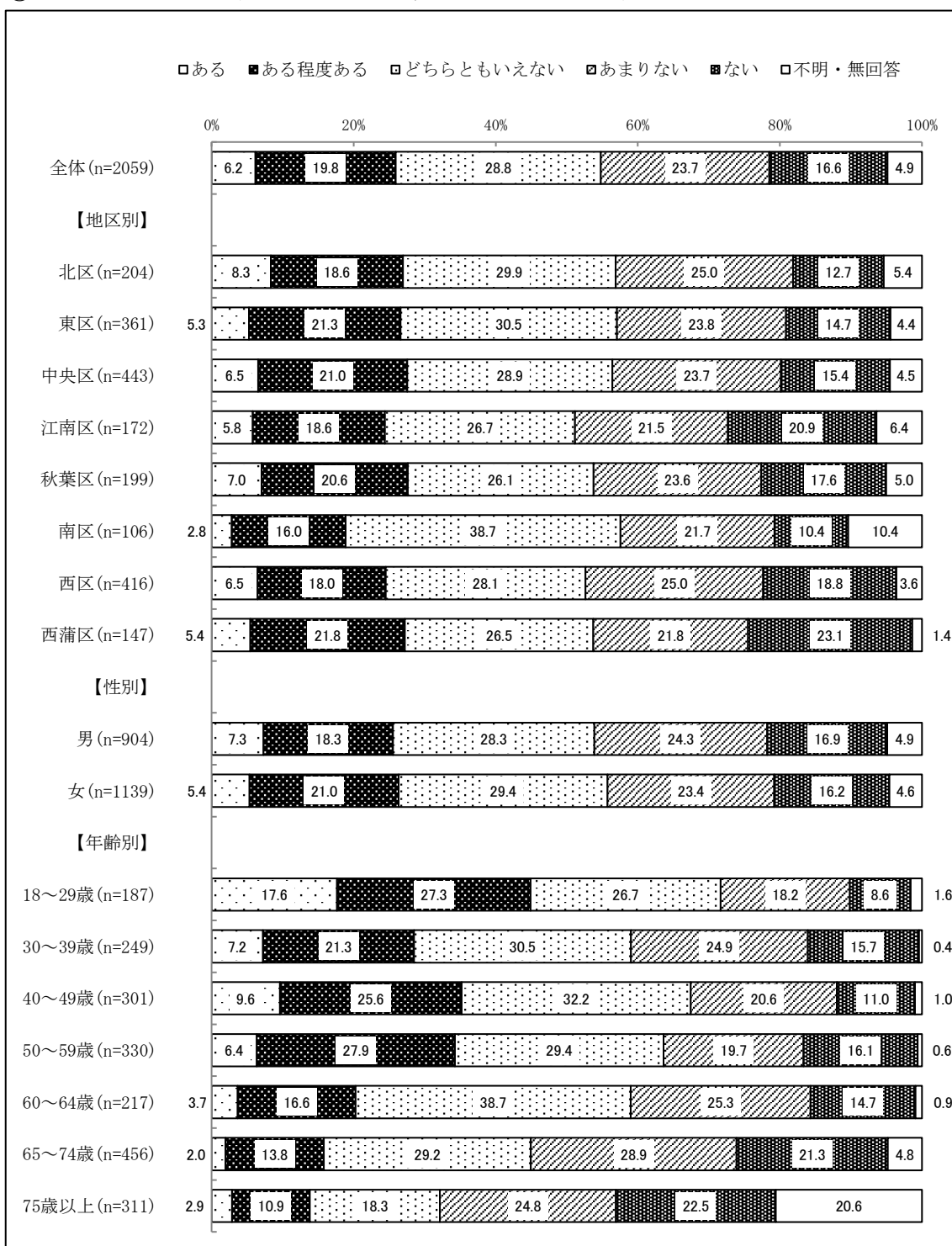
⑬文化芸術（美術・工芸、音楽、舞台演劇、踊り、郷土芸能など）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区(37.2%)、秋葉区(38.2%)、西区(35.6%)で高い。性別では男性(30.5%)と比べて女性(36.1%)で割合が高い。年齢別では、65～74歳(40.1%)で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では江南区(39.0%)、年齢別では18～29歳(40.6%)で最も高い。地区別では江南区と西蒲区、性別では男性、年齢別では40代以下で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が「ある」「ある程度」を合わせた割合を上回った。

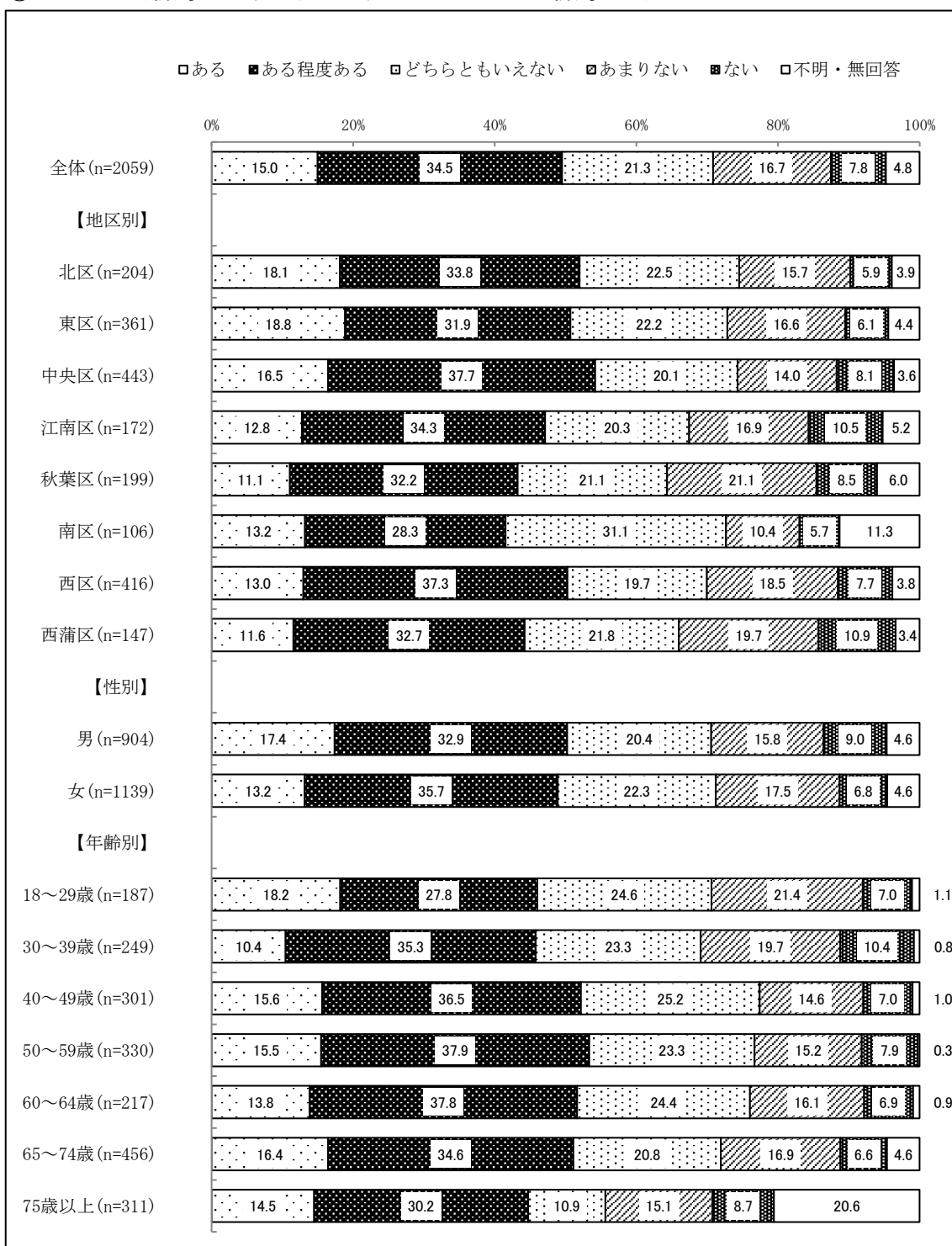
⑭ポップカルチャー（マンガ・アニメ、地元アイドルなど）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では南区（18.9%）を除いた地区で2割を超えた。年齢別では、18～29歳（44.9%）で最も高く、概ね年代が上がるほど、割合が低い傾向がみられる。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（44.9%）、年齢別では65～74歳（50.2%）で最も高い。年齢別の18～29歳（26.7%）、40～49歳（31.6%）を除くすべての項目で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

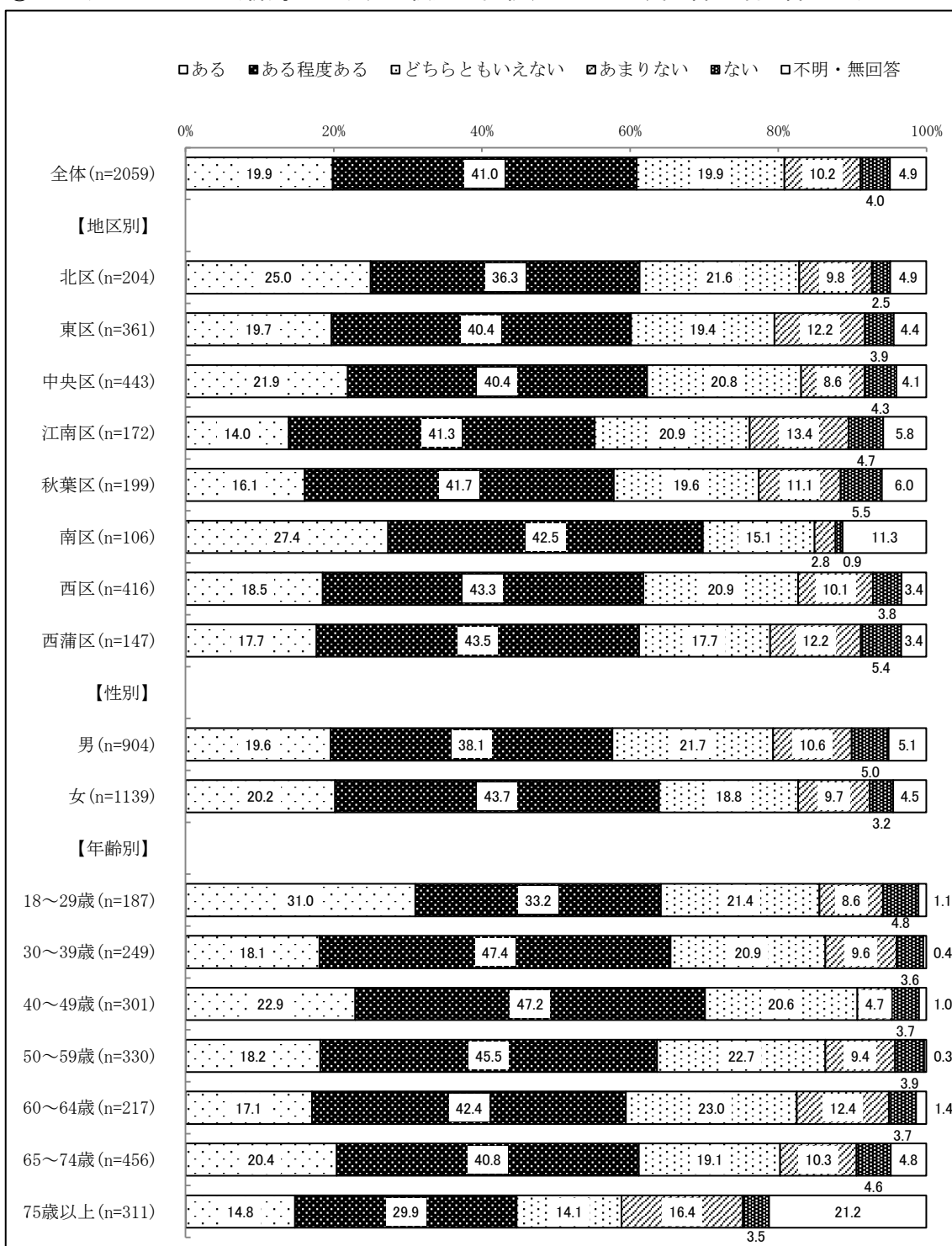
⑮スポーツ（新潟シティマラソン、アルビレックス新潟など）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区、東区、中央区、西区で5割を超えた。年齢別では、50代（53.3%）で最も高く、40～74歳で5割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（30.6%）、年齢別では30代（30.1%）で最も高く、約3割となった。

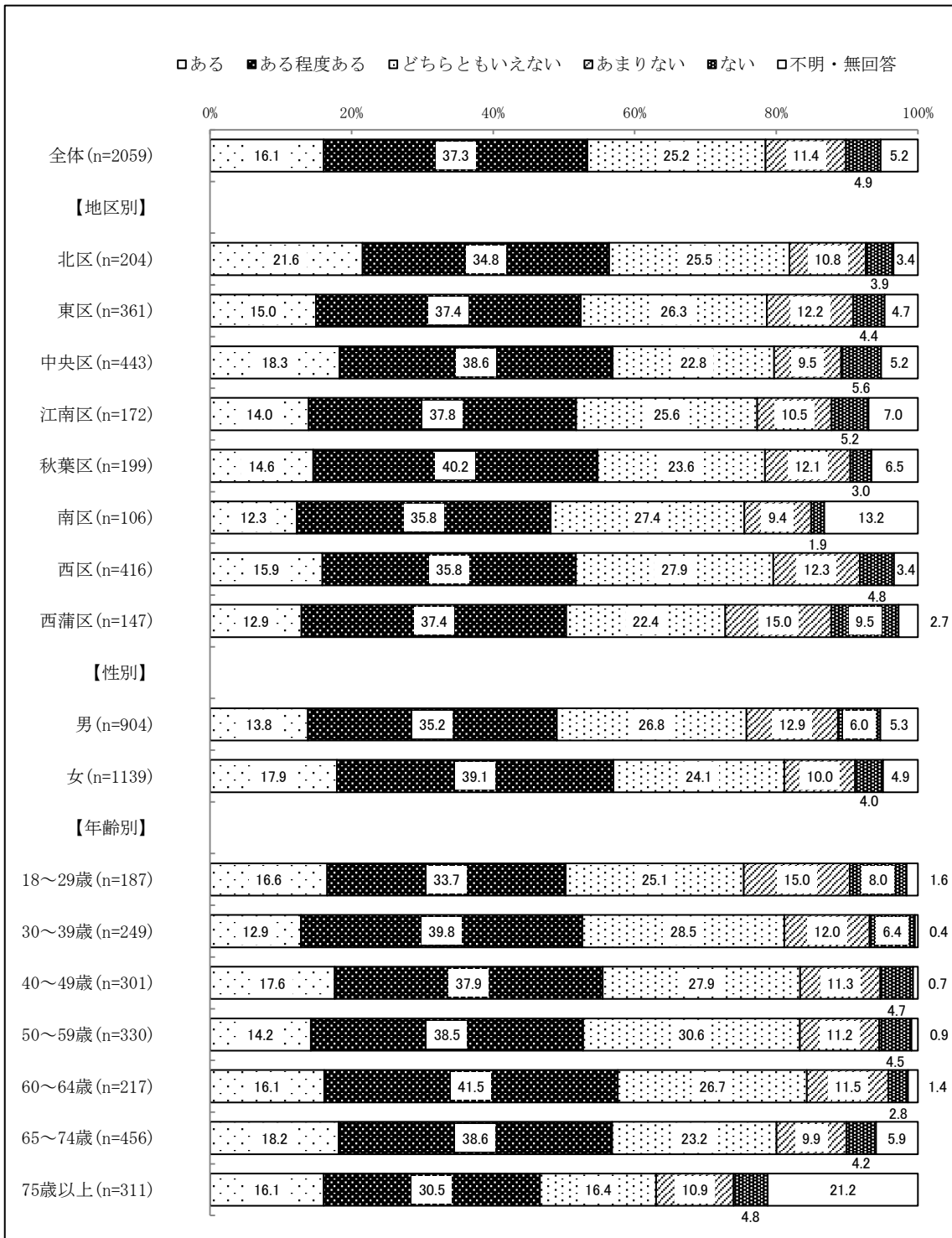
⑩まつり・イベント（新潟まつり、白根大凧合戦、にいがた食の陣・酒の陣など）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では南区（69.8%）で最も高い。性別では、男性（57.6%）と比べて女性（63.9%）で割合が高い。年齢別では、40代（70.1%）で最も高く、75歳以上（44.7%）で最も低い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では江南区（18.0%）、年齢別では75歳以上（19.9%）で最も高い。

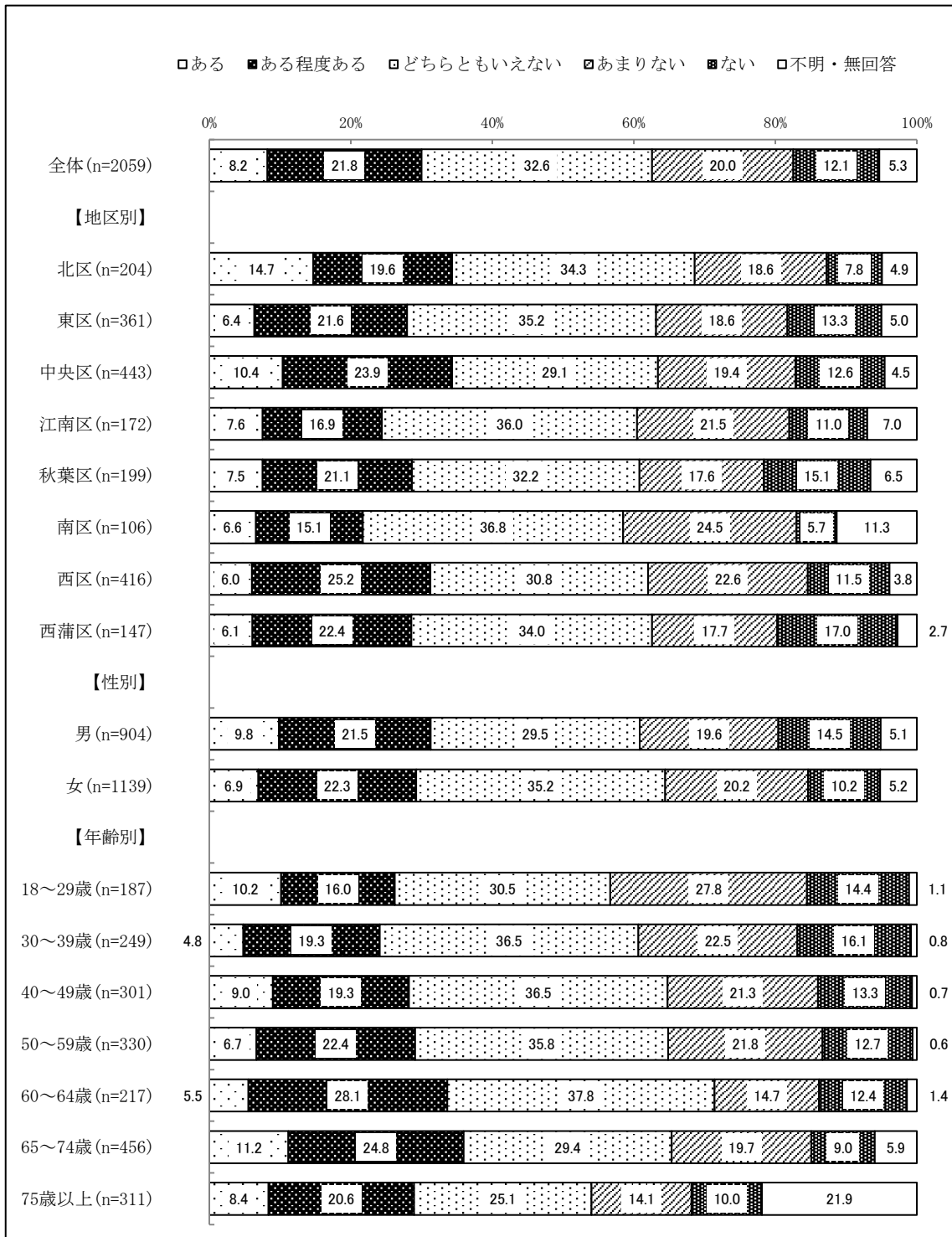
⑰観光スポット（水族館、歴史博物館、鉄道資料館、萬代橋など）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区、中央区、秋葉区で高く、南区を除き、5割を超えた。性別では、男性（49.0%）と比べて女性（57.0%）で割合が高い。年齢別では、60～64歳（57.6%）で最も高く、75歳以上を除き、5割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（24.5%）、年齢別では18～29歳（23.0%）で最も高い。

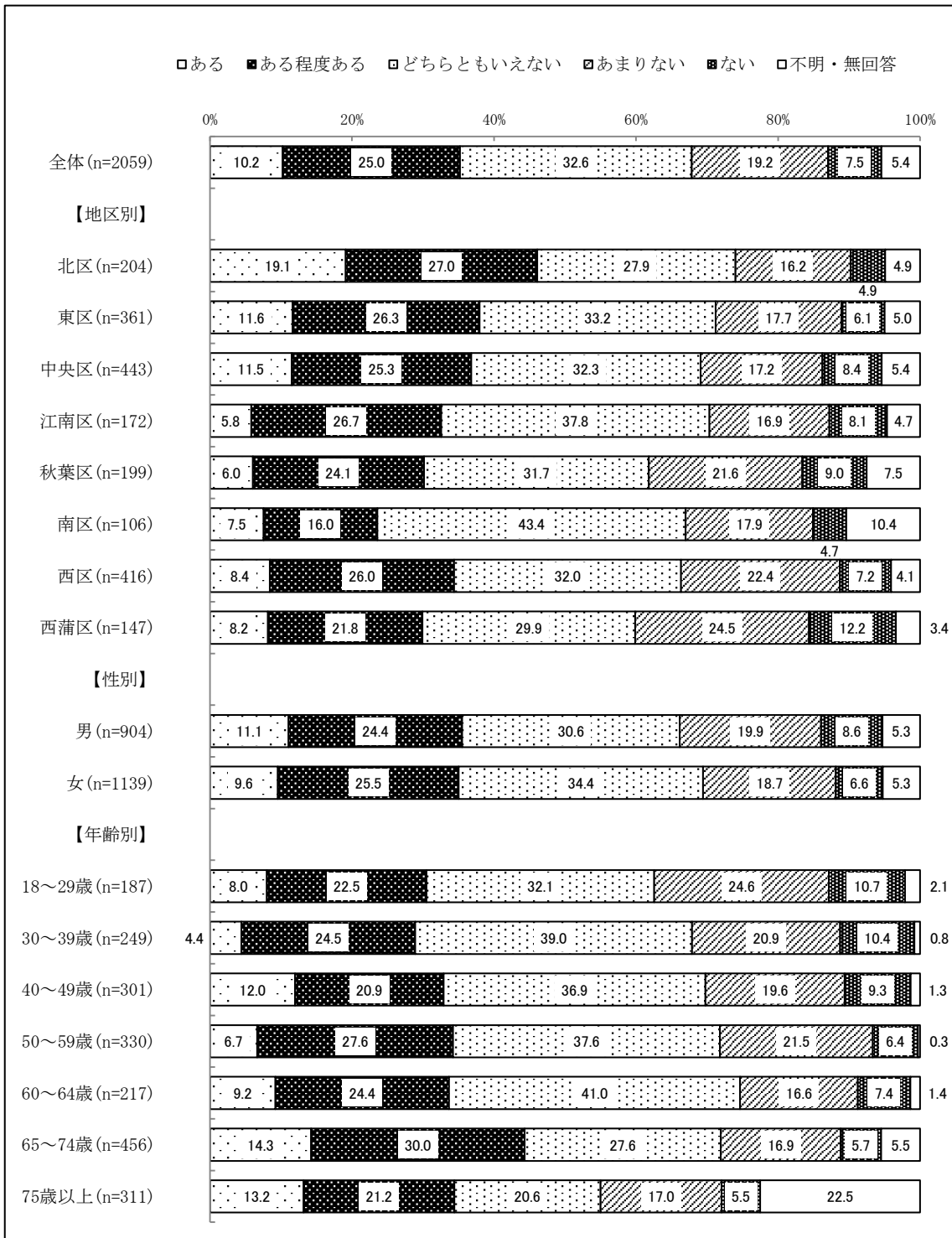
⑱政令指定都市



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区、中央区（共に 34.3%）で最も高い。年齢別では、65～74歳（36.0%）で最も高く、30代（24.1%）で最も低い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（34.7%）、年齢別では18～29歳（42.2%）で最も高い。地区別では北区、中央区を除く地区、性別では男女とも、年齢別では50代以下で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

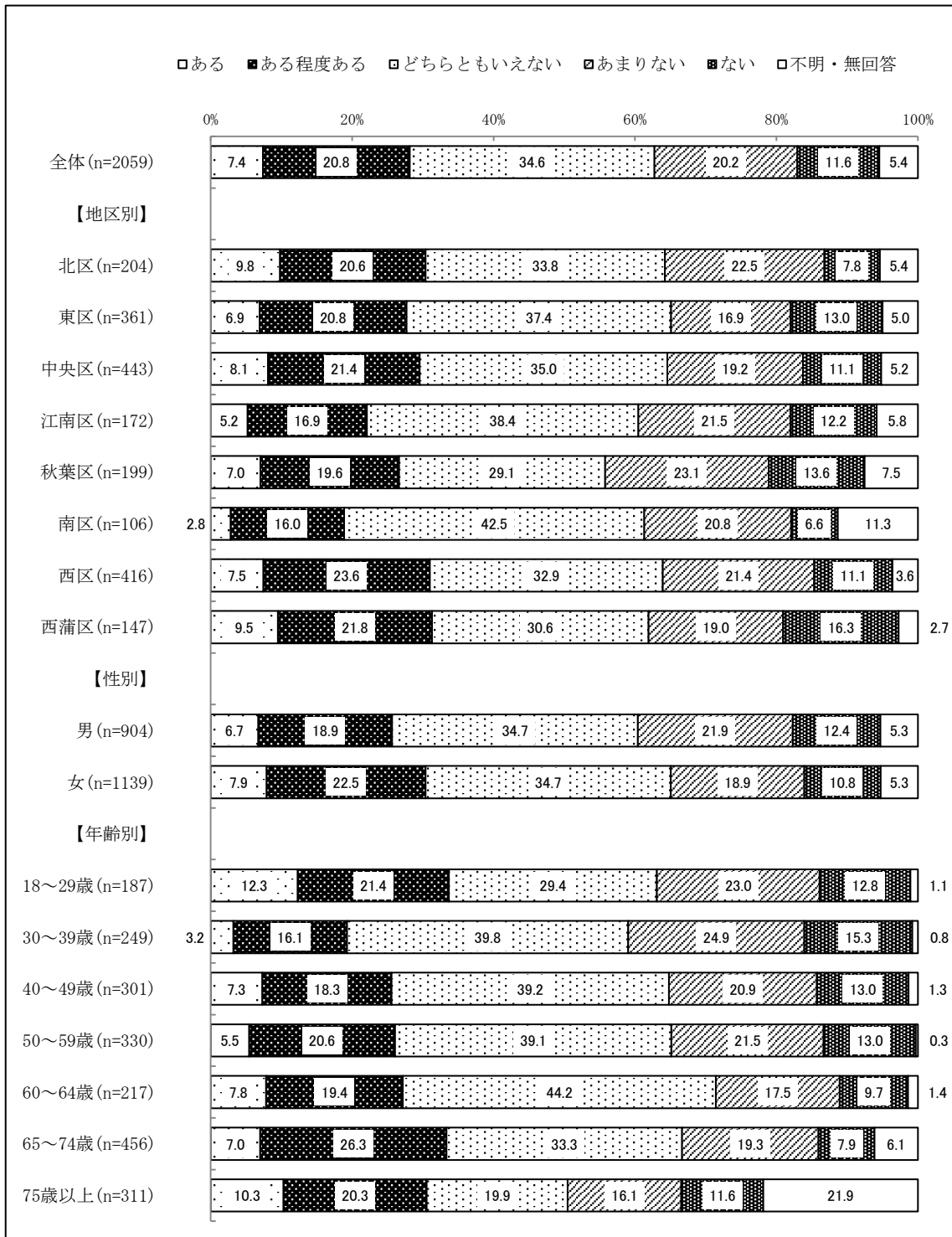
⑱新潟港、新潟空港



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（46.1%）で最も高い。年齢別では、65～74歳（44.3%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（36.7%）、年齢別では18～29歳（35.3%）で最も高い。地区別では西蒲区、年齢別では30代以下で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

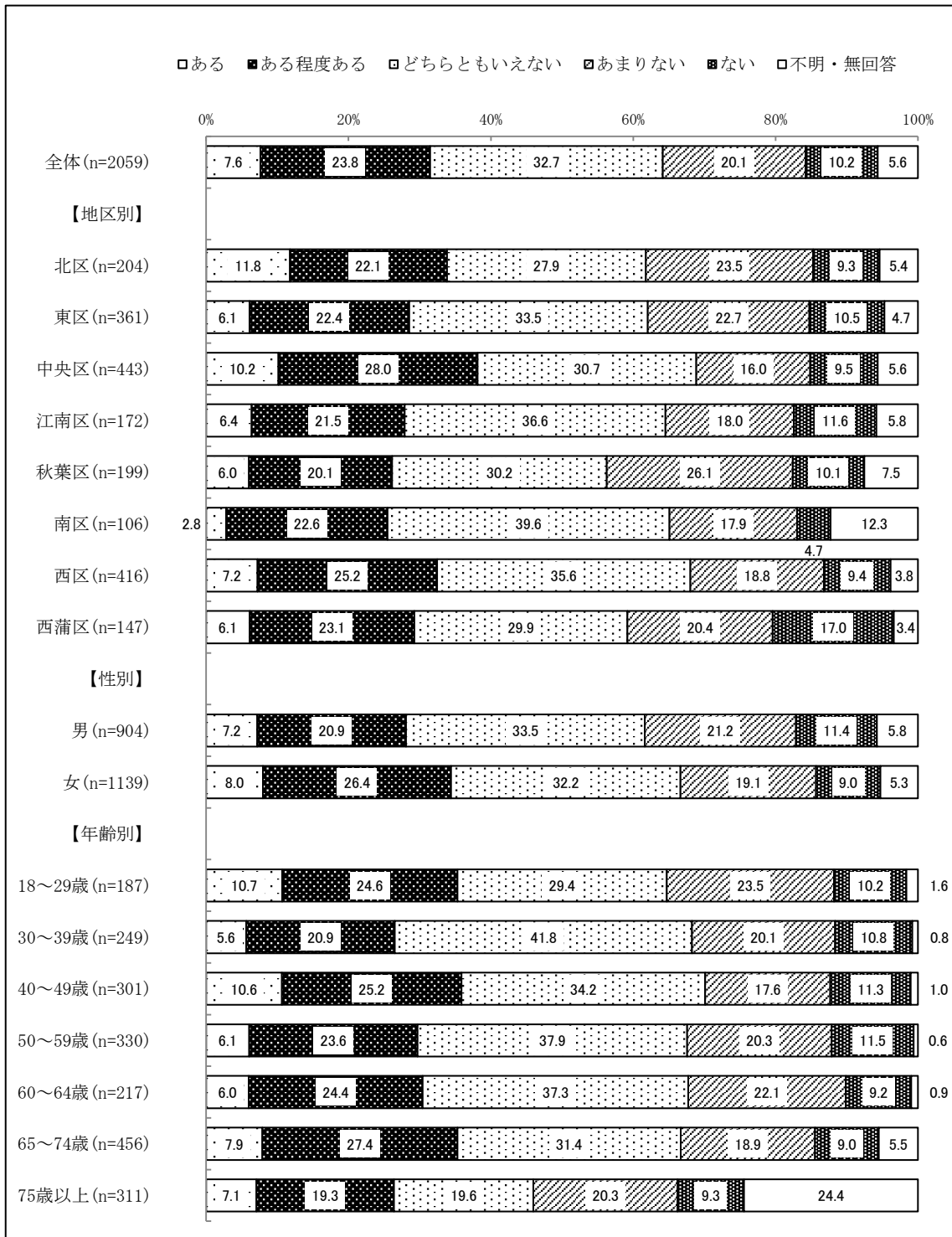
⑳大学、短期大学、専門学校



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区、西区、西蒲区で3割を超えた。性別では男性（25.7%）と比べて女性（30.4%）で割合がやや高い。年齢別では、18～29歳（33.7%）、65～74歳（33.3%）で割合が高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（36.7%）、西蒲区（35.4%）でやや高い。年齢別では30代（40.2%）で最も高く、約4割となった。多くの項目で、「あまりない」「ない」を合わせた割合が、「ある」「ある程度ある」を合わせた割合を上回った。

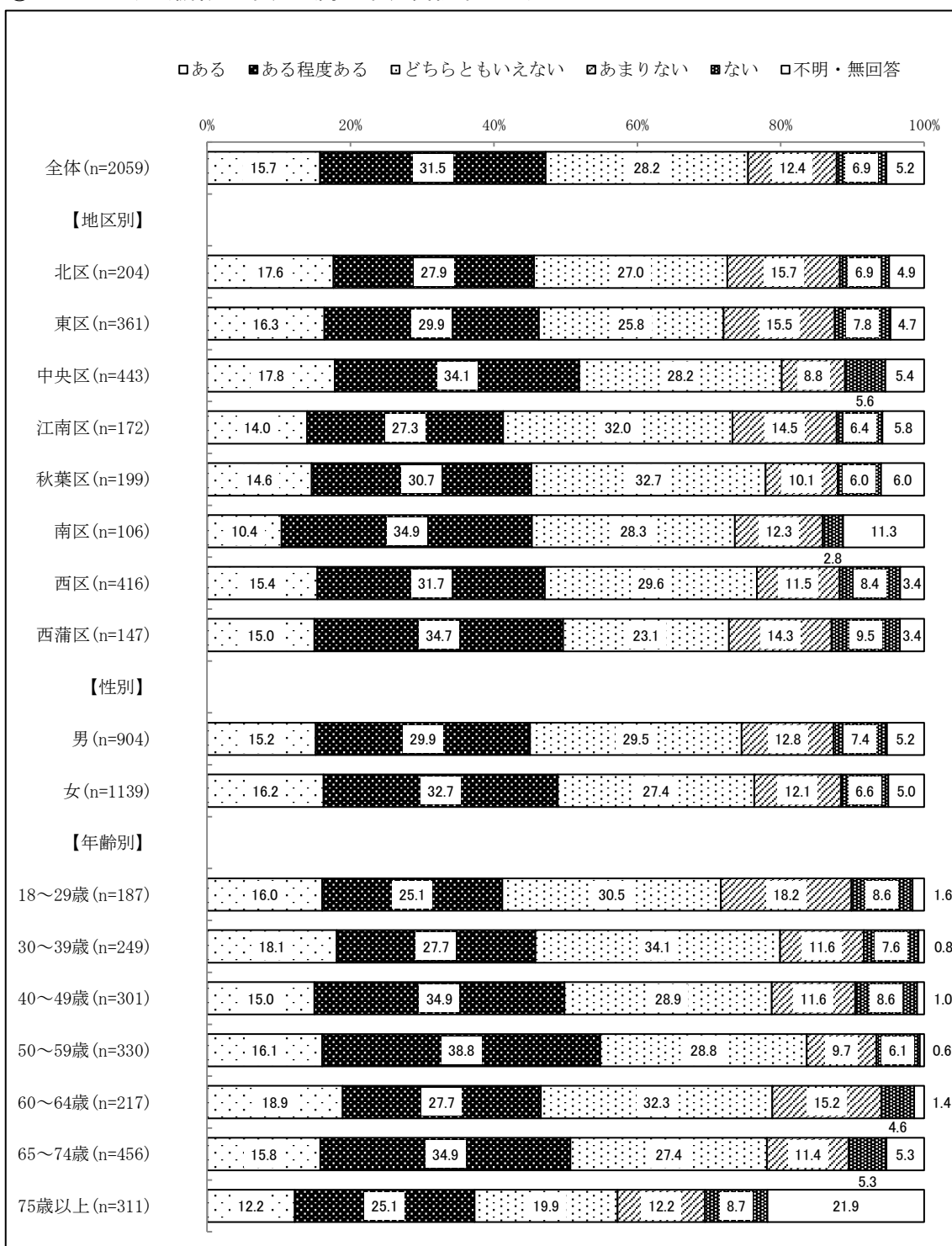
②① 繁華街、街の中心部、特定の商業エリア



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（38.1%）で最も高い。性別では男性（28.1%）と比べて女性（34.4%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳、40代、65～74歳で割合が高く、3割半ばとなった。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（37.4%）で最も高い。年齢別では18～29歳（33.7%）で最も高い。

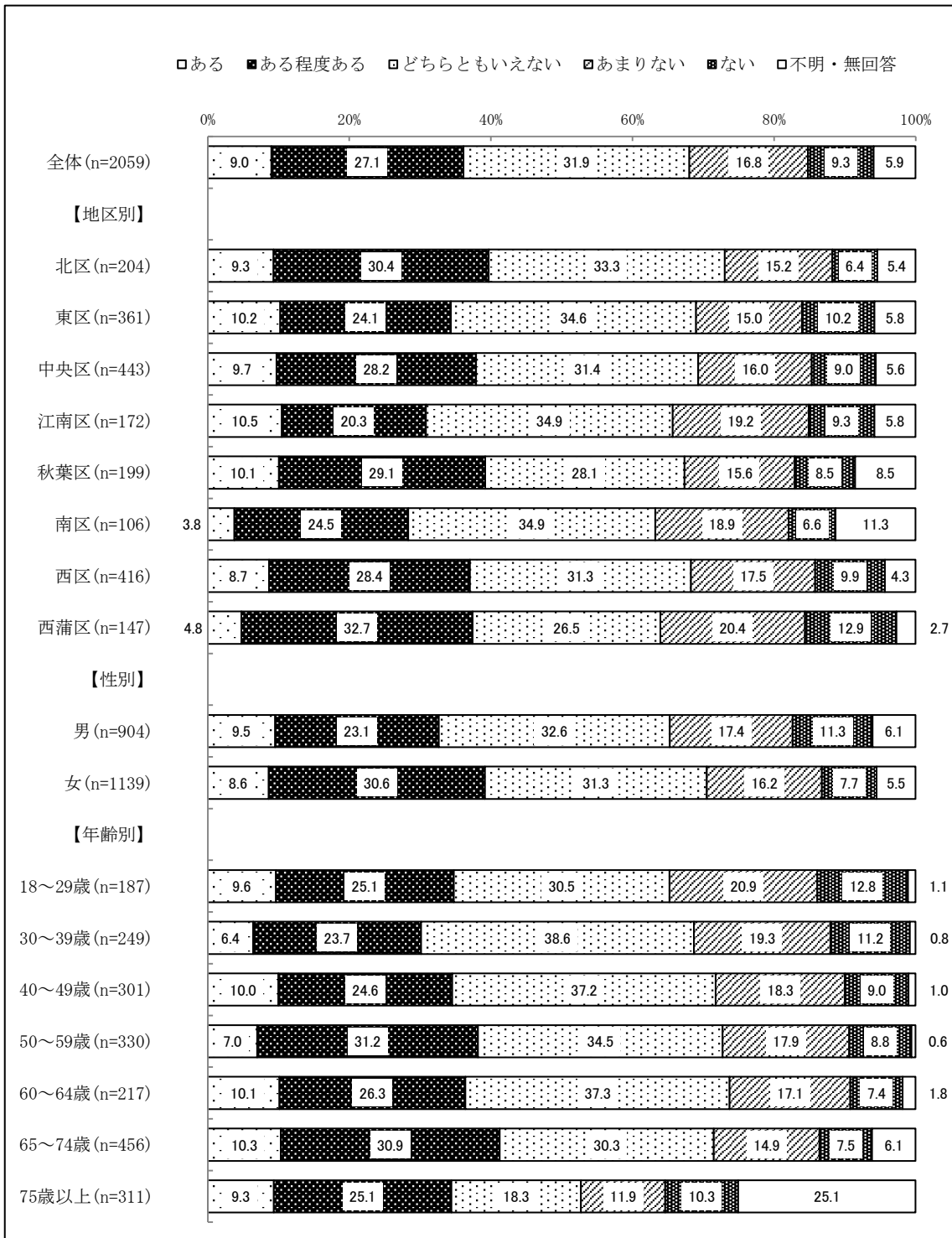
②ものづくり（機械工業、金属工業、製紙業など）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では中央区（51.9%）で最も高い。性別では男性（45.0%）と比べて女性（48.9%）で割合がやや高い。年齢別では、50代（54.8%）で最も高い。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では北区（22.5%）、東区（23.3%）、西蒲区（23.8%）でやや高い。年齢別では18～29歳（26.7%）で最も高い。

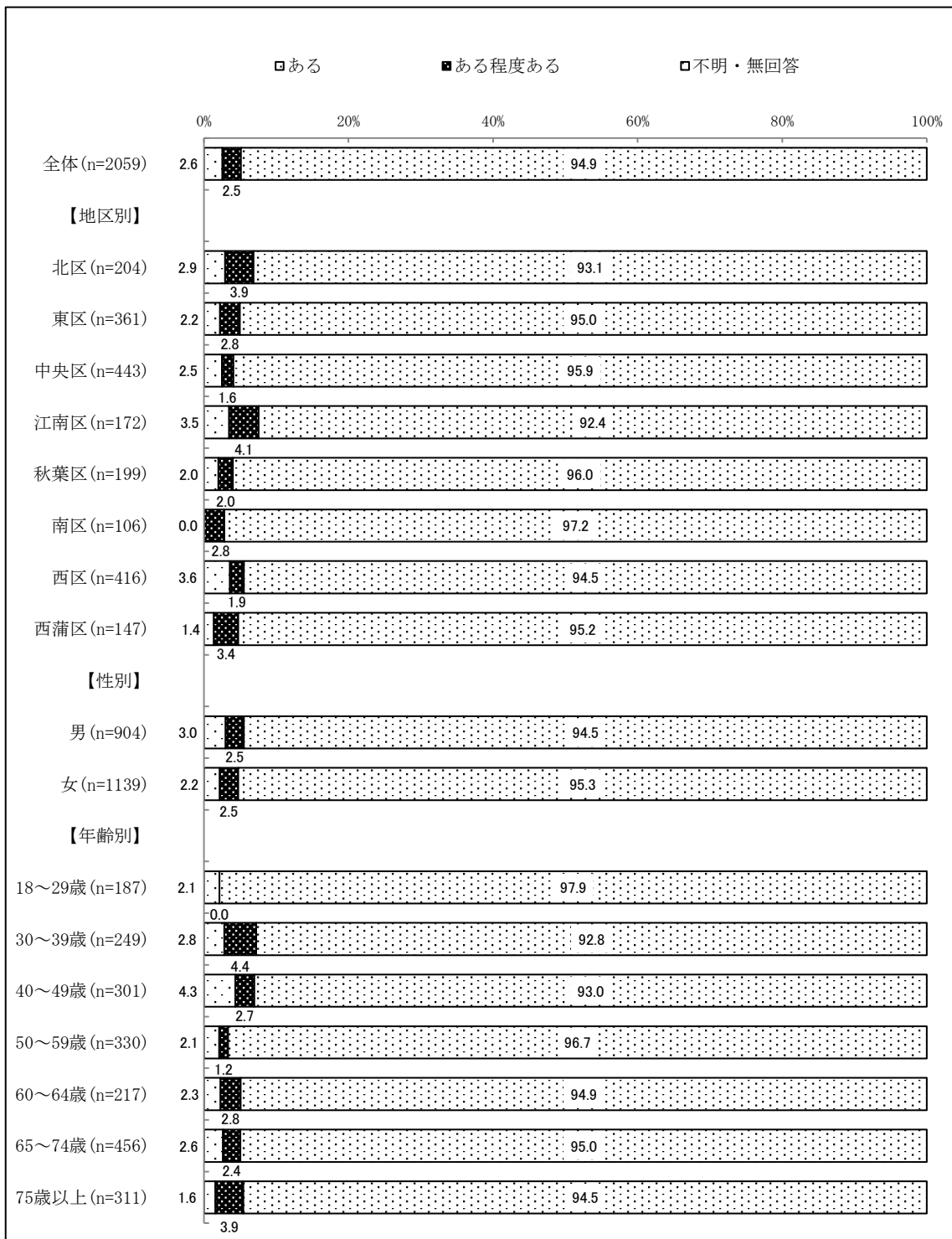
②③著名人（出身問わず、新潟市関係者）



「ある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、地区別では北区（39.7%）で最も高く、南区を除いた地区で3割を超えた。性別では男性（32.6%）と比べて女性（39.2%）で割合が高い。年齢別では、65～74歳（41.2%）で最も高く、4割を超えた。

「あまりない」と「ない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（33.3%）、年齢別では18～29歳（33.7%）で最も高い。

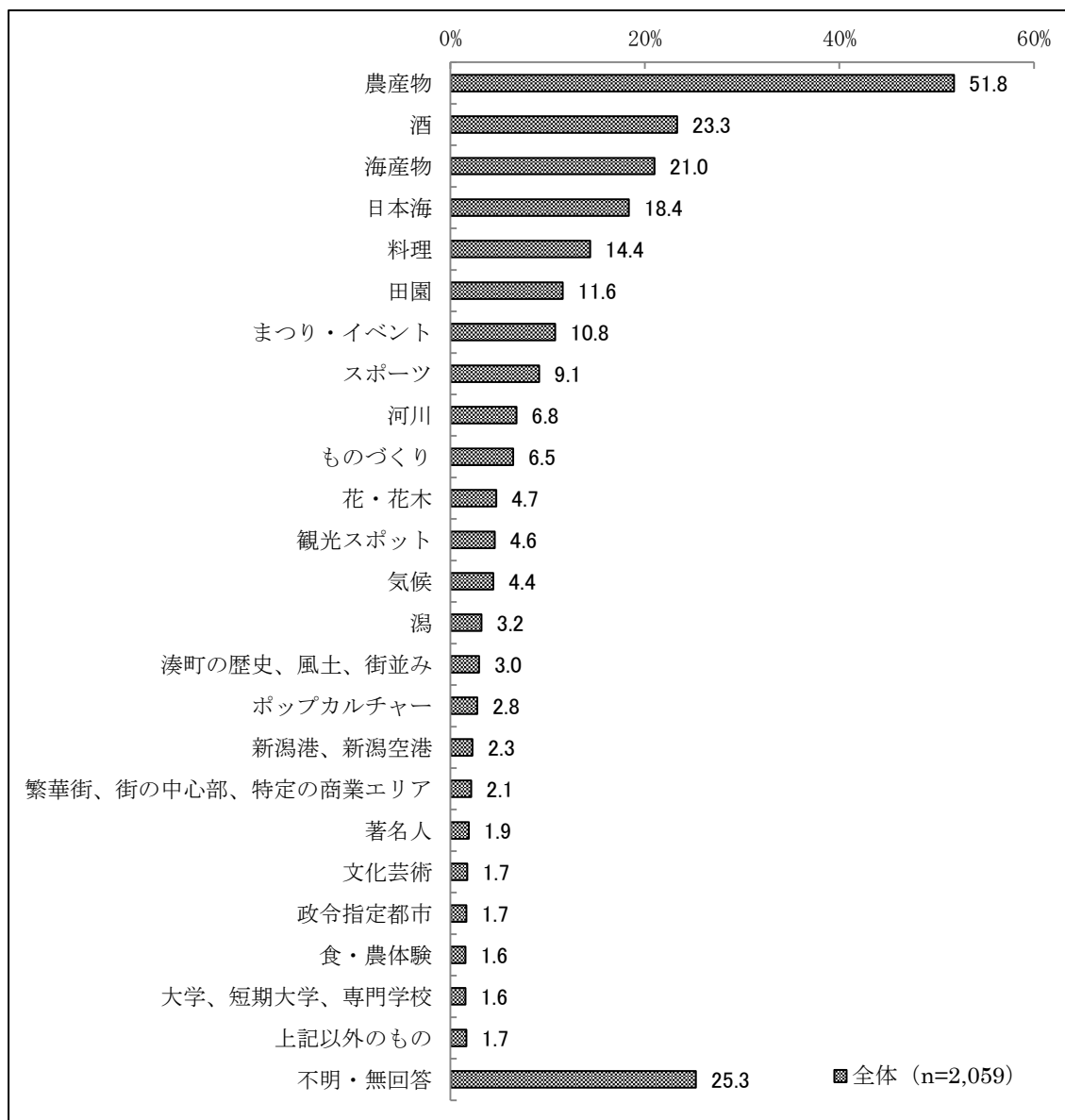
⑭上記以外のもの



図のみの掲載とする。

(2) 特に誇りや愛着を感じているもの

問14-2 上記で、「ある」と回答した項目のうち、特に誇りや愛着を感じているものを上位3つまでお答えください。



— 特に誇りや愛着を感じているものは「農産物」が突出 —

【全体結果】

全体で「農産物」(51.8%)と回答した割合が半数を超え、次いで割合が高い「酒」(23.3%)の倍以上となった。「酒」は、項目別でみた場合に「ある」「ある程度ある」を合わせた割合が5番目に高かったものの、特に誇りや愛着を感じているものでは、2番目に高い割合となった。次いで「海産物」(21.0%)、「日本海」(18.4%)、「料理」(14.4%)の順に続く。

【属性別結果】（図 2-2 参照）

①地区別

全体で最も割合の高かった「農産物」は、東区（47.9%）、南区（45.3%）を除いた地区で 5 割を超えた。「酒」は中央区（27.5%）、西区（26.9%）で、他の地区と比べて割合がやや高い。南区で「まつり・イベント」（20.8%）と答えた割合が、他の地区と比べて突出している。

②性別

「農産物」「海産物」「料理」は、男性（各 45.0%、17.9%、12.1%）と比べて女性（各 57.4%、23.4%、16.3%）で割合が高い。「酒」「スポーツ」は、女性（各 20.9%、7.4%）と比べて男性（各 26.5%、11.4%）で割合が高い。

③年齢別

すべての年齢で、「農産物」と回答した割合が最も高く、60～64 歳（49.8%）、75 歳以上（40.2%）を除いた年齢で 5 割を超えた。「まつり・イベント」「ポップカルチャー」は、他の年齢と比べて 18～29 歳（各 20.9%、11.2%）で割合が高い。

図 2-2 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別）

1/4

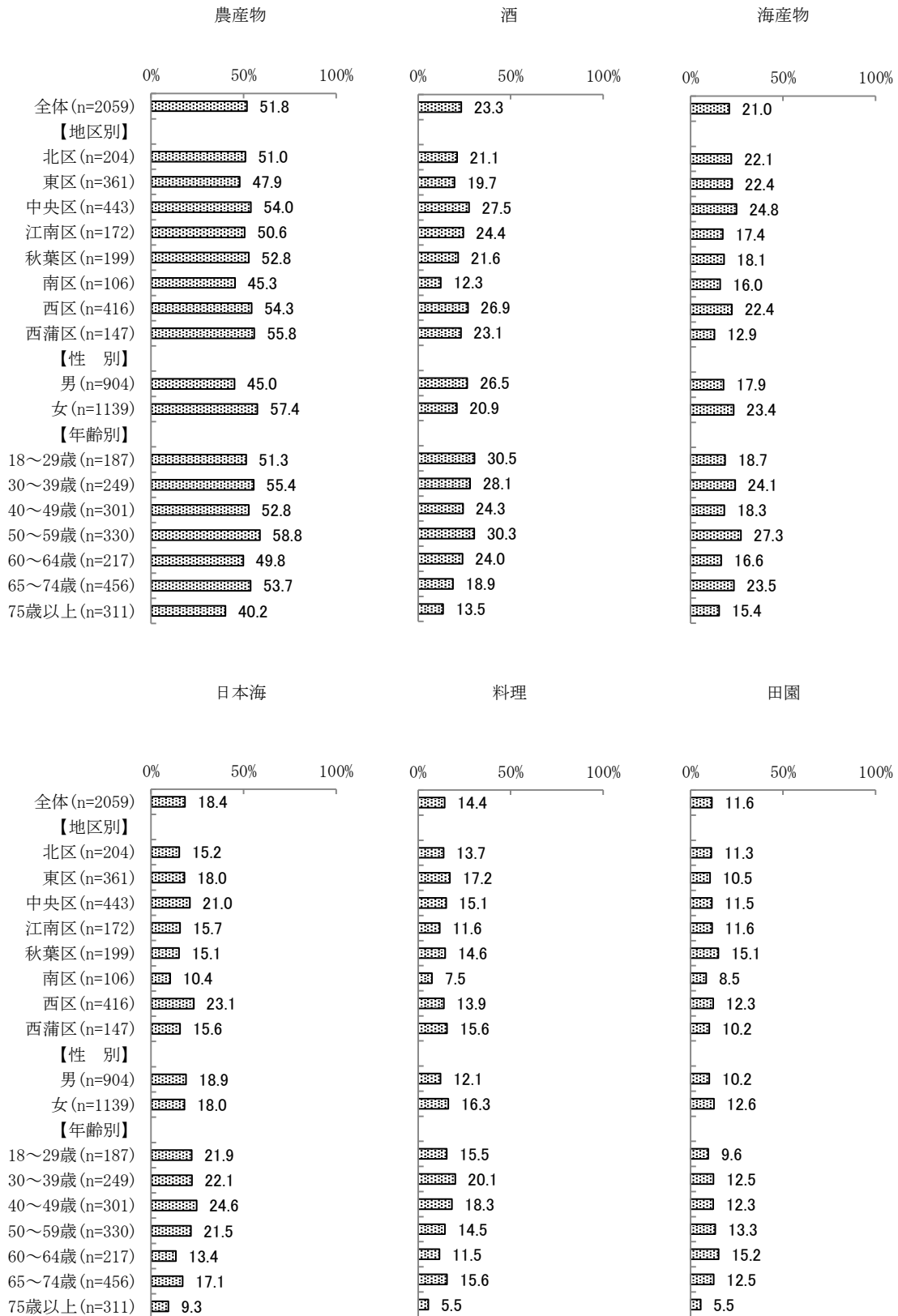


図 2-2 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 2/4

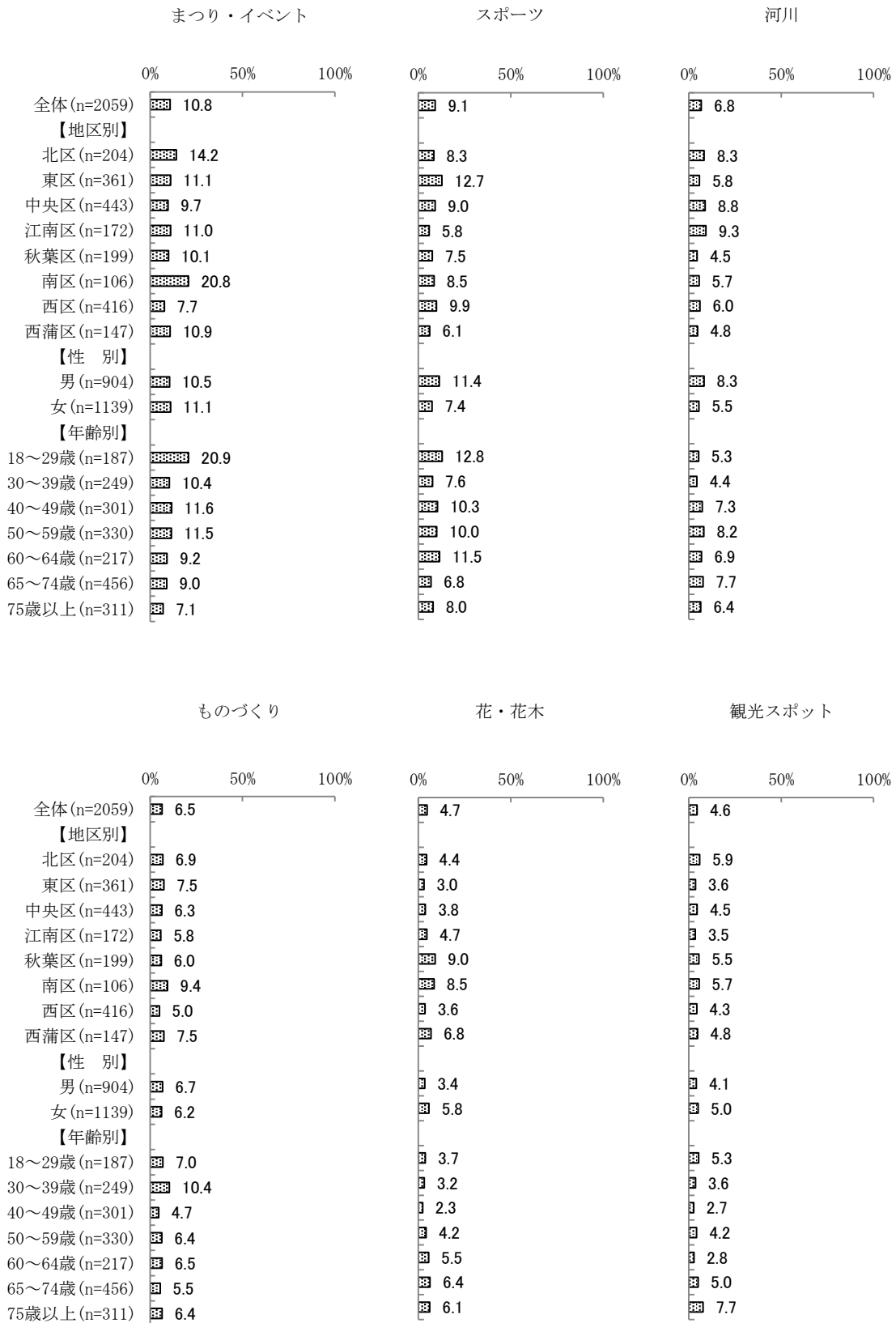


図 2-2 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 3/4

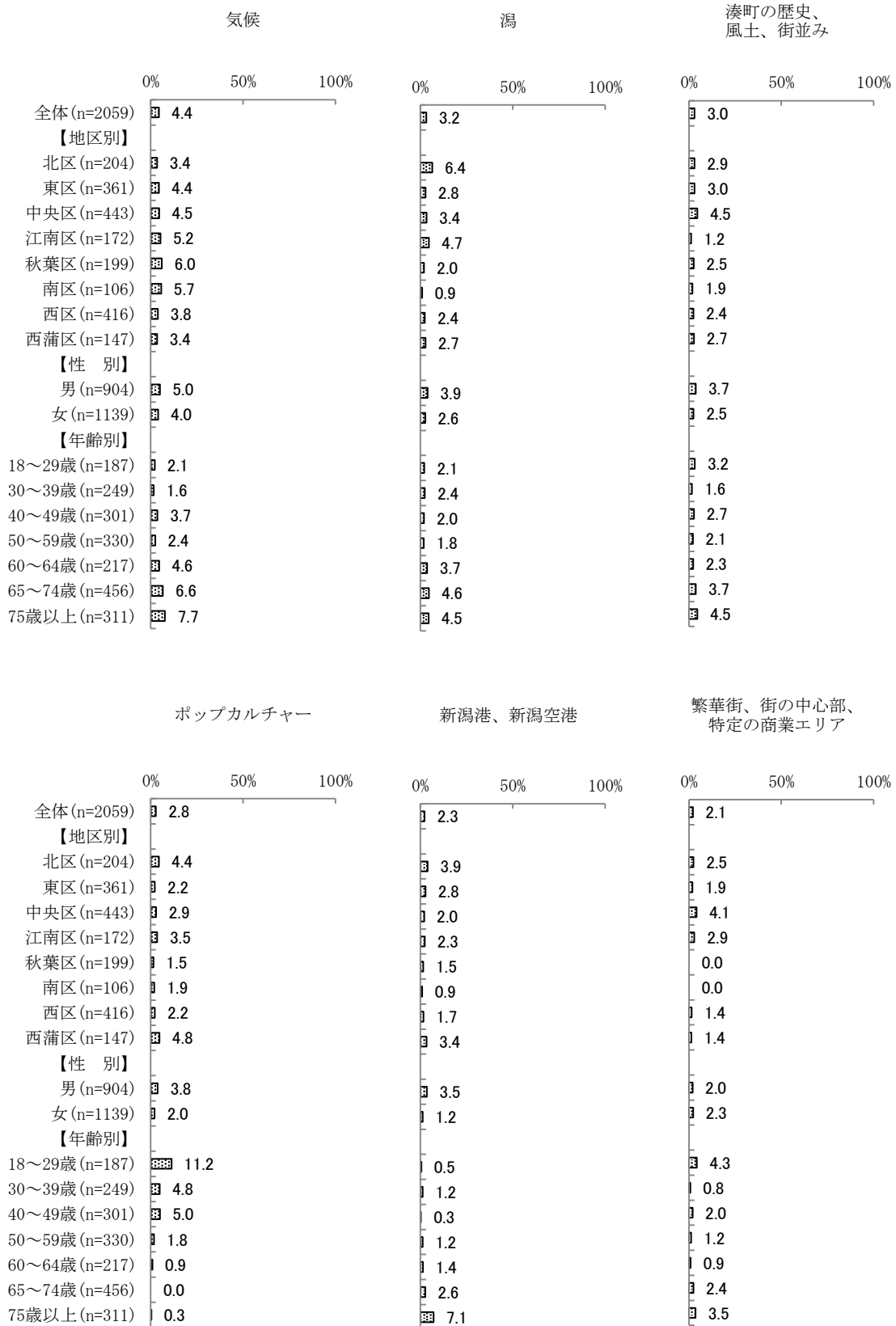
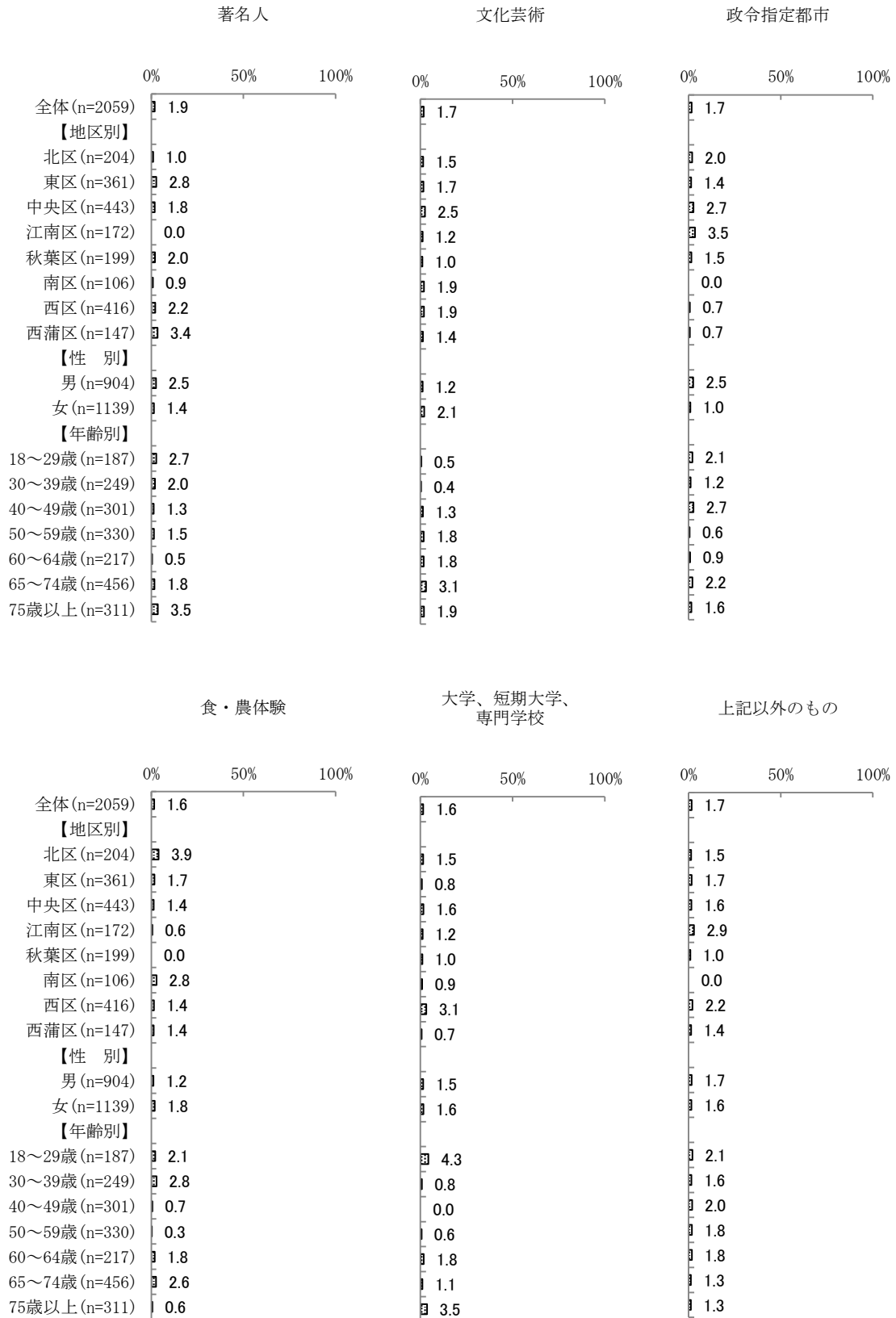


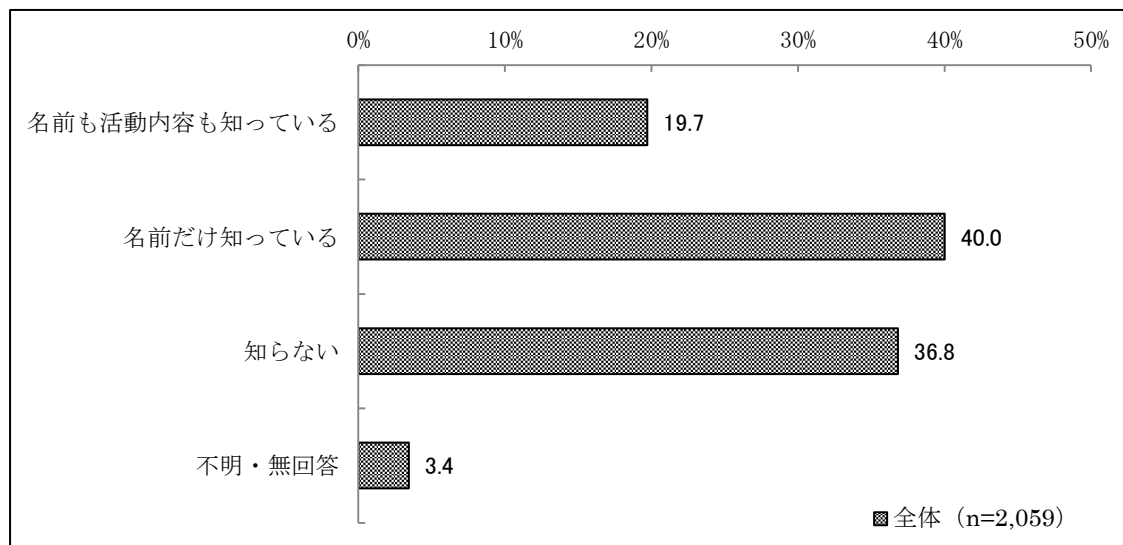
図 2-2 特に誇りや愛着を感じているもの（地区別/性別/年齢別） 4/4



3. 新潟市のコミュニティについて

(1) 地域コミュニティ協議会の認知度

問15 あなたは地域コミュニティ協議会について知っていますか。
(○は1つだけ)



— 約6割が地域コミュニティ協議会を『知っている』 —

【全体結果】

地域コミュニティ協議会の認知度について、「名前も活動内容も知っている」(19.7%)で約2割、「名前だけ知っている」(40.0%)で約4割。「名前も活動内容も知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『知っている』は、約6割となった。「知らない」(36.8%)は3割を超えた。

【属性別結果】(図3-1参照)

①地区別

『知っている』と答えた割合は、南区(67.0%)で最も高く、中央区(54.9%)で最も低い。東区、秋葉区、南区、西区、西蒲区で6割を超えた。

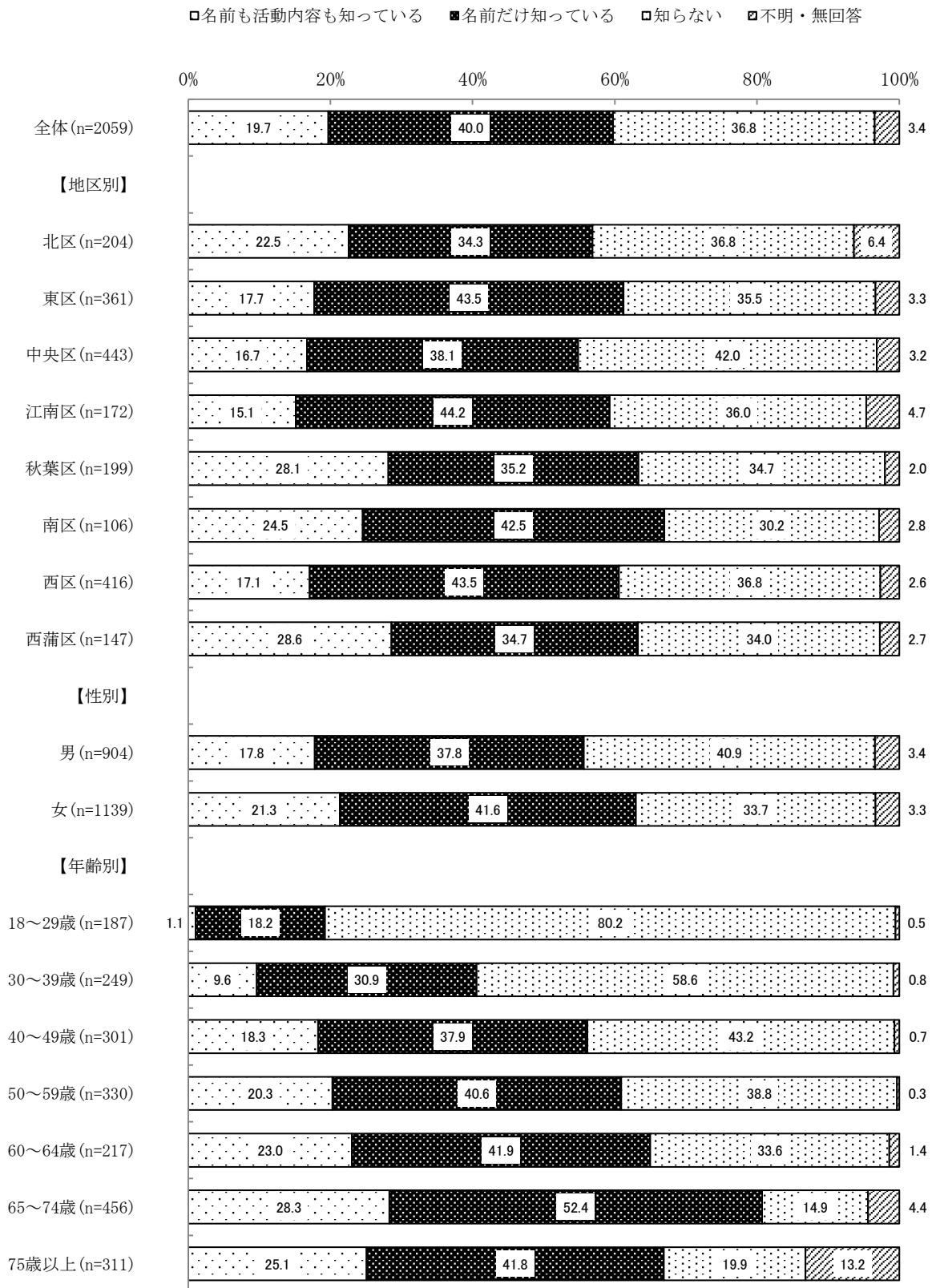
②性別

『知っている』は、男性(55.6%)と比べて女性(62.9%)で割合が高い。

③年齢別

『知っている』の割合は、65～74歳(80.7%)で最も高い。概ね年齢が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。18～29歳では19.3%で、約2割にとどまった。

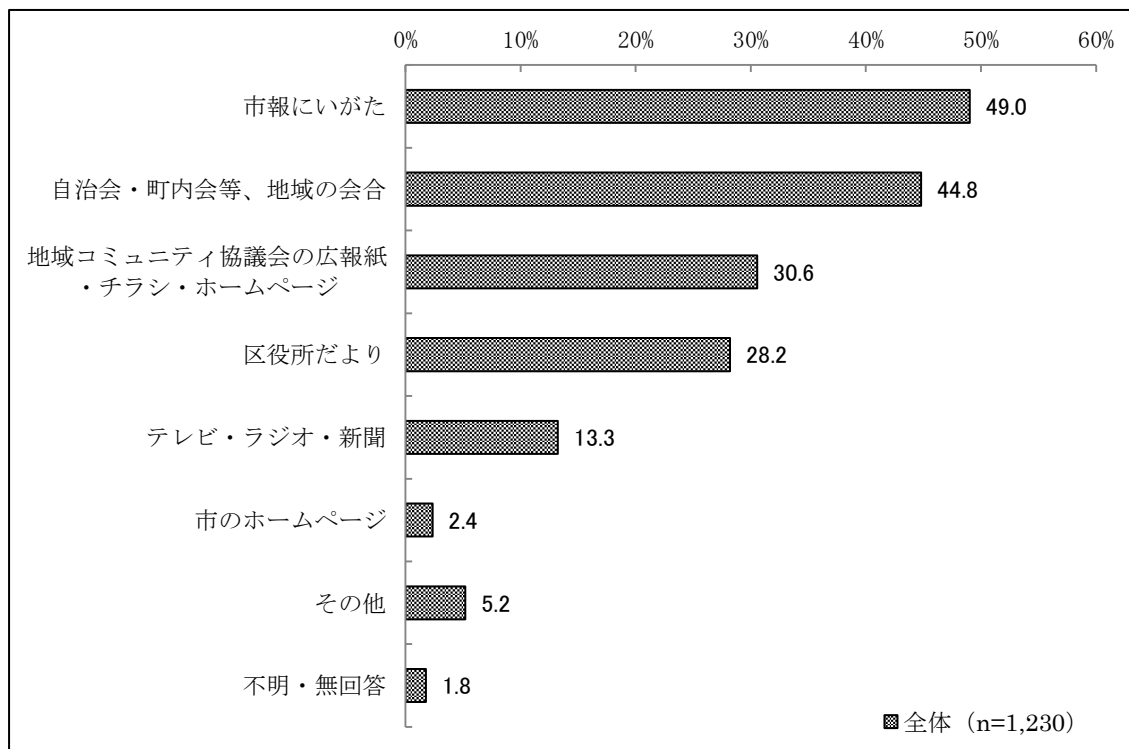
図 3-1 地域コミュニティ協議会の認知度（地区別/性別/年齢別）



(2) 地域コミュニティ協議会についての情報の入手先

(問15で「1」(名前も活動内容も知っている)「2」(名前だけ知っている)と答えた方のみ)

問16 あなたは地域コミュニティ協議会についての情報を何から入手しましたか。
(〇はいくつでも)



— 半数近くが「市報にいがた」と回答 —

【全体結果】

全体では、「市報にいがた」(49.0%)と答えた割合が約5割で、最も高い。次いで「自治会・町内会等、地域の会合」(44.8%)、「地域コミュニティ協議会の広報誌・チラシ・ホームページ」(30.6%)、「区役所だより」(28.2%)の順に続く。

【属性別結果】(図3-2参照)

①地区別

東区(55.7%)、中央区(52.3%)、西区(55.2%)で、「市報にいがた」と答えた割合が5割を超えた。北区、南区では、「自治会・町内会等、地域の会合」(各56.0%、47.9%)、秋葉区では、「地域コミュニティ協議会の広報誌・チラシ・ホームページ」(46.8%)と答えた割合が最も高い。西蒲区では、「自治会・町内会等、地域の会合」「地域コミュニティ協議会の広報誌・チラシ・ホームページ」(共に37.6%)の両方が最も高い。

②性別

「地域コミュニティ協議会の広報誌・チラシ・ホームページ」では、男性（27.6%）と比べて女性（32.9%）で割合が高い。

③年齢別

40代、60～64歳を除いた年齢で「市報にいがた」と答えた割合が最も高い。40代、60～64歳では、「自治会・町内会等、地域の会合」（各42.0%、51.1%）と答えた割合が最も高い。18～29歳で「テレビ・ラジオ・新聞」（30.6%）と答えた割合が、他の年代と比べて高い。

図 3-2 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 1/2

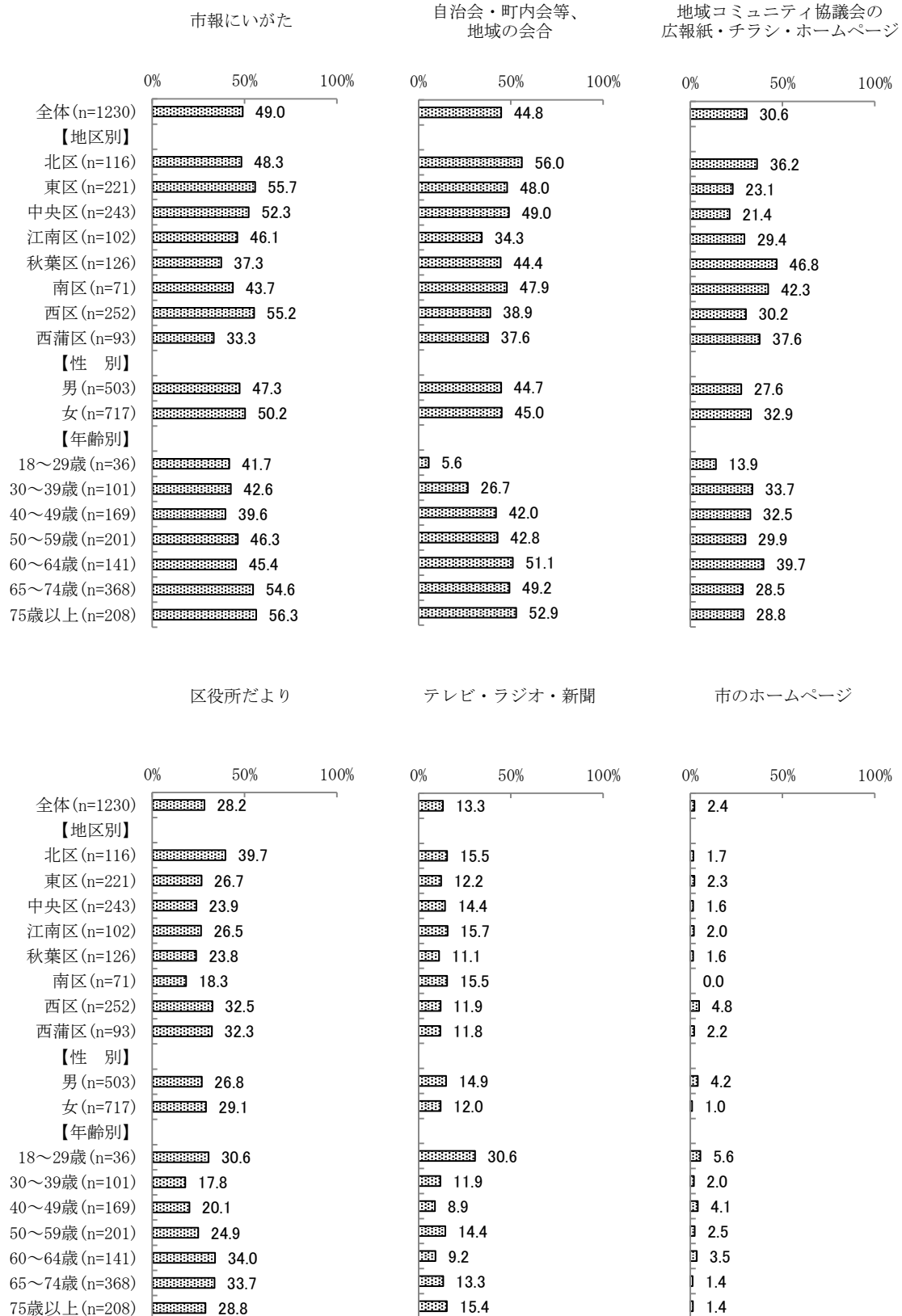
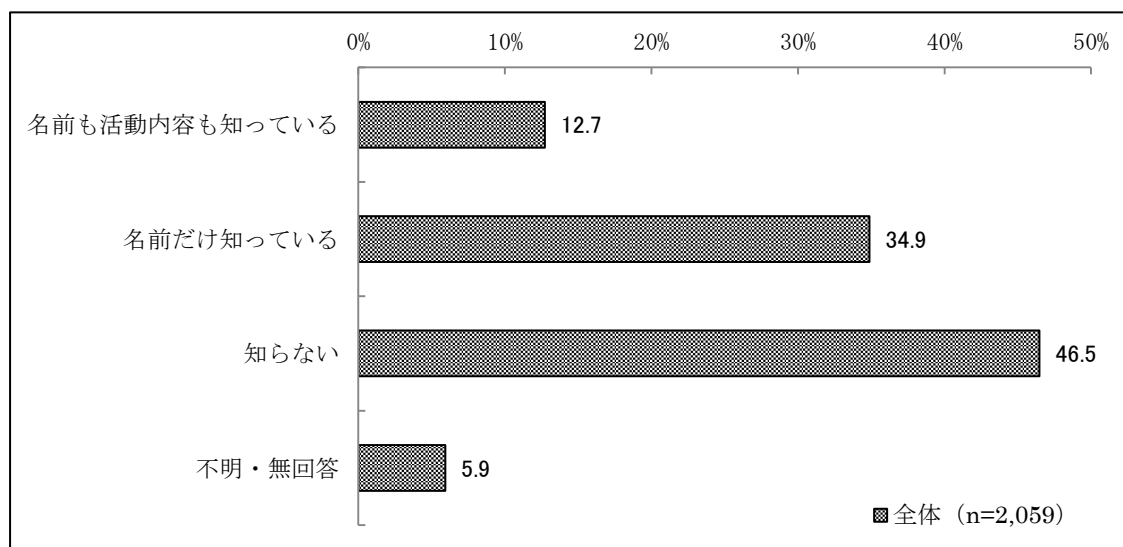


図 3-2 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 2/2



(3) 区自治協議会の認知度

問17 あなたは区自治協議会について知っていますか。(○は1つだけ)



— 5割弱が区自治協議会を『知っている』 —

【全体結果】

区自治協議会の認知度について、「名前も活動内容も知っている」が12.7%、「名前だけ知っている」が34.9%。「名前も活動内容も知っている」と「名前だけ知っている」を合わせた『知っている』は、5割弱となった。「知らない」(46.5%)は4割を超えた。

【属性別結果】(図3-1参照)

①地区別

『知っている』と答えた割合は、南区(59.4%)で最も高く、中央区(40.4%)で最も低い。南区、西蒲区で『知っている』が6割弱で、他の地区と比べて割合が高い。

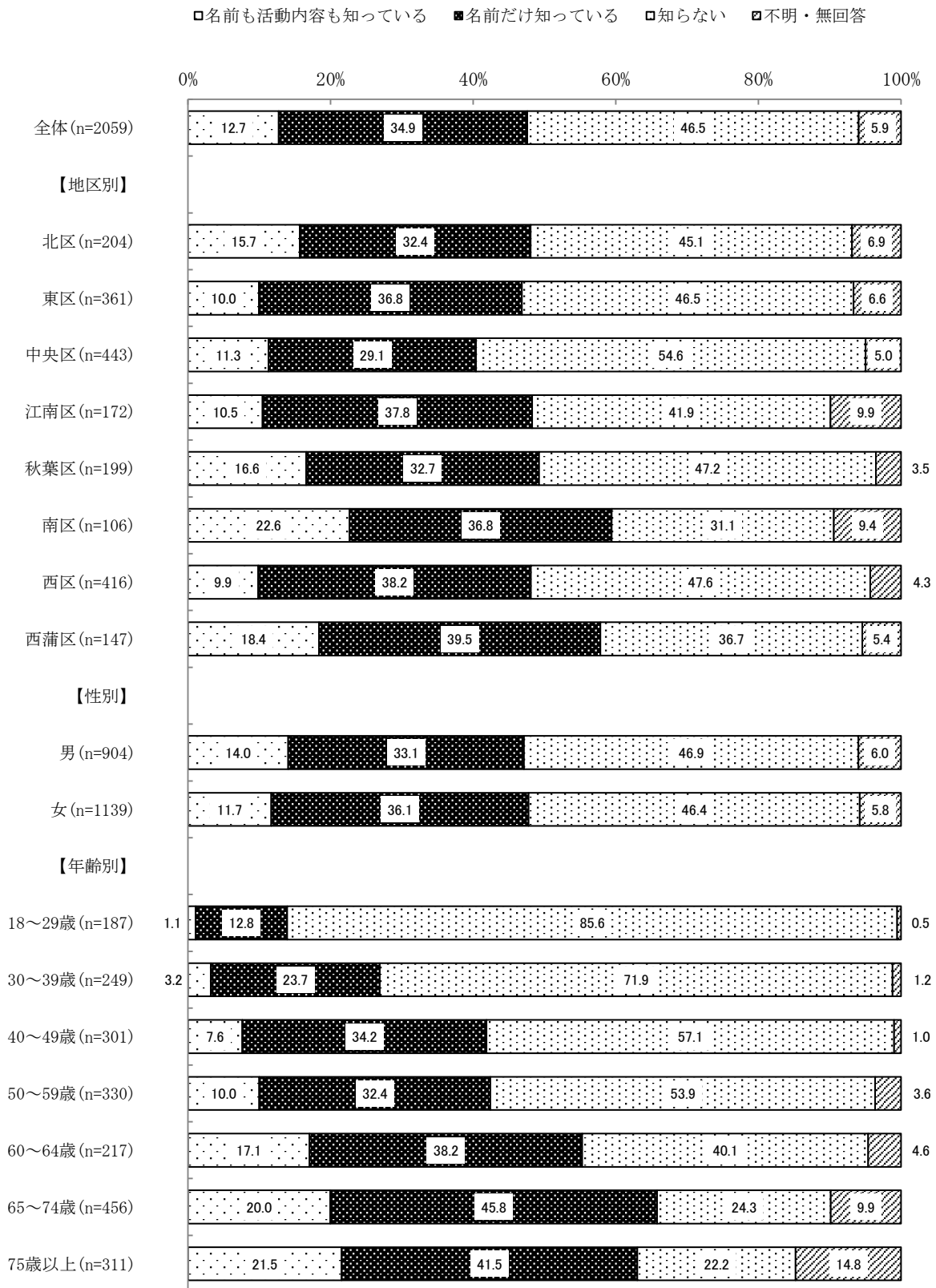
②性別

性別による差は、ほぼみられない。

③年齢別

『知っている』の割合は、65～74歳(65.8%)で最も高い。概ね年齢が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。18～29歳では13.9%で、1割強にとどまった。

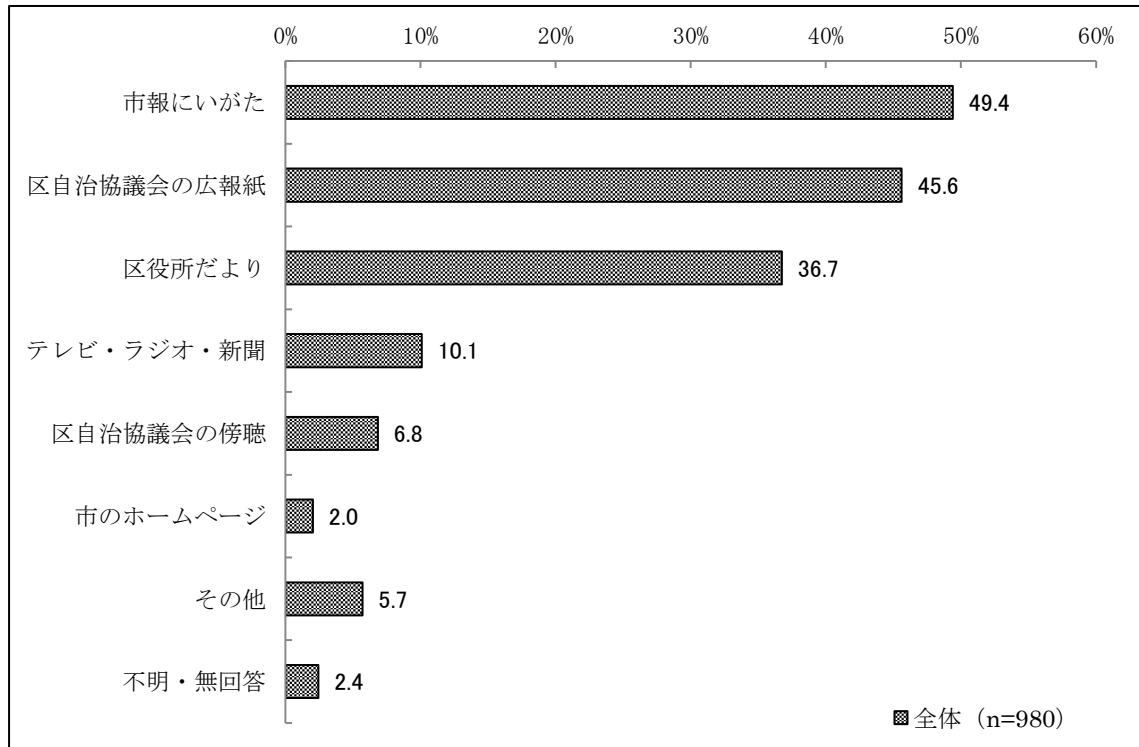
図 3-3 区自治協議会の認知度（地区別/性別/年齢別）



(4) 区自治協議会についての情報の入手先

(問17で「1」(名前も活動内容も知っている)「2」(名前だけ知っている)と答えた方のみ)

問18 あなたは区自治協議会についての情報を何から入手しましたか。
(○はいくつでも)



— 半数近くが「市報にいがた」と回答 —

【全体結果】

全体では、「市報にいがた」(49.4%)と答えた割合が約5割で、最も高い。次いで「区自治協議会の広報誌」(45.6%)、「区役所だより」(36.7%)、「テレビ・ラジオ・新聞」(10.1%)の順に続く。

【属性別結果】(図3-4参照)

①地区別

北区、東区、中央区、西区では、「市報にいがた」(各51.0%、52.7%、58.1%、52.5%)と答えた割合が最も高く、江南区、秋葉区、南区、西蒲区では、「区自治協議会の広報誌」(各44.6%、59.2%、57.1%、44.7%)と答えた割合が最も高い。

②性別

「テレビ・ラジオ・新聞」では、女性(7.7%)と比べて男性(13.1%)で割合がやや高い。

③年齢別

40代、50代では、「区自治協議会の広報誌」（各45.2%、47.9%）と答えた割合が最も高く、60～64歳では、「区自治協議会の広報誌」「区役所だより」（共に45.8%）と答えた割合が最も高い。その他の年齢は、「市報にいがた」と答えた割合が最も高い。18～29歳では、「テレビ・ラジオ・新聞」（30.8%）と答えた割合が、他の年代と比べて突出している。

図 3-4 区自治協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 1/2

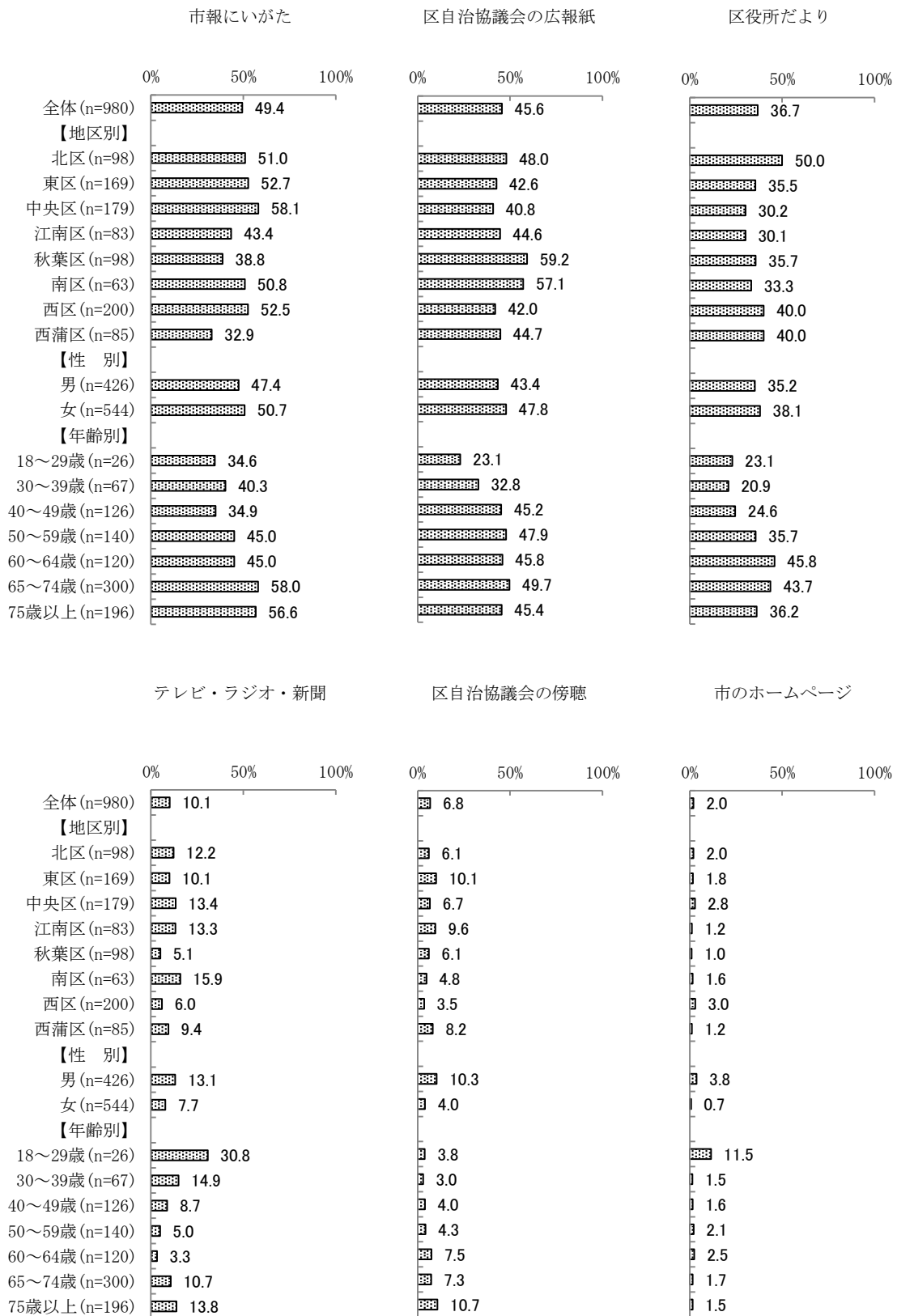


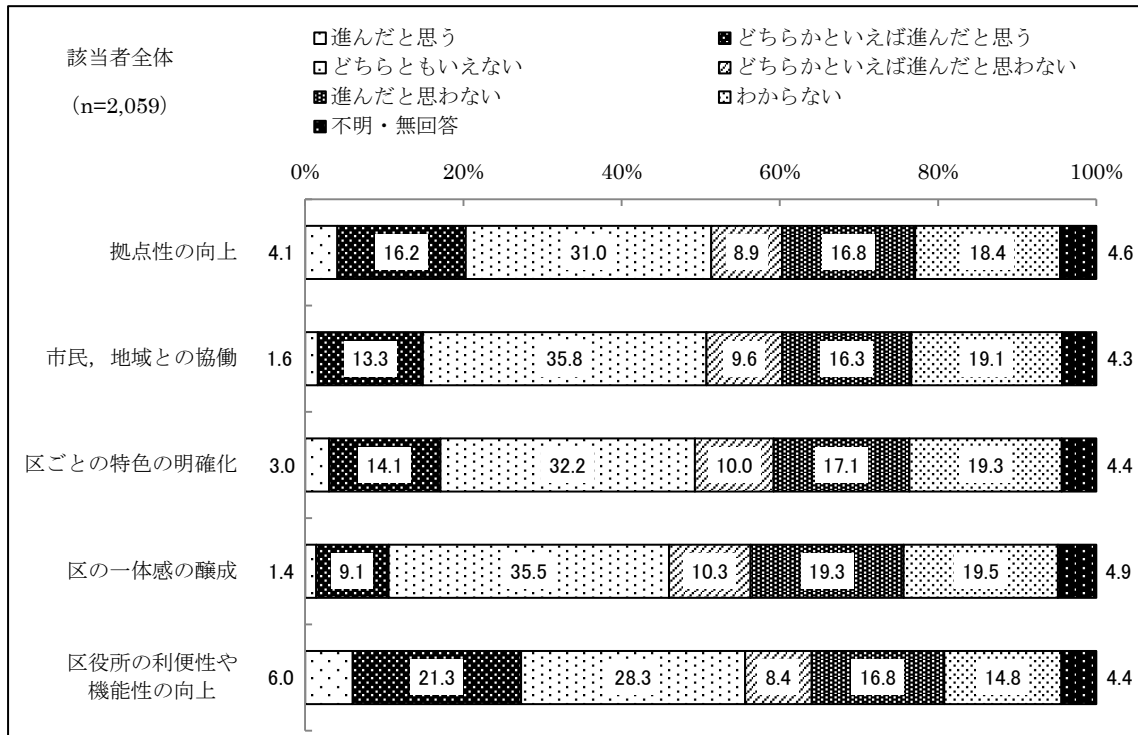
図 3-4 区自治協議会の情報の入手先（地区別/性別/年齢別） 2/2



4. 政令市移行後10年のまちづくりについて

(1) 政令市移行による効果をいかしたまちづくりの進捗度

問19 政令市移行による効果をいかしたまちづくりは進んだと思いますか。
 それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。
 (○は1つだけ)



— 『進んだと思う』は「区役所の利便性や機能性の向上」で最多 —

【全体結果】

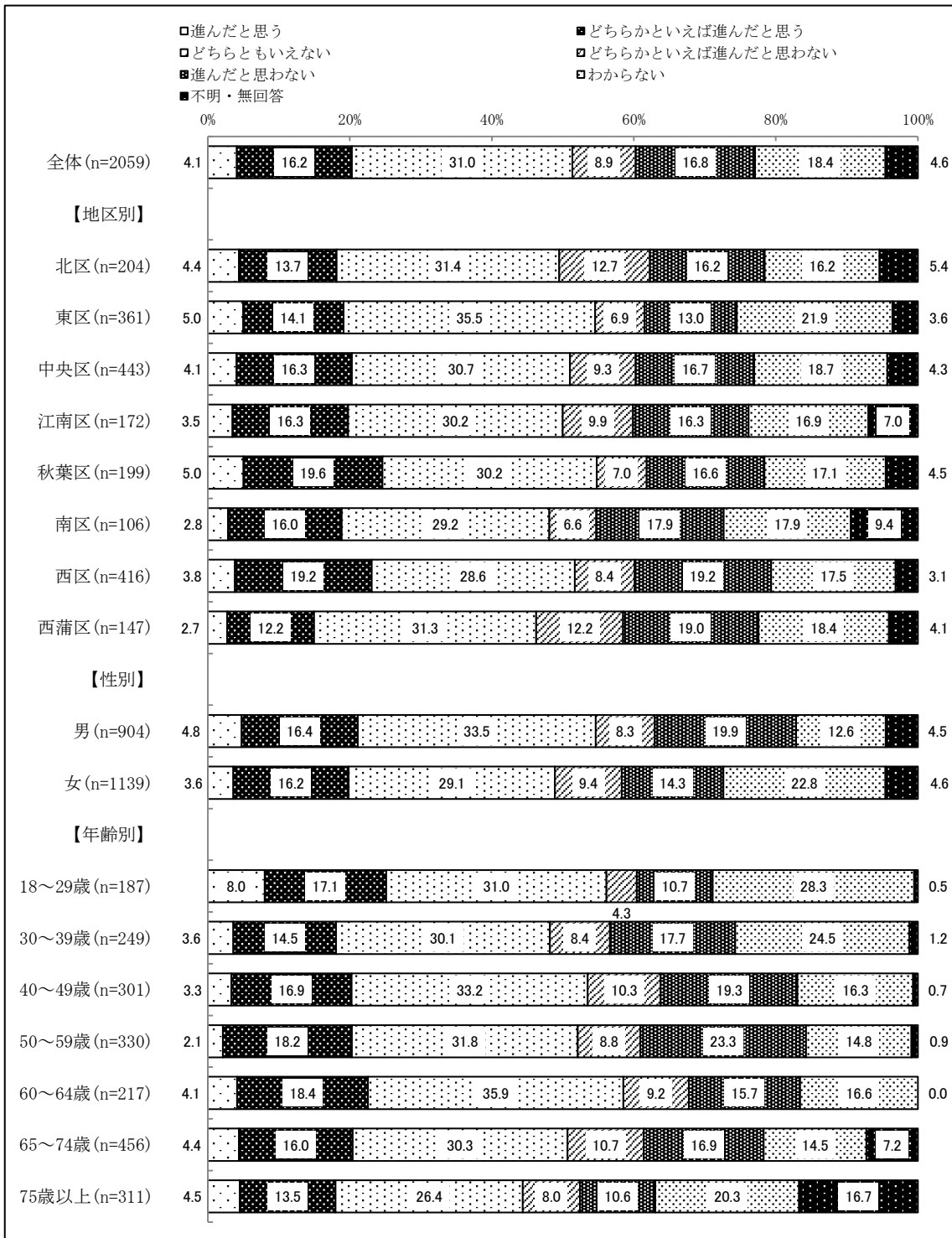
全体で見ると、「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、「区役所の利便性や機能性の向上」(27.3%)で最も高い。次いで、「拠点性の向上」(20.3%)、「区ごとの特色の明確化」(17.1%)、「市民、地域との協働」(14.9%)、「区の一体感の醸成」(10.5%)の順となった。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、「区の一体感の醸成」(29.6%)で最も高い。その他の項目でも、割合が25%以上となり、4人に1人以上が回答していることになる。「区役所の利便性や機能性の向上」を除いた項目で、「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合が、「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合を上回った。

【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

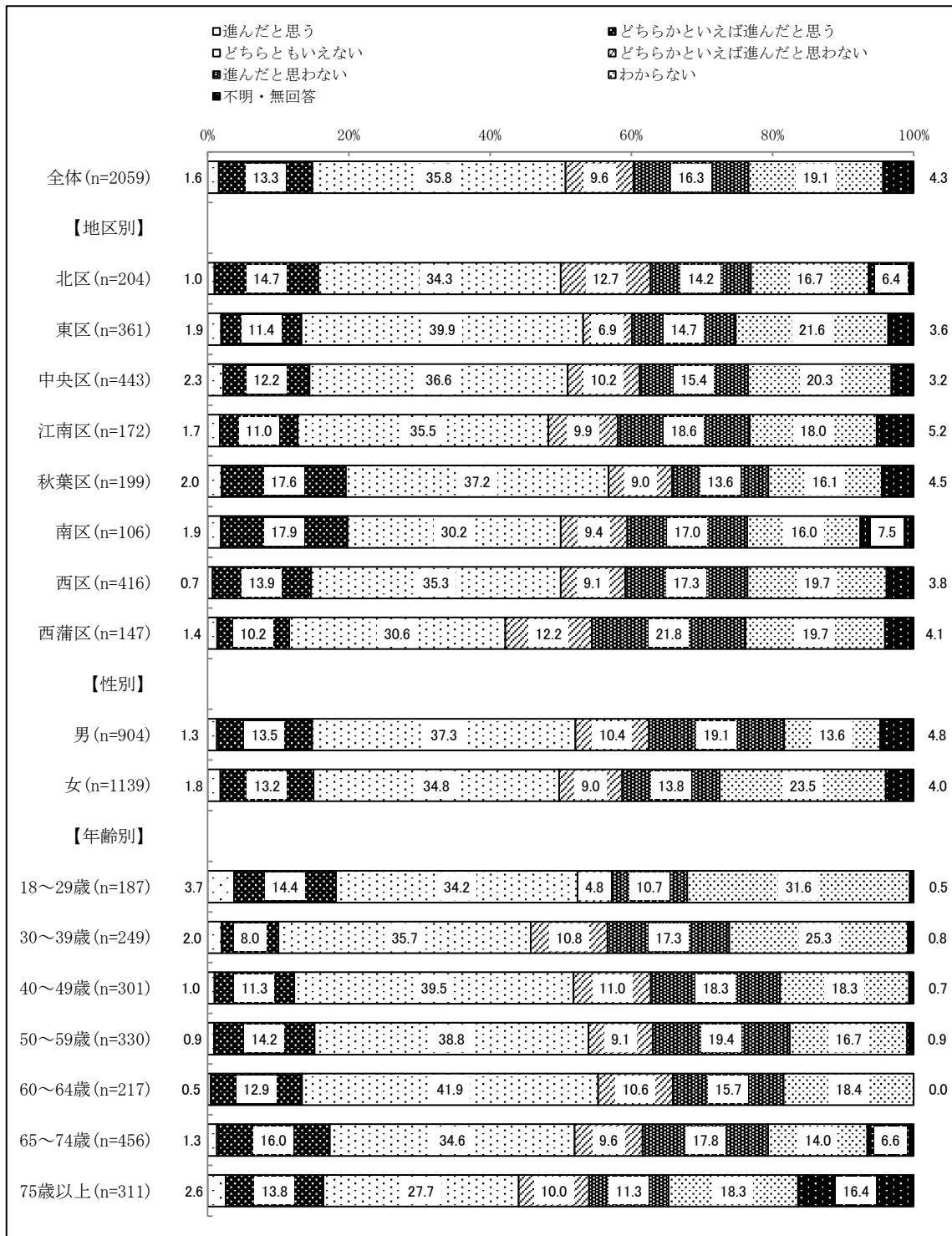
①拠点性の向上



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では秋葉区 (24.6%)、西区 (23.1%) で高い。年齢別では、18～29歳 (25.1%) で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (31.3%) で最も高く、3割を超えた。性別では、女性 (23.7%) と比べて男性 (28.2%) で割合が高い。年齢別では50代 (32.1%) で最も高い。

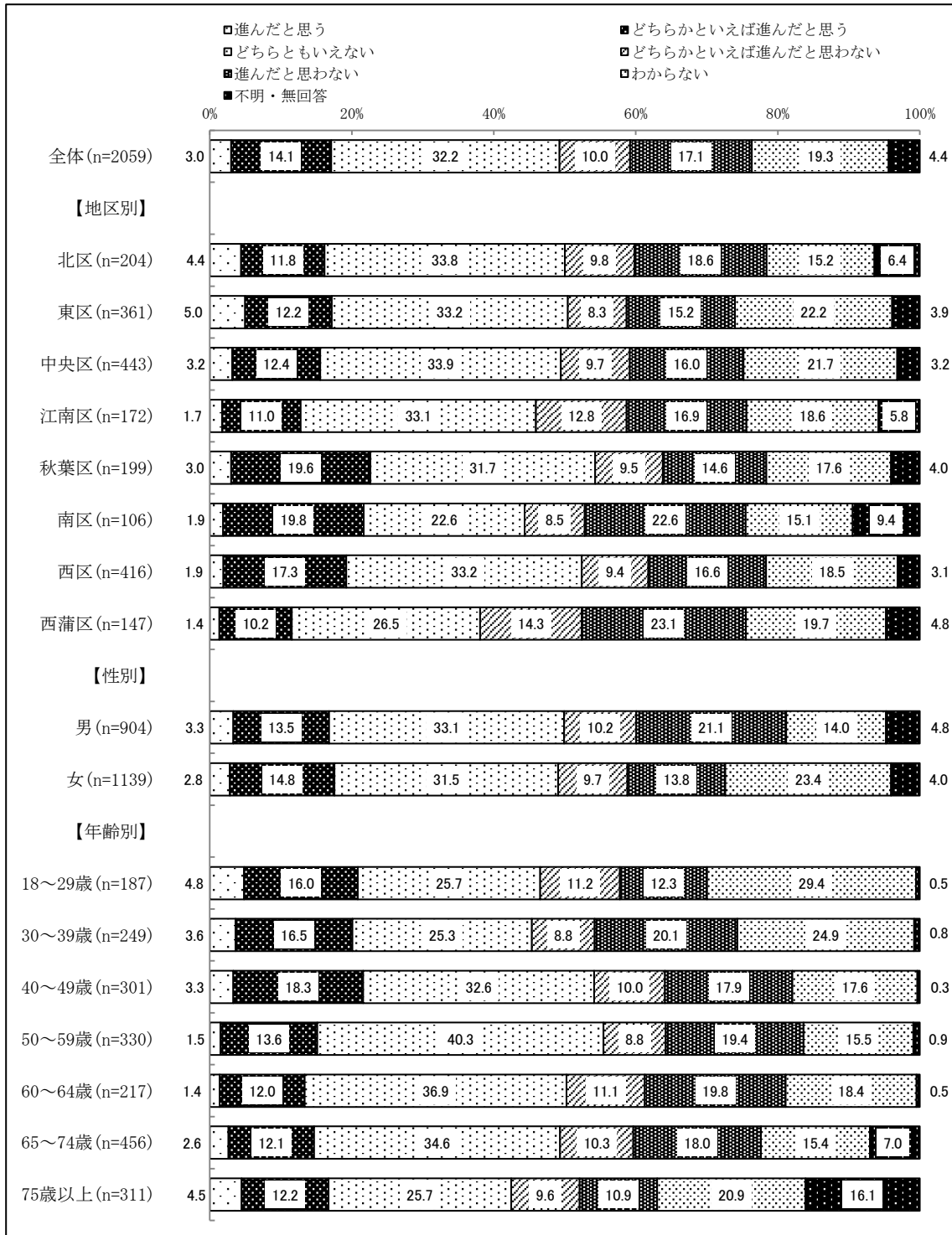
②市民、地域との協働



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（19.6%）、南区（19.8%）で高い。年齢別では、18～29歳（18.2%）で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（34.0%）で最も高く、3割を超えた。性別では、女性（22.7%）と比べて男性（29.5%）で割合が高い。年齢別では40代（29.2%）で最も高い。

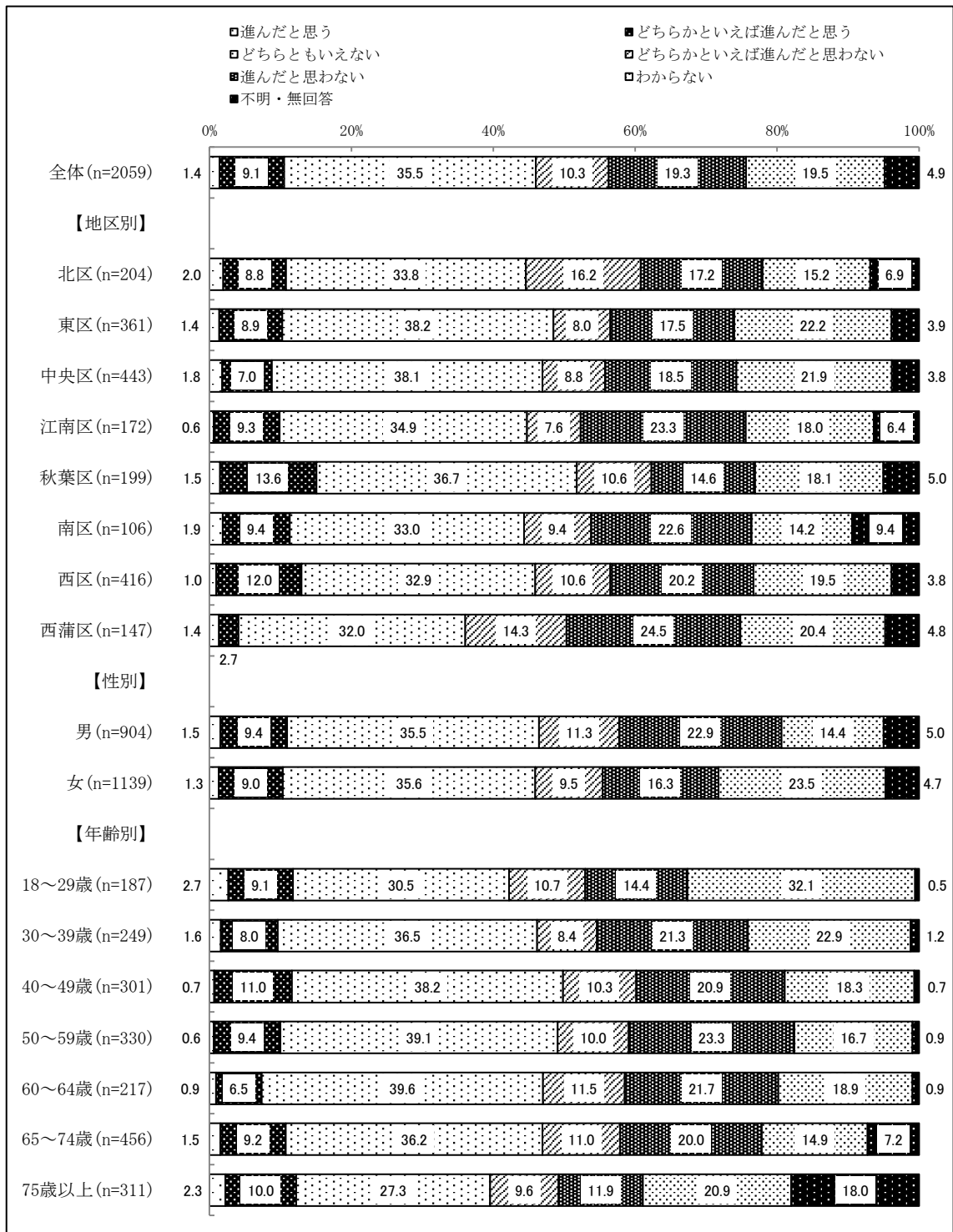
③区ごとの特色の明確化



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では秋葉区 (22.6%)、南区 (21.7%) で高く、2割を超えた。年齢別では、40代 (21.6%) で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (37.4%) で最も高い。性別では、女性 (23.5%) と比べて男性 (31.3%) で割合が高い。年齢別では60～64歳 (30.9%) で最も高い。

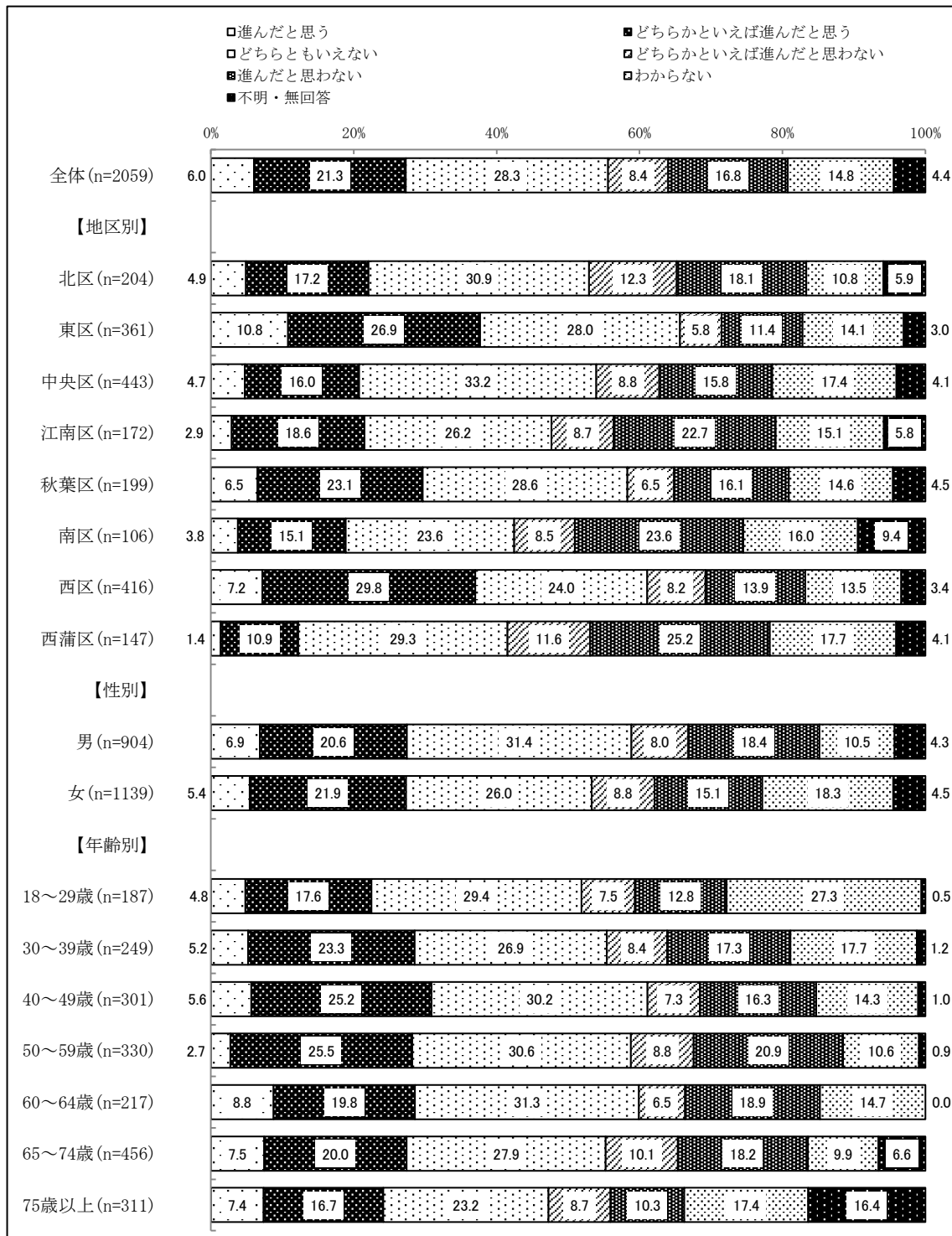
④区の一体感の醸成



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（15.1%）で最も高い。年齢別では、75歳以上（12.2%）で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（38.8%）で最も高い。性別では、女性（25.8%）と比べて男性（34.2%）で割合が高い。年齢別では40～74歳で3割を超えた。

⑤区役所の利便性や機能性の向上

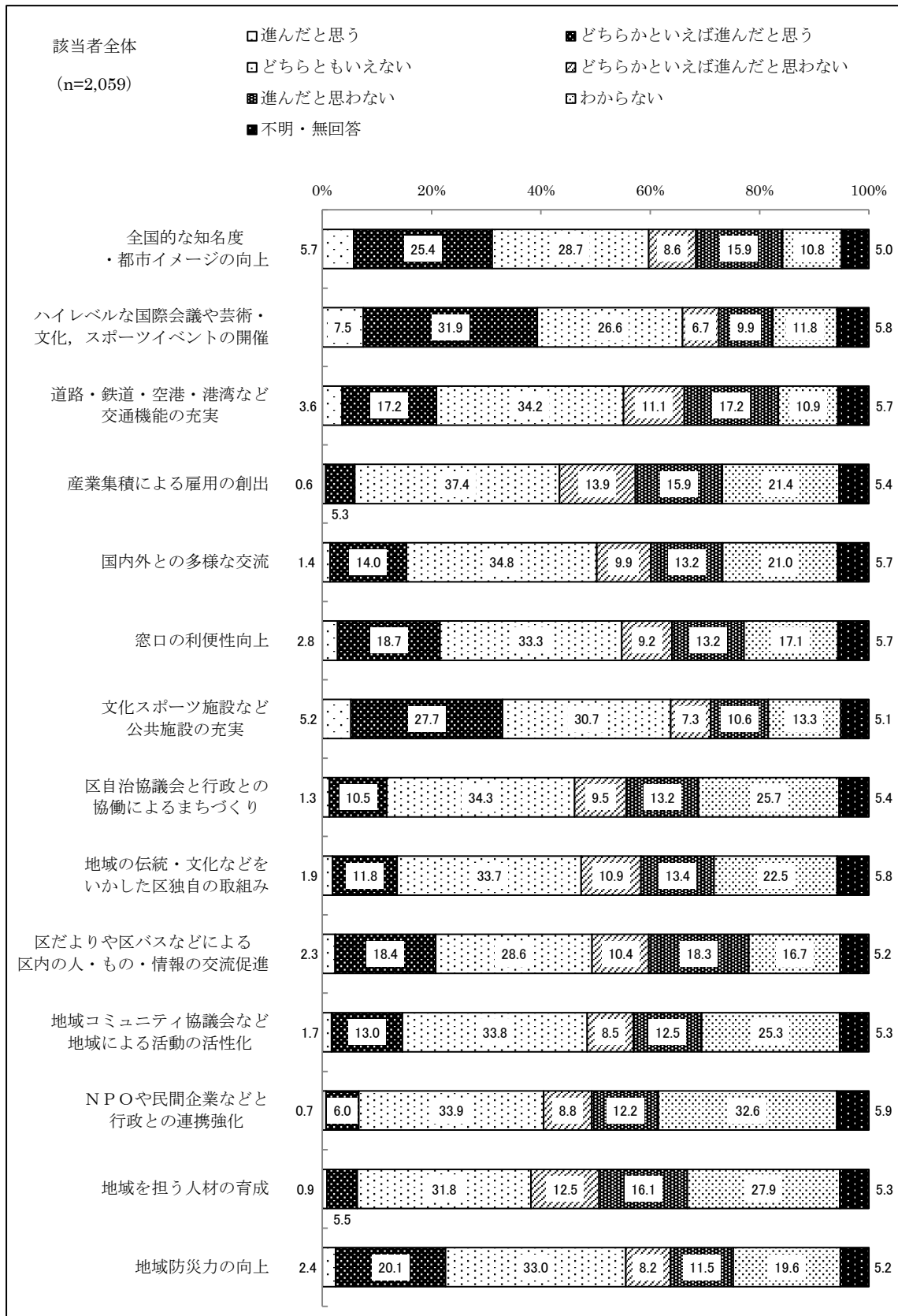


「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では東区 (37.7%)、西区 (37.0%) で高く、3割を超えた。年齢別では、40代 (30.9%) で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (36.7%) で最も高い。年齢別では50代 (29.7%) で最も高い。

(2) 政令市移行による効果をいかした取組みの進捗度

問20 政令市移行による効果をいかした取組みは進んだと思いますか。
 それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。
 (○は1つだけ)



— 「ハイレベルな国際会議や芸術・文化，スポーツイベントの開催」を評価 —

【全体結果】

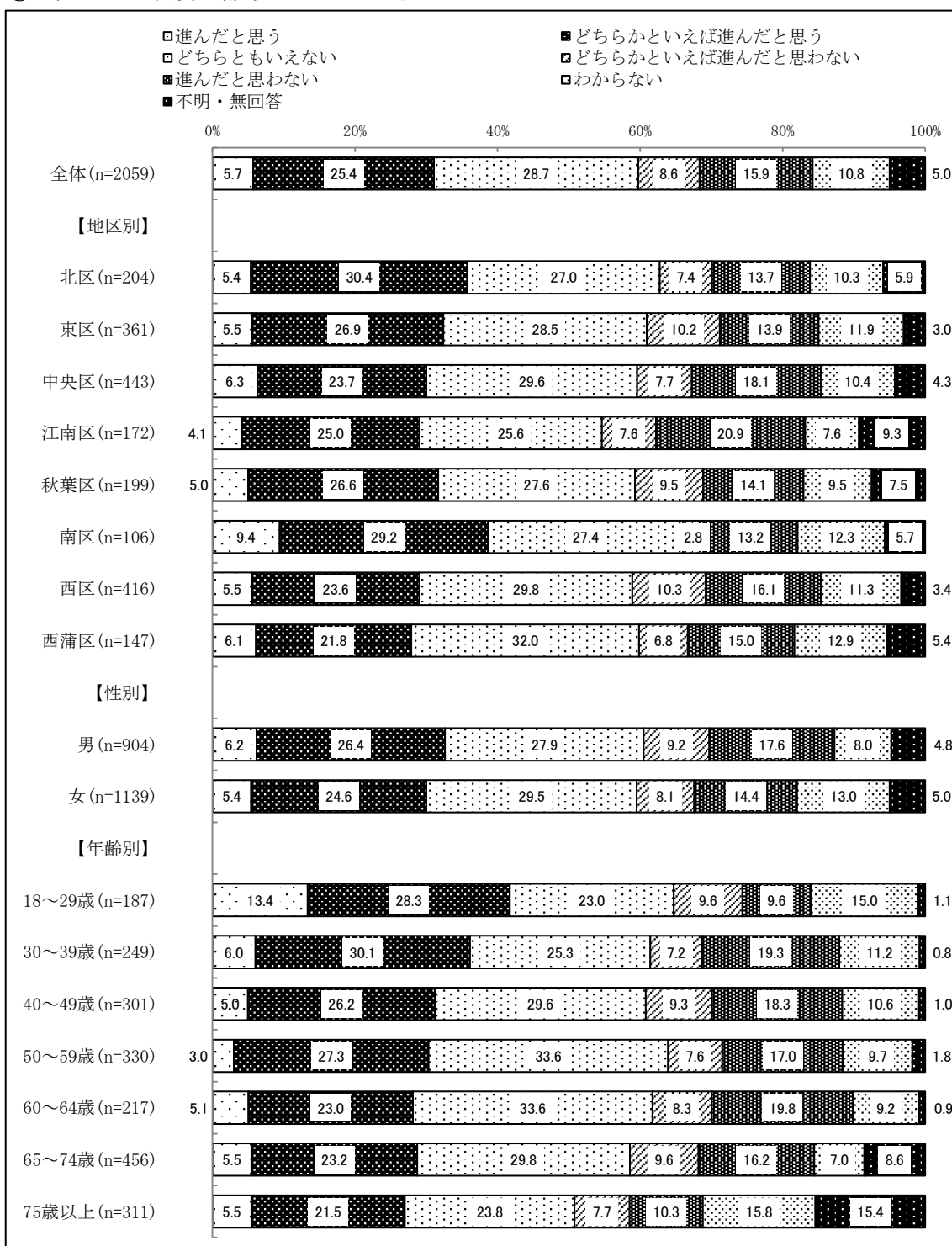
全体で見ると、「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、「ハイレベルな国際会議や芸術・文化，スポーツイベントの開催」(39.3%)で最も高い。次いで、「文化スポーツ施設など公共施設の充実」(33.0%)、「全国的な知名度・都市イメージの向上」(31.1%)、「地域防災力の向上」(22.5%)、「窓口の利便性向上」(21.5%)の順に続く。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、「産業集積による雇用の創出」(29.8%)で最も高い。次いで「区だよりや区バスなどによる区内の人・もの・情報の交流促進」(28.7%)、「地域を担う人材の育成」(28.6%)、「道路・鉄道・空港・港湾など交通機能の充実」(28.3%)、「全国的な知名度・都市イメージの向上」(24.5%)の順に続く。

【属性別結果】

次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

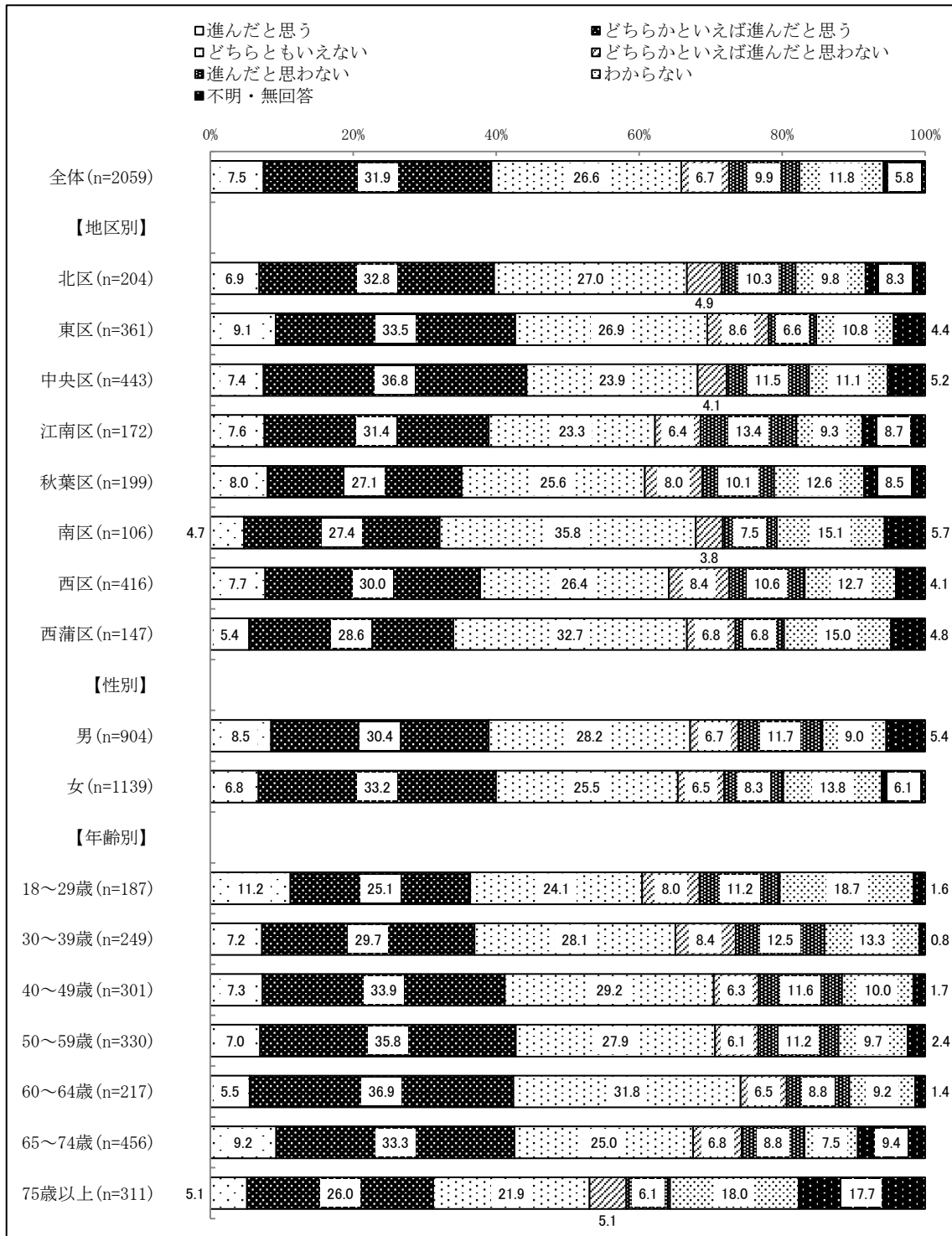
①全国的知名度・都市イメージの向上



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では南区 (38.7%) で最も高い。年齢別では、18～29歳 (41.7%) で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では江南区 (28.5%) で最も高い。性別では、女性 (22.5%) と比べて男性 (26.8%) で割合が高い。年齢別では60～64歳 (28.1%) で最も高い。

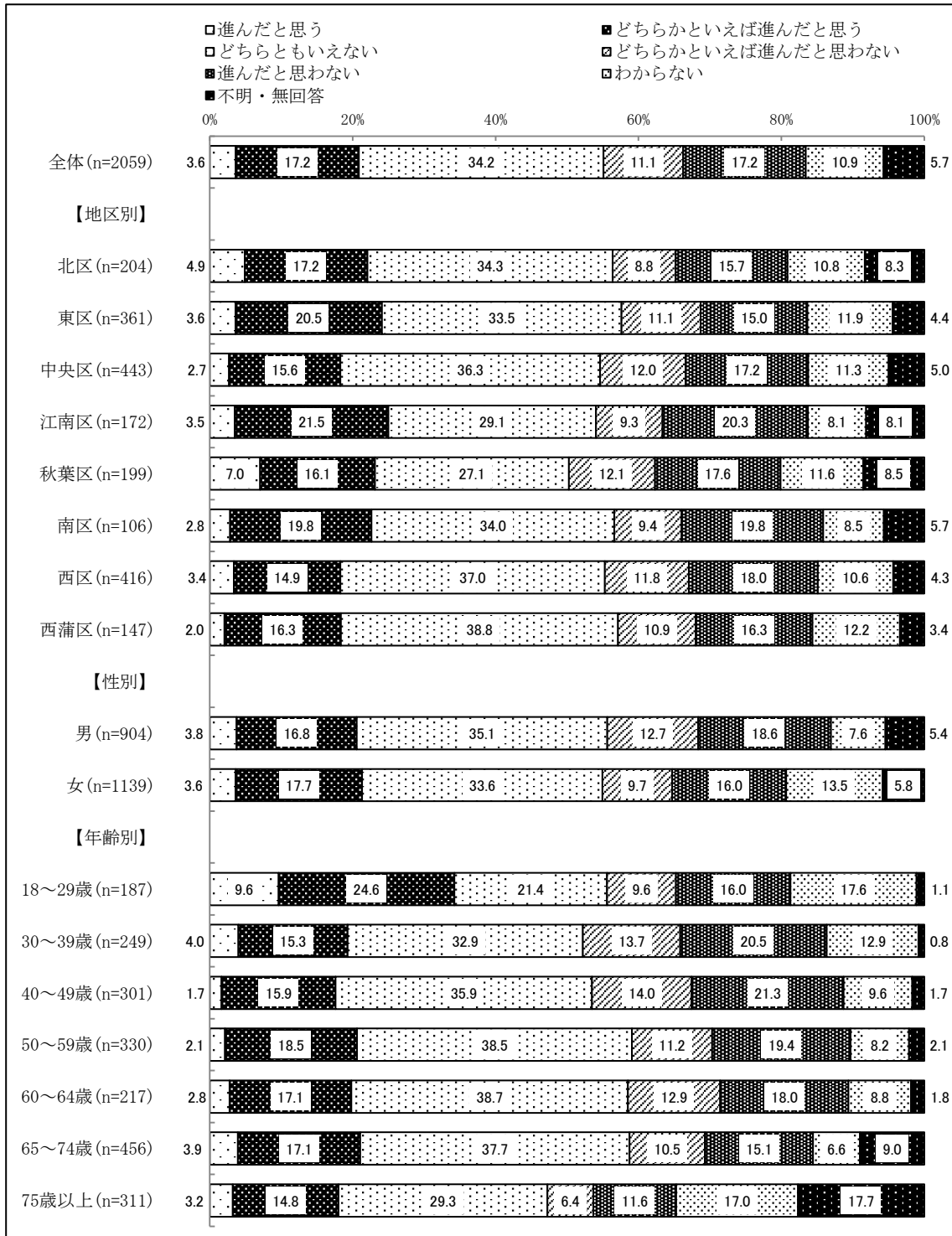
②ハイレベルな国際会議や芸術・文化、スポーツイベントの開催



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では中央区（44.2%）で最も高い。年齢別では、40～74歳で4割を超えた。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では江南区（19.8%）で最も高い。年齢別では30代（20.9%）で最も高い。

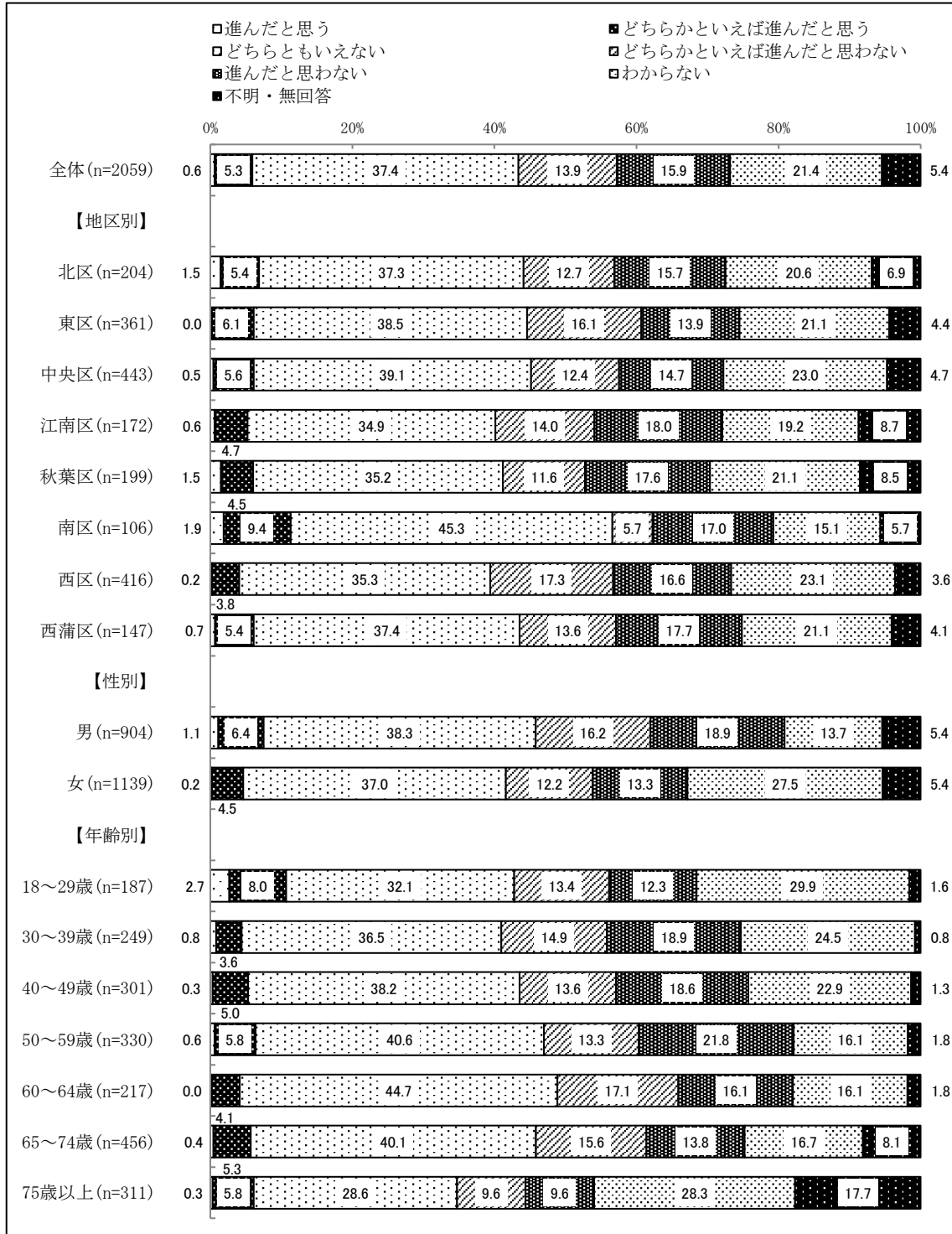
③道路・鉄道・空港・港湾など交通機能の充実



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では江南区（25.0%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（34.2%）で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では中央区、江南区、秋葉区、南区、西区で約3割となった。性別では、女性（25.7%）と比べて男性（31.3%）で割合が高い。年齢別では40代（35.2%）で最も高い。

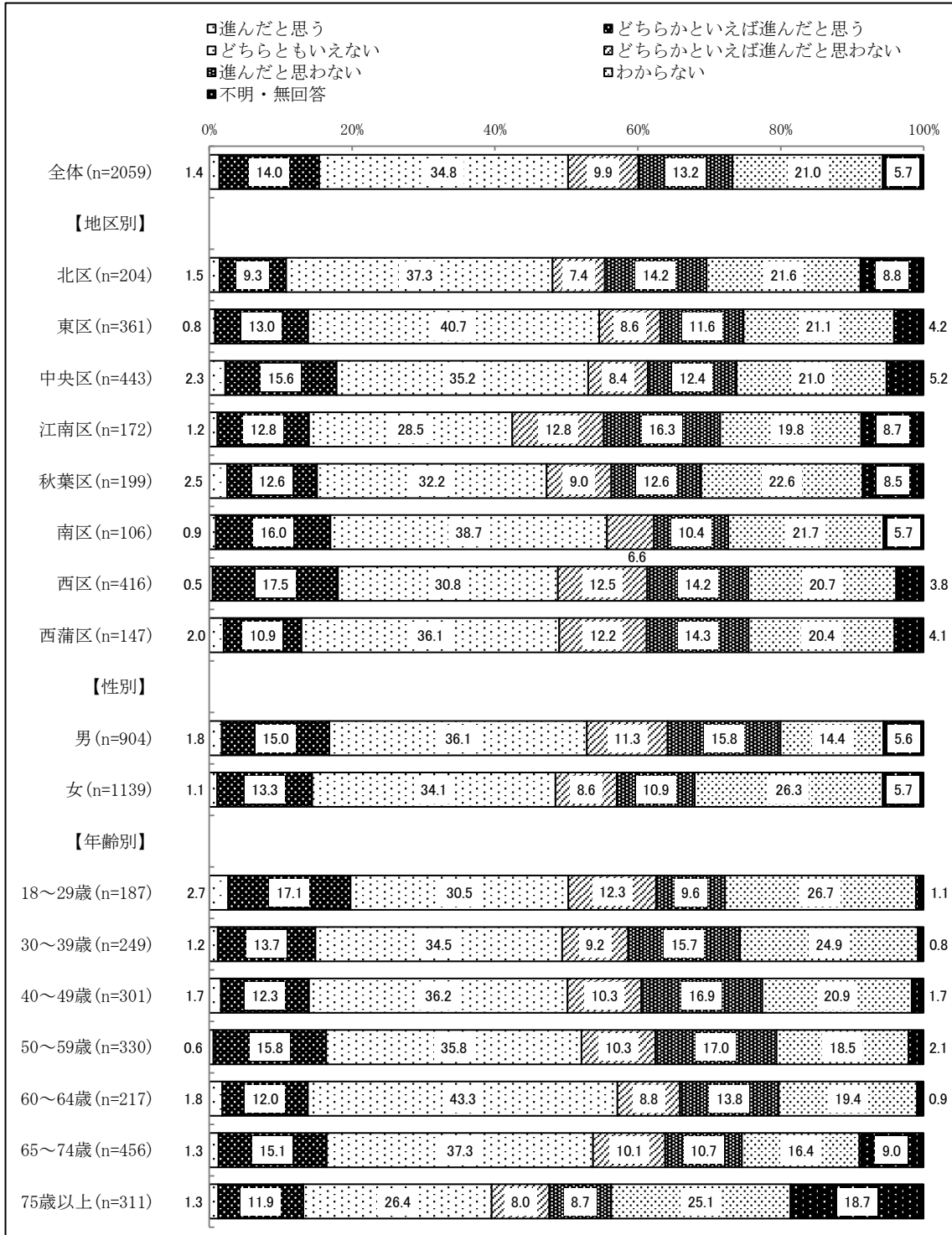
④産業集積による雇用の創出



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では南区（11.3%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（10.7%）で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西区（33.9%）で最も高い。性別では、女性（25.5%）と比べて男性（35.1%）で割合が高い。年齢別では30～64歳で3割を超えた。

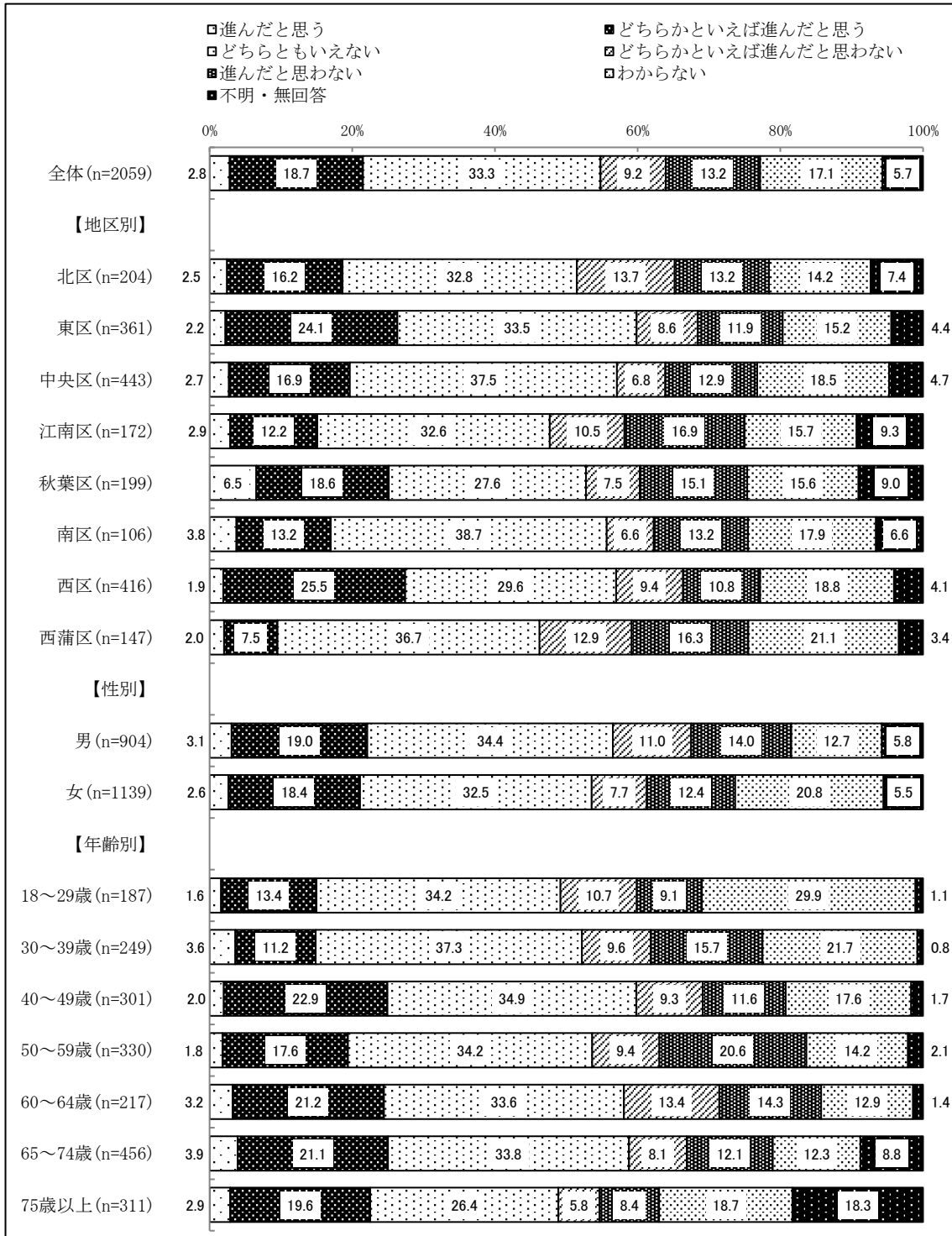
⑤国内外との多様な交流



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では西区（18.0%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（19.8%）で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では江南区（29.1%）で最も高い。性別では、女性（19.5%）と比べて男性（27.1%）で割合が高い。年齢別では75歳以上を除き2割を超えた。

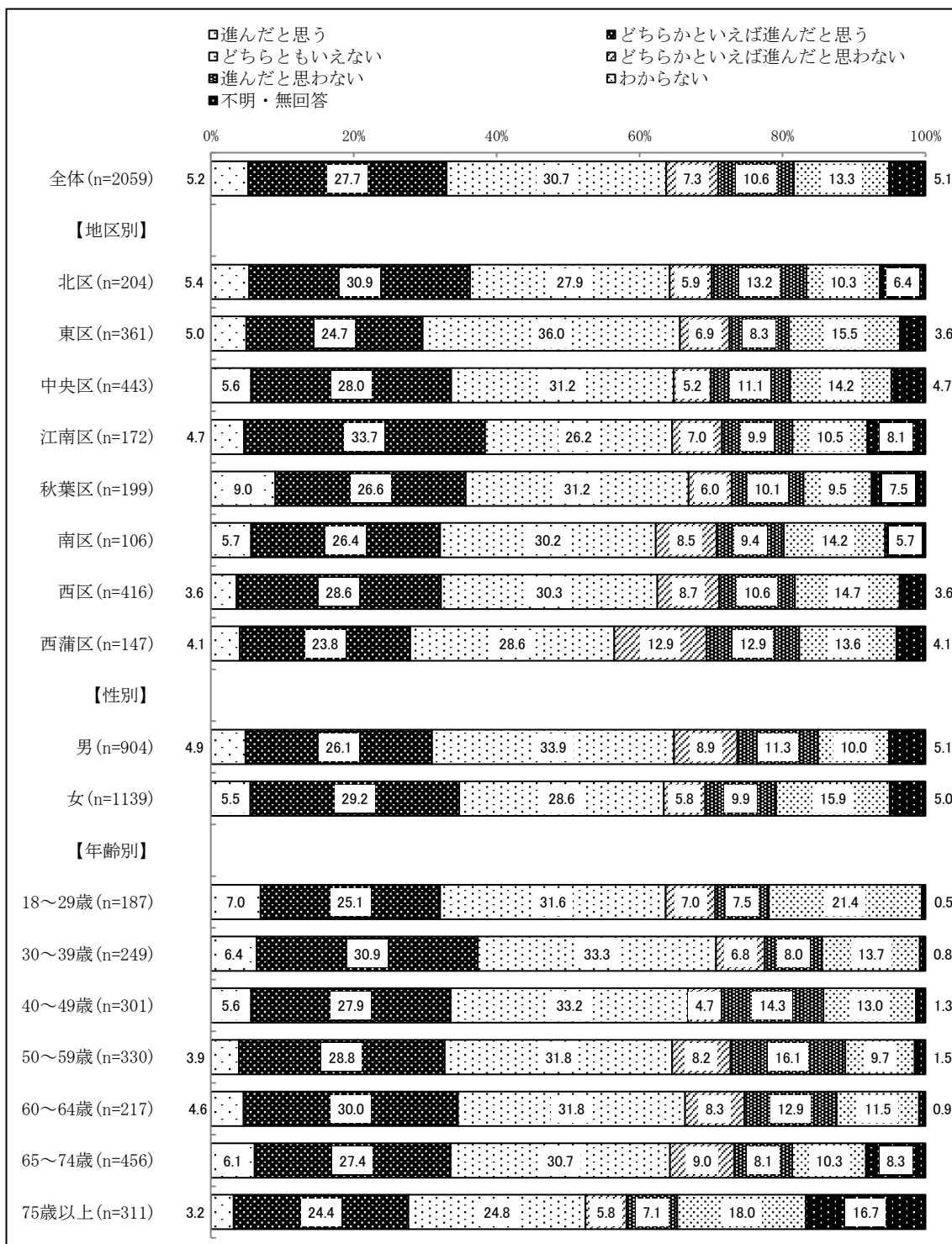
⑥窓口の利便性向上



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では西区 (27.4%) で最も高い。年齢別では、40代、60代以上で2割を超えた。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (29.3%) で最も高い。性別では、女性 (20.1%) と比べて男性 (25.0%) で割合が高い。年齢別では50代 (30.0%) で最も高く、3割となった。

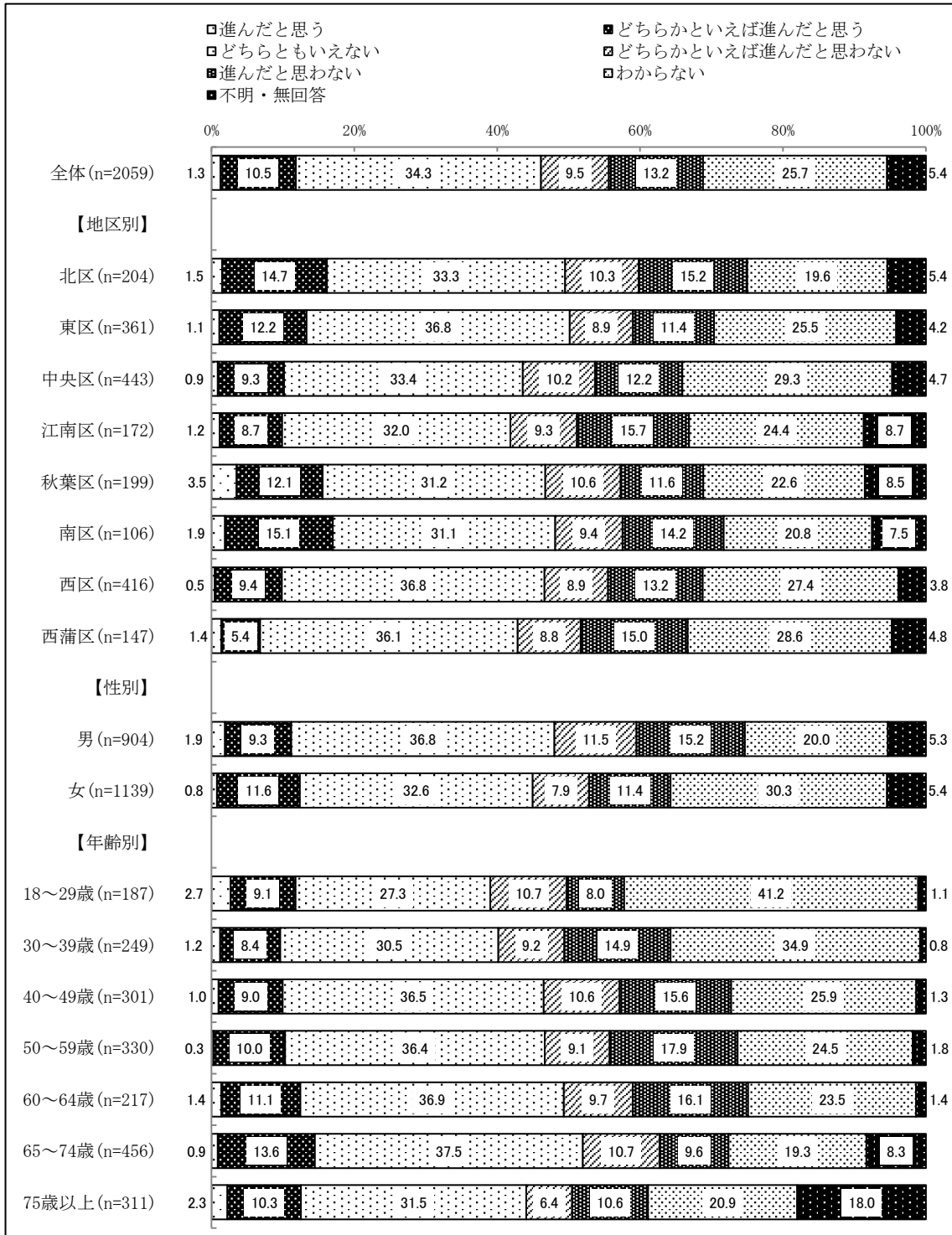
⑦文化スポーツ施設など公共施設の充実



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では江南区（38.4%）で最も高い。性別では、男性（31.0%）と比べて女性（34.8%）で割合が高い。年齢別では、30代（37.3%）で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（25.9%）で最も高く、2割を超えた。性別では、女性（15.7%）と比べて男性（20.1%）で割合が高い。年齢別では50代（24.2%）で最も高い。

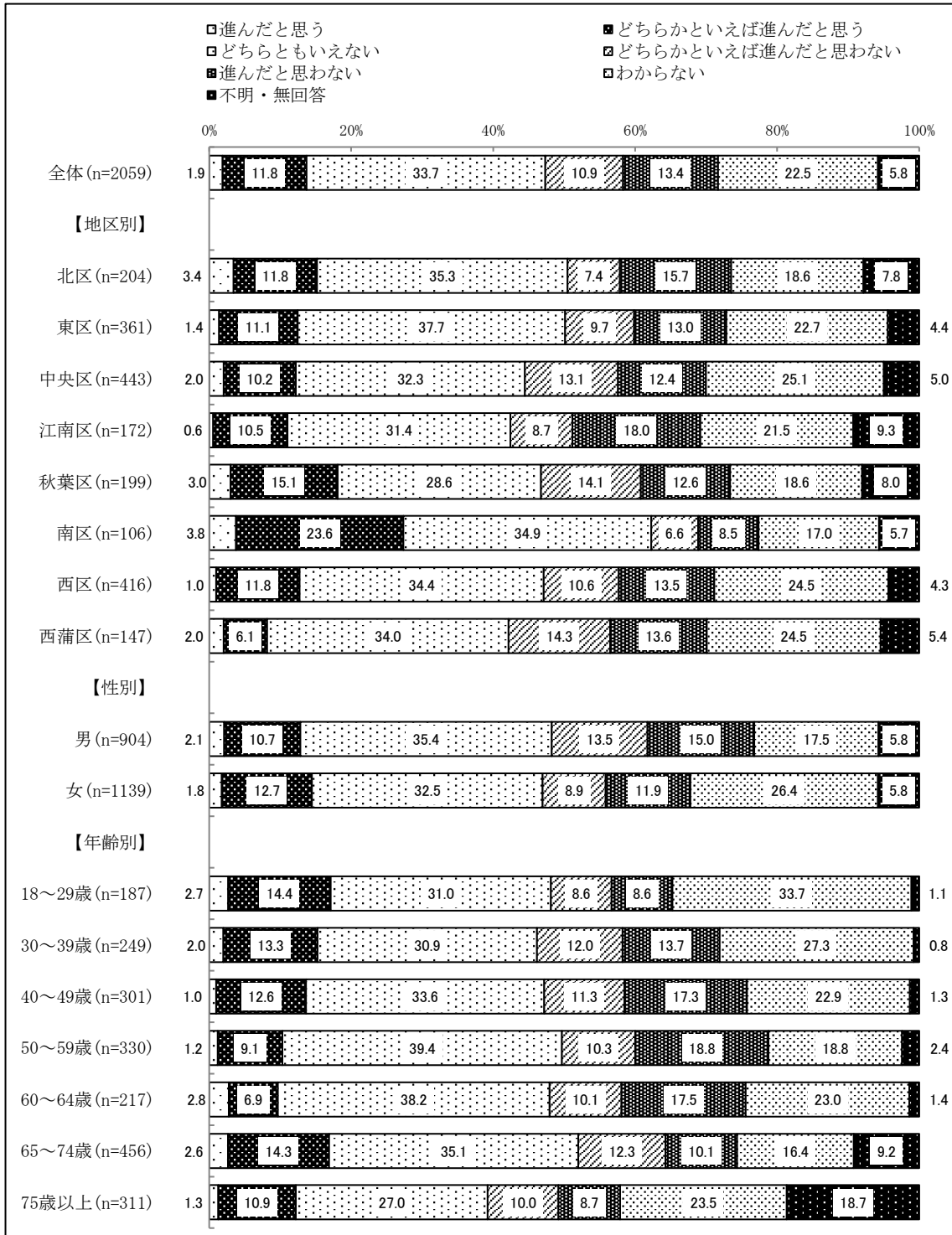
⑧区自治協議会と行政との協働によるまちづくり



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では南区（17.0%）で最も高い。年齢別では、65～74歳（14.5%）で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では北区（25.5%）で最も高い。性別では、女性（19.3%）と比べて男性（26.7%）で割合が高い。年齢別では50代（27.0%）で最も高い。

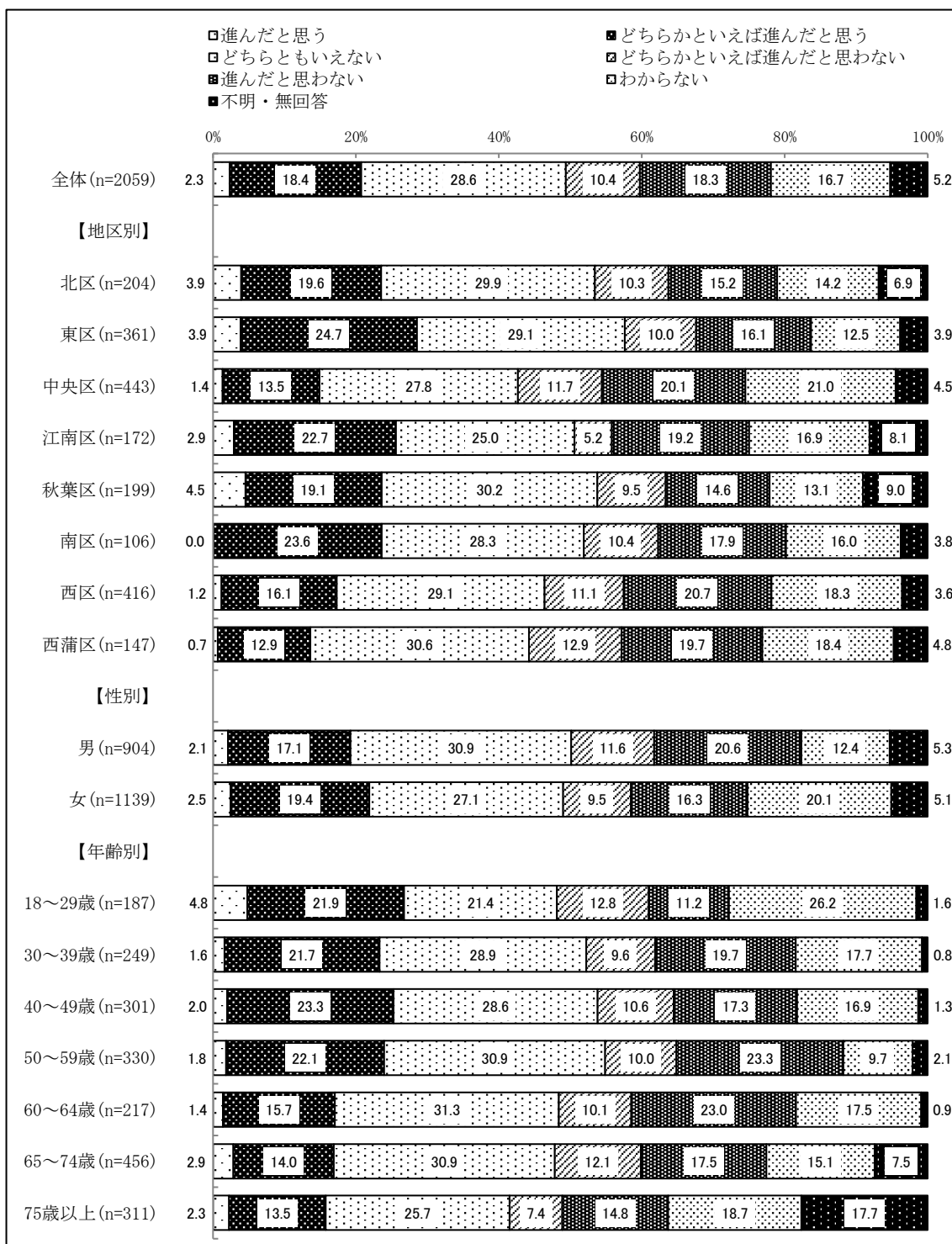
⑨地域の伝統・文化などをいかした区独自の取組み



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では南区 (27.4%) で最も高い。年齢別では、18～29歳 (17.1%) で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (27.9%) で最も高い。性別では、女性 (20.8%) と比べて男性 (28.5%) で割合が高い。年齢別では50代 (29.1%) で最も高い。

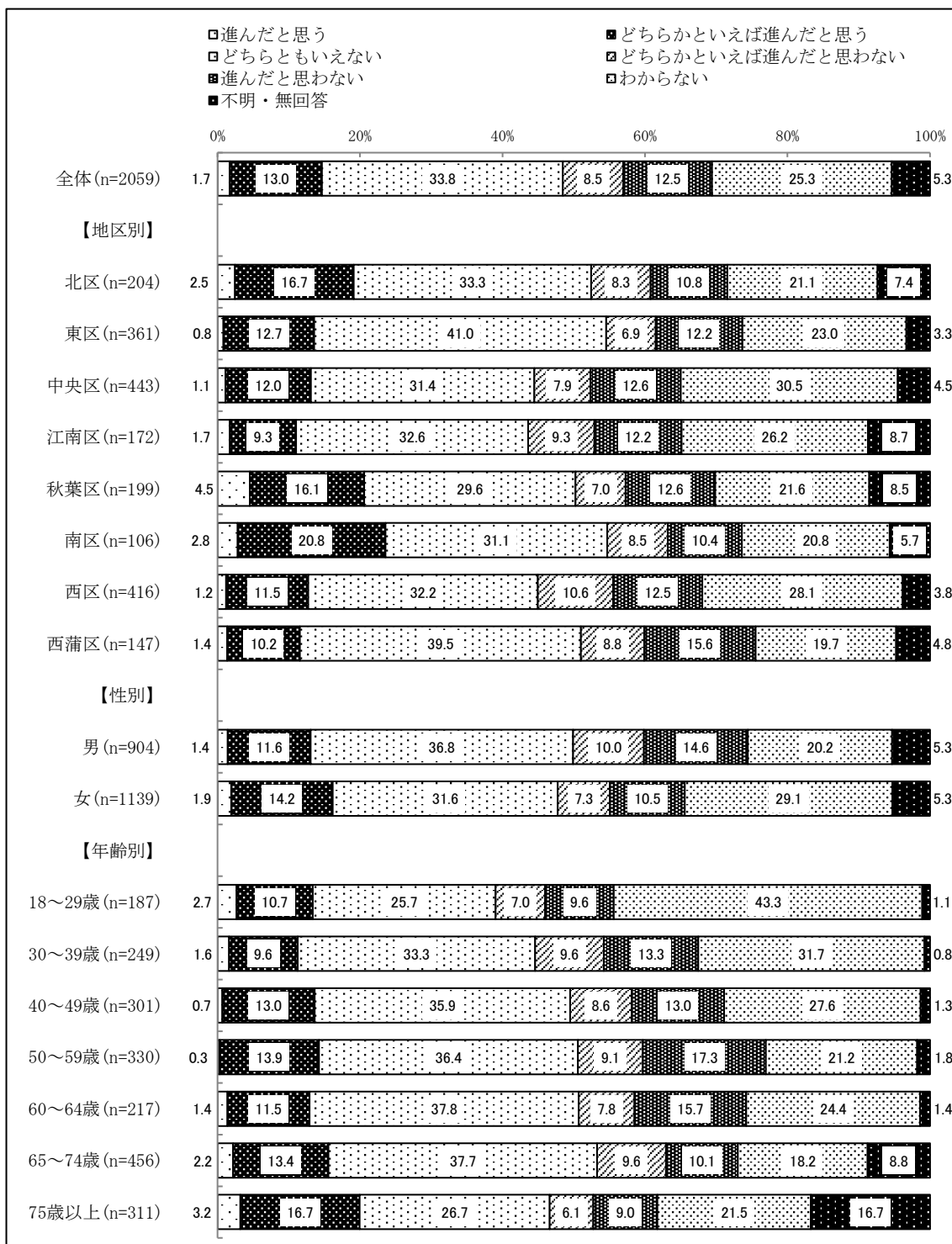
⑩区だよりや区バスなどによる区内の人・もの・情報の交流促進



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では東区 (28.5%) で最も高い。年齢別では、18～29歳 (26.7%) で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (32.7%) で最も高い。性別では、女性 (25.8%) と比べて男性 (32.2%) で割合が高い。年齢別では50～64歳で3割を超えた。

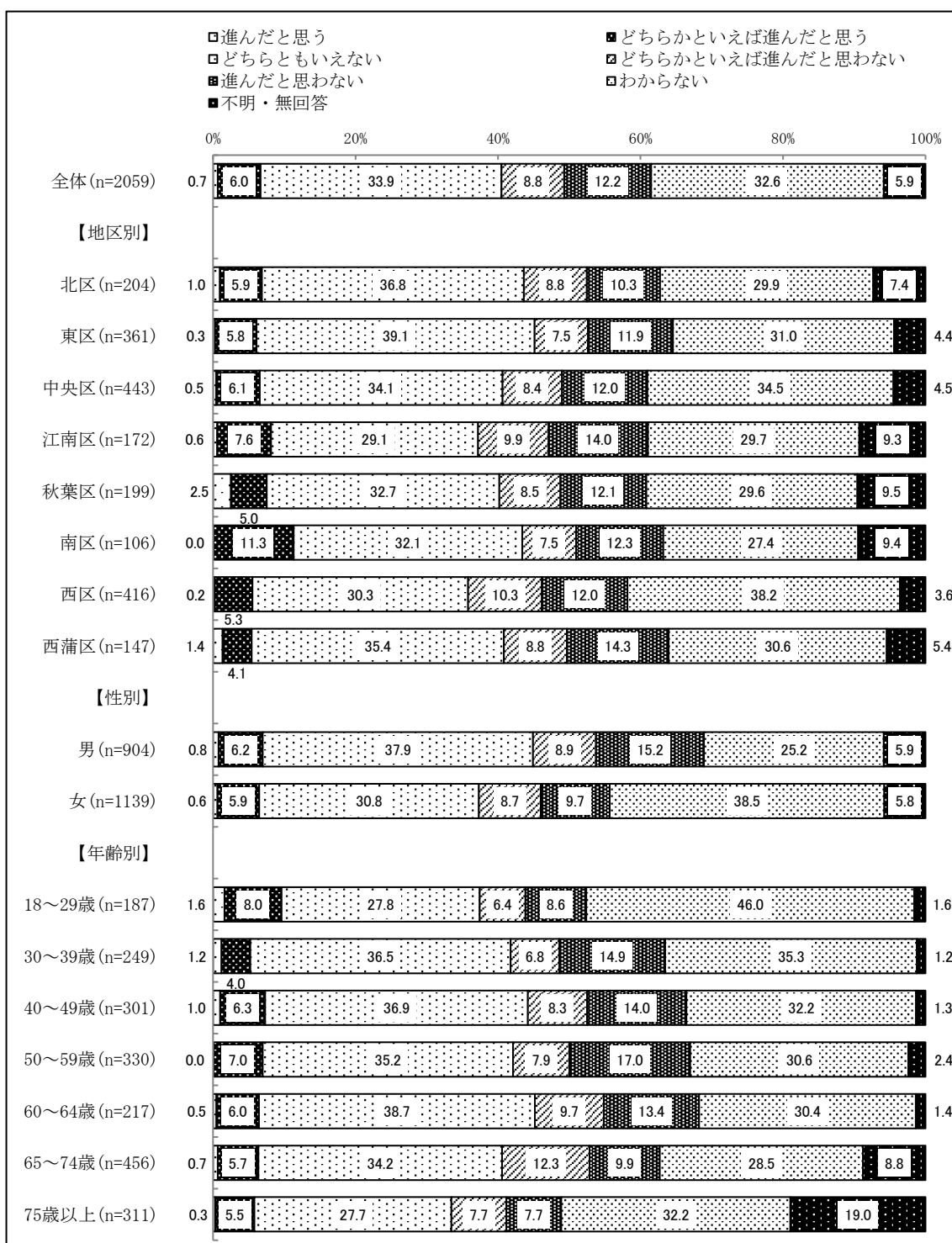
⑪地域コミュニティ協議会など地域による活動の活性化



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では南区 (23.6%) で最も高い。年齢別では、75歳以上 (19.9%) で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (24.5%) で最も高い。性別では、女性 (17.8%) と比べて男性 (24.6%) で割合が高い。年齢別では50代 (26.4%) で最も高い。

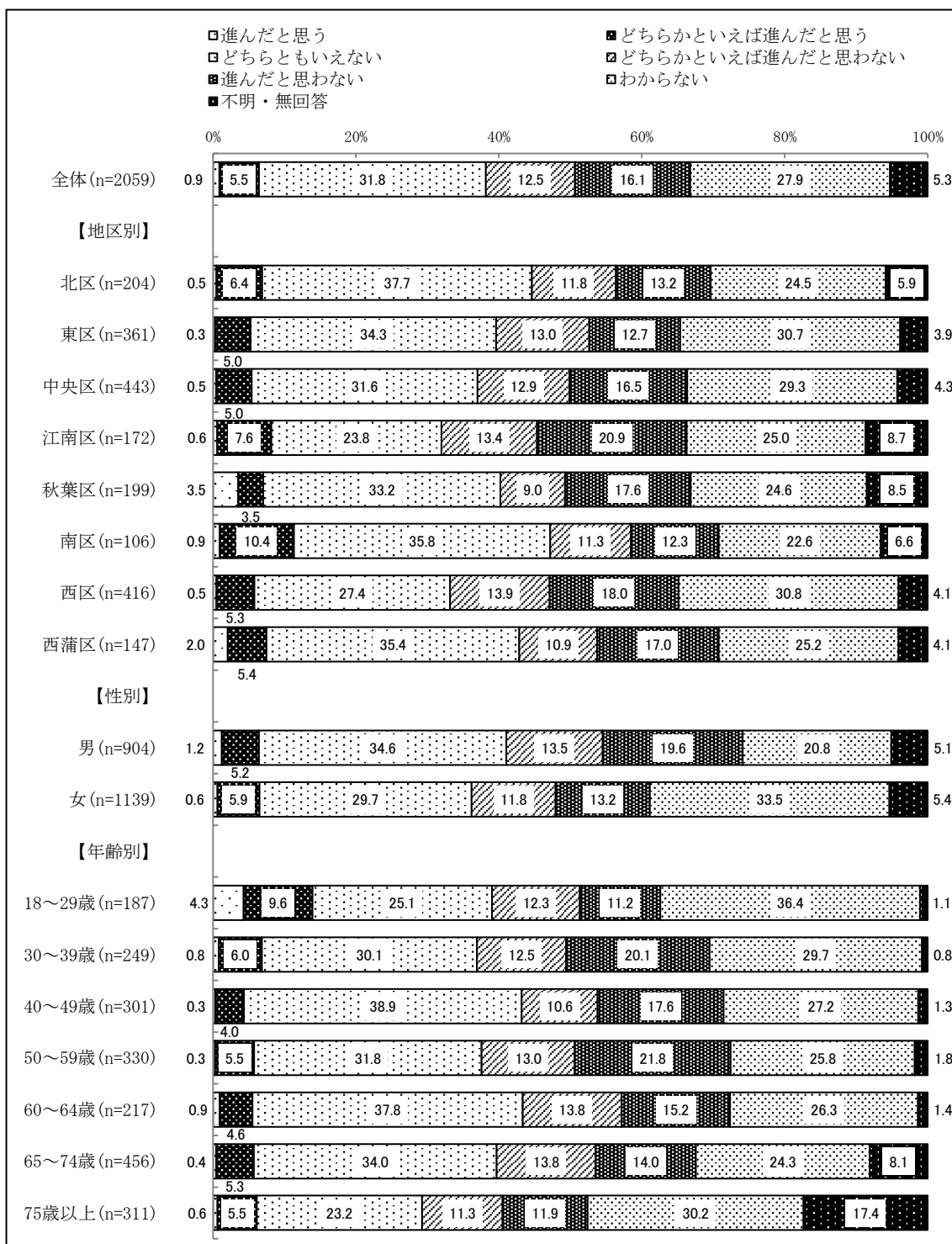
⑫NPOや民間企業などと行政との連携強化



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では南区（11.3%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（9.6%）で最も高い。地区別の南区を除いたすべての項目で、1割に満たない。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では江南区（23.8%）で最も高い。性別では、女性（18.3%）と比べて男性（24.0%）で割合が高い。年齢別では50代（24.8%）で最も高い。

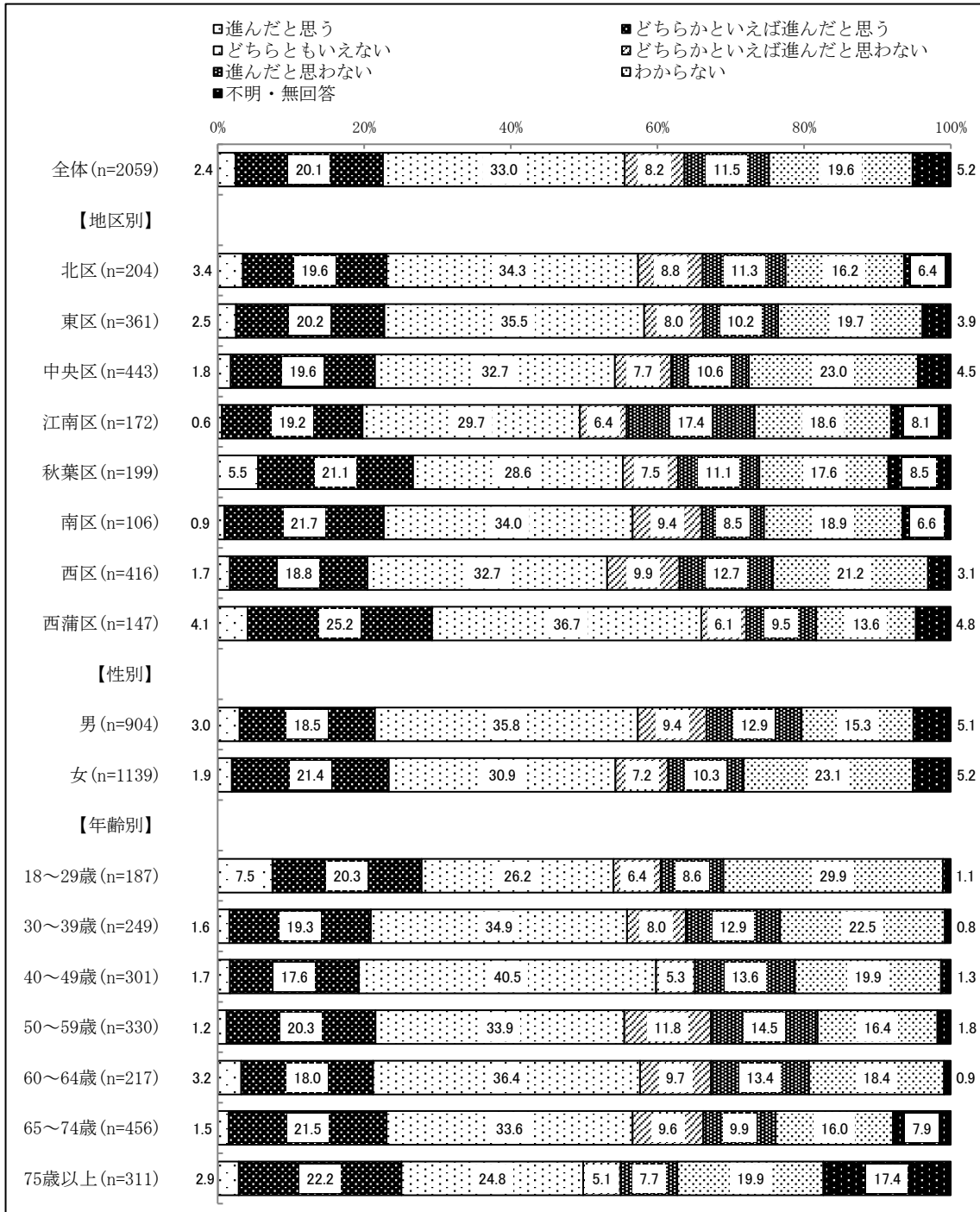
⑬地域を担う人材の育成



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では南区 (11.3%) で最も高い。年齢別では、18~29歳 (13.9%) で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では江南区 (34.3%) で最も高い。性別では、女性 (24.9%) と比べて男性 (33.1%) で割合が高い。年齢別では50代 (34.8%) で最も高い。

⑭地域防災力の向上



「進んだと思う」「どちらかといえば進んだと思う」を合わせた割合は、地区別では西蒲区 (29.3%) で最も高い。年齢別では、18～29歳 (27.8%) で最も高い。

「どちらかといえば進んだと思わない」「進んだと思わない」を合わせた割合は、地区別では江南区 (23.8%) で最も高い。性別では、女性 (17.5%) と比べて男性 (22.3%) で割合が高い。年齢別では50代 (26.4%) で最も高い。

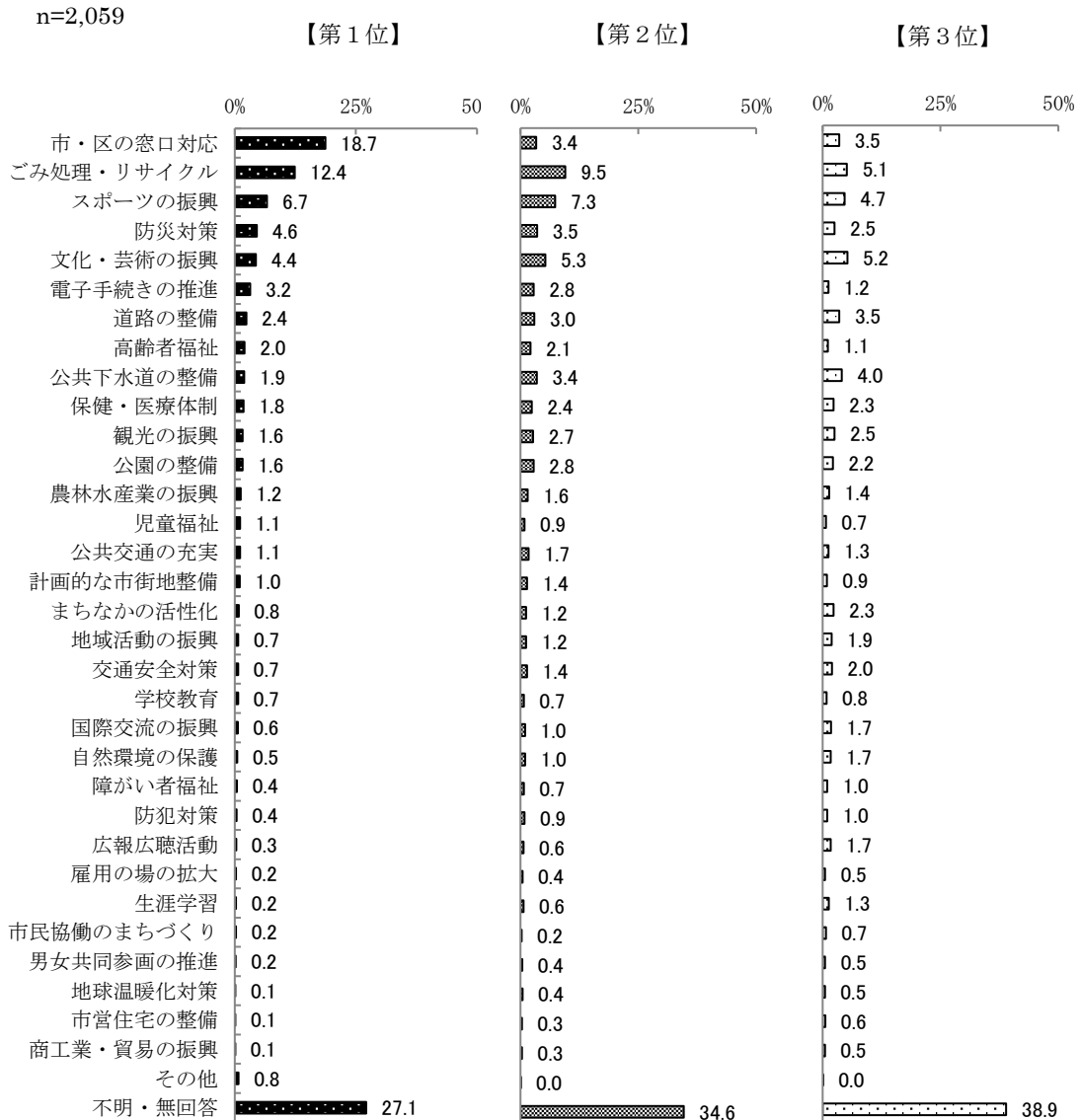
5. 市政全般と区政について

(1) 新潟市として良くなっているもの

問21 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

①「新潟市として良くなっているもの」を

次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)



— 新潟市として良くなっているものは「市・区の窓口対応」 —

【全体結果】

【第1位回答】の割合は、「市・区の窓口対応」(18.7%)が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(12.4%)、「スポーツの振興」(6.7%)の順に続く。

【第2位回答】の割合は、「ごみ処理・リサイクル」(9.5%)が最も高い。以下、「スポーツの振興」(7.3%)、「文化・芸術の振興」(5.3%)の順に続く。

【第3位回答】の割合は、「文化・芸術の振興」(5.2%)が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(5.1%)、「スポーツの振興」(4.7%)の順に続く。

なお、「不明・無回答」の割合は、第1位が27.1%、第2位が34.6%、第3位が38.9%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『新潟市として良くなっているもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図5-1参照)

平均得点が高いほど、「新潟市として良くなっている」との評価が高い施策・事業である。平均得点の算出式、算出例を以下に掲載した。

※1：平均得点の算出式

$$(\text{【第1位回答】} \times 3 + \text{【第2位回答】} \times 2 + \text{【第3位回答】} \times 1) \div n \text{数}$$

※2：平均得点の算出例（全体結果、「市・区の窓口対応」の場合）

$$(385 \times 3 + 69 \times 2 + 72 \times 1) \div 2,059 \approx 0.66$$

平均得点 = 0.66ポイント

【平均得点】をみると、「市・区の窓口対応」が0.66ポイントで最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」が0.61ポイント、「スポーツの振興」が0.39ポイント、「文化・芸術の振興」が0.29ポイント、「防災対策」が0.23ポイントで続いている。なお、性別、年齢別平均得点の上位5つを次々頁に掲載した。(表5-1参照)

図 5-1 新潟市として良くなっているもの<平均得点> (全体)

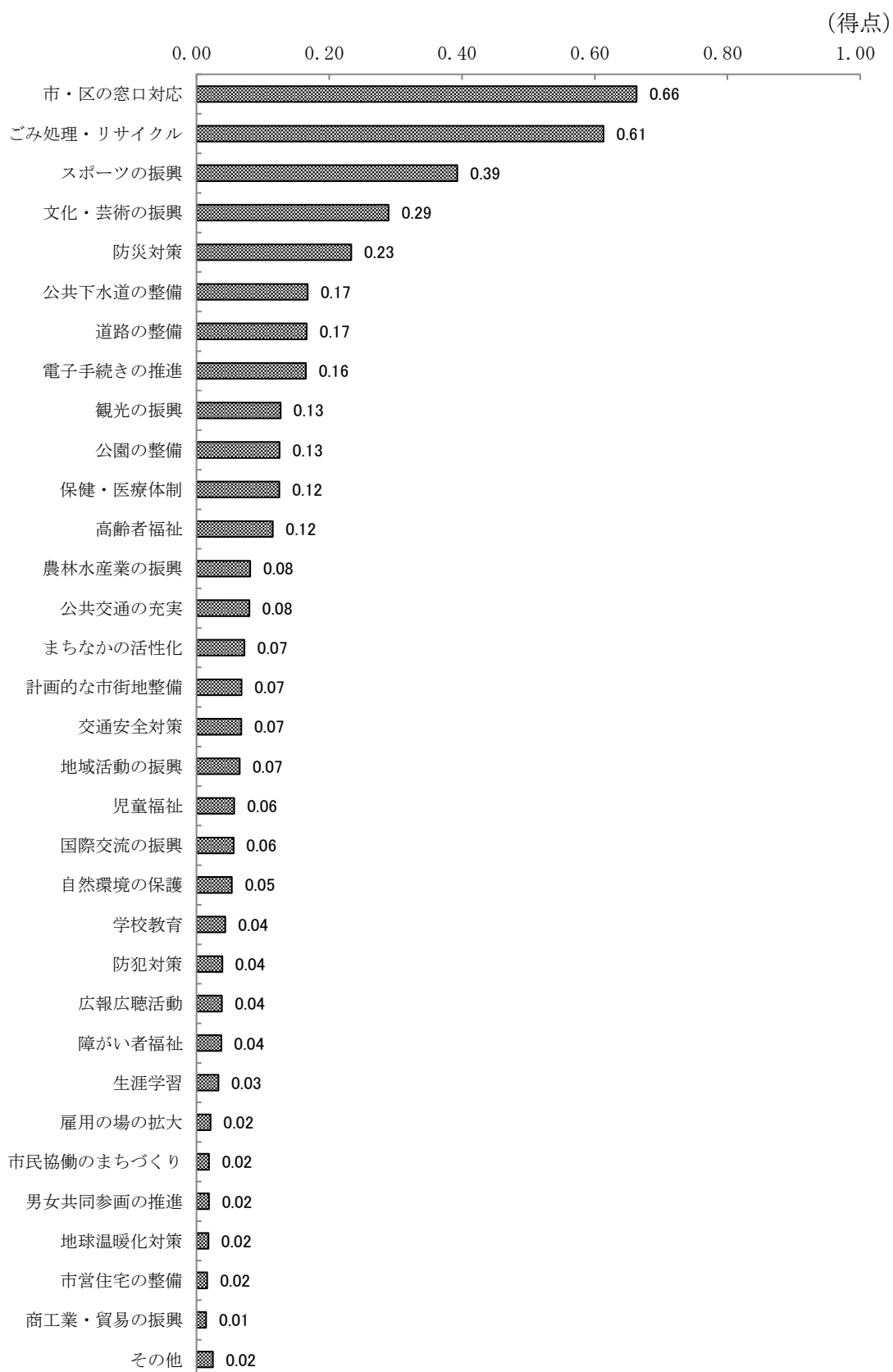


表 5-1 新潟市として良くなっているもの

<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男 性	女 性	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳
1位	市・区の窓口対応 (0.71 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.67 ポイント)	スポーツの振興 (0.43 ポイント)	スポーツの振興 (0.63 ポイント)	スポーツの振興 (0.58 ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.53 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.62 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.40 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.45 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.52 ポイント)
3位	スポーツの振興 (0.43 ポイント)	スポーツの振興 (0.37 ポイント)	文化・芸術の振興 (0.39 ポイント)	文化・芸術の振興 (0.41 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.50 ポイント)
4位	文化・芸術の振興 (0.27 ポイント)	文化・芸術の振興 (0.31 ポイント)	道路の整備 (0.38 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.37 ポイント)	文化・芸術の振興 (0.40 ポイント)
5位	防災対策 (0.24 ポイント)	防災対策 (0.23 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.33 ポイント)	道路の整備 (0.29 ポイント)	観光の振興 (0.21 ポイント)

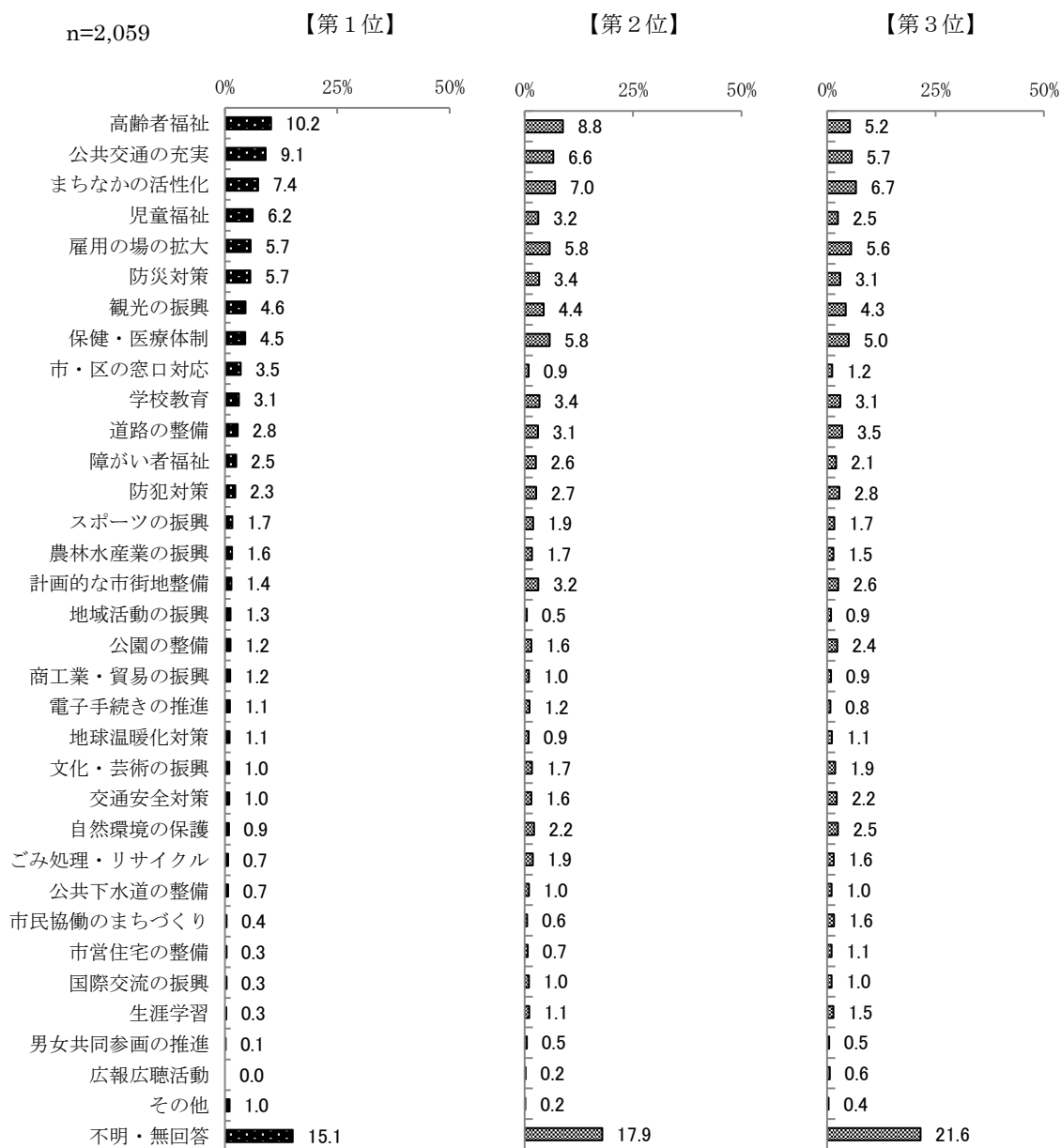
	50～59 歳	60～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
1位	ごみ処理・リサイクル (0.69 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.88 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.84 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.77 ポイント)
2位	市・区の窓口対応 (0.64 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.76 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.80 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.62 ポイント)
3位	スポーツの振興 (0.50 ポイント)	スポーツの振興 (0.28 ポイント)	スポーツの振興 (0.27 ポイント)	高齢者福祉 (0.29 ポイント)
4位	文化・芸術の振興 (0.37 ポイント)	防災対策 (0.25 ポイント)	公共下水道の整備 (0.22 ポイント)	公共下水道の整備 (0.21 ポイント)
5位	防災対策 (0.34 ポイント)	公共下水道の整備 (0.22 ポイント)	防災対策 文化・芸術の振興 (0.20 ポイント)	防災対策 (0.16 ポイント)

(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問 2 1 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

②「新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの」を

次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)



【全体結果】

【第1位回答】の割合は、「高齢者福祉」(10.2%)が最も高い。以下、「公共交通の充実」(9.1%)、「まちなかの活性化」(7.4%)、「児童福祉」(6.2%)、「雇用の場の拡大」(5.7%)の順に続く。

【第2位回答】の割合も、「高齢者福祉」(8.8%)が最も高い。以下、「まちなかの活性化」(7.0%)、「公共交通の充実」(6.6%)、「雇用の場の拡大」、「保健・医療体制」(共に5.8%)の順に続く。

【第3位回答】の割合は、「まちなかの活性化」(6.7%)が最も高い。以下、「公共交通の充実」(5.7%)、「雇用の場の拡大」(5.6%)、「高齢者福祉」(5.2%)、「保健・医療体制」(5.0%)の順に続く。

なお、「不明・無回答」の割合は、第1位が15.1%、第2位が17.9%、第3位が21.6%で、いずれの【回答順位】においても、その割合が高い。

前項(1)と同様に、【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図5-2参照)

平均得点が高いほど、「新潟市として力を入れてほしい」との要望が高い施策・事業である。

【平均得点】をみると、「高齢者福祉」が0.54ポイントで最も高い。以下、「公共交通の充実」が0.46ポイント、「まちなかの活性化」が0.43ポイント、「雇用の場の拡大」が0.34、「保健・医療体制」が0.30ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別平均得点の上位5つを次々頁に掲載した。(表5-2参照)

図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの<平均得点> (全体)

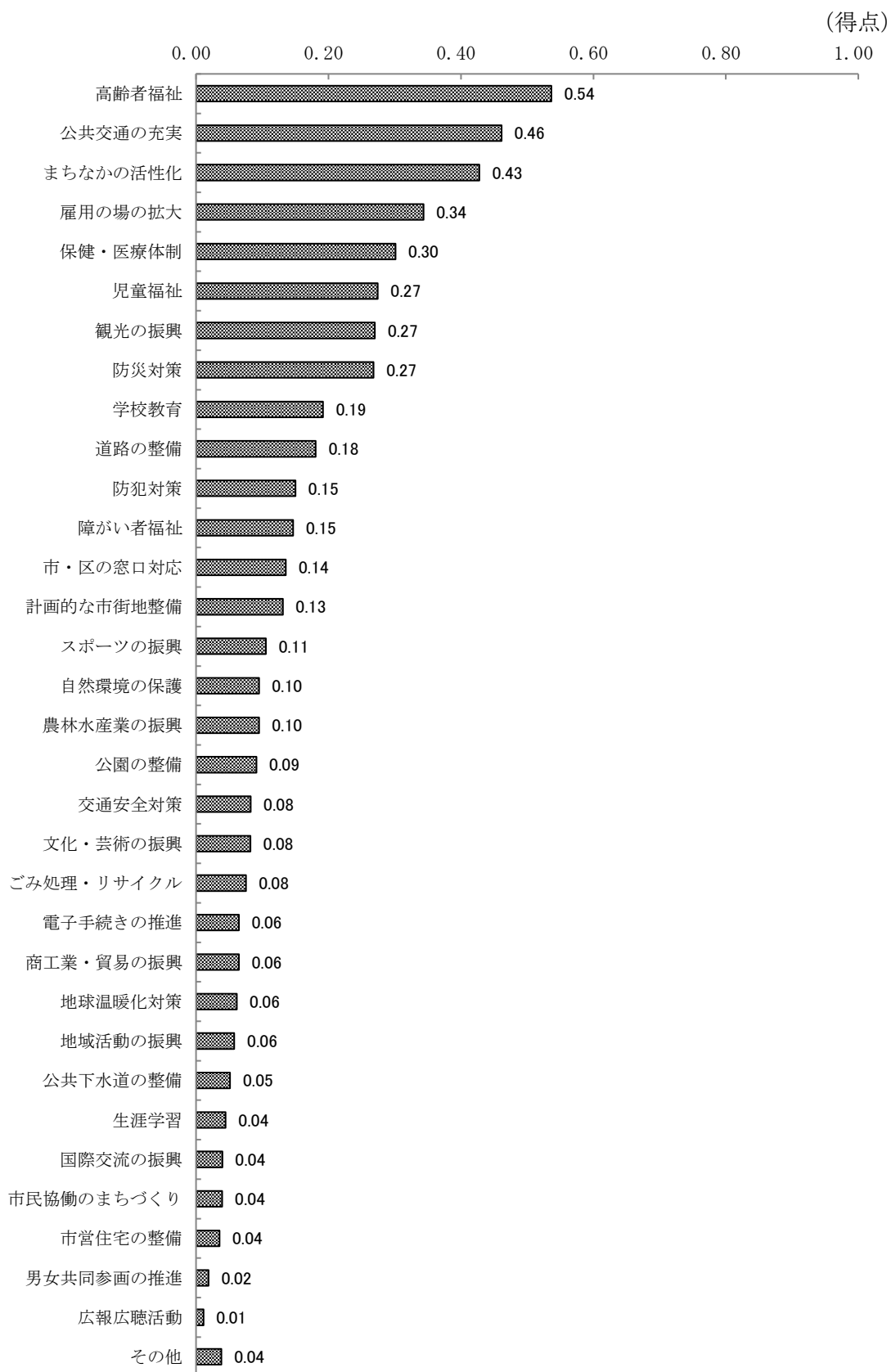


表 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男 性	女 性	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳
1位	高齢者福祉 (0.55 ポイント)	高齢者福祉 (0.53 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.49 ポイント)	児童福祉 (0.76 ポイント)	公共交通の充実 (0.60 ポイント)
2位	公共交通の充実 (0.40 ポイント)	公共交通の充実 (0.51 ポイント)	公共交通の充実 (0.47 ポイント)	公共交通の充実 (0.48 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.42 ポイント)
3位	まちなかの活性化 (0.33 ポイント)	まちなかの活性化 (0.50 ポイント)	まちなかの活性化 (0.44 ポイント)	観光の振興 (0.44 ポイント)	まちなかの活性化 (0.41 ポイント)
4位	雇用の場の拡大 (0.32 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.36 ポイント)	児童福祉 (0.36 ポイント)	まちなかの活性化 (0.40 ポイント)	観光の振興 (0.38 ポイント)
5位	保健・医療体制 (0.30 ポイント)	観光の振興 (0.30 ポイント)	観光の振興 (0.30 ポイント)	学校教育 (0.39 ポイント)	児童福祉 (0.33 ポイント)

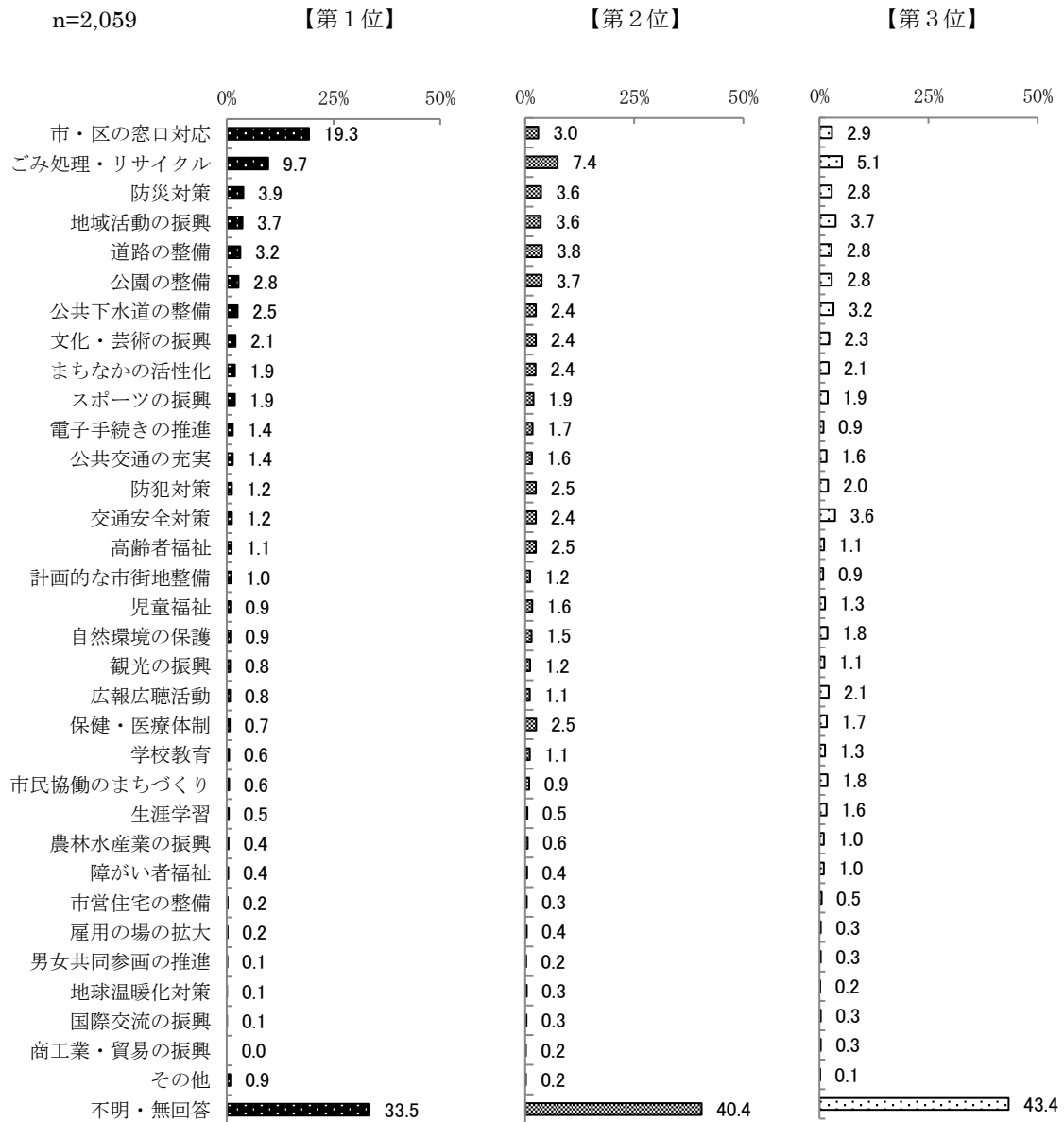
	50～59 歳	60～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
1位	高齢者福祉 (0.58 ポイント)	高齢者福祉 (0.66 ポイント)	高齢者福祉 (0.74 ポイント)	高齢者福祉 (0.72 ポイント)
2位	雇用の場の拡大 (0.49 ポイント)	まちなかの活性化 (0.41 ポイント)	公共交通の充実 (0.47 ポイント)	まちなかの活性化 (0.39 ポイント)
3位	まちなかの活性化 (0.49 ポイント)	公共交通の充実 (0.38 ポイント)	まちなかの活性化 (0.44 ポイント)	公共交通の充実 (0.39 ポイント)
4位	公共交通の充実 (0.43 ポイント)	防災対策 (0.38 ポイント)	防災対策 (0.33 ポイント)	保健・医療体制 (0.26 ポイント)
5位	保健・医療体制 (0.42 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.35 ポイント)	保健・医療体制 (0.29 ポイント)	防災対策 (0.24 ポイント)

(3) 区として良くなっているもの

問21 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

③「区として良くなっているもの」を

次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)



【全体結果】

【第1位回答】の割合は、「市・区の窓口対応」(19.3%)が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(9.7%)、「防災対策」(3.9%)、「地域活動の振興」(3.7%)、「道路の整備」(3.2%)の順に続く。

【第2位回答】の割合は、「ごみ処理・リサイクル」(7.4%)が最も高い。以下、「道路の整備」(3.8%)、「公園の整備」(3.7%)、「防災対策」「地域活動の振興」(共に3.6%)、「市・区の窓口対応」(3.0%)の順に続く。

【第3位回答】の割合は、「ごみ処理・リサイクル」(5.1%)が最も高い。以下、「地域活動の振興」(3.7%)、「交通安全対策」(3.6%)、「公共下水道の整備」(3.2%)、「市・区の窓口対応」(2.9%)と続いている。

なお、「不明・無回答」の割合は、第1位が33.5%、第2位が40.4%、第3位が43.4%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

前項(1)と同様に、【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『区として良くなっているもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図5-3参照)

平均得点が高いほど、「区として良くなっている」との評価が高い施策・事業である。

【平均得点】をみると、「市・区の窓口対応」(0.67ポイント)や「ごみ処理・リサイクル」(0.49ポイント)が高い。以下、「地域活動の振興」「防災対策」が共に0.22ポイント、「道路の整備」が各0.20ポイント、「公園の整備」が0.19ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別、区別平均得点の上位5つを次々頁以降に掲載した。(表5-3、5-4参照)

図 5-3 区として良くなっているもの<平均得点> (全体)

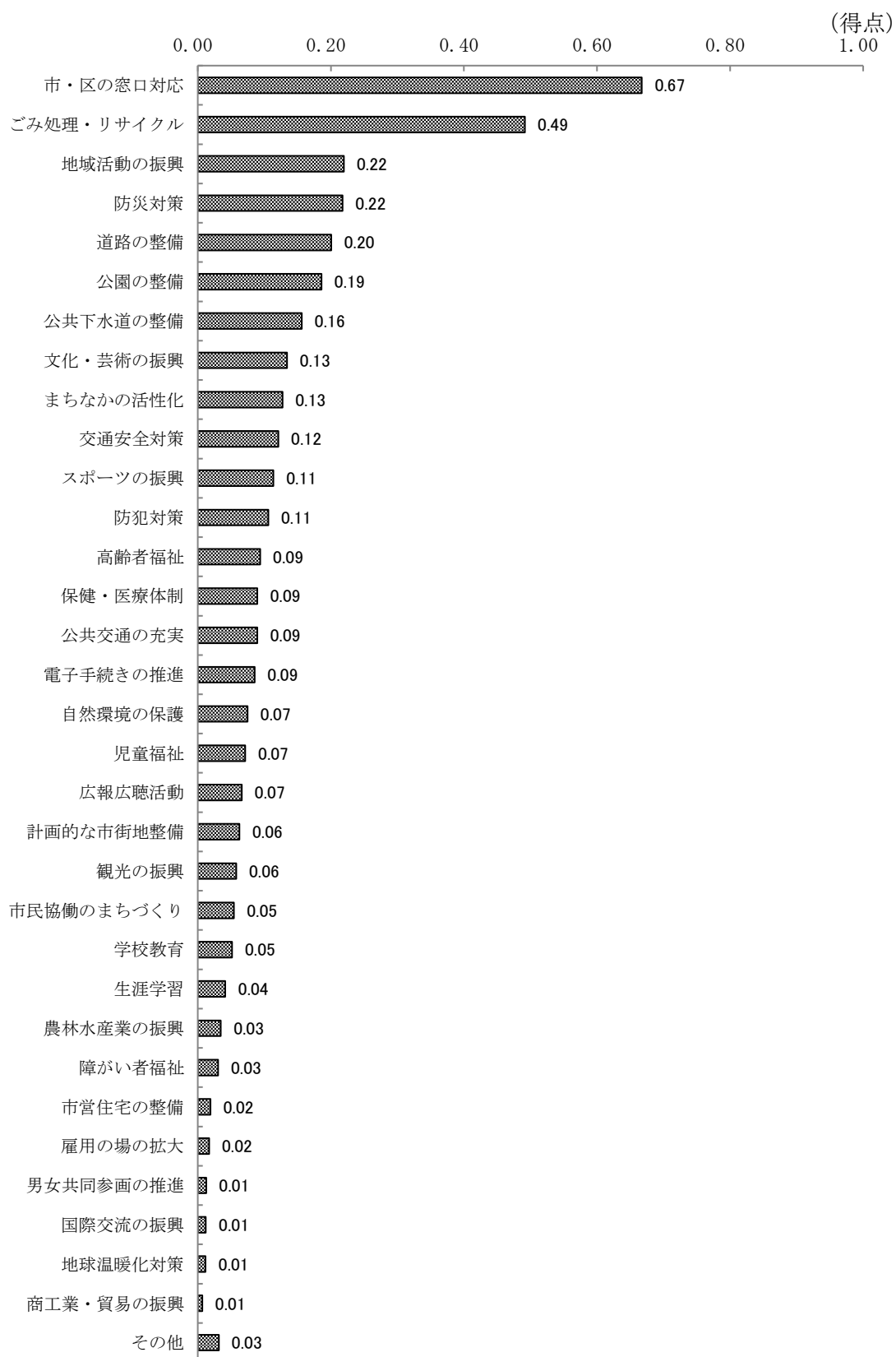


表 5-3 区として良くなっているもの

<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男 性	女 性	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳
1位	市・区の窓口対応 (0.71 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.63 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.57 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.53 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.63 ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.46 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.52 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.45 ポイント)	公園の整備 (0.32 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.41 ポイント)
3位	道路の整備 (0.23 ポイント)	地域活動の振興 (0.24 ポイント)	道路の整備 (0.42 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.31 ポイント)	公園の整備 (0.25 ポイント)
4位	防災対策 (0.21 ポイント)	防災対策 (0.22 ポイント)	まちなかの活性化 (0.32 ポイント)	防災対策 (0.27 ポイント)	地域活動の振興 (0.22 ポイント)
5位	地域活動の振興 (0.20 ポイント)	道路の整備 (0.18 ポイント)	防災対策 (0.29 ポイント)	地域活動の振興 (0.26 ポイント)	道路の整備 (0.22 ポイント)

	50～59 歳	60～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
1位	市・区の窓口対応 (0.81 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.77 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.75 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.53 ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.52 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.59 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.55 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.42 ポイント)
3位	地域活動の振興 (0.26 ポイント)	地域活動の振興 (0.24 ポイント)	防災対策 (0.23 ポイント)	公共下水道の整備 (0.17 ポイント)
4位	防災対策 (0.24 ポイント)	公共下水道の整備 (0.20 ポイント)	地域活動の振興 (0.21 ポイント)	防災対策 (0.17 ポイント)
5位	道路の整備 (0.23 ポイント)	防災対策 (0.18 ポイント)	公共下水道の整備 (0.20 ポイント)	高齢者福祉 (0.16 ポイント)

表 5-4 区として良くなっているもの

<区別平均得点の上位5つ>

	北区	東区	中央区	江南区
1位	ごみ処理・リサイクル (0.65 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.86 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.55 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.64 ポイント)
2位	市・区の窓口対応 (0.54 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.50 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.52 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.48 ポイント)
3位	防災対策 (0.24 ポイント)	地域活動の振興 (0.23 ポイント)	道路の整備 (0.23 ポイント)	公園の整備 (0.28 ポイント)
4位	地域活動の振興 道路の整備 (0.22 ポイント)	防災対策 (0.23 ポイント)	防災対策 (0.22 ポイント)	道路の整備 (0.23 ポイント)
5位		公園の整備 (0.22 ポイント)	地域活動の振興 (0.20 ポイント)	地域活動の振興 (0.22 ポイント)

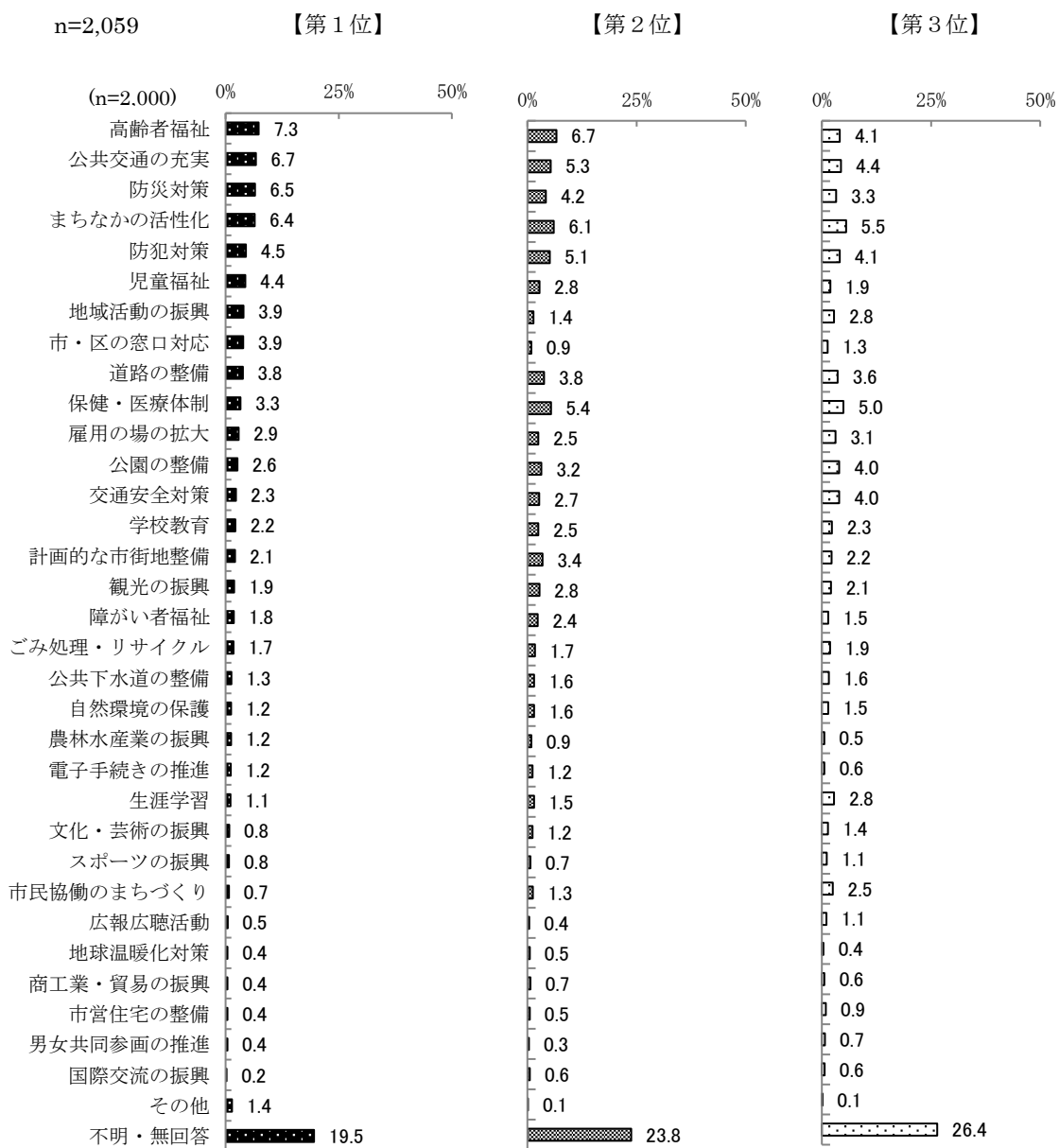
	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	市・区の窓口対応 (0.64 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.58 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.83 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.55 ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.48 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.38 ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.45 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.51 ポイント)
3位	文化・芸術の振興 (0.33 ポイント)	地域活動の振興 (0.22 ポイント)	防災対策 (0.21 ポイント)	防災対策 (0.30 ポイント)
4位	地域活動の振興 (0.25 ポイント)	道路の整備 (0.21 ポイント)	道路の整備 (0.20 ポイント)	地域活動の振興 (0.25 ポイント)
5位	まちなかの活性化 (0.23 ポイント)	防災対策 (0.19 ポイント)	地域活動の振興 (0.20 ポイント)	公園の整備 (0.21 ポイント)

(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問21 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を

次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)



【全体結果】

【第1位回答】の割合は、「高齢者福祉」(7.3%)が最も高い。以下、「公共交通の充実」(6.7%)、「防災対策」(6.5%)、「まちなかの活性化」(6.4%)、「防犯対策」(4.5%)の順に続く。

【第2位回答】の割合は、「高齢者福祉」(6.7%)が最も高い。以下、「まちなかの活性化」(6.1%)、「保健・医療体制」(5.4%)、「公共交通の充実」(5.3%)、「防犯対策」(5.1%)の順に続く。

【第3位回答】の割合は、「まちなかの活性化」(5.5%)が最も高い。以下、「保健・医療体制」(5.0%)、「公共交通の充実」(4.4%)、「高齢者福祉」「防犯対策」(共に4.1%)、「公園の整備」「交通安全対策」(共に4.0%)の順に続く。

なお、「不明・無回答」の割合は、第1位が19.5%、第2位が23.8%、第3位が26.4%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

前項(1)と同様に、【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『区として今後もっと力を入れてほしいもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図5-4参照)

平均得点が高いほど、「区として力を入れてほしい」との要望が高い施策・事業である。

【平均得点】をみると、「高齢者福祉」(0.39ポイント)が最も高い。以下、「まちなかの活性化」が0.37ポイント、「公共交通の充実」が0.35ポイント、「防災対策」が0.31ポイント、「防犯対策」が0.28ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別、区別平均得点の上位5つを次々頁以降に掲載した。(表5-5、5-6参照)

図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの〈平均得点〉（全体）

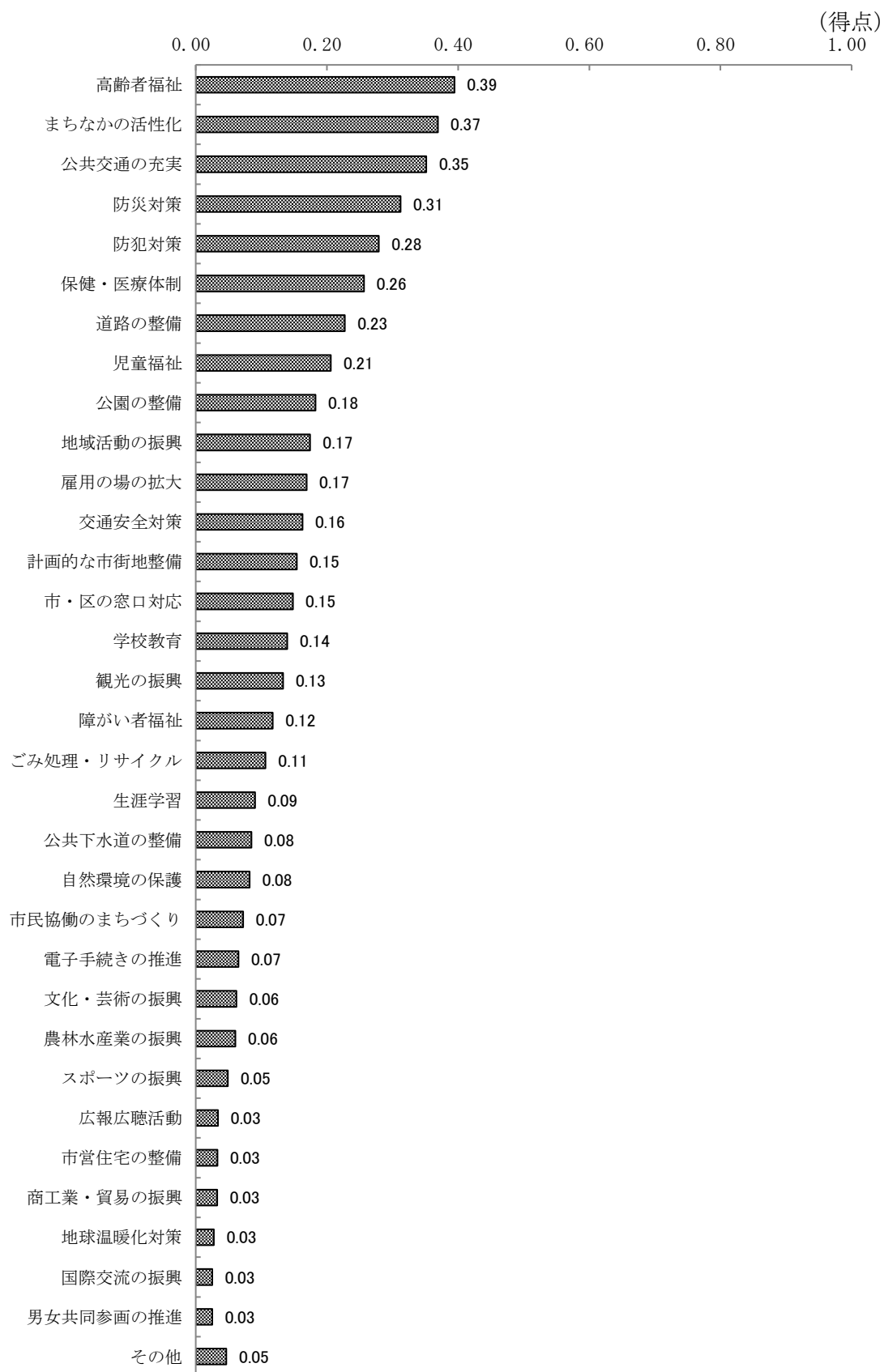


表 5-5 区として今後もっと力を入れてほしいもの

<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男 性	女 性	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳
1位	高齢者福祉 (0.39 ポイント)	公共交通の充実 (0.40 ポイント)	まちなかの活性化 (0.45 ポイント)	児童福祉 (0.54 ポイント)	公共交通の充実 (0.43 ポイント)
2位	まちなかの活性化 (0.35 ポイント)	高齢者福祉 (0.40 ポイント)	公共交通の充実 (0.45 ポイント)	公共交通の充実 (0.41 ポイント)	防犯対策 (0.40 ポイント)
3位	防災対策 (0.33 ポイント)	まちなかの活性化 (0.38 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.27 ポイント)	道路の整備 (0.35 ポイント)	まちなかの活性化 (0.38 ポイント)
4位	公共交通の充実 (0.29 ポイント)	防災対策 (0.30 ポイント)	児童福祉 (0.26 ポイント)	防犯対策 (0.34 ポイント)	防災対策 (0.34 ポイント)
5位	道路の整備 (0.27 ポイント)	防犯対策 (0.29 ポイント)	道路の整備 (0.26 ポイント)	公園の整備 (0.31 ポイント)	市・区の窓口対応 (0.30 ポイント)

	50～59 歳	60～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
1位	高齢者福祉 (0.58 ポイント)	高齢者福祉 (0.44 ポイント)	高齢者福祉 (0.48 ポイント)	高齢者福祉 (0.41 ポイント)
2位	まちなかの活性化 (0.44 ポイント)	まちなかの活性化 (0.44 ポイント)	まちなかの活性化 (0.39 ポイント)	防犯対策 (0.25 ポイント)
3位	防災対策 (0.40 ポイント)	公共交通の充実 (0.35 ポイント)	防災対策 (0.38 ポイント)	保険・医療体制 (0.25 ポイント)
4位	公共交通の充実 (0.38 ポイント)	防災対策 (0.33 ポイント)	公共交通の充実 (0.31 ポイント)	まちなかの活性化 (0.21 ポイント)
5位	地域活動の振興 (0.27 ポイント)	道路の整備 (0.28 ポイント)	保健・医療体制 (0.31 ポイント)	公共交通の充実 (0.20 ポイント)

表 5-6 区として今後もっと力を入れてほしいもの

<区別平均得点の上位5つ>

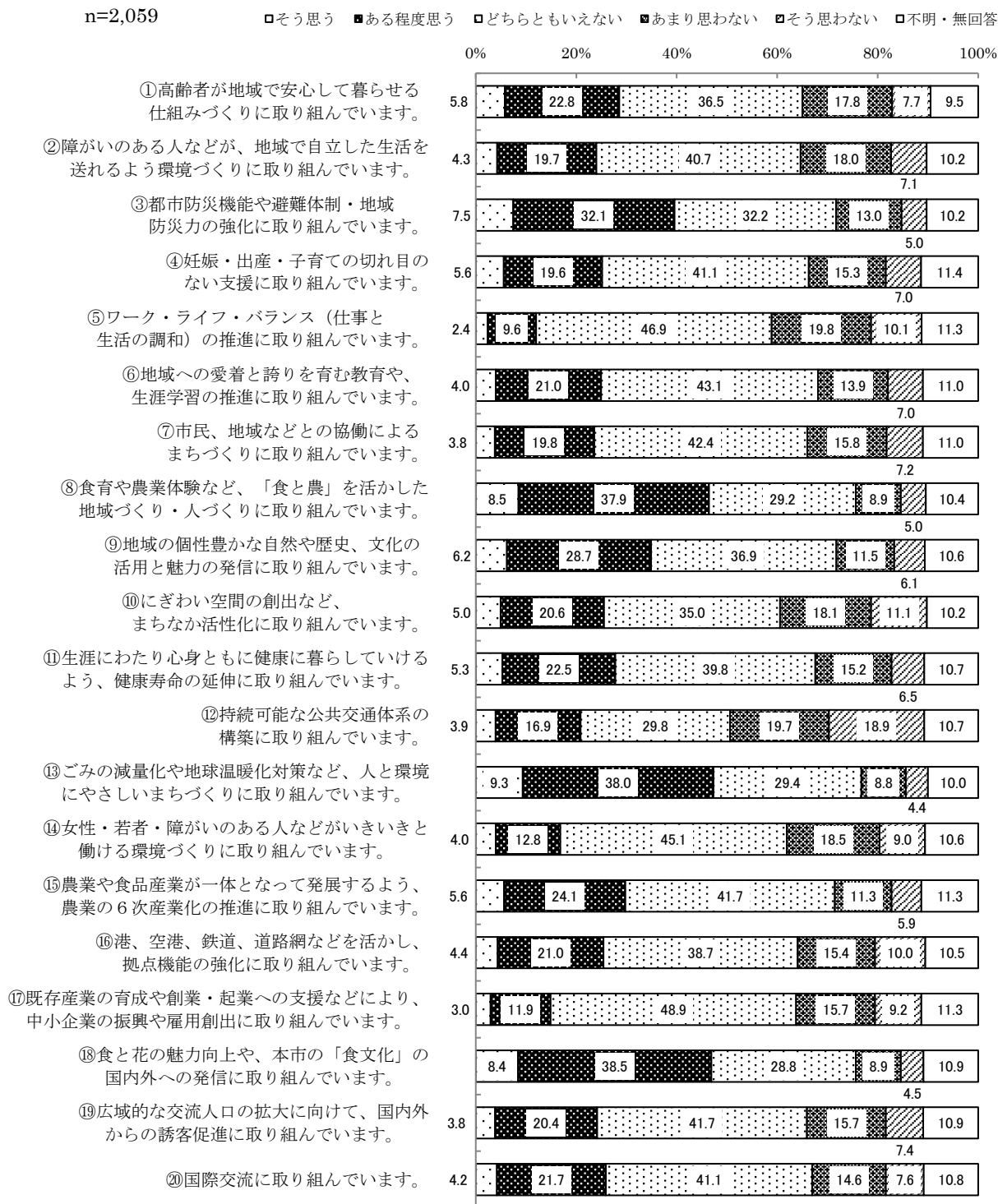
	北区	東区	中央区	江南区
1位	高齢者福祉 (0.42 ポイント)	まちなかの活性化 (0.37 ポイント)	まちなかの活性化 (0.50 ポイント)	高齢者福祉 (0.41 ポイント)
2位	まちなかの活性化 (0.39 ポイント)	高齢者福祉 (0.37 ポイント)	公共交通の充実 (0.44 ポイント)	防災対策 (0.37 ポイント)
3位	公共交通の充実 (0.37 ポイント)	防犯対策 (0.36 ポイント)	高齢者福祉 (0.37 ポイント)	公共交通の充実 (0.35 ポイント)
4位	防犯対策 (0.29 ポイント)	公共交通の充実 (0.35 ポイント)	防災対策 (0.33 ポイント)	道路の整備 (0.34 ポイント)
5位	地域活動の振興 道路の整備 (0.27 ポイント)	防災対策 (0.31 ポイント)	防犯対策 (0.30 ポイント)	交通安全対策 (0.25 ポイント)

	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	まちなかの活性化 (0.48 ポイント)	公共交通の充実 (0.49 ポイント)	高齢者福祉 (0.40 ポイント)	高齢者福祉 (0.46 ポイント)
2位	保健・医療体制 (0.47 ポイント)	まちなかの活性化 (0.33 ポイント)	防災対策 (0.36 ポイント)	まちなかの活性化 (0.39 ポイント)
3位	高齢者福祉 (0.46 ポイント)	防災対策 (0.31 ポイント)	防犯対策 (0.32 ポイント)	道路の整備 (0.33 ポイント)
4位	防災対策 (0.28 ポイント)	高齢者福祉 (0.30 ポイント)	公共交通の充実 (0.31 ポイント)	児童福祉 (0.31 ポイント)
5位	雇用の場の拡大 (0.24 ポイント)	公共下水道の整備 (0.26 ポイント)	保健・医療体制 (0.31 ポイント)	農林水産業の振興 (0.29 ポイント)

6. 市の取組みについて

(1) 取組みへの感想

問 22 平成 27 年度からスタートした新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」に基づき進めている主な取組みについて、あなたの感想をお聞かせください。
それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。



— 「人と環境にやさしいまちづくり」が高い評価を得ている —

【全体結果】

『市の取組み状況』への評価（感想）について、「そう思う」の割合は、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」（9.3%）が最も高い。以下、「そう思う」の割合は、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」（8.5%）、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」（8.4%）の順で高くなっている。

一方、「そう思わない」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」（18.9%）が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」（11.1%）、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」（10.1%）、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」（10.0%）、「⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。」（9.2%）の順で高くなっている。

評価（感想）について、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合、及び、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」（47.3%）の割合が最も高くなっている。以下、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」（46.9%）、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」（46.4%）と続き、4割以上となっている。

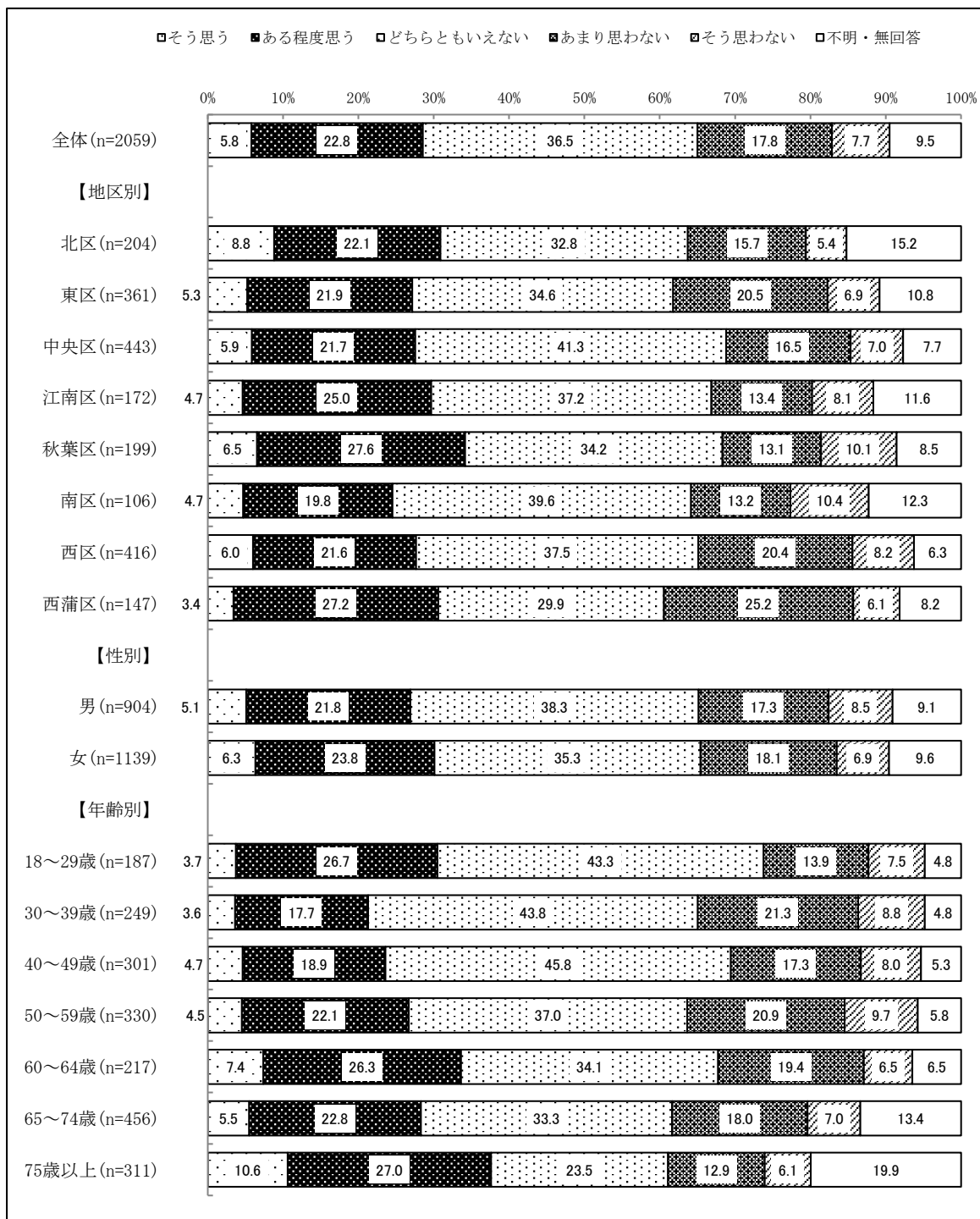
また、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」（39.5%）、「⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。」（34.9%）が3割台で続いている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」（38.7%）が最も高い。以下、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」（29.9%）、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」（29.2%）、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」（27.5%）、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」（25.5%）、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」（25.4%）の順に続く。

【属性別結果】

次ページ以降に取組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。

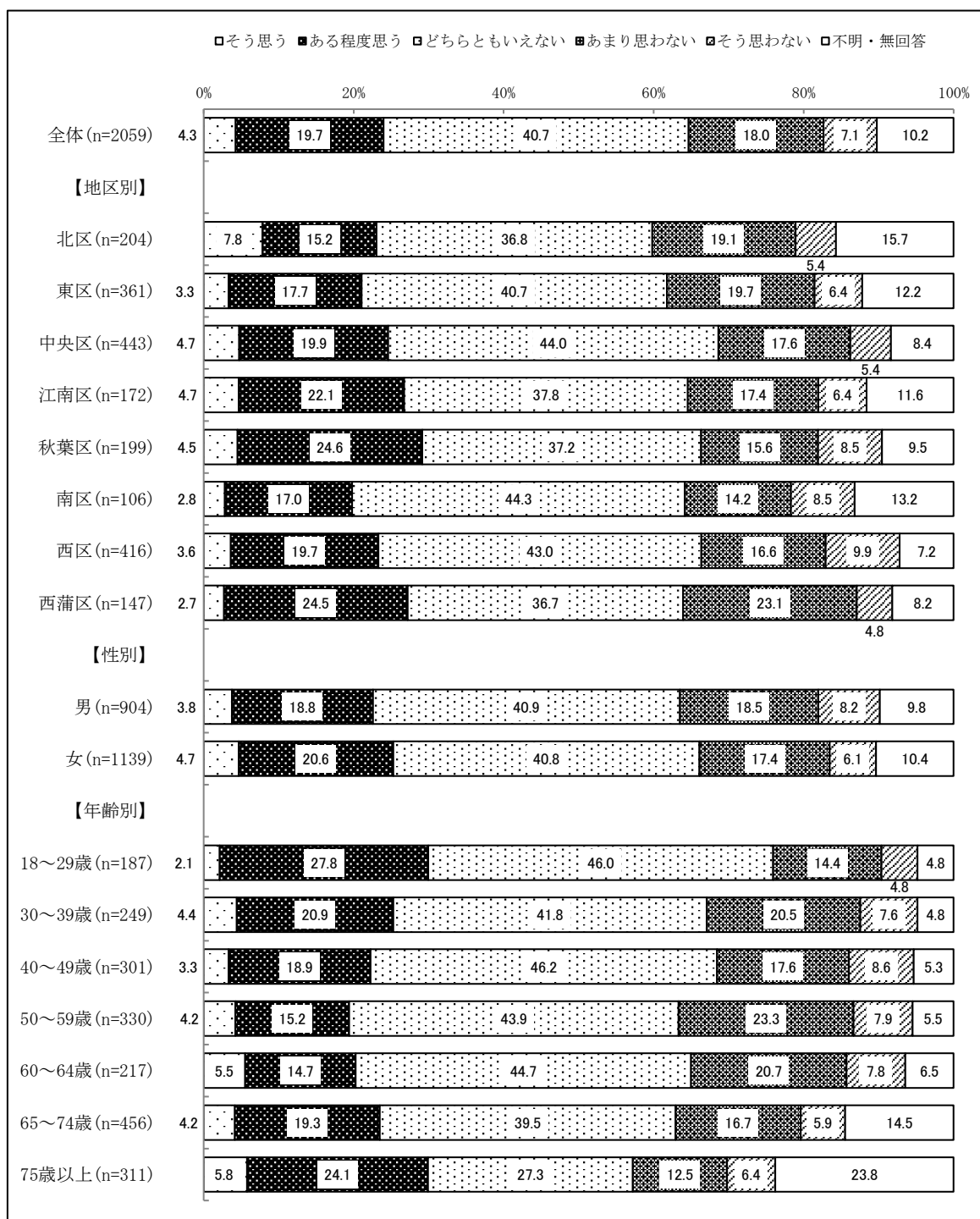


東区・西区・西蒲区・30～50代を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（34.2%）で最も高い。性別では、女性（30.1%）が男性（26.9%）をやや上回り、年齢別では、75歳以上（37.6%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、西蒲区・30代・50代を除く属性において3割未満となっている。

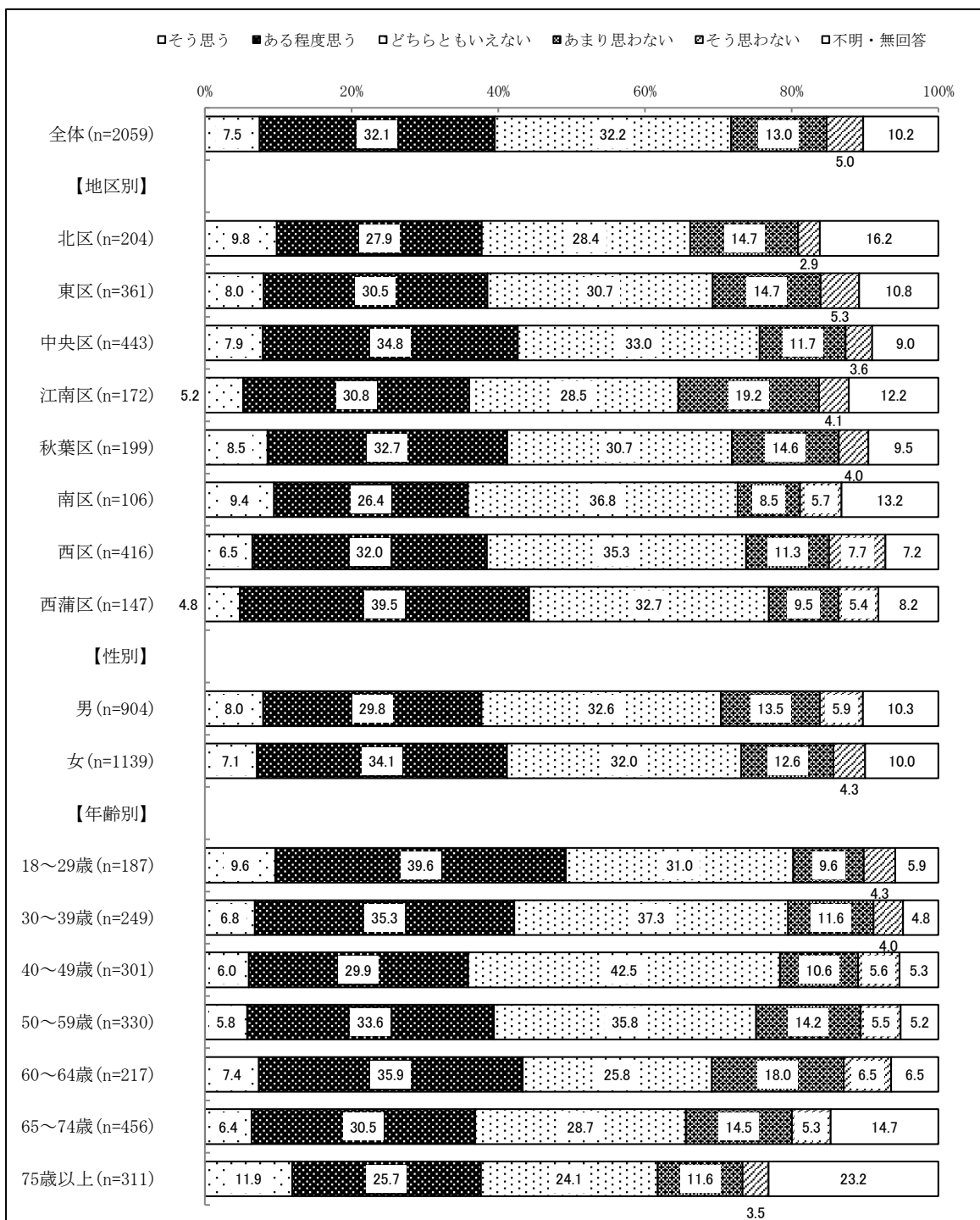
②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。



中央区・江南区・秋葉区・女性・18～29歳・65歳以上を除く属性において、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区(27.9%)で高くなっている。性別は、男性でやや高く、年齢別は、50代(31.2%)で最も高い。

③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。

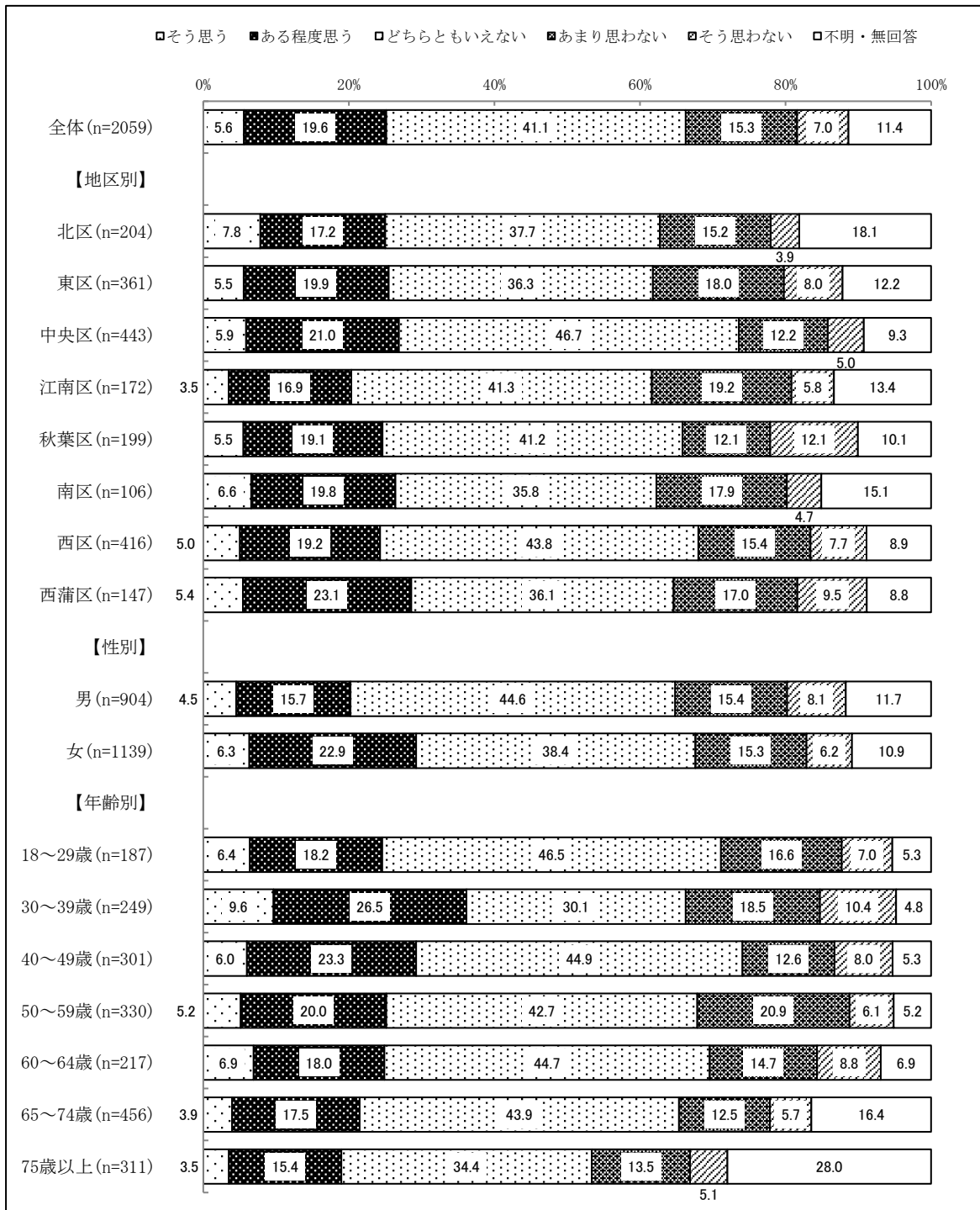


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（44.2%）で最も高い。性別では、女性（41.2%）が男性（37.7%）をやや上回り、年齢別では、18～29歳（49.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、江南区・60～64歳を除く属性において2割未満となっている。

④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。

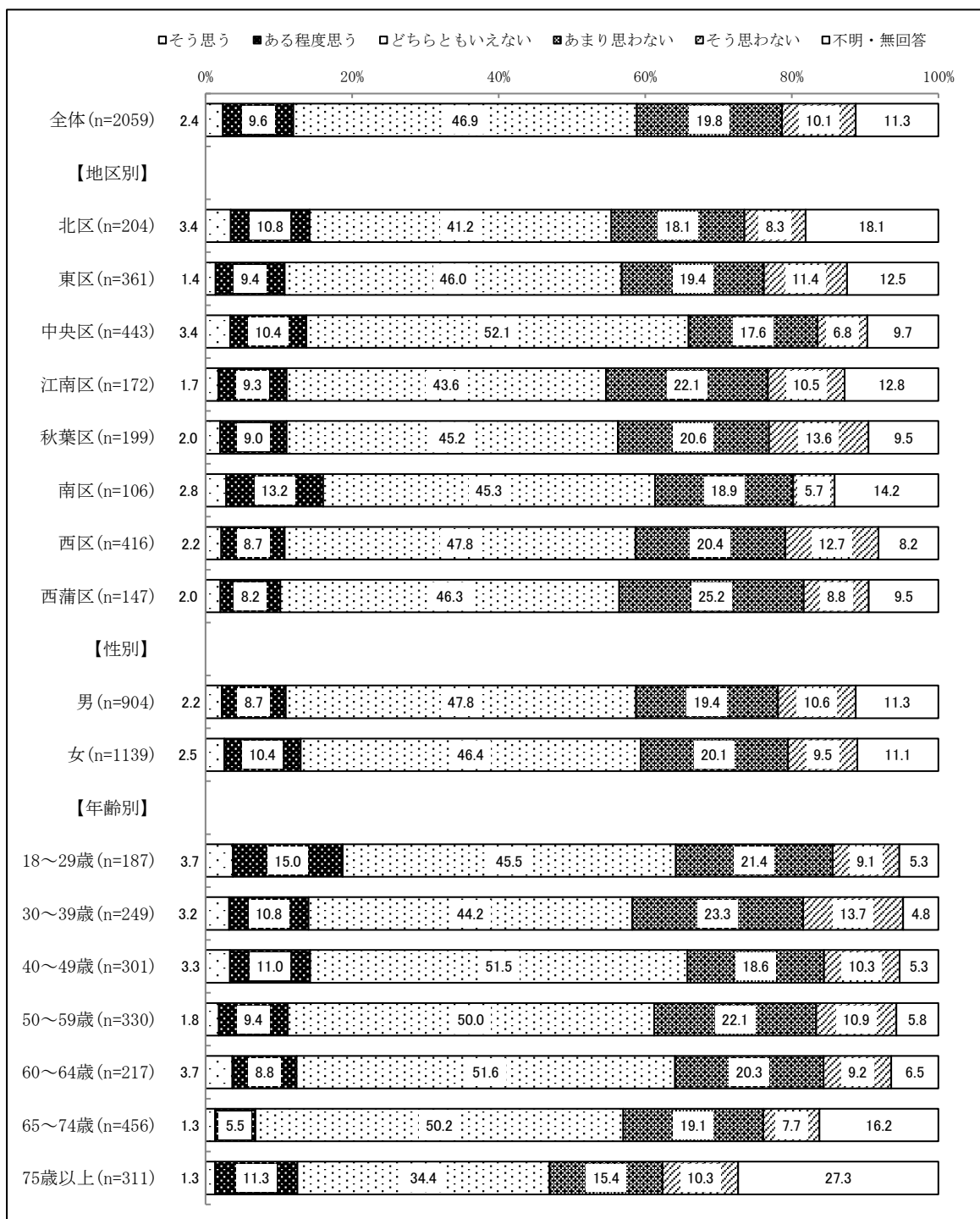


東区・江南区・男性・50代を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（28.6%）で最も高い。性別では、女性で約3割となり、年齢別では、30代（36.1%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、年齢別の30代では3割弱となり、割合が高い。

⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

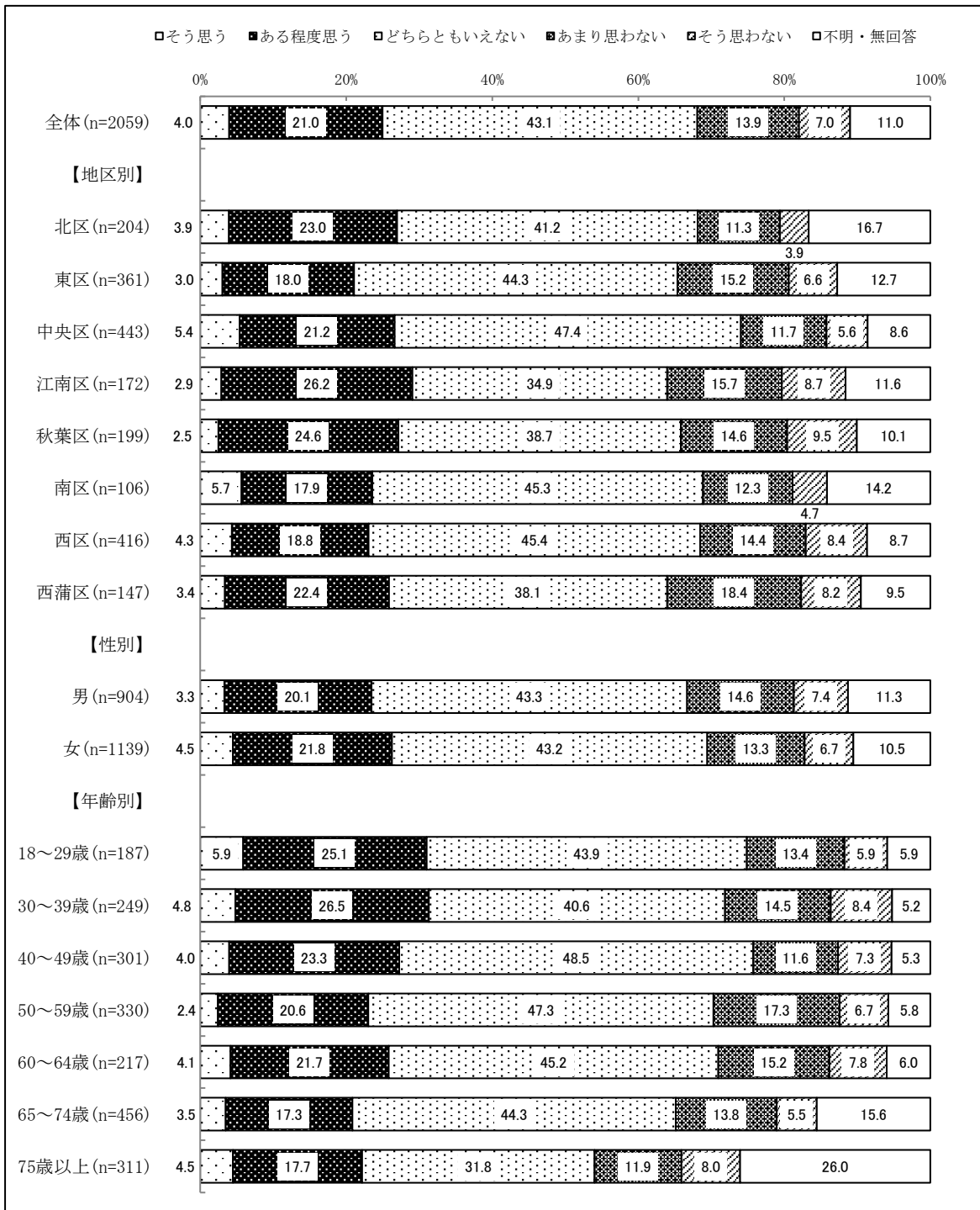


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、東区・江南区・秋葉区・西区・西蒲区で3割を超えた。年齢別では、30代（36.9%）で最も高い。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、すべての属性で2割に満たず、年齢別の65～74歳では、1割未満となった。

⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。

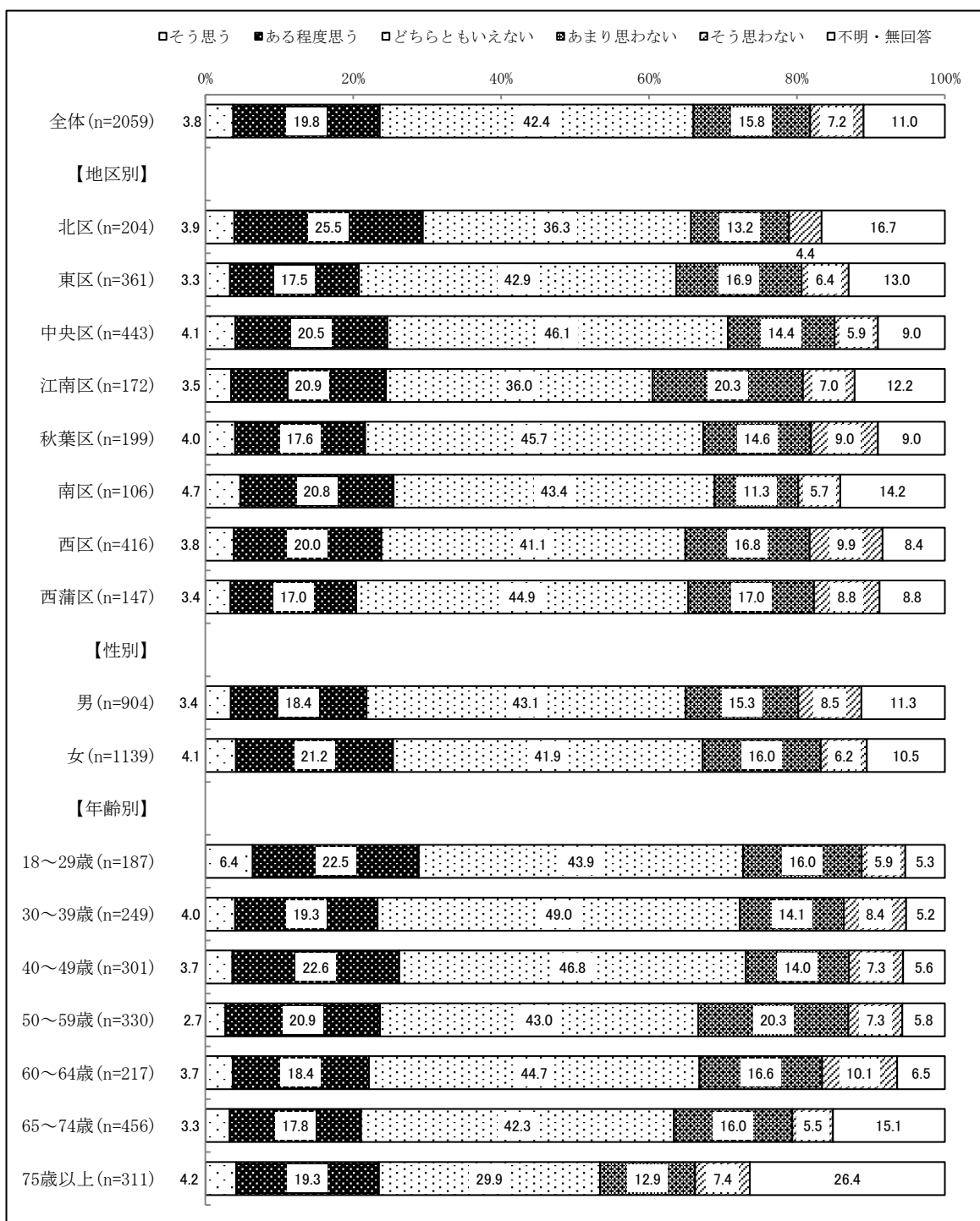


東区・西蒲区・50代を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、江南区（29.1%）で最も高い。性別では、男性（23.5%）と比べて女性（26.3%）で割合がやや高い。年齢別では、30代以下で3割を超えた。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では西蒲区（26.5%）、年齢別では50代（23.9%）で最も高い。

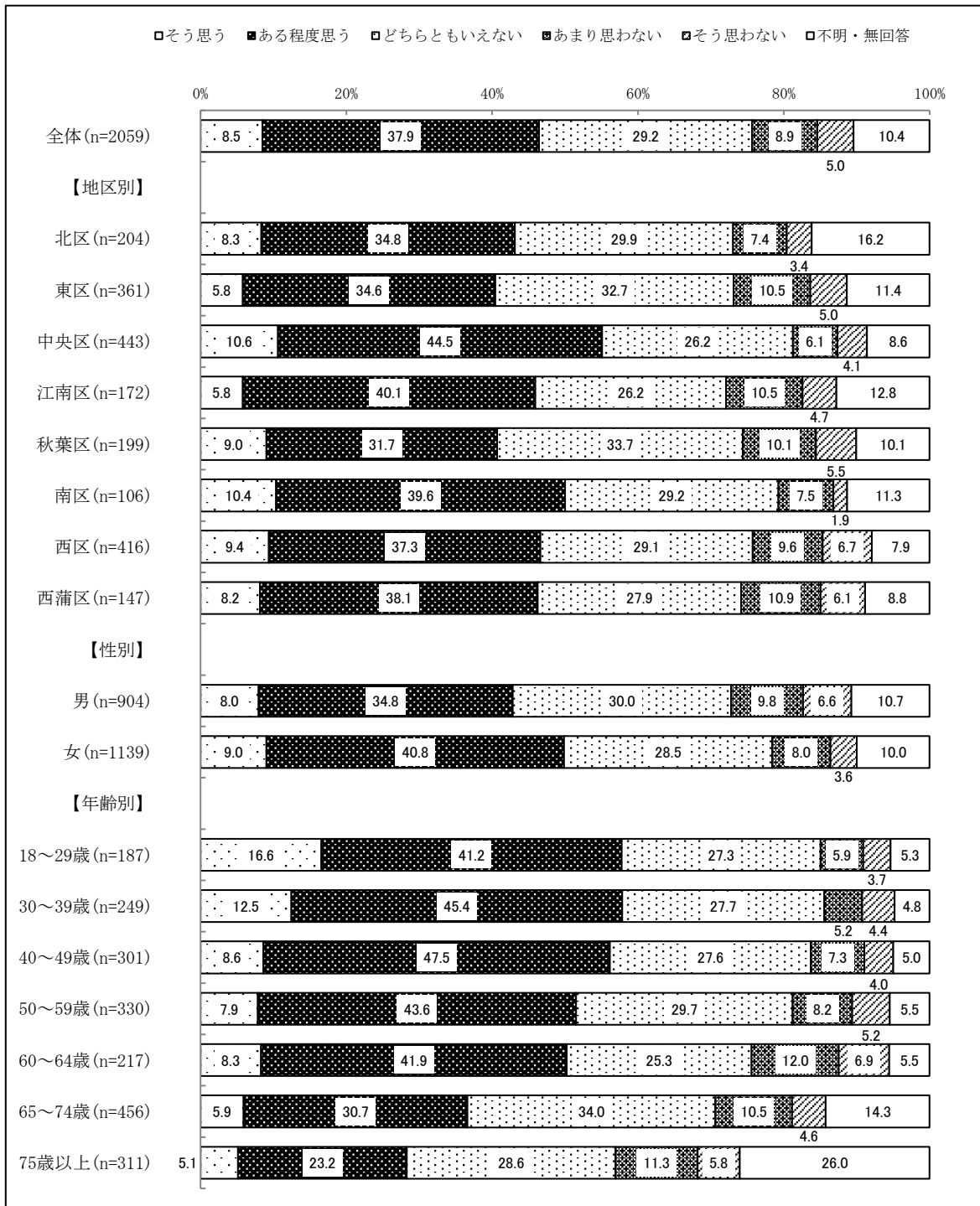
⑦市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、北区（29.4%）で最も高い。性別では、男性（21.8%）と比べて女性（25.4%）で割合がやや高い。年齢別では、18～29歳代（28.9%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では江南区（27.3%）、年齢別では50代（27.6%）で最も高い。性別では、男性で「そう思わない」「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。

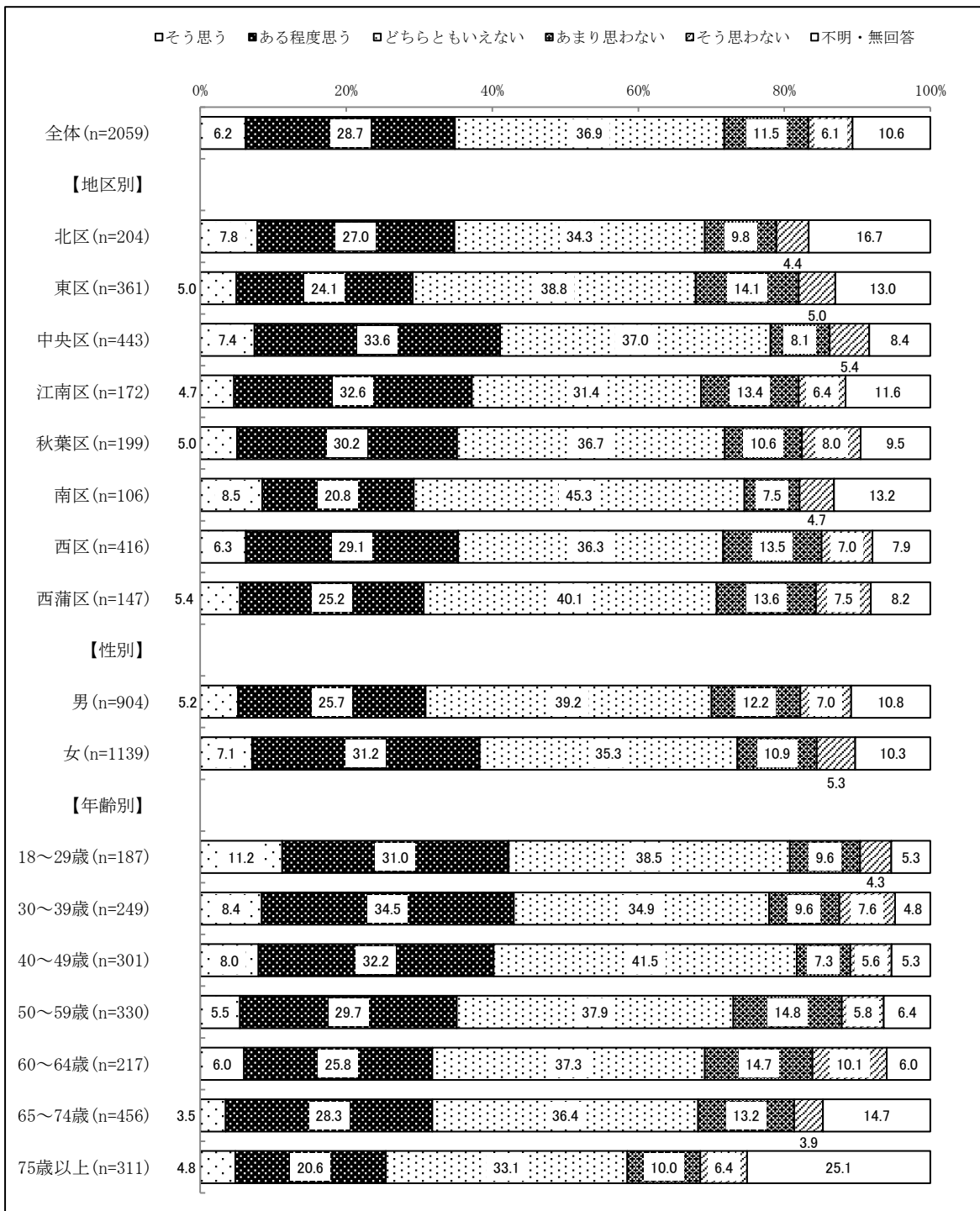


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区・南区で5割を超え、他の地区も4割を超えた。性別では、男性(42.8%)と比べて女性(49.9%)で割合が高い。年齢別では、18～29歳・30代(共に57.8%)で最も高く、年齢が上がるほど、割合が低い傾向がみられる。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、すべての属性で2割未満となった。

⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。

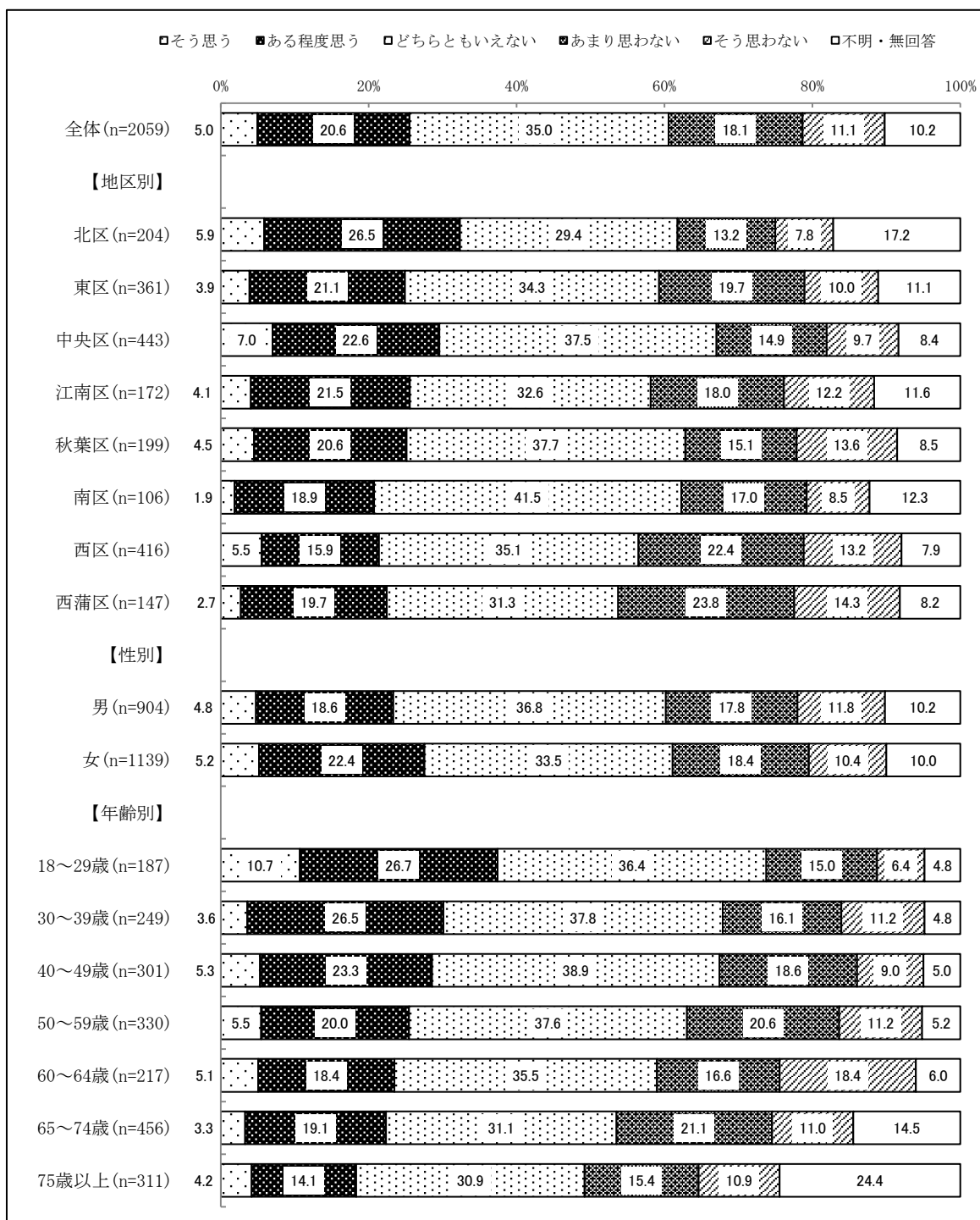


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（41.1%）で最も高い。性別では、男性（30.9%）と比べて女性（38.3%）で割合が高い。年齢別では、40代以下で4割を超え、年齢が上がるほど、割合が低い傾向がみられる。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、60代（24.9%）でやや高い。

⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。

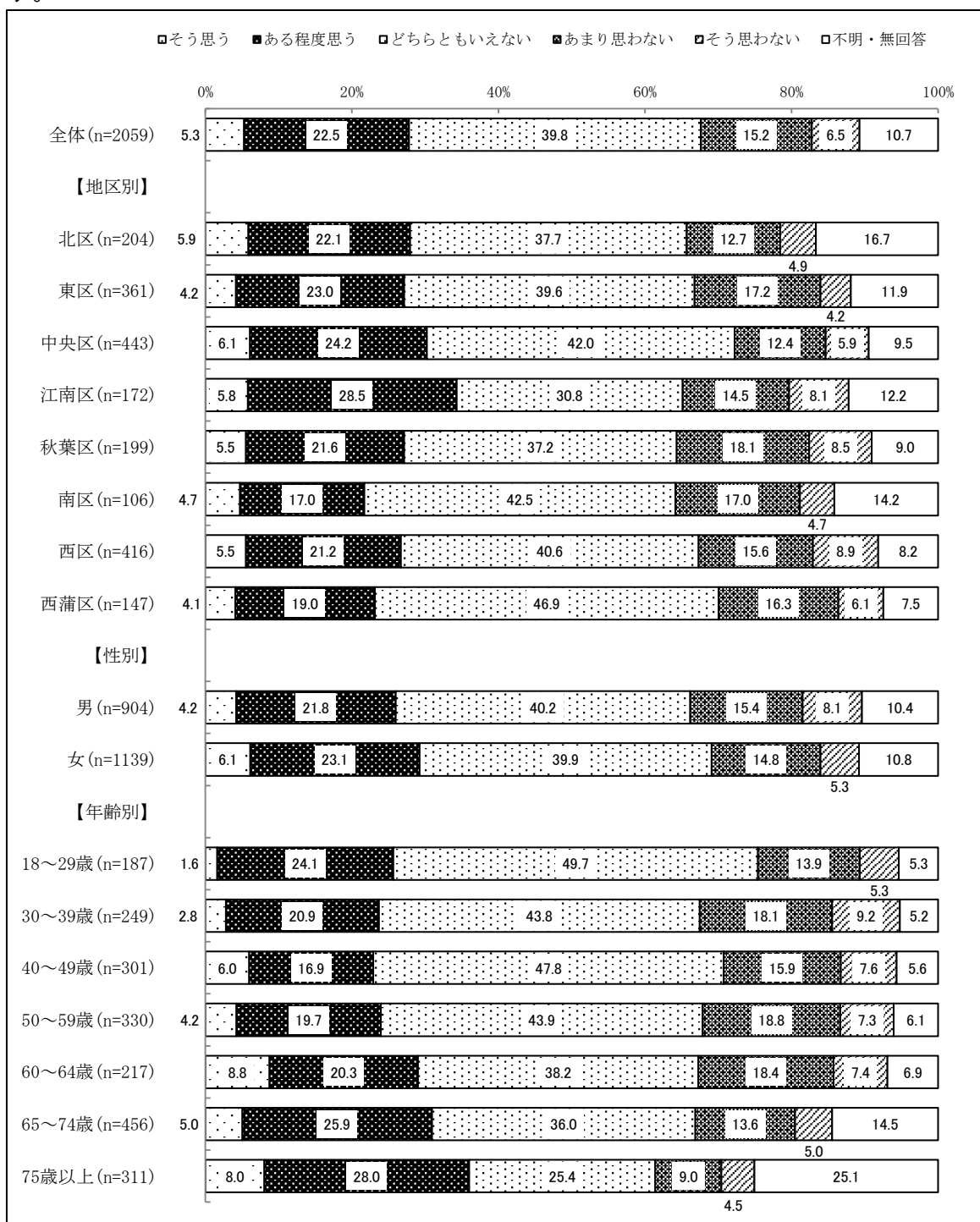


北区・中央区・40代以下を除いた属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（38.1%）が最も高い。年齢別は、50~74歳で3割を超えた。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、年齢別では、18~29歳（37.4%）で最も高く、年代が上がるほど、割合が低い傾向がみられる。

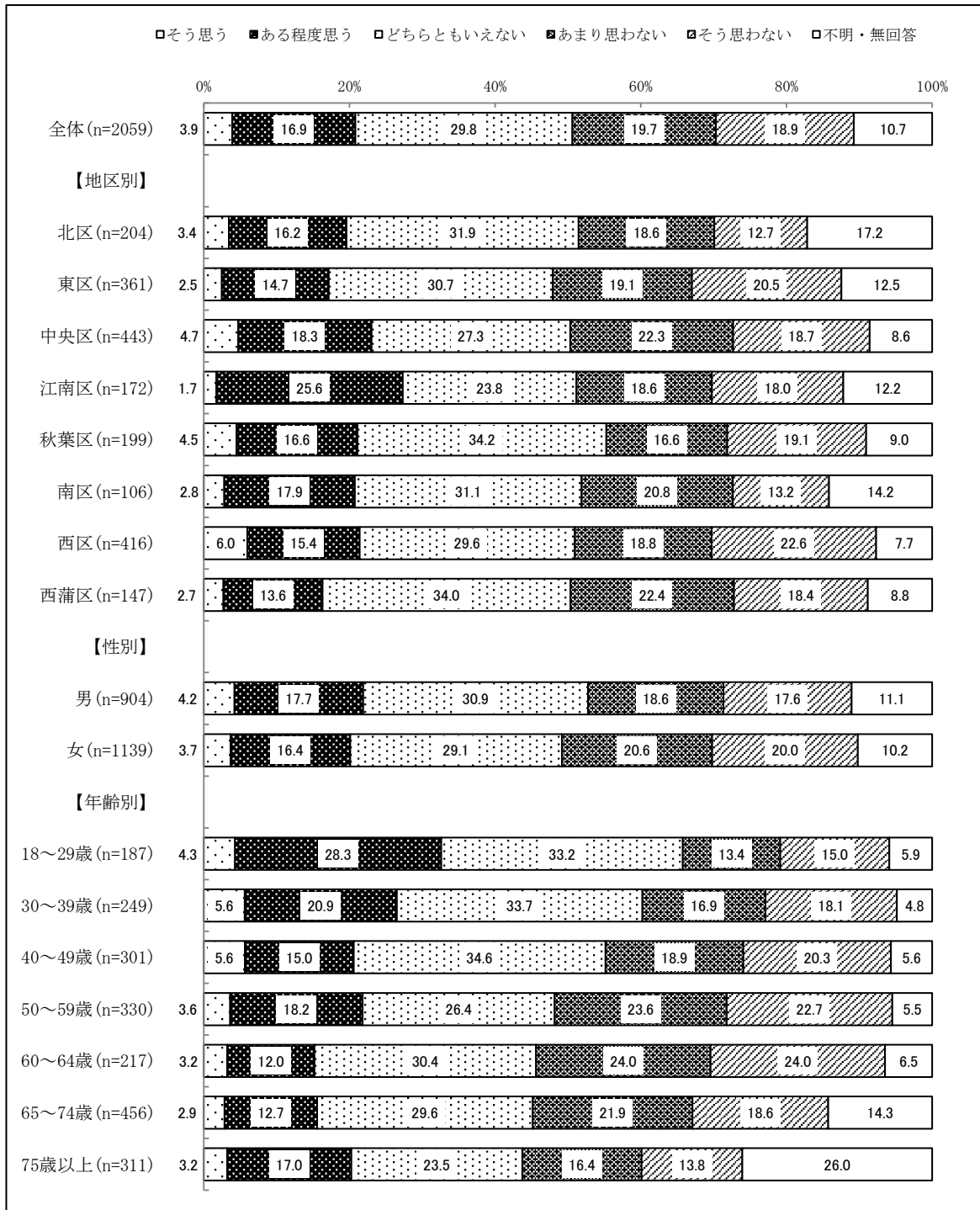
⑪生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



南区・30~50代を除いた属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。南区では同じ割合となった。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では江南区 (34.3%)、性別では女性 (29.2%)、年齢別では75歳以上 (36.0%) で最も高い。

⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

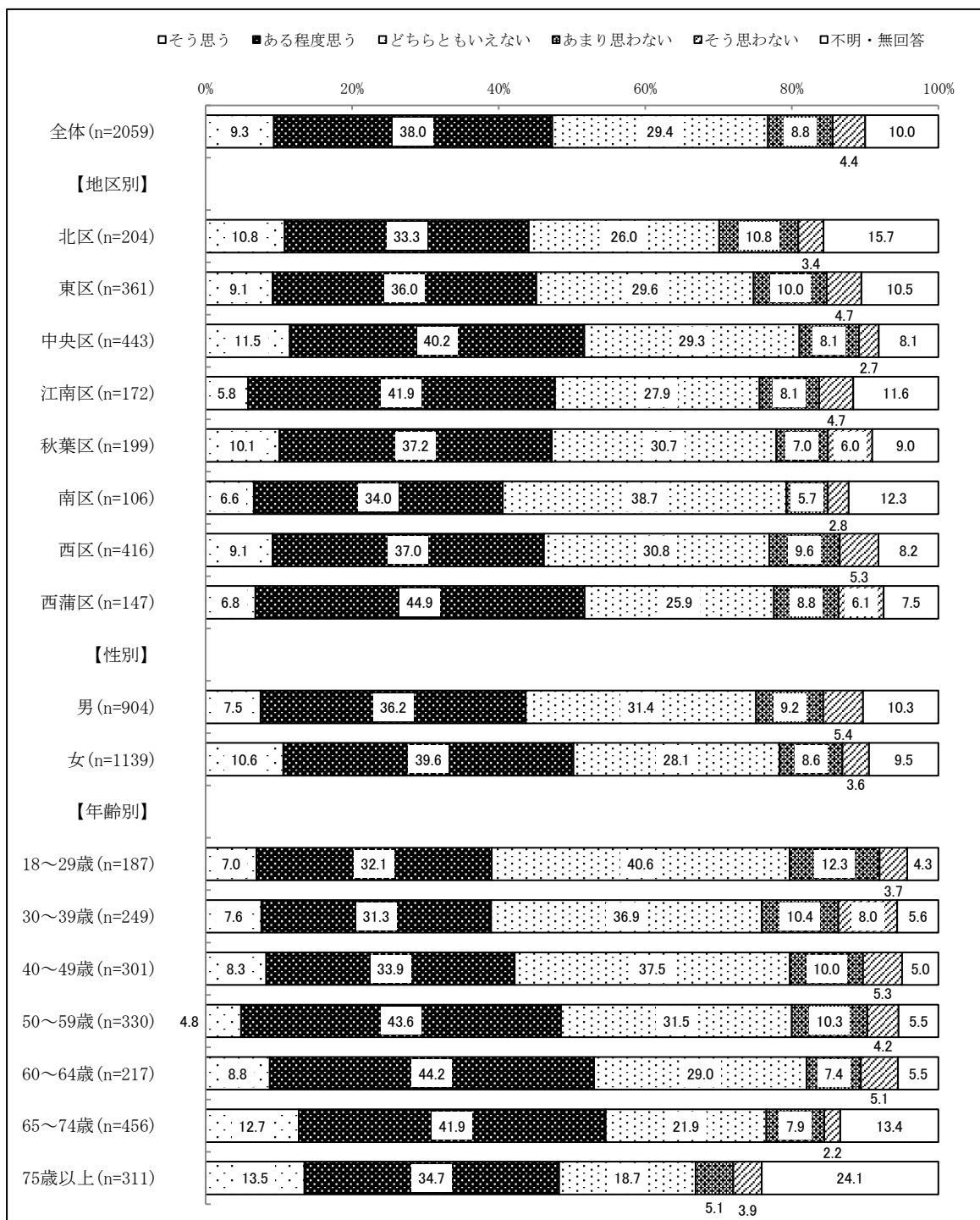


18～29歳を除くすべての属性で、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合を上回った。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、中央区・西区・西蒲区で4割を超えた。性別では、男性（36.2%）と比べて女性（40.6%）で割合が高い。年齢別は、60代（47.9%）で最も高い。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、江南区（27.3%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（32.6%）で最も高く、3割を超えた。

⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

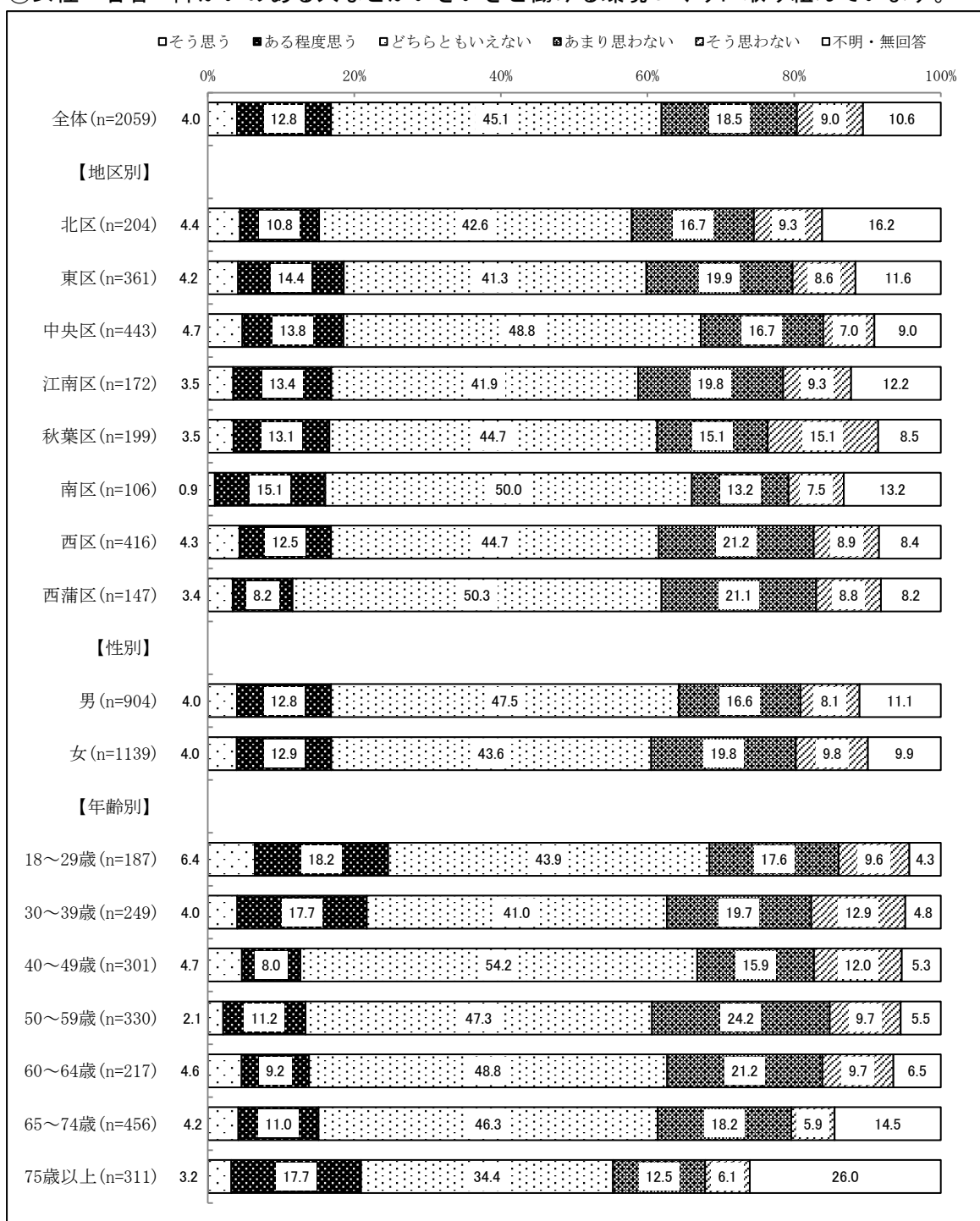


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別の中央区・西蒲区、性別の女性、年齢別の60~74歳で半数を超えた。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、すべての属性で2割未満となった。

⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

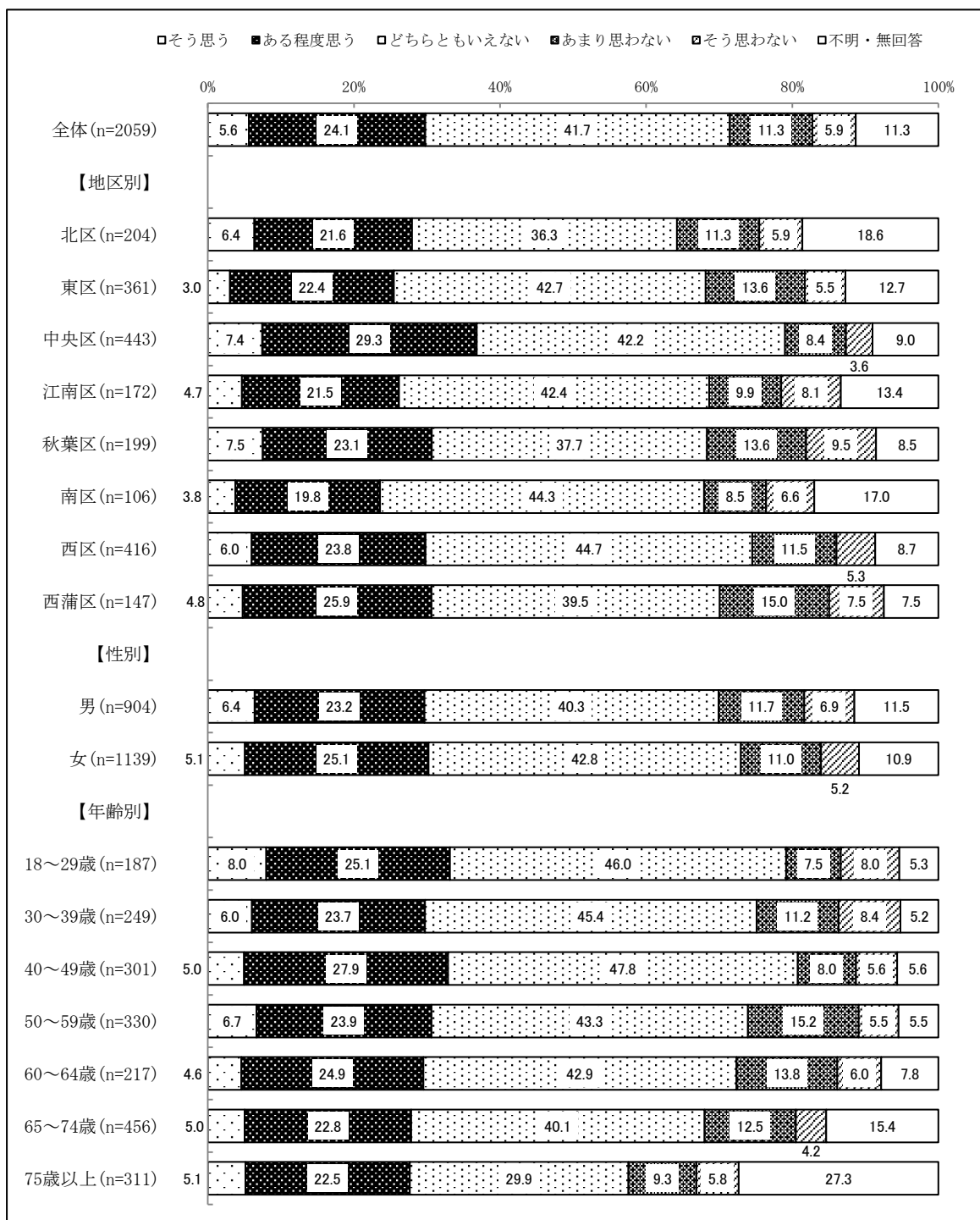


75歳以上を除いたすべての属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区・西区で約3割となった。性別では、男性(24.7%)と比べて女性(29.6%)で割合が高い。年齢別では、30代・50代・60~64歳で3割を超えた。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、20代・30代・75歳以上で2割を超えたものの、他の属性では2割未満となった。

⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。

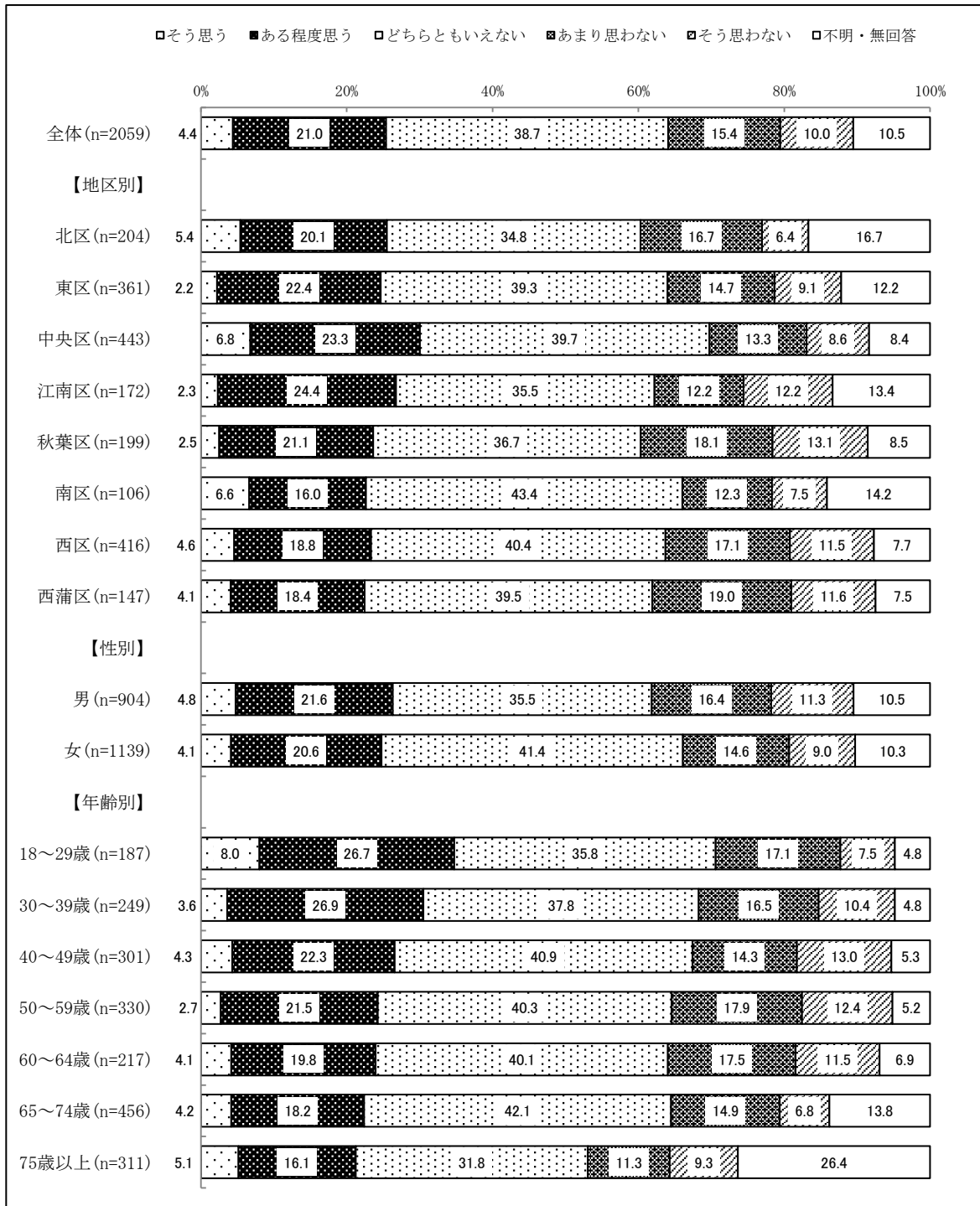


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（36.8%）で最も高く、年齢別では、18~29歳（33.2%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、他の地区と比べて南区（23.1%）で高い。

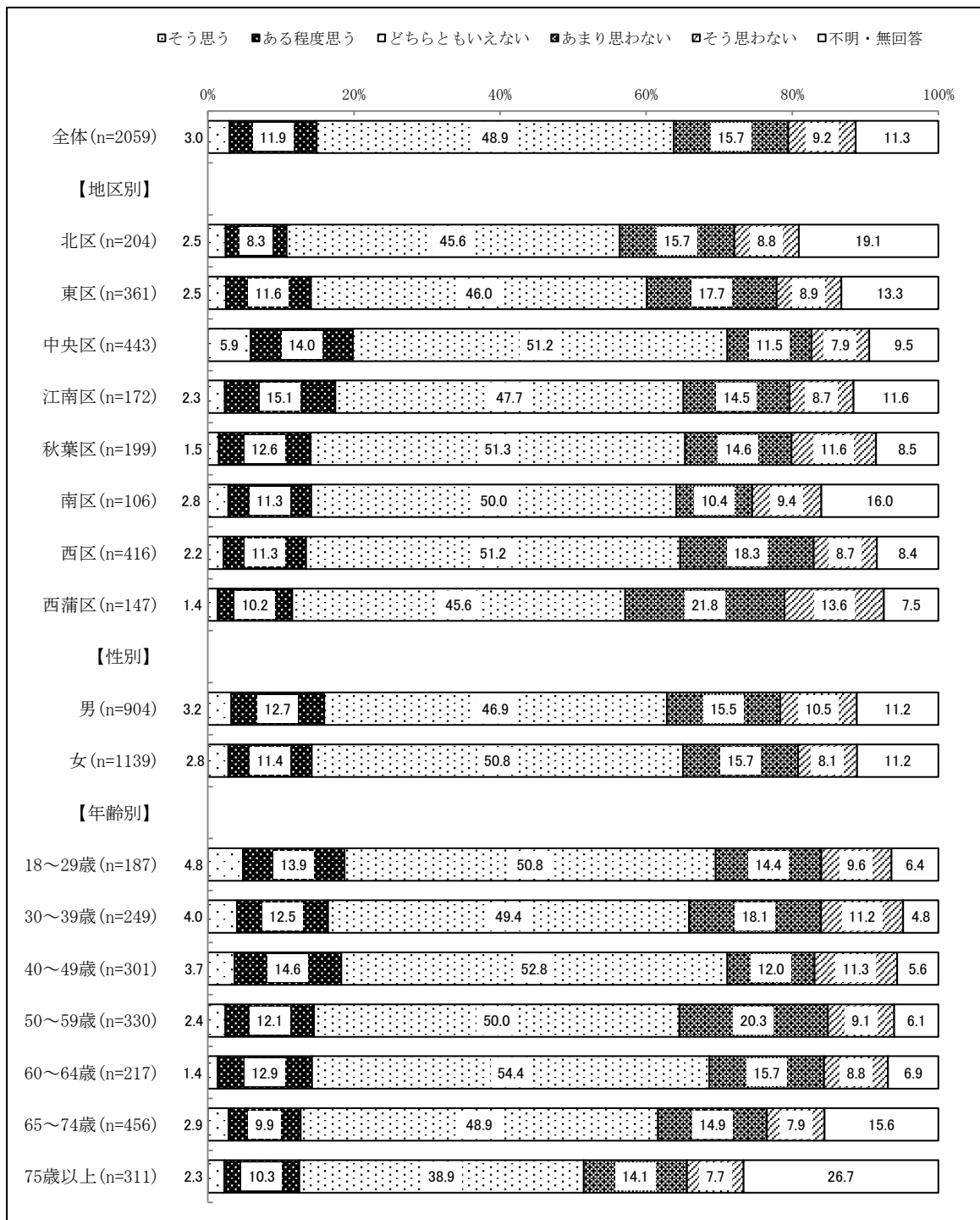
⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（30.0%）で最も高い。年齢別では、18～29歳（34.8%）で最も高く、年齢が上がるほど、割合が低い傾向がみられる。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（31.2%）で最も高い。性別では、女性（23.6%）と比べて男性（27.7%）で割合が高い。年齢別では、50代（30.3%）で最も高く、約3割となった。

⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。

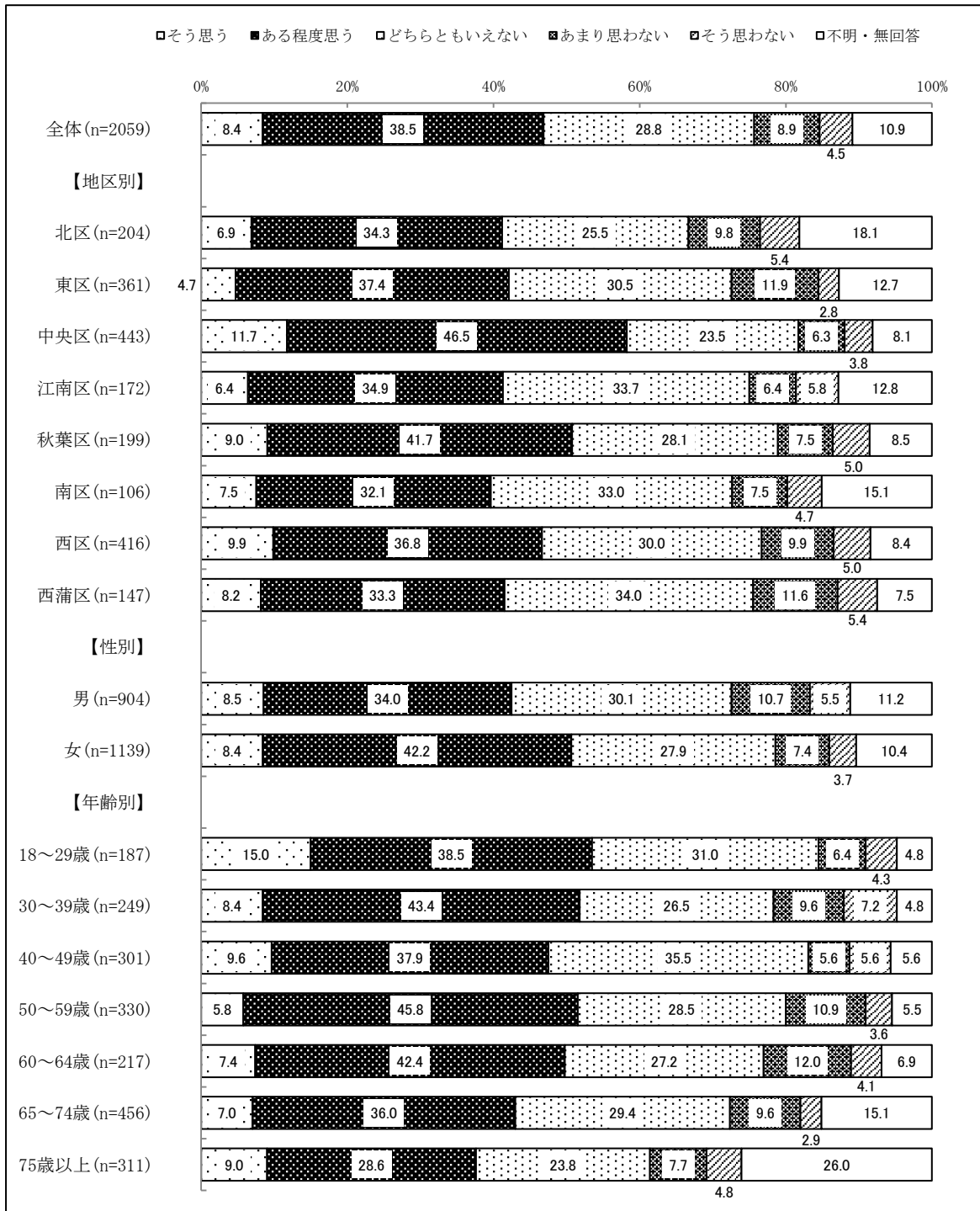


中央区を除く属性で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区 (35.4%) で突出している。年齢別では、30代・50代で約3割となった。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、すべての属性で2割に満たない。

⑩食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。

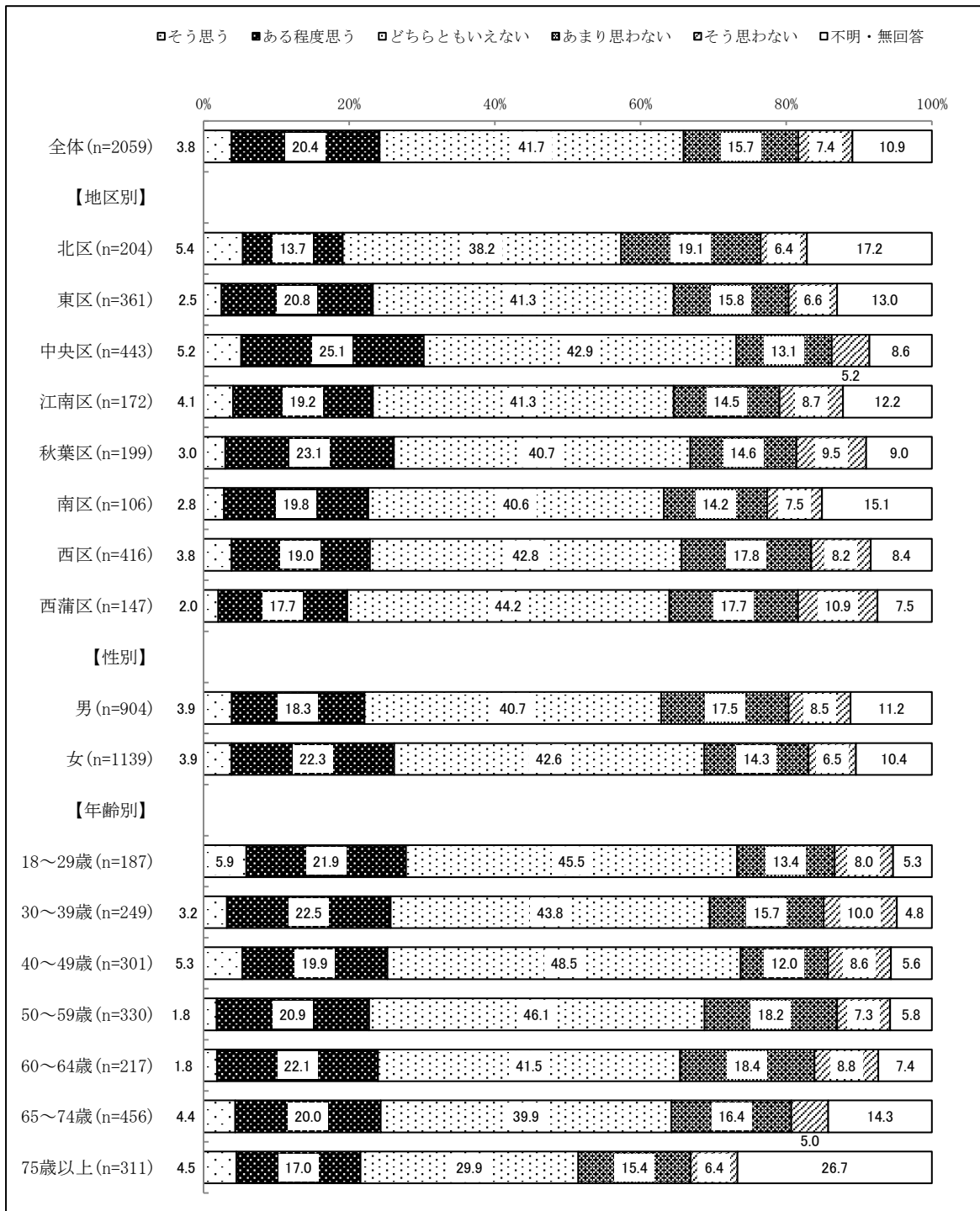


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（58.2%）で最も高い。性別では、男性（42.5%）と比べて女性（50.7%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（53.5%）で最も高く、概ね年齢が上がるほど、割合が低い傾向がみられる。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、すべての属性で2割未満となった。

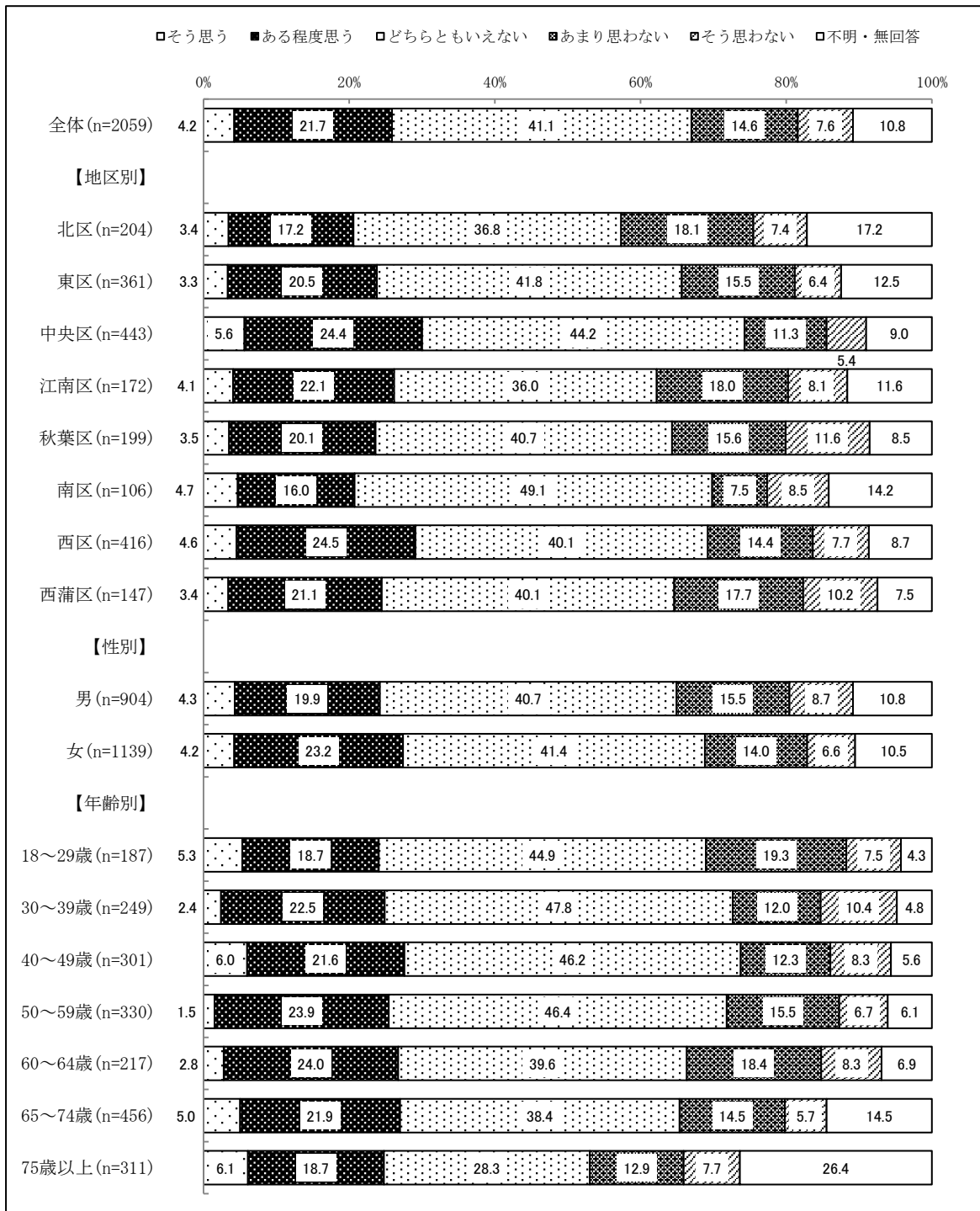
⑱広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（30.2%）で最も高い。性別では、男性（22.1%）と比べて女性（26.2%）で割合がやや高い。年齢別では、18~29歳（27.8%）で最も高い。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別の北区・西区・西蒲区、性別の男性、年齢別の50代・60~64歳で、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

⑳国際交流に取り組んでいます。



多くの属性で、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（30.0%）、西区（29.1%）で高い。年齢別では、40代（27.6%）で最も高い。

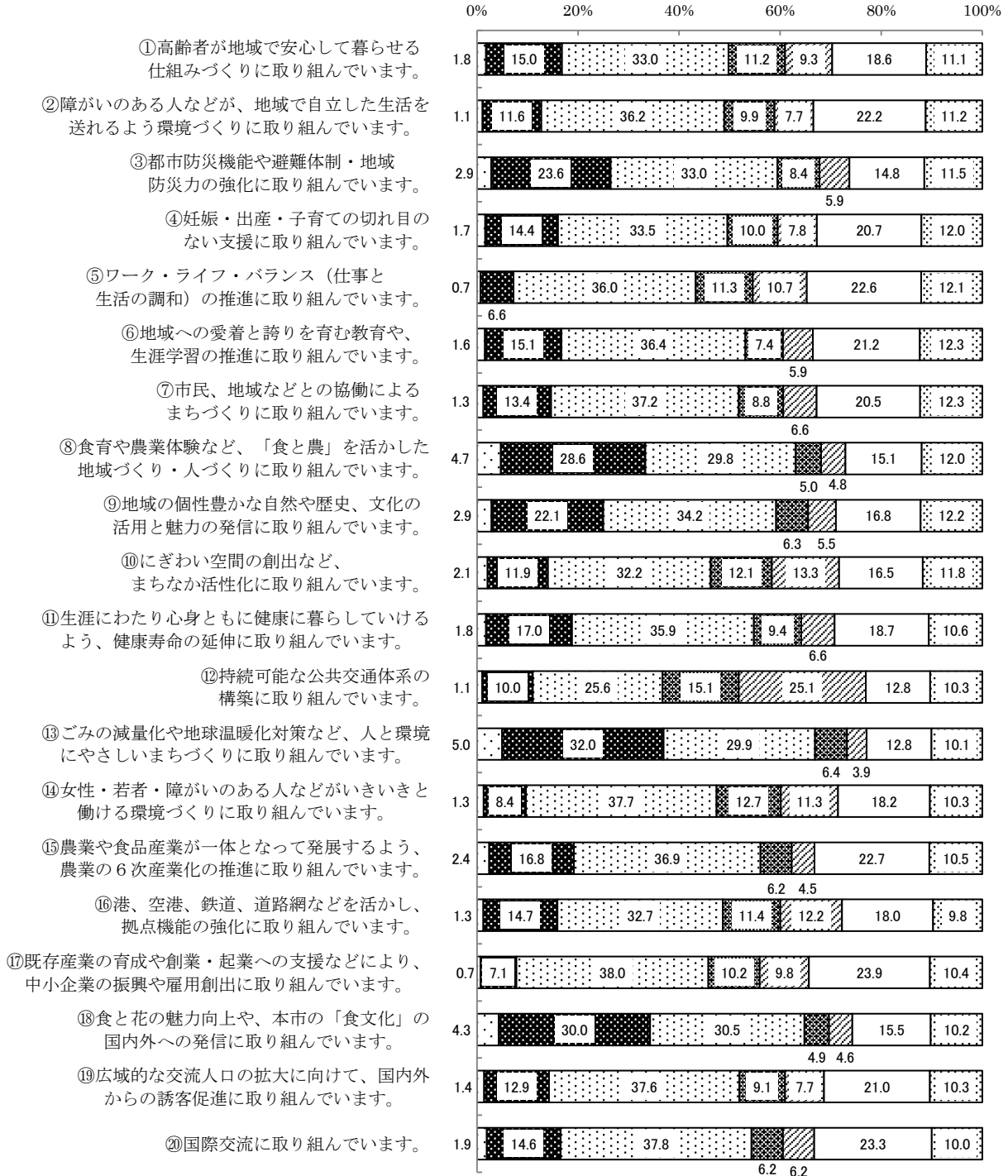
一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（27.1%）、西蒲区（27.9%）でやや高い。年齢別では、18～29歳（26.7%）で高くなっている。

(2) 取組みへの満足度

問 22 平成 27 年度からスタートした新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」に基づき進めている主な取組みについて、あなたの満足度をお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

n=2,059

□満足している ■ある程度満足している □どちらともいえない ▨やや不満 □不満 □わからない □不明・無回答



【全体結果】

『市の取組み状況』への満足度について、「満足している」の割合は、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(5.0%)が最も高い。以下、「満足している」の割合は、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(4.7%)、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(4.3%)の順で高くなっている。

一方、「不満」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(25.1%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(13.3%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(12.2%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(11.3%)、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(10.7%)の順で高くなっている。

満足度について、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合、及び、「やや不満」と「不満」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(37.0%)の割合が最も高くなっている。以下、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(34.3%)、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(33.3%)と続き、3割以上となっている。

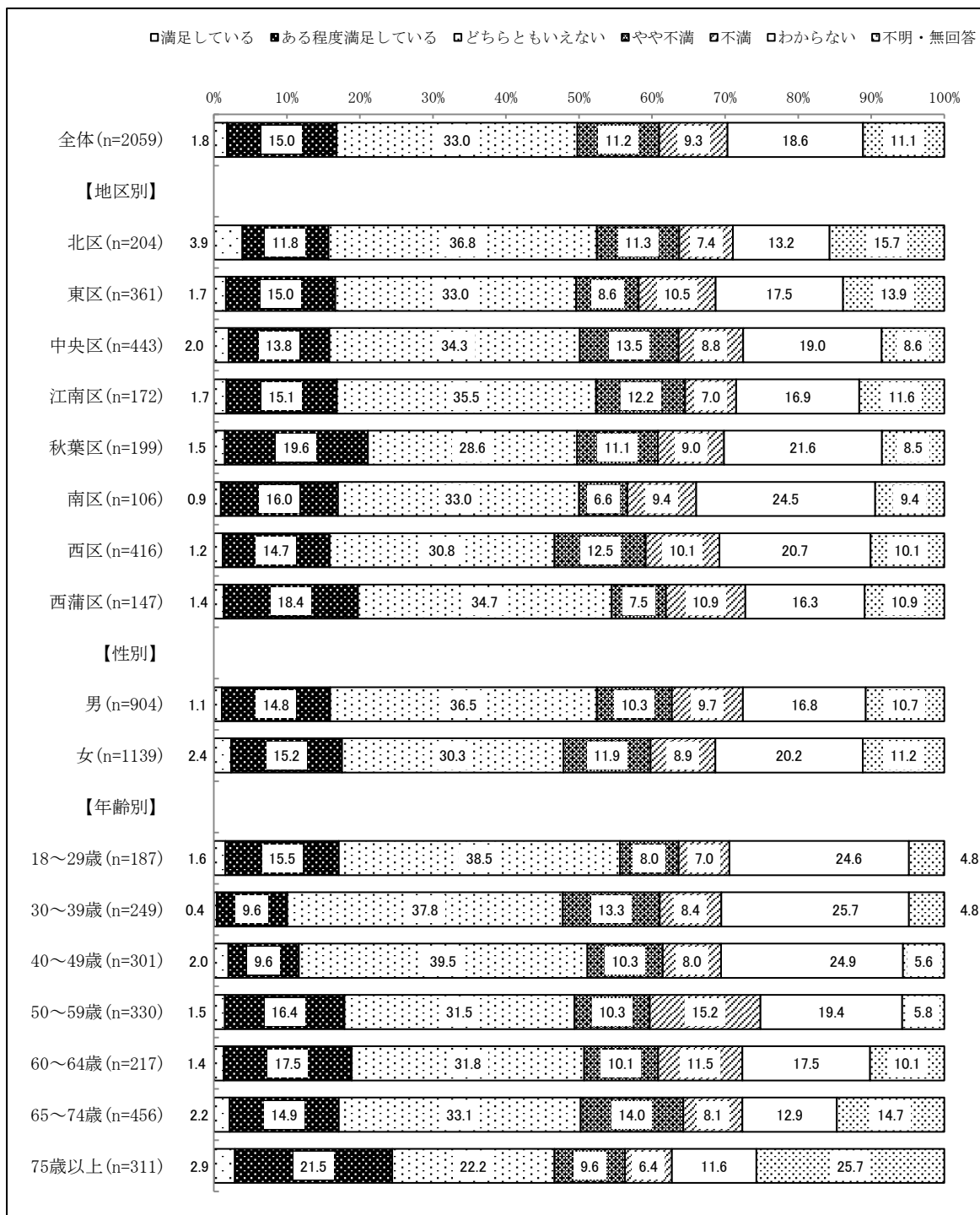
また、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」(26.5%)、「⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。」(25.0%)が2割台で続いている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(40.2%)が最も高い。以下、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(25.4%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(24.0%)が2割台で続いている。

【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。

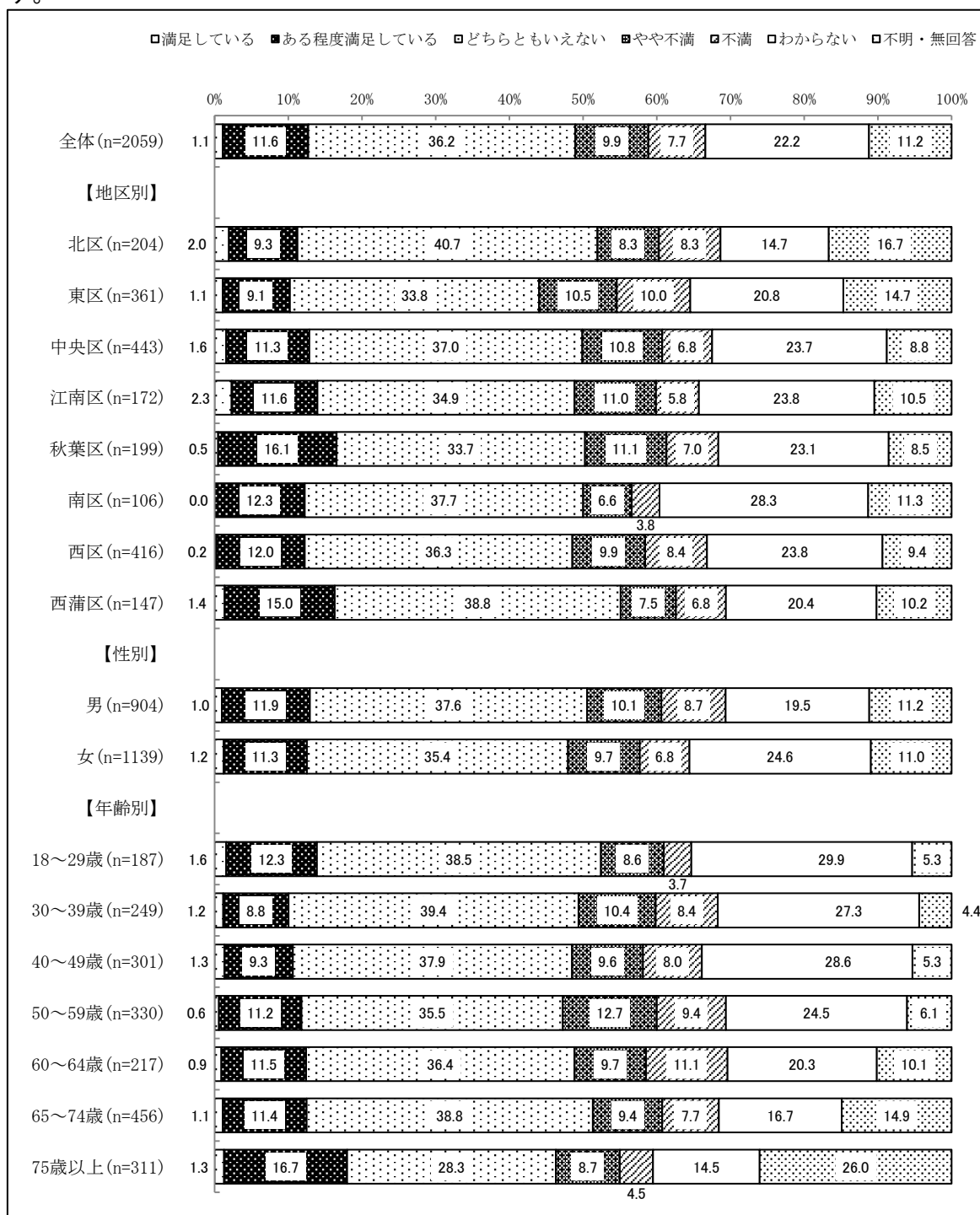


秋葉区・南区・西蒲区・18～29歳・75歳以上を除く属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区 (22.3%)、西区 (22.6%) でやや高い。年齢別では、50代 (25.5%) で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区 (21.1%) で最も高く、年齢別では75歳以上 (24.4%) で最も高い。その他の属性では、2割に満たない。

②障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。

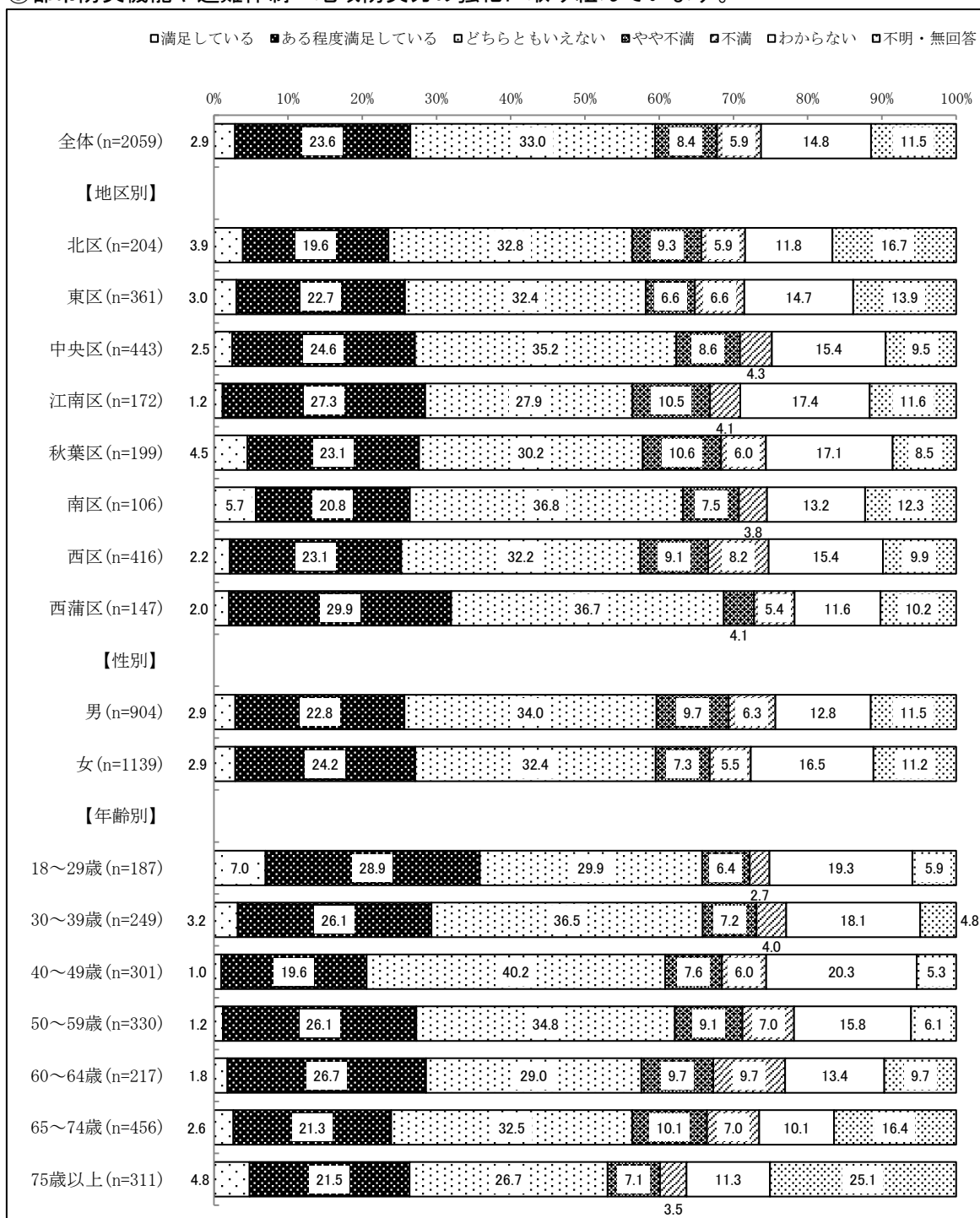


南区・西蒲区・18～29歳・75歳以上を除く属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、東区（20.5%）で最も高く、年齢別では、50代（22.1%）で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（16.6%）、西蒲区（16.3%）で高い。年齢別では75歳以上（18.0%）で最も高い。

③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。

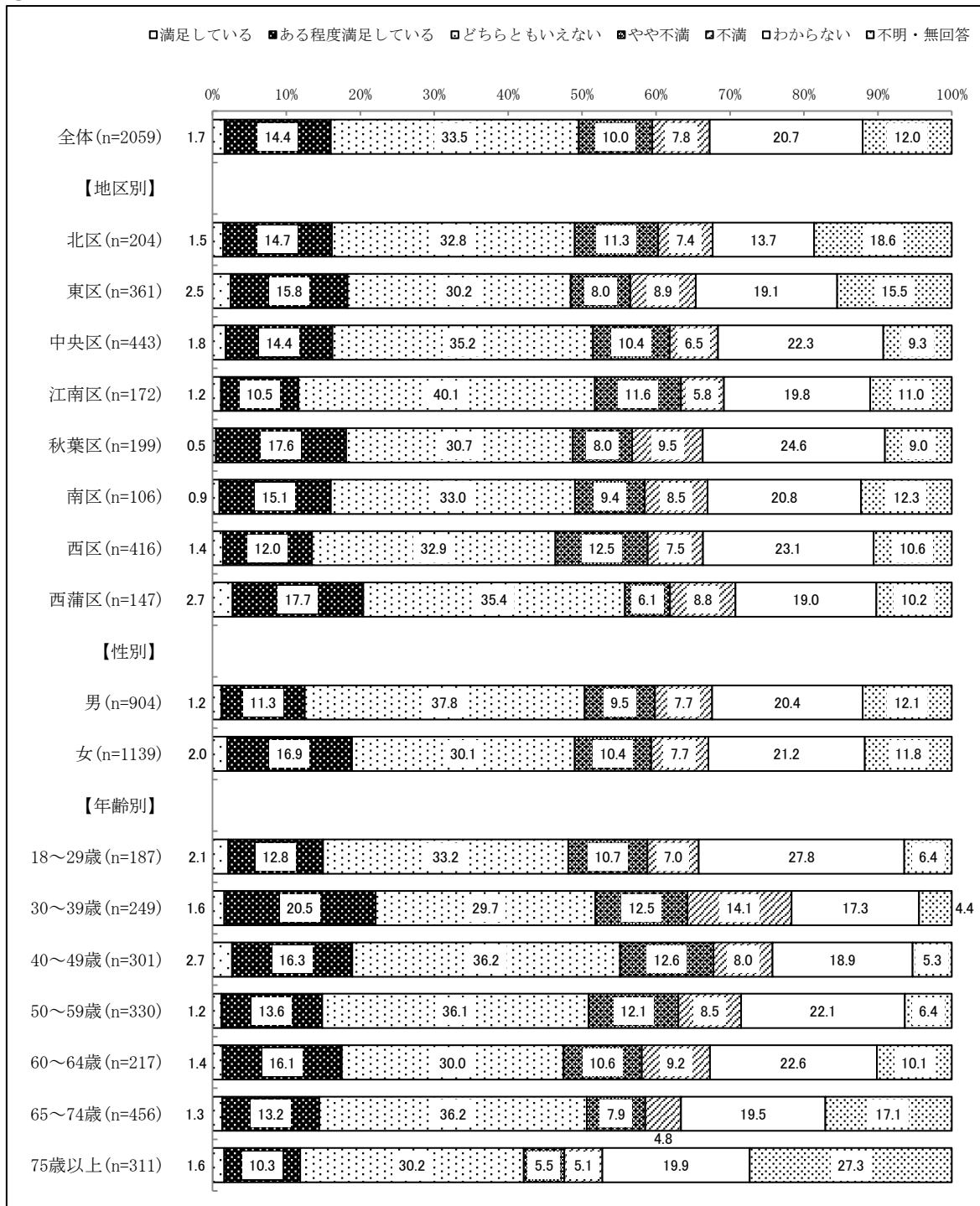


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区 (32.0%) で最も高く、年齢別では、18～29歳 (35.8%) で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、すべての属性で2割未満となった。

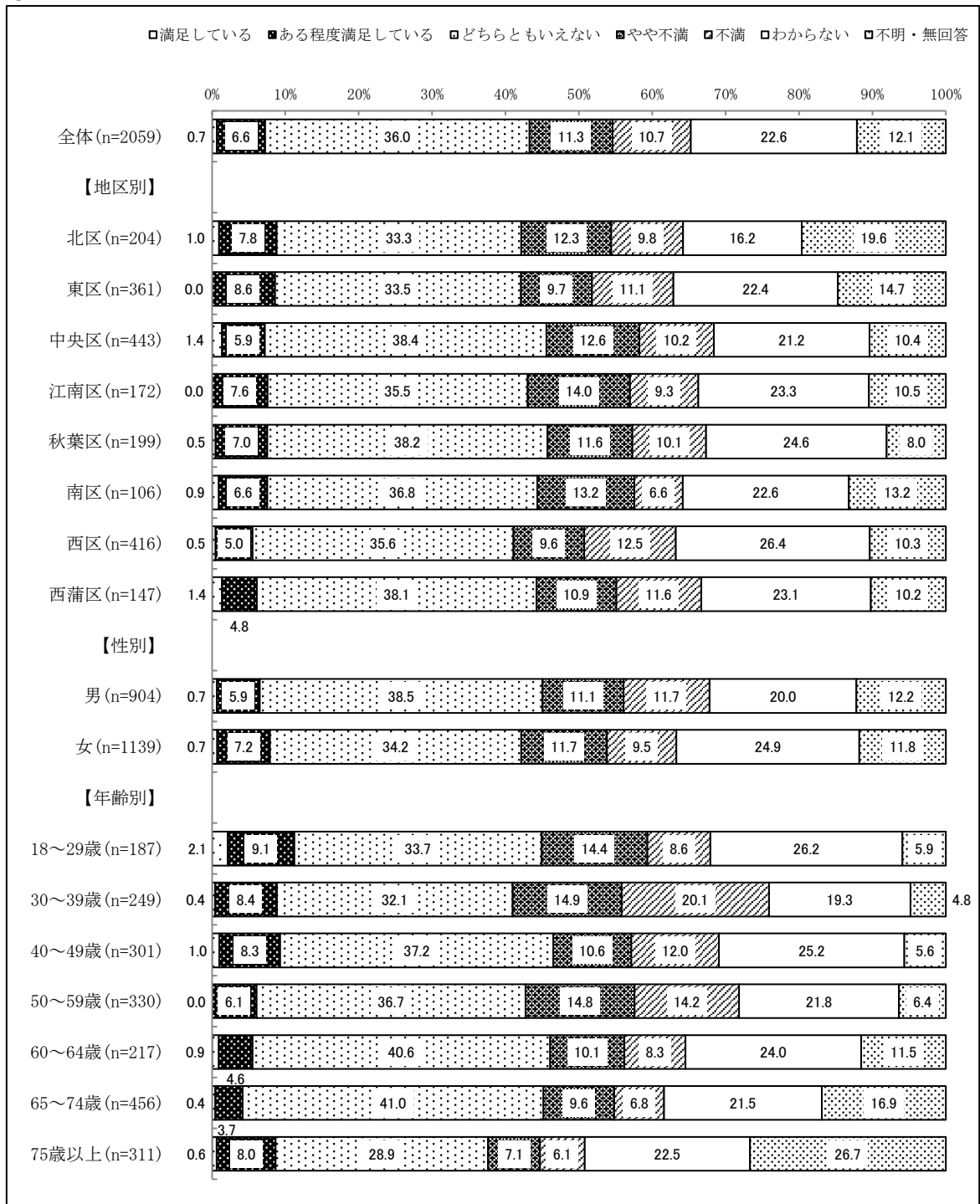
④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（20.4%）が最も高い。性別では、男性（12.5%）と比べて女性（18.9%）で割合が高い。年齢別では、30代（22.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西区（20.0%）で最も高く、年齢別では、30代（26.5%）で最も高い。64歳以下で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

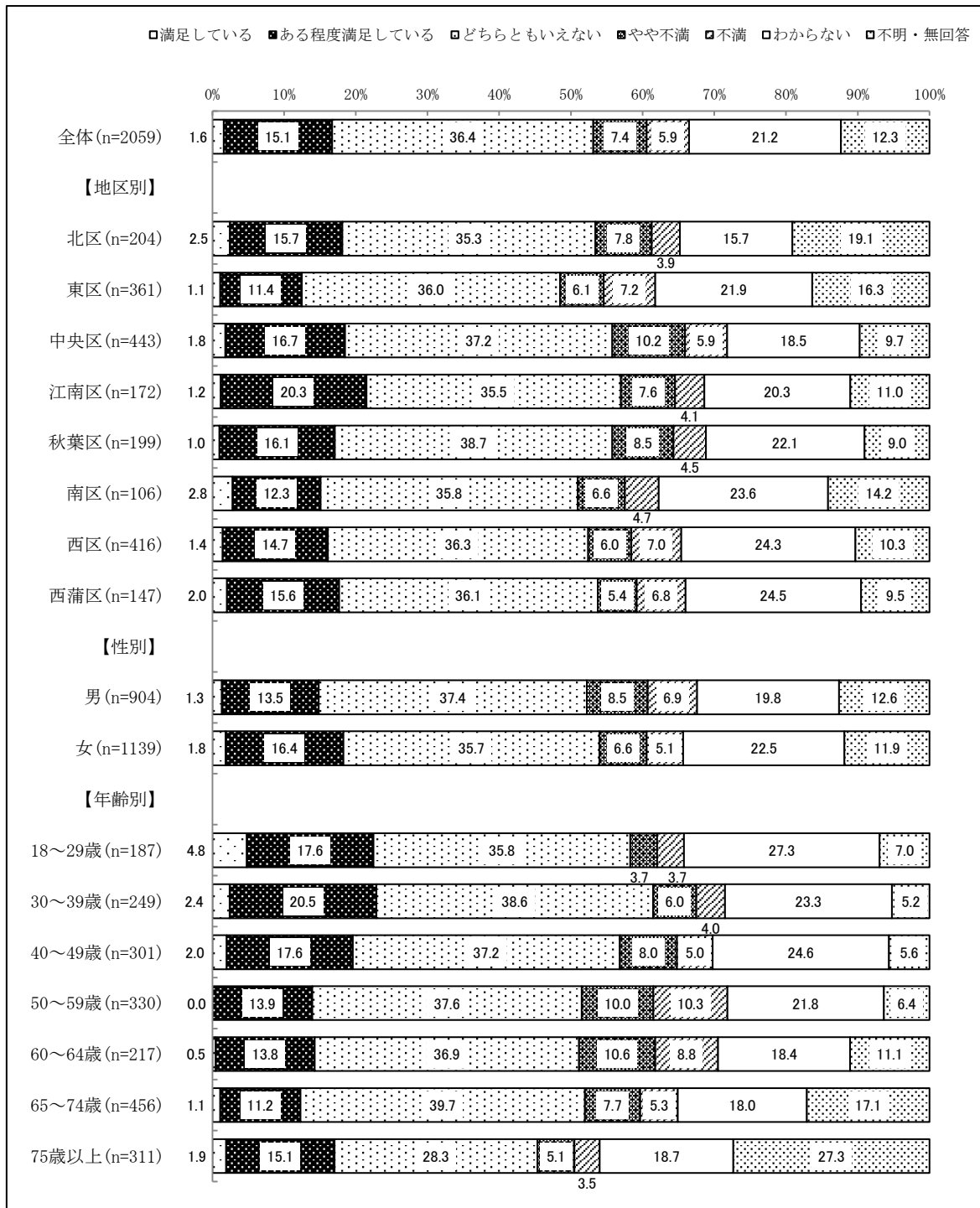


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区を除いた地区で2割を超えた。年齢別では、30代（34.9%）で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、18～29歳を除くすべての属性で、1割に満たない。

⑥地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。

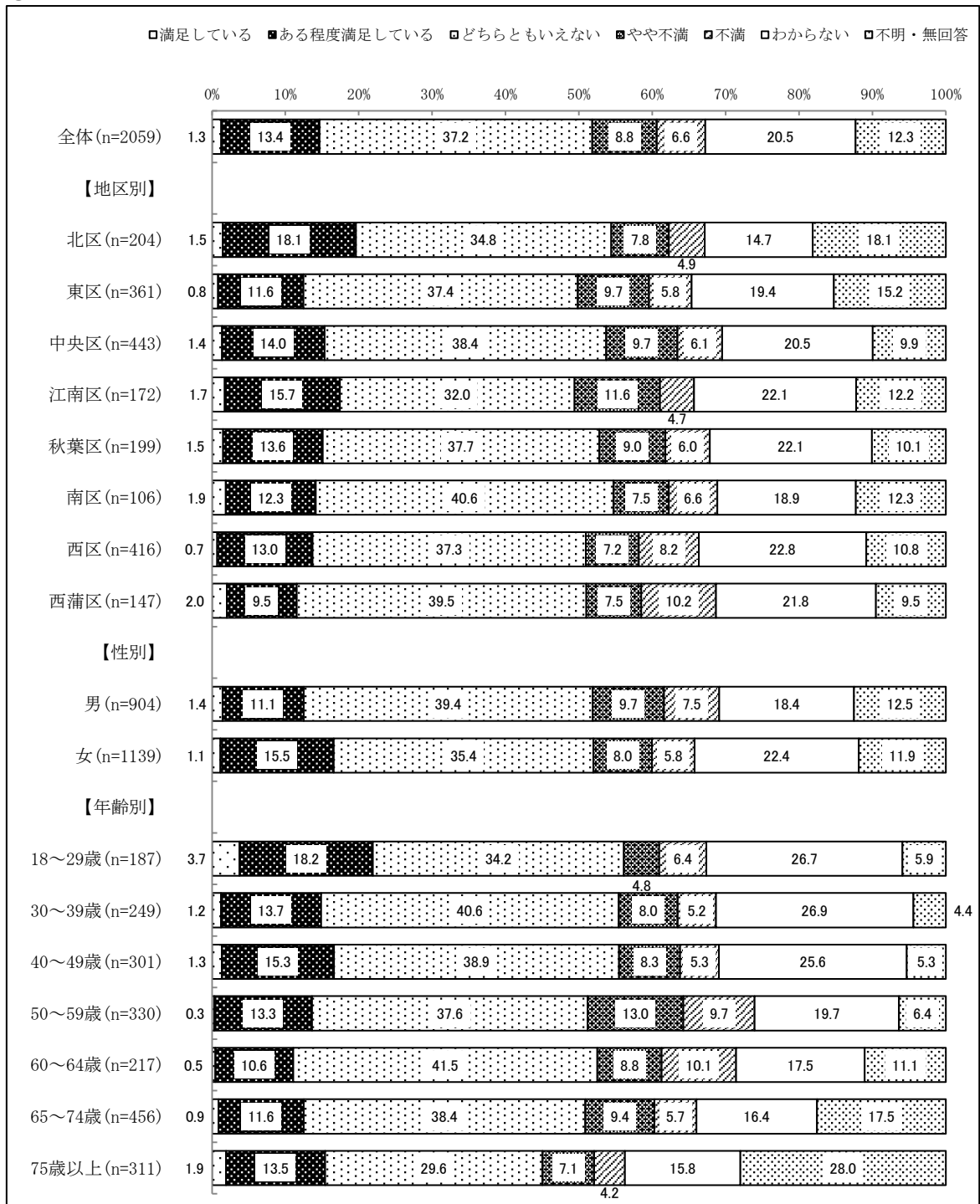


多くの属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別は、江南区(21.5%)で最も高い。性別では、男性(14.8%)と比べて女性(18.3%)で割合がやや高い。年齢別では、30代以下で2割を超えた。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区(16.0%)で最も高い。性別では、女性(11.7%)と比べて男性(15.4%)で割合がやや高い。年齢別では、50代(20.3%)で最も高い。

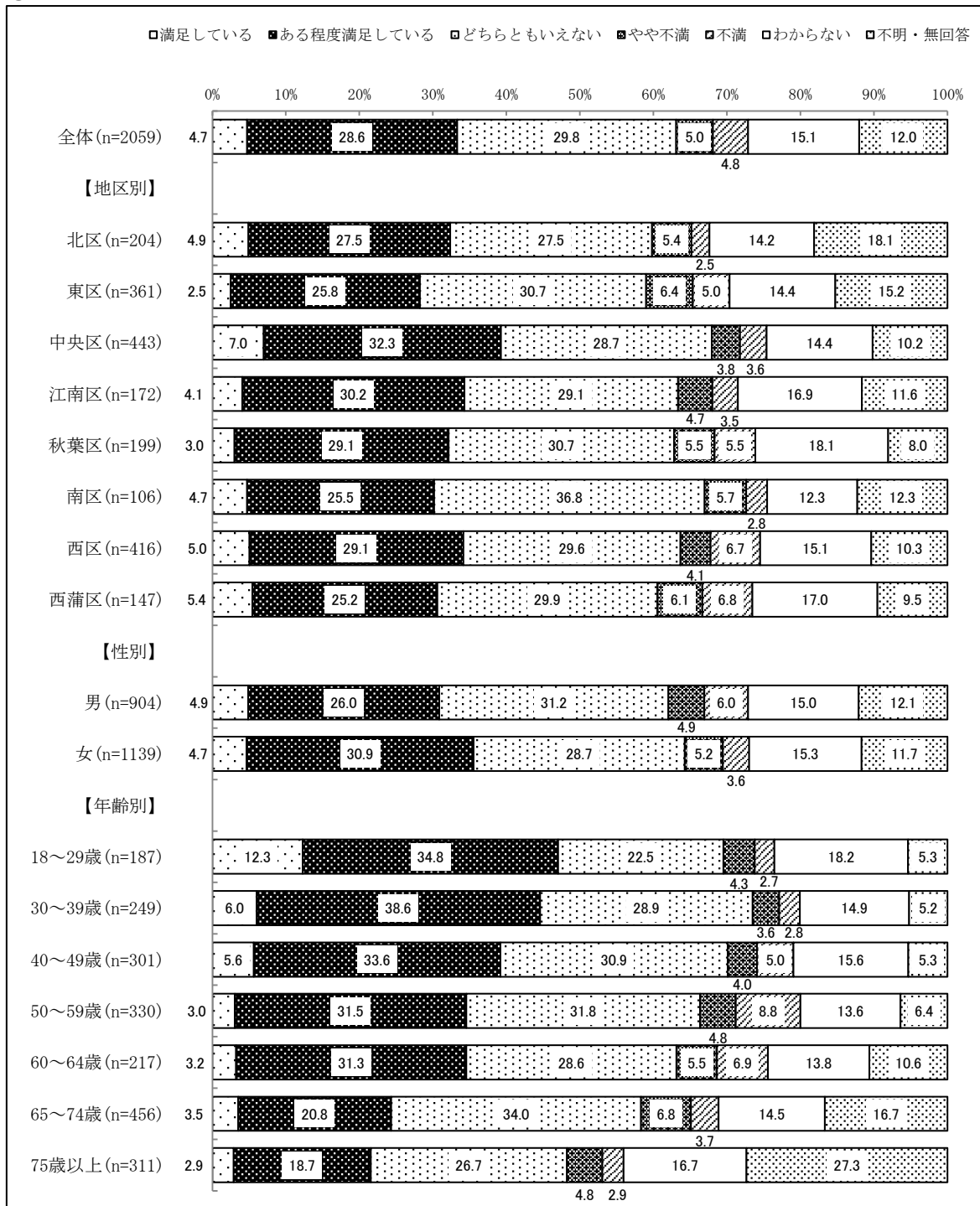
⑦市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（19.6%）で最も高い。性別では、男性（12.5%）と比べて女性（16.6%）で割合がやや高い。年齢別は、18～29代（21.9%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（17.7%）で最も高い。性別では、女性（13.8%）と比べて男性（17.3%）で割合がやや高い。年齢別では、50代（22.7%）で最も高い。

⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。

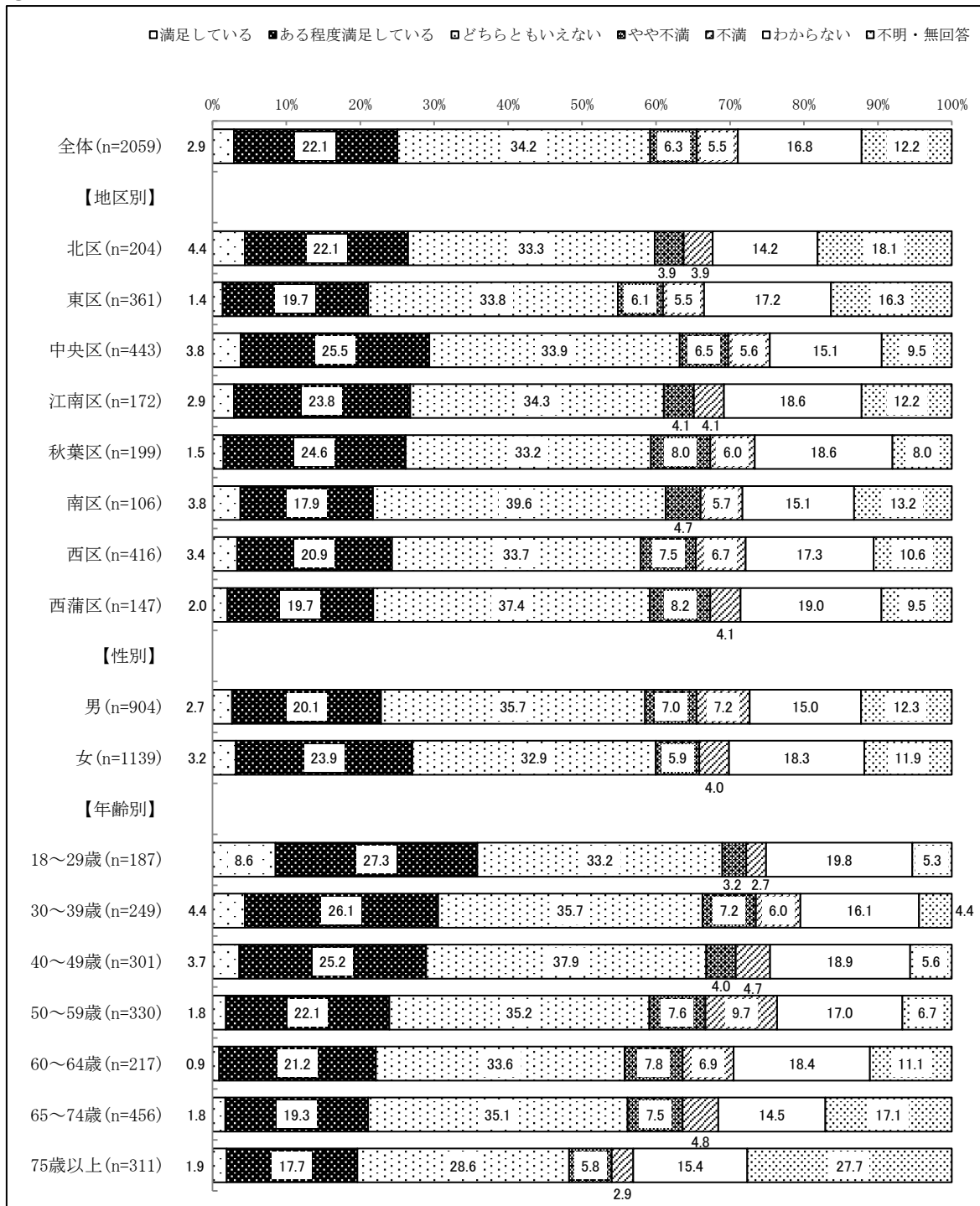


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区（39.3%）で最も高い。性別では、男性（30.9%）と比べて女性（35.6%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（47.1%）で最も高く、30代以下で4割を超えた。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（12.9%）で最も高い。年齢別では、50代（13.6%）で最も高い。

⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。

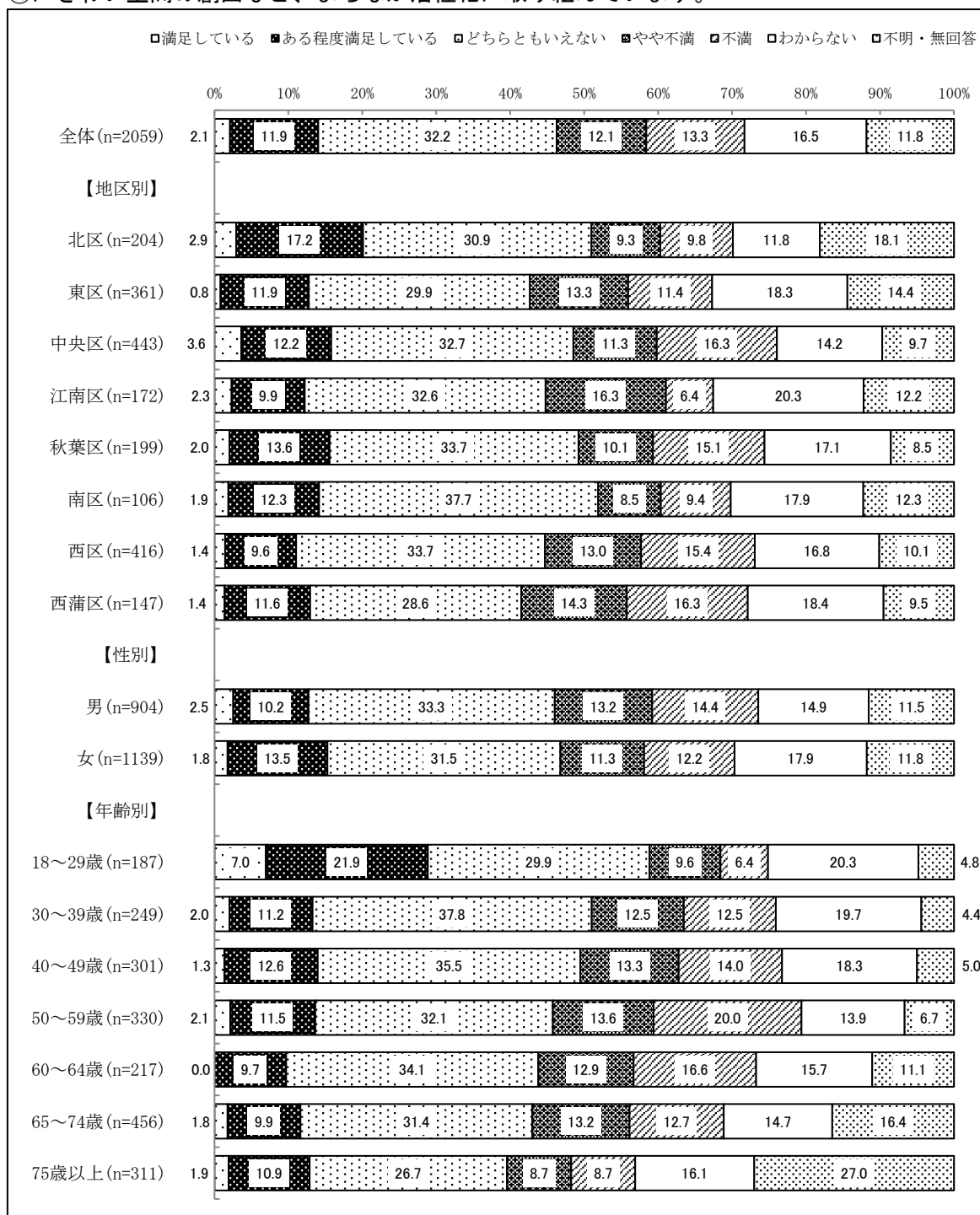


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区（29.3%）で最も高い。性別では、男性（22.8%）と比べて女性（27.0%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（35.8%）で最も高く、年代が上がるほど、割合が低くなる傾向がみられる。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、すべての属性で2割未満となった。

⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。

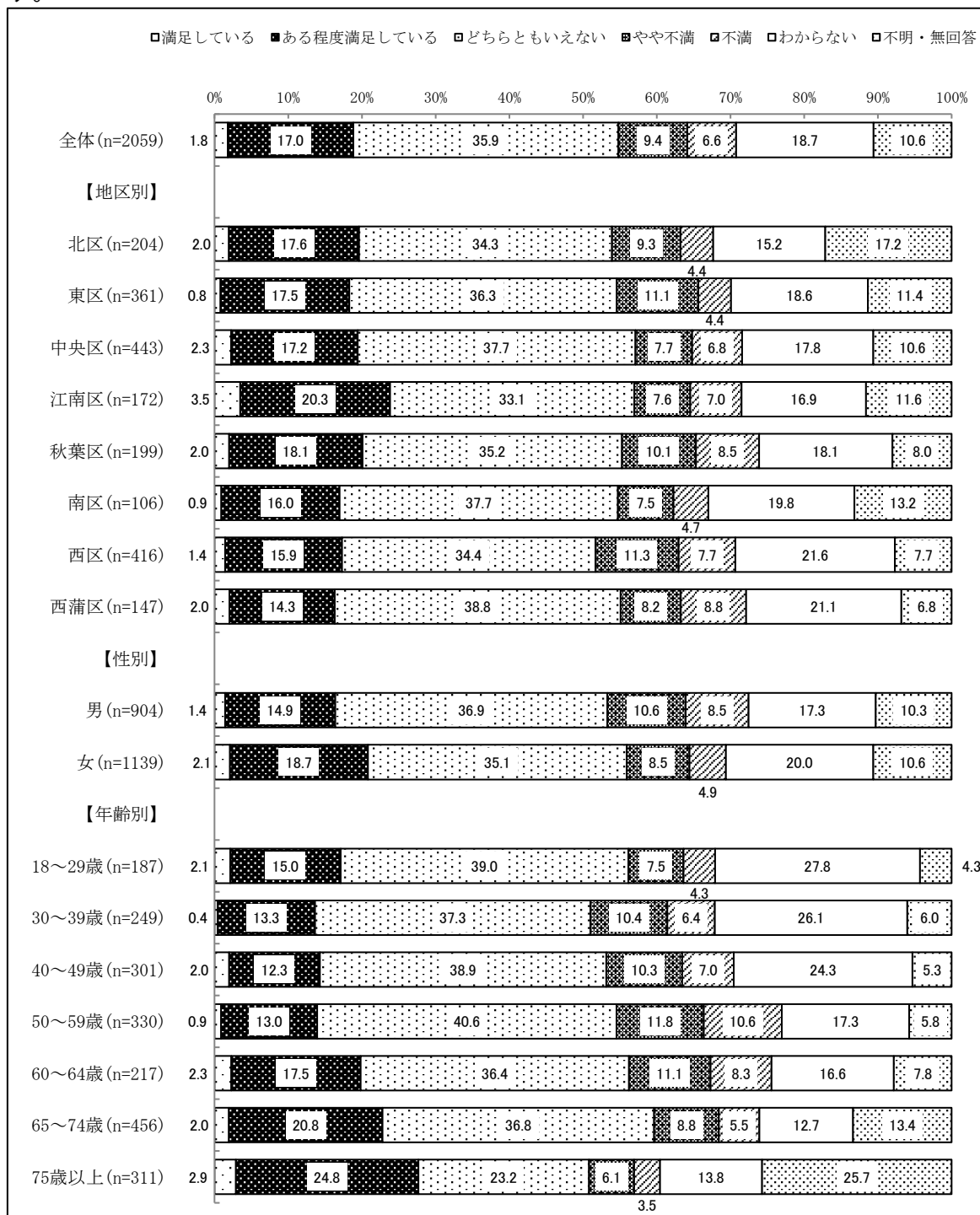


北区・18～29歳を除いた属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（30.6%）が最も高い。性別では、女性（23.5%）と比べて男性（27.5%）で割合がやや高い。年齢別では、50代（33.6%）で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では北区（20.1%）で最も高く、年齢別では、18～29歳（28.9%）で最も高い。その他の属性では、2割を下回った。

⑪生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。

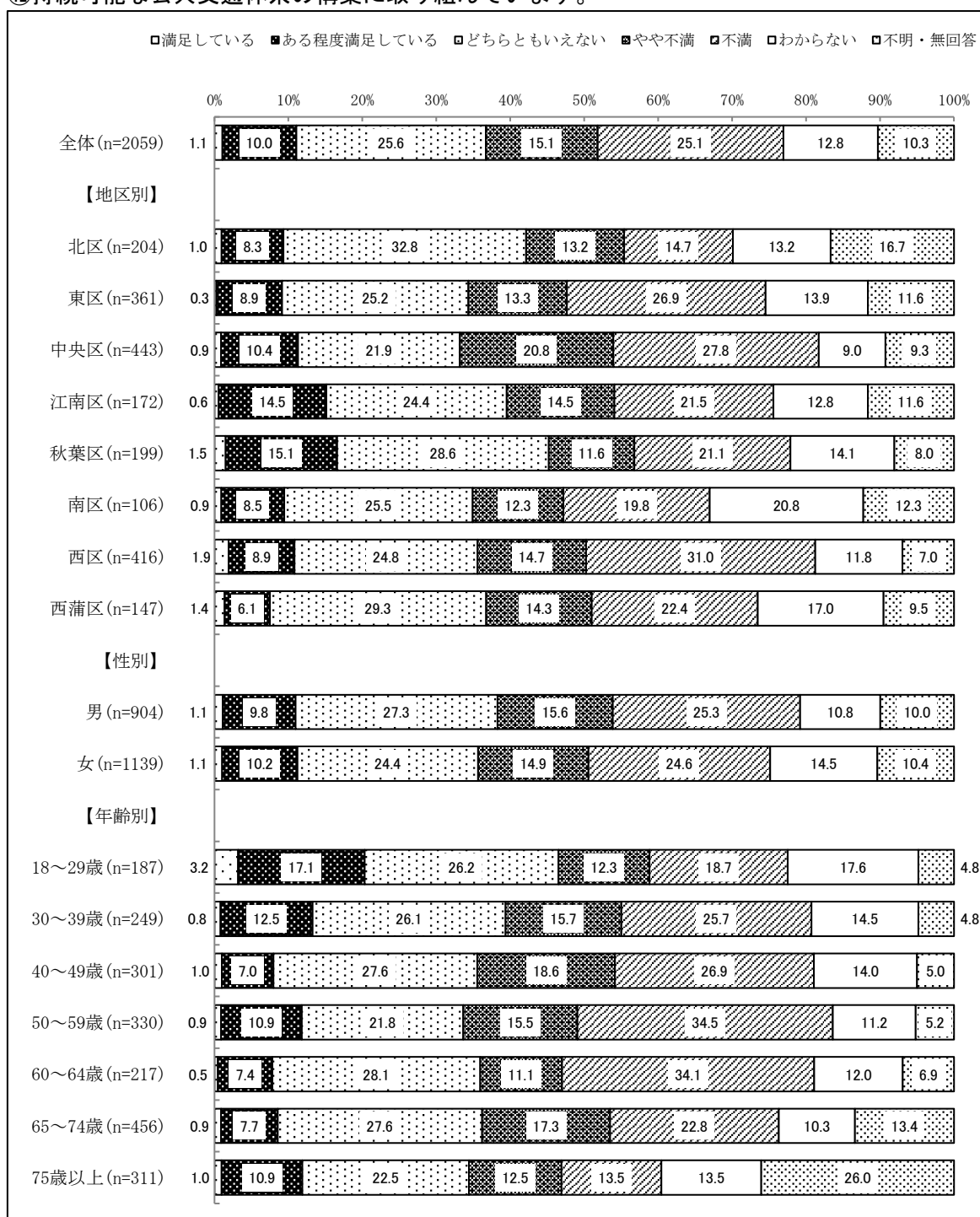


多くの属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、江南区（23.8%）で最も高い。性別では、男性（16.4%）と比べて女性（20.8%）で割合がやや高い。年齢別では、75歳以上（27.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西区（19.0%）で最も高い。性別では、女性（13.4%）と比べて男性（19.1%）で割合が高い。年齢別では、50代（22.4%）で最も高い。

⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

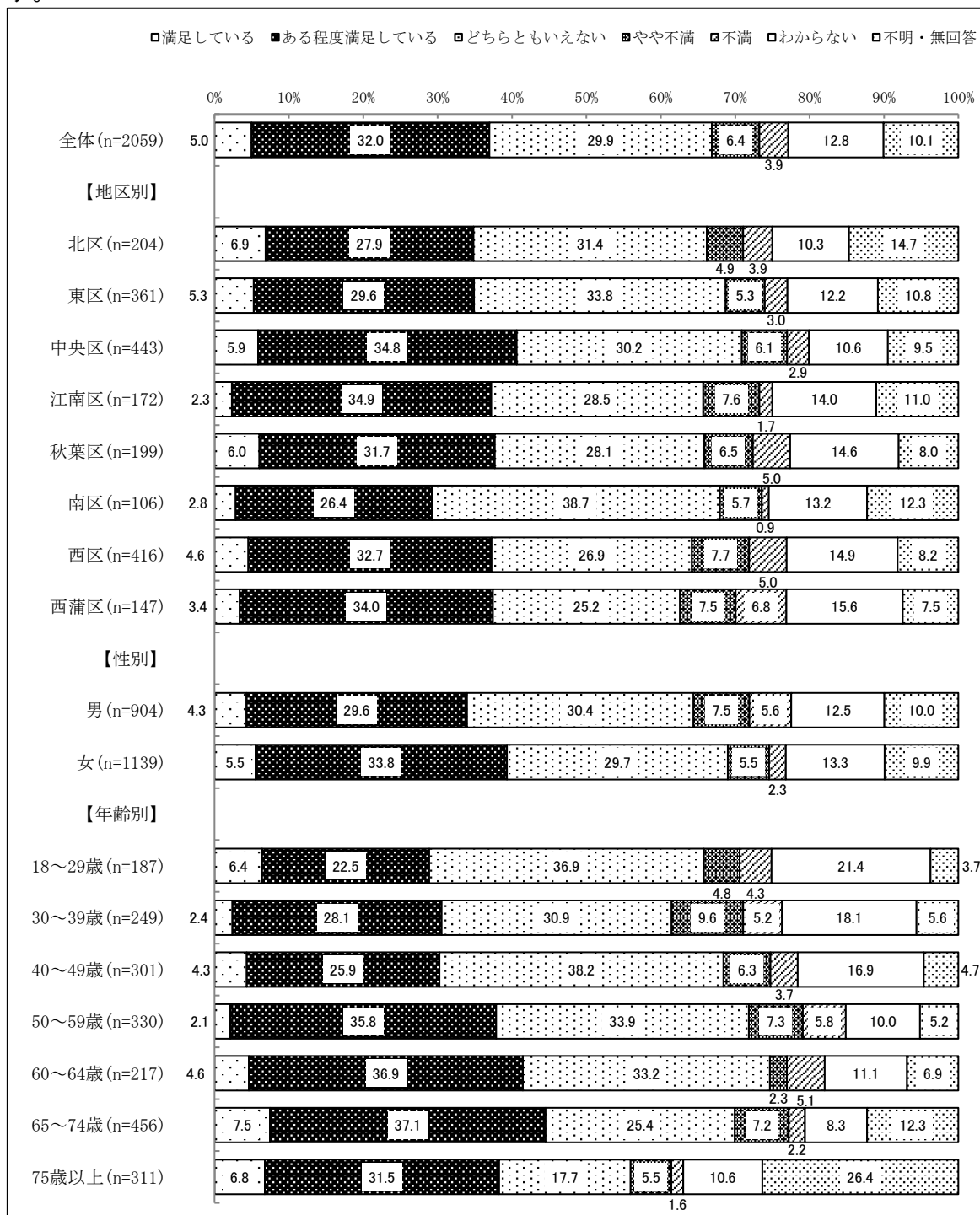


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（48.5%）で最も高く東区・西区と共に4割を超えた。年齢別では、50代（50.0%）で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、18～29歳を除くすべての属性で、2割に満たない。

⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

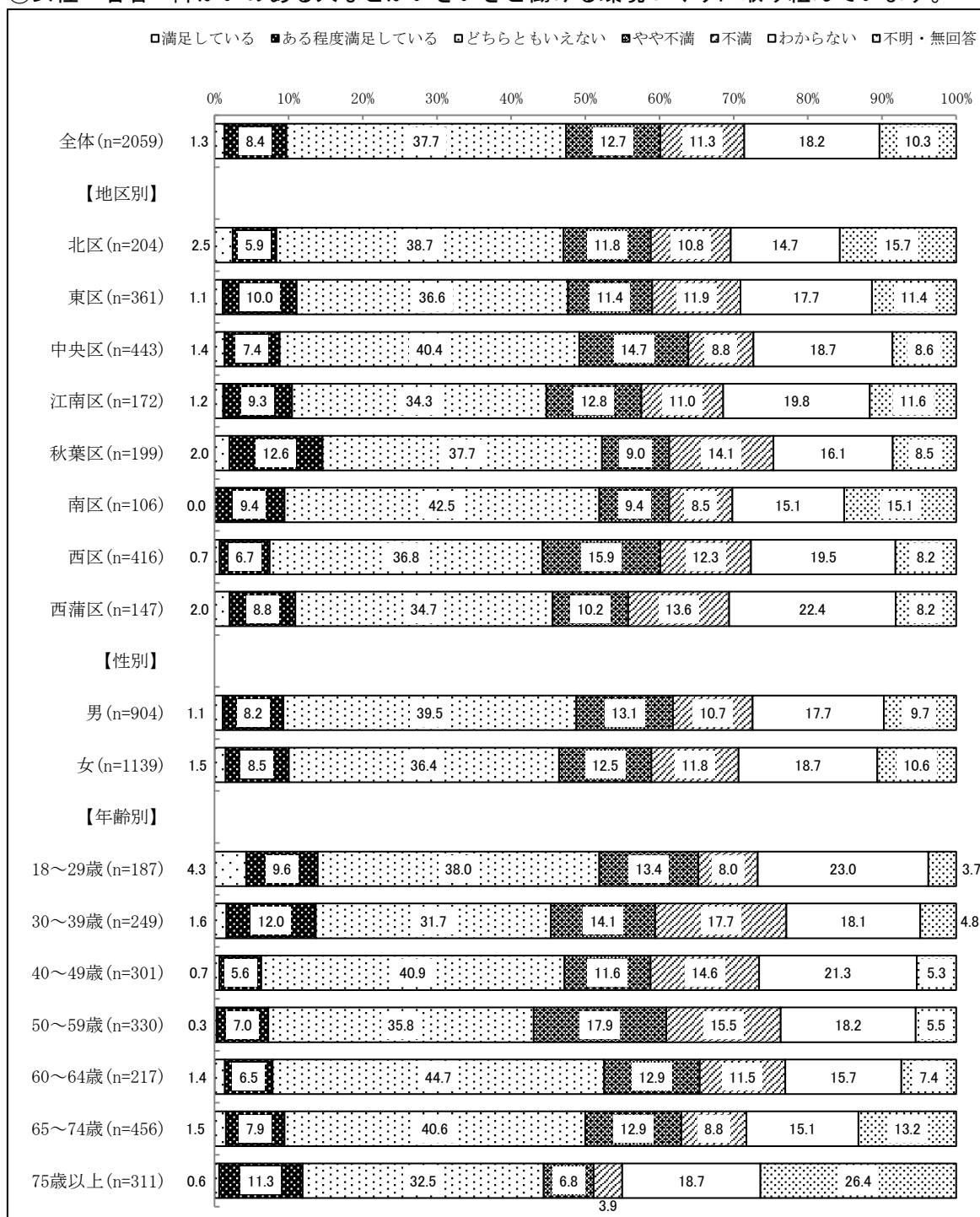


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区（40.6%）で最も高い。性別では、男性（34.0%）と比べて女性（39.3%）で割合が高い。年齢別では、65～74歳（44.5%）で最も高く、概ね年代が上がるほど、割合が高い傾向がみられる。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、すべての属性で2割未満となった。

⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

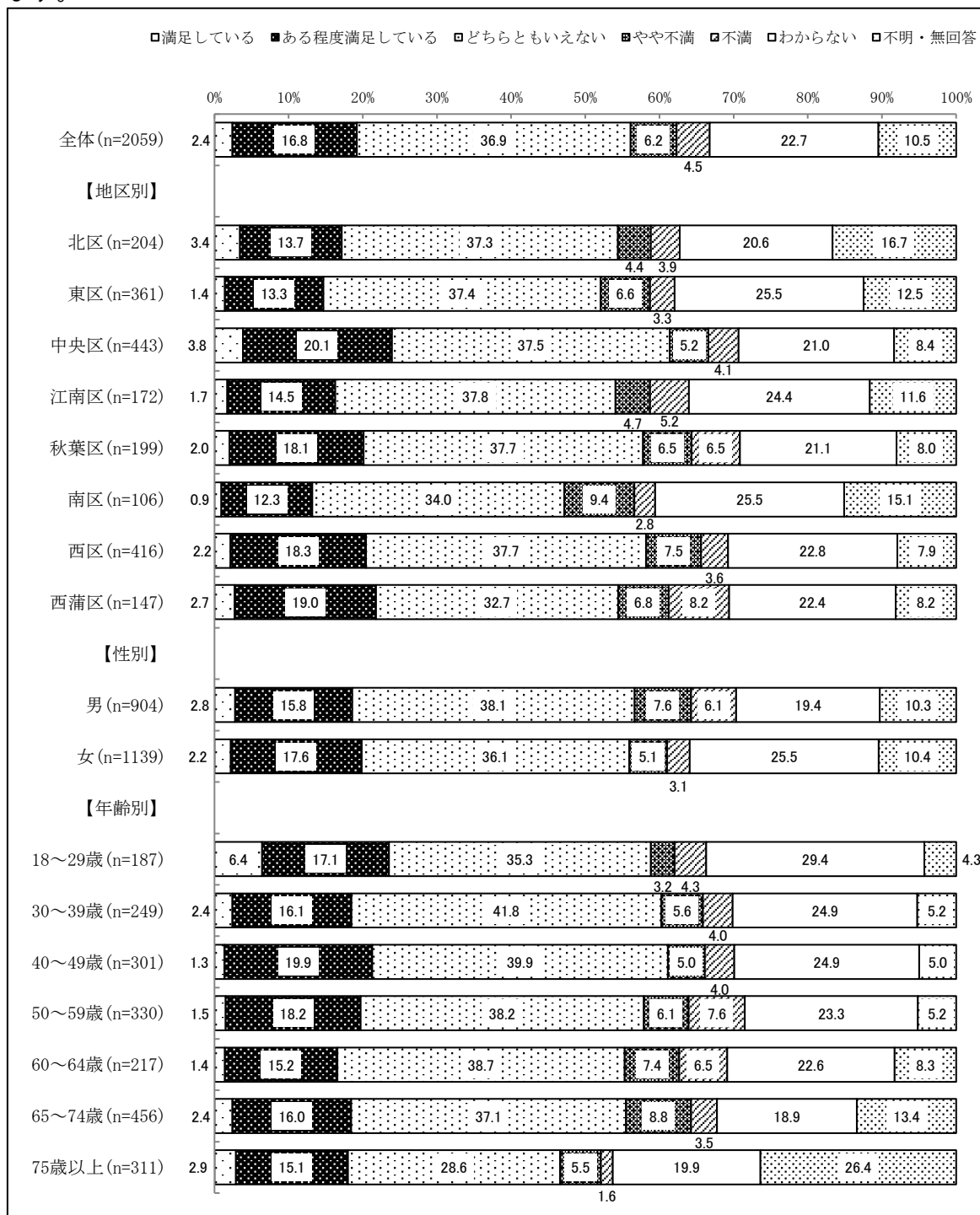


75歳以上を除くすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西区（28.1%）で最も高い。年齢別では、50代（33.3%）で最も高い。

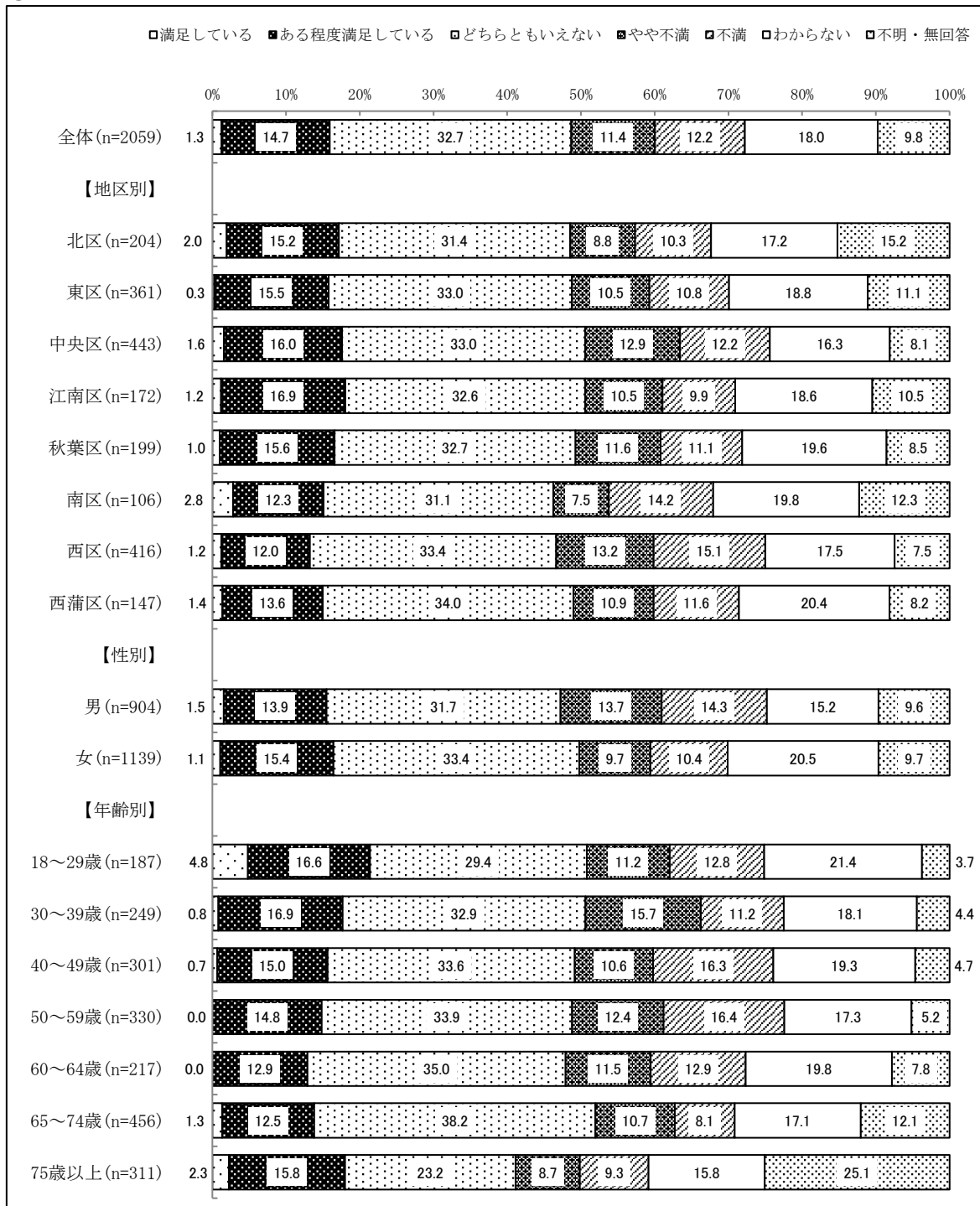
一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（14.6%）で最も高い。年齢別では、30代以下、75歳以上で1割を超えた。

⑮農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。



地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区(23.9%)で最も高い。年齢別では、18～29歳(23.5%)で最も高い。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、すべての属性で2割未満となった。

⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。

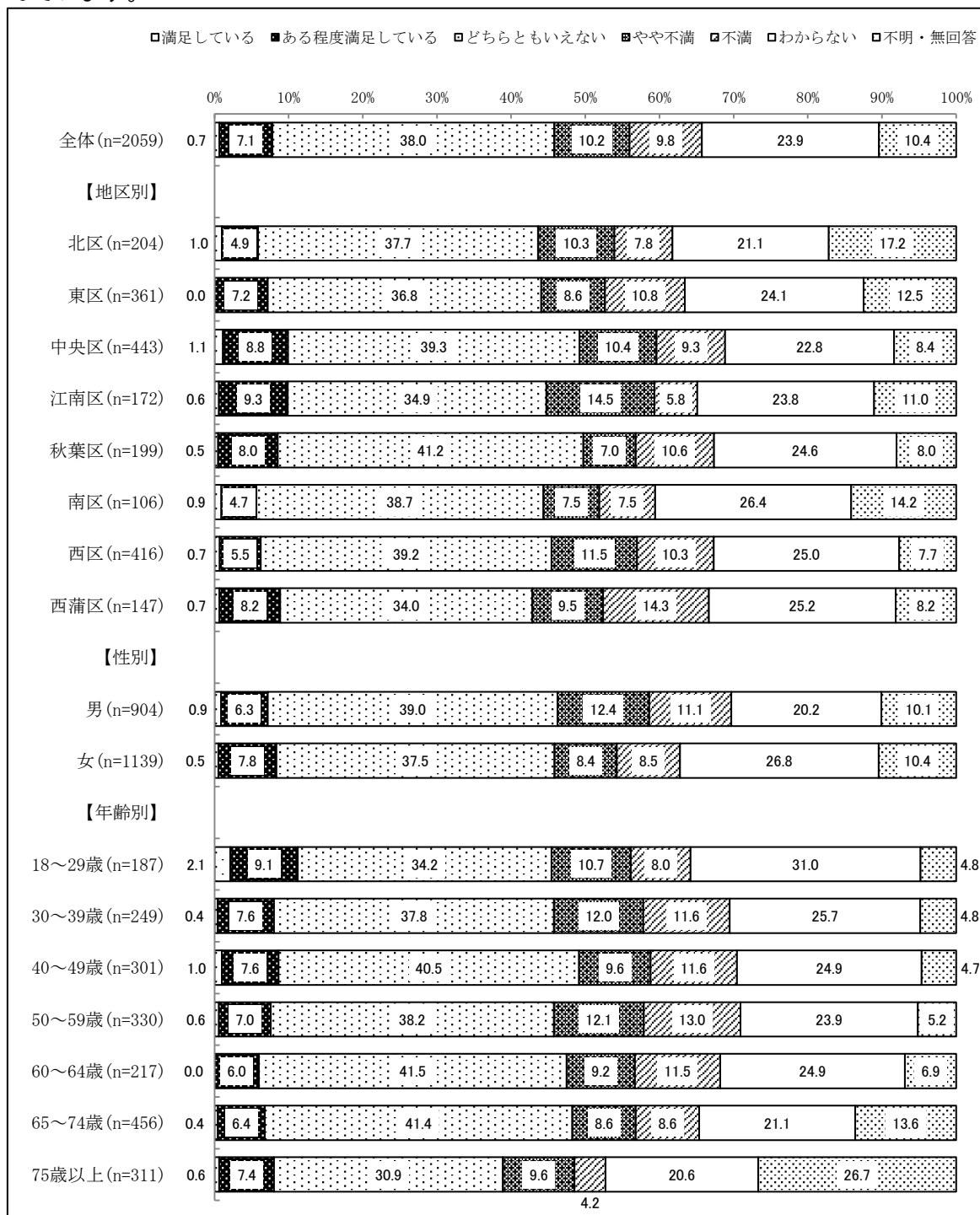


75歳以上を除くすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。75歳以上では共に18.0%で、同じ割合となった。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西区（28.4%）で最も高い。性別では、女性（20.1%）と比べて男性（28.0%）で割合が高い。年齢別では、50代（28.8%）で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、18～29歳（21.4%）で2割を超えたものの、その他の属性では2割に満たない。

⑰既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。

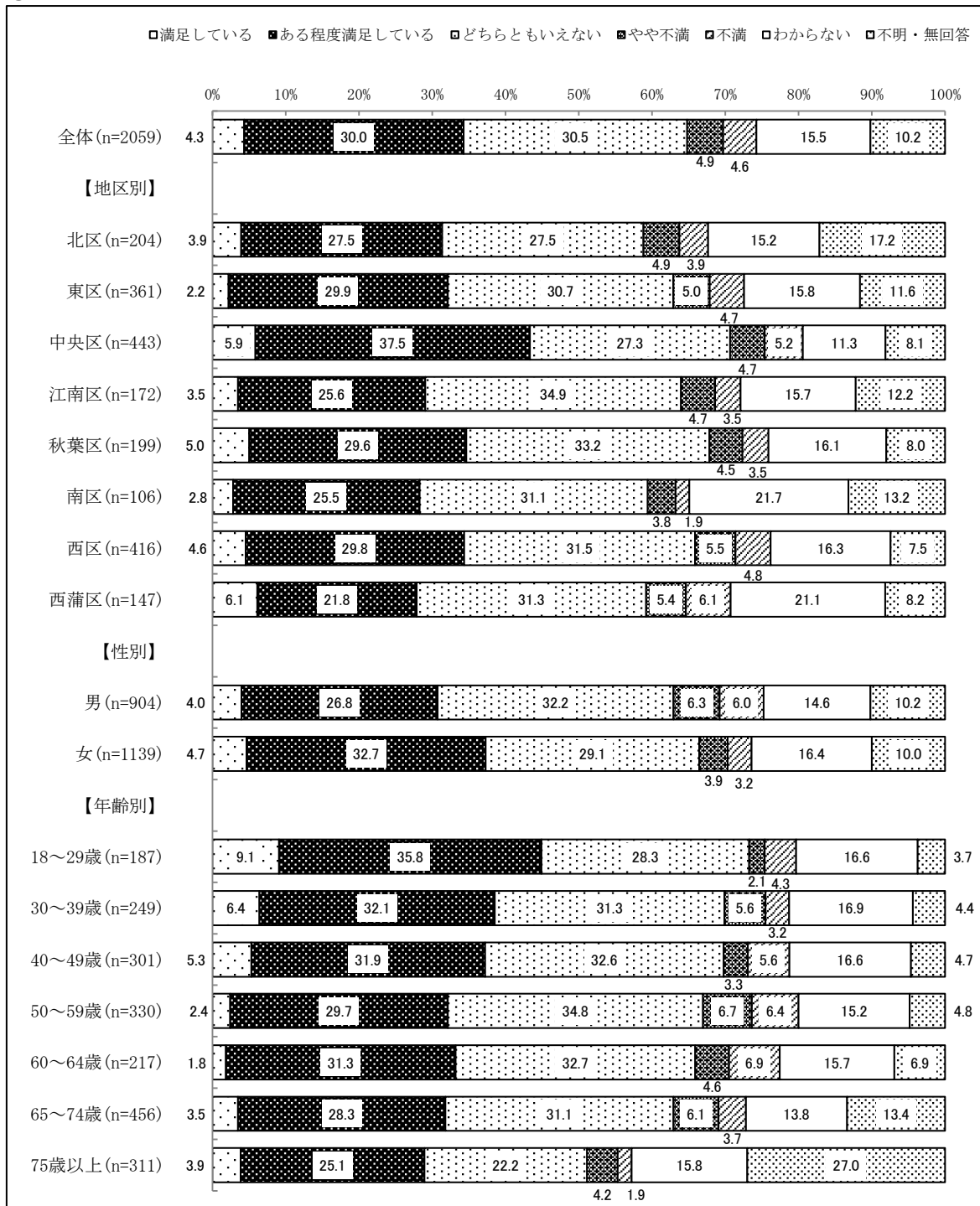


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（23.8%）で最も高い。性別では、女性（16.9%）と比べて男性（23.5%）で割合が高い。年齢別では、50代（25.2%）で最も高い。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、18～29歳（11.2%）を除き、1割に満たない。

⑩食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。

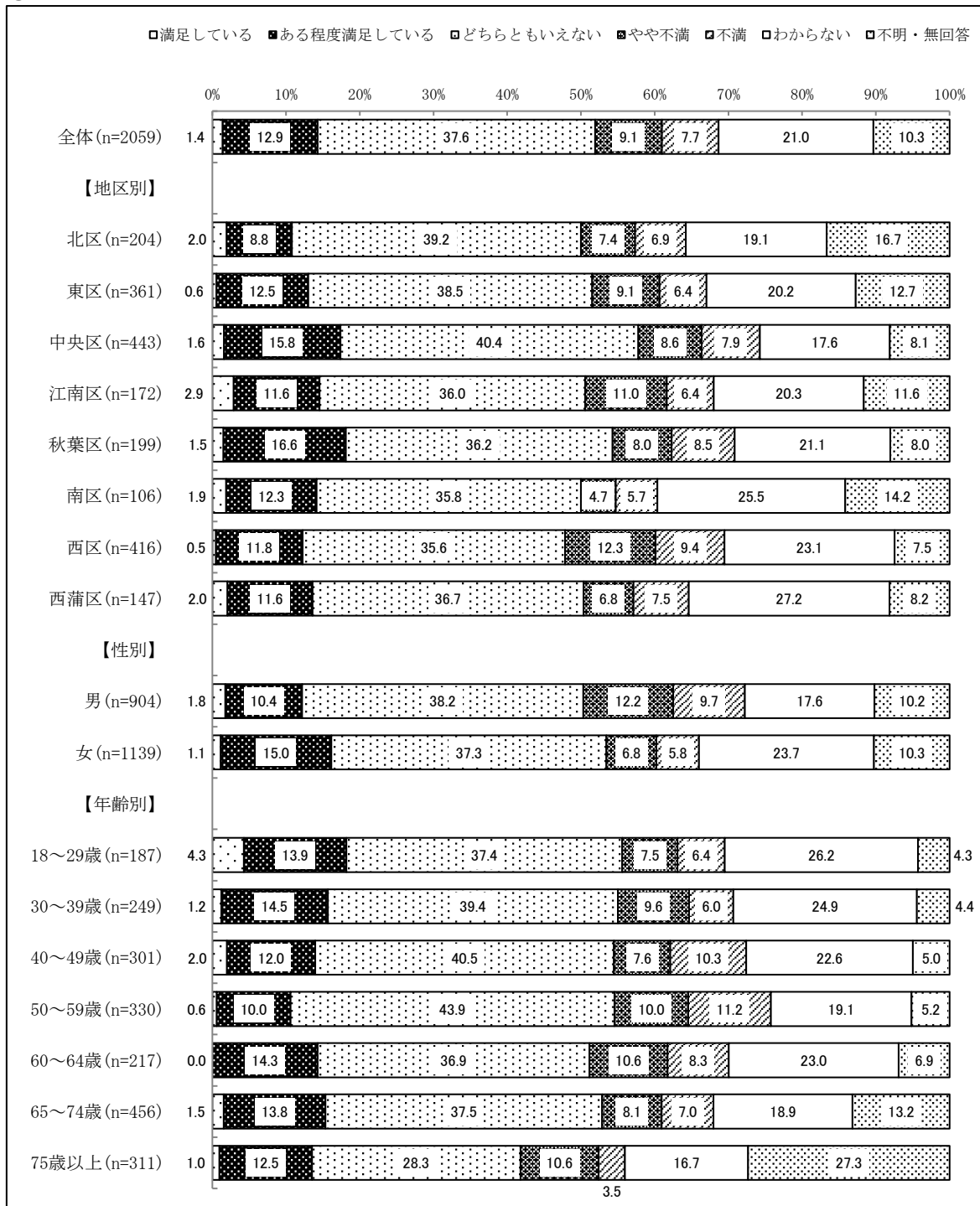


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区で最も高く、4割を超えた。性別では、男性（30.8%）と比べて女性（37.3%）で割合が高い。年齢別では、18～29歳（44.9%）で最も高く、概ね年代が上がるほど割合が低い傾向がみられる。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、西区・西蒲区・男性・50代・60～64歳で1割を超えたものの、その他の属性で1割未満となった。

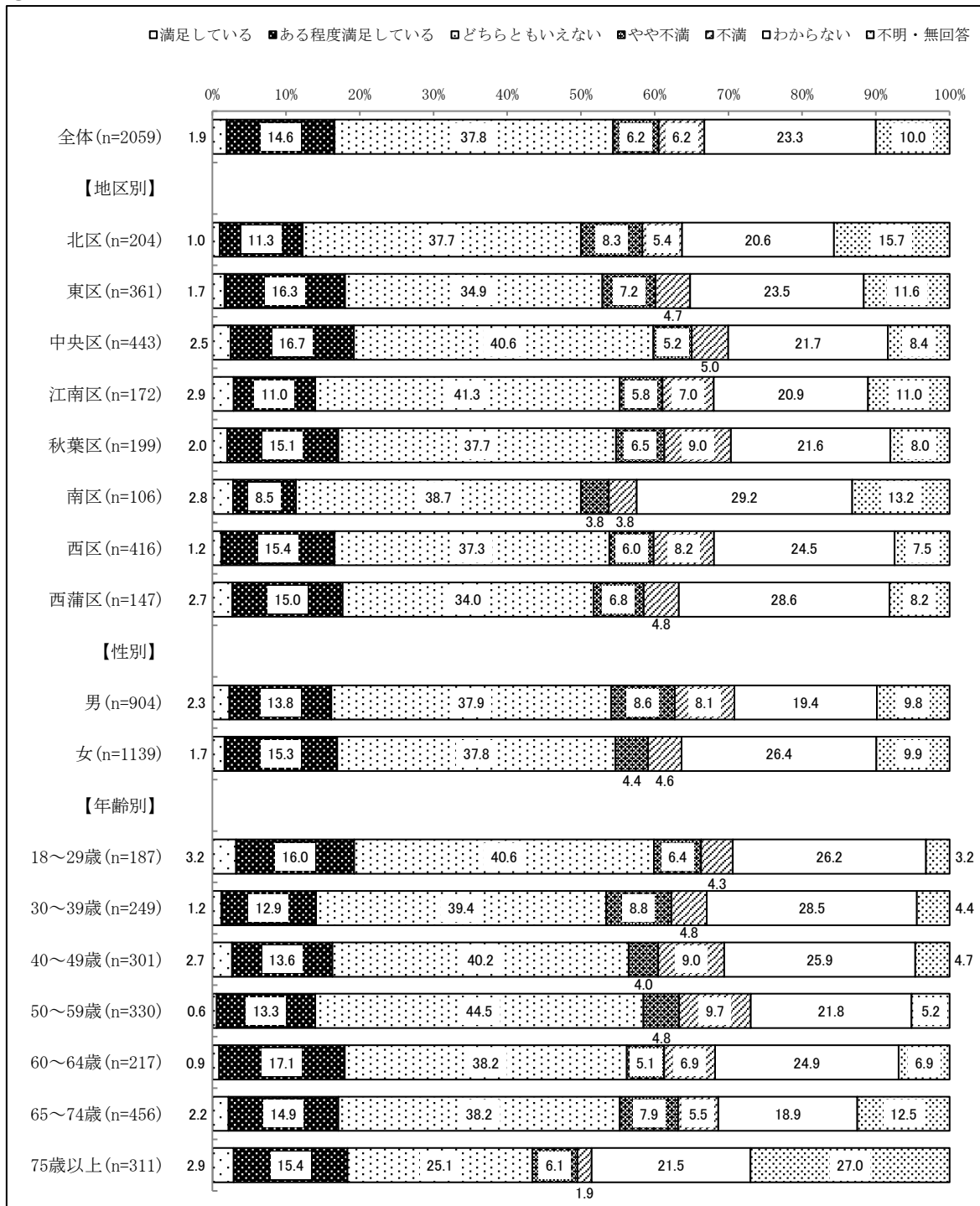
⑱広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（18.1%）で最も高い。性別では、男性（12.2%）より女性（16.2%）で割合がやや高い。年齢別では、18～29歳（18.2%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西区（21.6%）で最も高い。性別では、女性（12.6%）と比べて男性（21.9%）で割合が高い。年齢別では、50代（21.2%）で最も高い。

⑳国際交流に取り組んでいます。



北区・男性・50代を除く属性で、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区 (19.2%) で最も高い。年齢別では、18～29歳 (19.3%) で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区 (15.6%) で最も高い。性別では、女性 (9.0%) と比べて男性 (16.7%) で割合が高い。年齢別では、50代 (14.5%) で最も高く、75歳以上を除き1割を超えた。

Ⅲ 調査票様式

平成28年度 第43回市政世論調査

「新潟市政に関する世論調査」ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政に対してのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

新潟市では、市民の皆さまが日常生活の中で市政に対しどのようなお考えやご要望をお持ちになっているかを伺い、市政の参考としていくために「市政世論調査」を実施しております。

この調査は、新潟市内にお住まいの満18歳以上の方の中から無作為に4,000人の方をお選びし、実施するもので、このたびあなた様をお願いすることになりました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人のお名前、ご住所などが公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、この調査票にご記入のうえ、返信用封筒で **平成28年8月1日(月)まで** にご投函いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成28年7月15日

新潟市長 篠田 昭

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**あて名のご本人**がご記入ください。
(無記名式ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は、案内が示してありますので、それに従ってお答えください。
3. 回答は、あてはまる項目の**番号に○**をつけてください。
「その他」を選んだ場合には具体的な内容をご記入ください。
4. 質問文の後に**(○は1つだけ)** **(○は3つまで)** などのことわり書きがあります。これはお答えいただく数を意味します。
5. この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
6. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。
新潟市 市民生活部 広聴相談課 電話025-226-2094 (直通)

ご記入がおわりましたら…



◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **平成28年8月1日(月)まで** にご投函ください。切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。

【1 あなたご自身のことについてお聞きします。】

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

1. 男	2. 女
------	------

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つだけ)

1. 18～29歳	4. 50～59歳	7. 75歳以上
2. 30～39歳	5. 60～64歳	
3. 40～49歳	6. 65～74歳	

問3 あなたのご職業を教えてください。(○は1つだけ)

※複数の職業をお持ちの方は、主なものを一つだけお選びください。

1. 農・林・漁業（農業・林業・漁業の営業者）
2. 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店・修理店など）
3. 自由業（開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など）
4. 管理職（民間会社・官公庁の課長職以上）
5. 事務職・専門技術職 （事務職員・教員・技術者など）
6. 技能・労務職（技能工・販売店員・外交員など）
7. 家事専業
8. 学生
9. その他（ ）

問4 あなたのお住まいは何区ですか。(○は1つだけ)

1. 北区	3. 中央区	5. 秋葉区	7. 西区
2. 東区	4. 江南区	6. 南区	8. 西蒲区

問5 あなたは新潟市に通算して何年くらい住んでいますか。(〇は1つだけ)

※合併前の市町村での居住年数も含めてお答えください。

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. 2年未満 | 3. 5～9年 | 5. 20年以上 |
| 2. 2～4年 | 4. 10～19年 | |

問6 あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれにあたりますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 単身 | 4. 3世代世帯(親と子と孫) |
| 2. 夫婦 | 5. その他 |
| 3. 2世代世帯(親と子) | () |

問7 あなたの婚姻状況は、次のうちどれにあたりますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|----------|-------------------|
| 1. 未婚 | 2. 配偶者あり | 3. 配偶者なし(離別または死別) |
|-------|----------|-------------------|



はなのこまち
花野お町

マンガ・アニメのまち いがた
サポートキャラクター



ささだんごろう
笹田五郎

【2 市政情報の入手方法についてお聞きします。】

問8 あなたは、新潟市の市政や暮らし、イベントなどに関する市政情報を十分に得ていますか。

(○は1つだけ)

1. 十分に得ている	3. あまり得ていない
2. 得ている	4. まったく得ていない

(問8で「1」「2」「3」(十分に得ている、得ている、あまり得ていない)と答えた方は問9へ、「4」(まったく得ていない)と答えた方は問10へ)

問9 あなたは、新潟市が発信する市政情報を何から入手していますか。

それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

	1	2	3	4
	利聞よ 用いく すた見 るりた ・り ・	りりと ・・き 利聞ど 用いき すた見 る た	たた見 こりた と・り は利・ な用聞 いしい	知ら ない
① 市報にいがた	1	2	3	4
② 区役所だより	1	2	3	4
③ テレビ(市が提供する広報番組)	1	2	3	4
④ ラジオ(市が提供する広報番組)	1	2	3	4
⑤ テレビ・ラジオ(ニュース等)	1	2	3	4
⑥ 市のホームページ(パソコン)	1	2	3	4
⑦ 市のホームページ(スマートフォン)	1	2	3	4
⑧ 市のホームページ(携帯電話)	1	2	3	4
⑨ SNS ^{※1} (例 Facebook等)(パソコン)	1	2	3	4
⑩ SNS ^{※1} (例 Facebook等)(スマートフォン)	1	2	3	4
⑪ SNS ^{※1} (例 Facebook等)(携帯電話)	1	2	3	4

	1	2	3	4
	利 用 よ い く す た 見 る り た り ・ り ・	り り と ・ ・ き 利 聞 ど き 見 た す た 見 る た	た た 見 こ り た と ・ り は 利 ・ な 用 聞 い し い	知 ら な い
⑫ 説明会など地域での集会	1	2	3	4
⑬ コールセンター ※2	1	2	3	4
⑭ 市役所・区役所・公共施設などに置いてあるチラシやパンフレット	1	2	3	4
⑮ 市政情報室 ※3	1	2	3	4
⑯ 自治会・コミュニティ協議会などの掲示板・回覧板・チラシ	1	2	3	4
⑰ 新聞	1	2	3	4
⑱ タウン誌など	1	2	3	4
⑲ 上記以外のもので市政情報の入手手段があれば ご記入ください ()	1	2		

※1 SNS（例 Facebook 等）

ソーシャル・ネットワーキング・サービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのことです。

サービスには Facebook（フェイスブック）や Twitter（ツイッター）などがあります。

※2 コールセンター

新潟市では、行政サービスなどについての問い合わせにし、電話対応を行う、新潟市役所コールセンター「こたえてコール」を開設しています。

※3 市政情報室

新潟市では市の施策や事業などの情報を市民の皆さまに提供するため、市役所本館1階に「市政情報室」を設置しています。

(ここからはすべての方へ)

問 10 あなたは、市に関するどの分野の情報をより知りたいですか。

(○は3つまで)

1. 市政情報(市政の動向・予算)	12. 障がい者福祉
2. 住民票・戸籍・印鑑・パスポート	13. 医療・健康
3. 公共施設・公園	14. 子育て
4. 安心・安全(防災・防犯)	15. 学校教育
5. 税金	16. 文化・余暇・スポーツ
6. 保険・年金	17. 食・観光・イベント
7. 仕事(就労・雇用)	18. 相談
8. 環境・ごみ・リサイクル	19. その他
9. 消費生活や食の安全	()
10. まちづくり・地域活動・ボランティア	20. 特にない
11. 高齢者福祉	

問 11 新潟市では、市の広報紙「市報にいがた」を新聞折り込みにより市内の各世帯に配布するとともに、新聞未購読世帯には、お申込みにより個別に配送またはポストインによりお届けしています。

あなたはどの方法で「市報にいがた」を入手していますか。

(○は1つだけ)

1. 新聞折り込みにより届いている
2. 配送またはポストインにより届いている
3. その他の方法により入手している
4. ホームページ版「市報にいがた」を読んでいる
5. 入手していない



問 12 新潟市では現在「市報にいがた」を毎週発行していますが、今後、どれくらいの頻度での発行が適当だと思いますか。
 (1か月あたりのページ数・情報量は変わらないものとします。)
 (〇は1つだけ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 毎週発行 (現状どおり) |
| 2. 毎月3回発行 (10日ごとに発行) |
| 3. 毎月2回発行 (第1日曜日・第3日曜日) |
| 4. 毎月1回発行 |
| 5. その他 () |

問 13 あなたは、生活や趣味・娯楽などに必要な情報 (市政情報以外) を何から入手していますか。
 利用の多い順に1位から3位まで番号でお答えください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 新聞 |
| 2. 雑誌・書籍 |
| 3. ポスター・掲示物 |
| 4. チラシ・広告 |
| 5. テレビ |
| 6. ラジオ |
| 7. パソコン |
| 8. スマートフォン (携帯電話)・タブレット |
| 9. 特に入手していない |
| 10. その他 () |

第1位	第2位	第3位



【3 新潟市に対する誇りや愛着についてお聞きします。】

問 14 あなたは次の 24 の項目に対して、どの程度誇りや愛着を感じていますか。
それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

	1 ある	2 ある 程度 ある	3 どちら とも いえ ない	4 あ ま り な い	5 な い
① 農産物（米、野菜、果物、畜産物など）	1	2	3	4	5
② 海産物（のどぐろ、南蛮エビ、ヤナギガレイなど）	1	2	3	4	5
③ 料理（郷土料理、名物料理、B級グルメなど）	1	2	3	4	5
④ 酒（日本酒、ワインなど）	1	2	3	4	5
⑤ 花・花木（チューリップ、アザレア、ボケ、ヤナギなど）	1	2	3	4	5
⑥ 食・農体験（食育・花育センター、アグリパークなどでの体験プログラム）	1	2	3	4	5
⑦ 日本海（砂浜、夕日、海水浴場など）	1	2	3	4	5
⑧ 河川（信濃川、阿賀野川など）	1	2	3	4	5
⑨ 田園（水と土の歴史、広大さ、風景など）	1	2	3	4	5
⑩ 潟（鳥屋野潟、福島潟、佐潟など）	1	2	3	4	5
⑪ 気候	1	2	3	4	5
⑫ 湊町の歴史、風土、街並み	1	2	3	4	5
⑬ 文化芸術（美術・工芸、音楽、舞台演劇、踊り、郷土芸能など）	1	2	3	4	5
⑭ ポップカルチャー（マンガ・アニメ、地元アイドルなど）	1	2	3	4	5

	1 ある	2 ある程度ある	3 どちらともいえない	4 あまりない	5 ない
⑮ スポーツ（新潟シティマラソン、アルビレックス新潟など）	1	2	3	4	5
⑯ まつり・イベント（新潟まつり、白根大凧合戦、にいがた食の陣・酒の陣など）	1	2	3	4	5
⑰ 観光スポット（水族館、歴史博物館、鉄道資料館、萬代橋など）	1	2	3	4	5
⑱ 政令指定都市	1	2	3	4	5
⑲ 新潟港、新潟空港	1	2	3	4	5
⑳ 大学、短期大学、専門学校	1	2	3	4	5
㉑ 繁華街、街の中心部、特定の商業エリア	1	2	3	4	5
㉒ ものづくり（機械工業、金属工業、製紙業など）	1	2	3	4	5
㉓ 著名人（出身問わず、新潟市関係者）	1	2	3	4	5
㉔ 上記以外のもので、誇りや愛着を感じているものがあればご記入ください。 ()	1	2	/	/	/

問 14-2 上記で、「ある」と回答した項目のうち、特に誇りや愛着を感じているものを上位3つまでお答えください。

--	--	--

【4 新潟市のコミュニティについてお聞きします。】

問 15 あなたは地域コミュニティ協議会について知っていますか。
(○は1つだけ)

1. 名前も活動内容も知っている 2. 名前だけ知っている 3. 知らない

【地域コミュニティ協議会とは】

市と協働して地域のまちづくりやその他の諸課題に取り組んでいる組織です。小学校区または中学校区を基本とし、自治会、町内会を中心に、PTA、青少年育成協議会、老人クラブ、婦人会、民生・児童委員協議会など地域のさまざまな団体で構成されています。

(問 15 で「1」(名前も活動内容も知っている)「2」(名前だけ知っている)と答えた方は問 16 へ、「3」(知らない)と答えた方は問 17 へ)

問 16 あなたは地域コミュニティ協議会についての情報を何から入手しましたか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 市報にいがた | 5. 市のホームページ |
| 2. 区役所だより | 6. 自治会・町内会等、地域の会合 |
| 3. テレビ・ラジオ・新聞 | 7. その他 () |
| 4. 地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ | |

(ここからはすべての方へ)

問 17 あなたは区自治協議会について知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も活動内容も知っている 2. 名前だけ知っている 3. 知らない

【区自治協議会とは】

地域コミュニティ協議会の代表者などで構成され、区全体の大きな視点で多様な意見の調整や取りまとめを行う地域の審議機関です。

(問 17 で「1」(名前も活動内容も知っている)「2」(名前だけ知っている)と答えた方は問 18 へ、「3」(知らない)と答えた方は問 19 へ)

問 18 あなたは区自治協議会についての情報を何から入手しましたか。
(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 市報にいがた | 5. 市のホームページ |
| 2. 区役所だより | 6. 区自治協議会の傍聴 |
| 3. テレビ・ラジオ・新聞 | 7. その他 () |
| 4. 区自治協議会の広報紙 | |

【5 政令市移行後10年のまちづくりについてお聞きします。】

本市は、平成19年4月に政令指定都市（政令市）に移行してから10年目を迎えました。これまで政令市移行による効果や権限をいかし、以下のようなまちづくりを進めてきました。

- ・日本海側に位置する地理的優位性や港・空港・高速交通網など、拠点性をいかしたまちづくり
- ・市民や地域と行政との協働によるまちづくり
- ・区役所を拠点とした、地域の魅力や特色をいかしたまちづくり
- ・児童相談所の設置や道路の一体的な管理など、政令市の権限をいかした、より自主的・自立的なまちづくり

問19 政令市移行による効果をいかしたまちづくりは進んだと思いますか。

それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

（○は1つだけ）

	1	2	3	4	5	6
	進んだと思う	進どちらかと思う ええば	どちらともいえない	進どちらかと思わない ええば	進んだと思わない	わからない
① 拠点性の向上	1	2	3	4	5	6
② 市民，地域との協働	1	2	3	4	5	6
③ 区ごとの特色の明確化	1	2	3	4	5	6
④ 区の一体感の醸成	1	2	3	4	5	6
⑤ 区役所の利便性や機能性の向上	1	2	3	4	5	6



問 20 政令市移行による効果をいかした取組みは進んだと思いますか。
 それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。
 (○は1つだけ)

	1 進 ん だ と 思 う	2 進 ん だ と 思 う ど ち ら か と い え ば	3 ど ち ら と も い え な い	4 進 ん だ と 思 わ な い ど ち ら か と い え ば	5 進 ん だ と 思 わ な い	6 わ か ら な い
① 全国的な知名度・都市イメージの向上	1	2	3	4	5	6
② ハイレベルな国際会議や芸術・文化、スポーツイベントの開催	1	2	3	4	5	6
③ 道路・鉄道・空港・港湾など交通機能の充実	1	2	3	4	5	6
④ 産業集積による雇用の創出	1	2	3	4	5	6
⑤ 国内外との多様な交流	1	2	3	4	5	6
⑥ 窓口の利便性向上	1	2	3	4	5	6
⑦ 文化スポーツ施設など公共施設の充実	1	2	3	4	5	6
⑧ 区自治協議会と行政との協働によるまちづくり	1	2	3	4	5	6
⑨ 地域の伝統・文化などをいかした区独自の取組み	1	2	3	4	5	6
⑩ 区だよりや区バスなどによる区内の人・もの・情報の交流促進	1	2	3	4	5	6
⑪ 地域コミュニティ協議会など地域による活動の活性化	1	2	3	4	5	6
⑫ NPOや民間企業などと行政との連携強化	1	2	3	4	5	6
⑬ 地域を担う人材の育成	1	2	3	4	5	6
⑭ 地域防災力の向上	1	2	3	4	5	6

【6 市政全般と区政についてお聞きします。】

問 21 市役所とあなたが住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

- ①「新潟市として良くなっているもの」
- ②「新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの」
- ③「区として良くなっているもの」
- ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を

次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。（それぞれの順位欄に番号数字を記入してください）

1. 市・区の窓口対応	13. スポーツの振興	25. 交通安全対策
2. 電子手続きの推進	14. 文化・芸術の振興	26. 学校教育
3. 地域活動の振興	15. 農林水産業の振興	27. 生涯学習
4. 防災対策	16. 商工業・貿易の振興	28. 市営住宅の整備
5. 防犯対策	17. 雇用の場の拡大	29. 広報広聴活動
6. 児童福祉	18. 観光の振興	30. 国際交流の振興
7. 高齢者福祉	19. まちなかの活性化	31. 市民協働のまちづくり
8. 障がい者福祉	20. 公共交通の充実	32. 男女共同参画の推進
9. 保健・医療体制	21. 計画的な市街地整備	33. その他
10. ごみ処理・リサイクル	22. 公園の整備	()
11. 地球温暖化対策	23. 道路の整備	
12. 自然環境の保護	24. 公共下水道の整備	

回答欄 （1～33までの番号を記入してください）

	1位	2位	3位
① 新潟市として良くなっているもの			
② 新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの			
③ 区として良くなっているもの			
④ 区として今後もっと力を入れてほしいもの			



【7 市の取組みについてお聞きします。】

問 22 平成 27 年度からスタートした新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」に基づき進めている主な取組みについて、あなたの感想をお聞かせください。

また、これらの取組みについての満足度をお聞かせください。

それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

(○は①～⑩の市の取組みへの感想1～5と満足度A～Fにそれぞれ1つずつ)

	取組みへの感想					取組みへの満足度					
	1 そう 思う	2 ある 程度 思う	3 ど ち ら と も い え な い	4 あ ま り 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い	A 満 足 し て い る	B あ る 程 度 満 足 し て い る	C ど ち ら と も い え な い	D や や 不 満	E 不 満	F わ か ら な い
① 高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
② 障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
③ 都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
④ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑥ 地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑦ 市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑧ 食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑨ 地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑩ にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F

(次のページへつづく)

(○は①～⑳の市の取り組みへの感想1～5と満足度A～Fにそれぞれ1つずつ)

	取り組みへの感想				
	1 そう思う	2 ある程度思う	3 どちらともいえない	4 あまり思わない	5 そう思わない
⑪ 生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑫ 持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑬ ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑭ 女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑮ 農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑯ 港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑰ 既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑱ 食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑲ 広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑳ 国際交流に取り組んでいます。	1	2	3	4	5

取り組みへの満足度					
A 満足している	B ある程度満足している	C どちらともいえない	D やや不満	E 不満	F わからない
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F
A	B	C	D	E	F

調査は以上で終了です
ご協力ありがとうございました



ご記入がおわりましたら…



◎ご記入いただいた調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて
平成28年8月1日（月）まで、お近くの郵便ポストにご投函ください。

切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。

ご協力のほどよろしくお願いたします。

平成 28 年度 第 43 回市政世論調査

発 行 平成 28 年 10 月

調査主体 新潟市市民生活部広聴相談課
新潟市中央区学校町通一番町 602 番地 1
電話 025-228-1000 (代表)

調査実施 株式会社スピードリサーチ
新潟市東区小金町 1 丁目 7-1
電話 025-270-3800